

Canon

 **Color
imageRUNNER**

iRC6880N/iRC5880N

ユーザーズガイド



最初にお読みください。

ご使用前に必ず本書をお読みください。

将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

下記はオプションに添付されている取扱説明書も含んでいます。購入された製品、システム構成によっては、お手元のない取扱説明書（ご利用になれない機能）があります。



このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。



このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に収められています。

- 基本的な操作、便利な使いかたを早く簡単に知るには

かんたん操作ガイド



- 便利な機能の使いかたを学習するには

機能の使いかたの一例を学べるほか、シミュレータによる操作手順の体験学習もできる教材です。

チュートリアル CD



- 基本的な使いかたを知るには
- 困ったときには

ユーザーズガイド
(本書)



- コピー/ボックスの使いかたを知るには

コピー/ボックスガイド



- 送信機能/ファクスの使いかたを知るには

送信/ファクスガイド



- リモート UI などから TIFF/JPEG 画像や PDF の印刷のしかたを知るには

プリンタガイド



- プリンタ機能の使いかたを知るには

LIPS LX プリンタ、LIPS V プリンタ、ダイレクトプリントプリンタの場合は LIPS プリンタガイド、PS プリンタの場合は PS プリンタガイド、N201、ESC/P、I5577、HP-GL、HP-GL/2 プリンタの場合は各エミュレーションガイド（エミュレーションガイドの PDF マニュアルは、付属の CD-ROM に収められています。）

- リモート UI の使いかたを知るには

リモート UI ガイド



- ネットワークとの接続や設定について知るには

ネットワークガイド



- Network ScanGear ドライバのインストールのしかたなどについて知るには

Network ScanGear
ユーザーズガイド



- プリンタドライバのインストールのしかたなどについて知るには

ソフトウェアガイド



LIPS LX プリンタの場合は LIPS LX ソフトウェアガイド
LIPS V プリンタの場合は LIPS V ソフトウェアガイド
PS プリンタの場合は PS ソフトウェアガイド

- ファクストライバのインストールのしかたなどについて知るには

ファクストライバガイド



- MEAP アプリケーションのインストールのしかたや MEAP 機能の管理について知るには

**MEAP アプリケーション
管理機能ガイド**



- MEAP のログインサービスについて知るには

**MEAP 認証システム
設定ガイド**



本書の構成について

第1章 お使いになる前に

必ずお読みください

第2章 おもな機能と基本的な使いかた

第3章 オプション機器について

第4章 使いかたにあわせた仕様の設定

第5章 いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認

第6章 システム管理設定

第7章 日常のメンテナンス

第8章 困ったときには

第9章 付録

本体やオプション機器の仕様、レポートサンプル、原稿の向きと排紙の向きについて、ローマ字入力表、JIS 漢字コード表などを説明、掲載しています。

-
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
 - 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気づきのことがありましたら、ご連絡ください。
 - 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

目次

はじめに.....	xiii
本書の読みかた	xiii
マークについて.....	xiii
キーについて.....	xiii
画面について.....	xiv
イラストについて.....	xiv
略称について.....	xv
商標について.....	xv
本製品の動作と本書で用いる用語について	xvi
規制について	xviii
本体製品名称について.....	xviii
電波障害規制について.....	xviii
高調波の抑制について.....	xviii
国際エネルギースタープログラムについて.....	xviii
IPv6 Ready Logo について.....	xix
物質エミッションに関する認定基準について.....	xix
著作権について.....	xx
原稿などを読み込む際の注意事項.....	xxv
安全にお使いいただくために	xxvi
設置について.....	xxvi
電源について.....	xxviii
取り扱いについて.....	xxix
保守／点検について.....	xxxix
消耗品について.....	xxxii
その他.....	xxxii
資源再利用のお願い	xxxiii
ブレーカーの定期点検	xxxiv
ブレーカーのチェックのしかた.....	xxxiv
iR C6880N/iR C5880N ブレーカー点検チェックシート	xxxv

第 1 章 お使いになる前に

設置場所と取り扱いについて	1-2
設置場所のご注意.....	1-2
次のような場所への設置は避けてください.....	1-2
電源は安全な場所から.....	1-5

設置スペースにはゆとりを	1-6
アース線の接続を忘れずに	1-7
移動の際はご連絡を	1-8
取扱上のご注意	1-8
データのバックアップについて	1-10
本体各部の名称とはたらき	1-11
本体外観	1-11
本体内部	1-12
フィーダ	1-13
操作パネル各部の名称とはたらき	1-14
主電源と操作部電源について	1-15
主電源の入れかた	1-15
操作部電源スイッチについて	1-20
主電源の切りかた	1-20
本製品のシステム設定について	1-25
ライセンス登録が必要なオプション機能をお使いになるには	1-26
ライセンスキーを取得する	1-26
ライセンス登録をする（ライセンス登録）	1-27

第 2 章 おもな機能と基本的な使いかた

iR C6880N/iR C5880N のおもな機能	2-2
こんなことができます	2-5
タッチパネルディスプレイの表示について	2-5
タッチパネルディスプレイの表示を切り替えることができます	2-5
オプション装着状態による画面の違いについて	2-7
新機能を追加することができます	2-7
使いかたにあわせて仕様の設定ができます	2-9
消費電力を抑えることができます	2-10
ジョブの確認や操作ができます	2-11
かんたんナビ画面を表示させることができます	2-13
ネットワーク管理者からのメッセージを知ることができます	2-15
掲示板の種類について	2-15
その他ご紹介しておきたい機能	2-16
タッチパネルディスプレイの操作について	2-19
タッチパネルディスプレイでよく使うキーについて	2-19
タッチパネルディスプレイのキー表示について	2-20
タッチパネルディスプレイの明るさを調節する	2-21
タッチパネルディスプレイから文字を入力する	2-22
文字を入力する	2-22

文節の区切りを変更する.....	2-24
インチ入力のしかたについて.....	2-26
部門 ID と暗証番号を入力する.....	2-27
SDL や SSO の認証画面でログインする.....	2-30
原稿をセットする.....	2-34
原稿サイズについて.....	2-34
原稿の「タテ置き」と「ヨコ置き」について.....	2-35
原稿台ガラスにセットする.....	2-36
フィーダにセットする.....	2-38
手差しトレイの用紙にプリントする.....	2-41
複合動作について.....	2-51
使用できる用紙について.....	2-53

第 3 章 オプション機器について

システムの構成.....	3-2
オプション機器.....	3-2
オプション装着例.....	3-4
システムオプション.....	3-5
組み合わせ可能なオプション.....	3-9
ユーティリティソフトウェア.....	3-11
サイドペーパーデッキ・U1.....	3-13
各部の名称とはたらき.....	3-13
フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 / パンチャーユニット・L1.....	3-14
各部の名称とはたらき.....	3-14
フィニッシャの機能.....	3-16
シフトトレイ・C1.....	3-22
各部の名称とはたらき.....	3-22
コピートレイ・K1.....	3-24
各部の名称とはたらき.....	3-24
ハンドセット・G2.....	3-26
電話をかける.....	3-26
電話をうける.....	3-28
カードリーダー - C1.....	3-30
本体を使用する前の操作.....	3-31
本体の使用終了後の操作.....	3-31
カードリーダー - C1 使用時の部門別 ID 管理について.....	3-32
初期設定 / 登録画面の操作の流れ.....	3-32

暗証番号と制限面数を変更する	3-34
現在使用しているコントロールカードのカウンタ情報を確認する	3-39
カウンタ情報の確認とプリントをする	3-39
カウンタ情報を消去する	3-41
ID 不定のプリントジョブ/スキャンジョブを受け付けるかどうかを設定する	3-41
コントロールカードをセットしないときに白黒コピー/プリントのみ許可するかを設定する	3-42

第 4 章 使いかたにあわせた仕様の設定

初期設定/登録画面の操作の流れ	4-3
初期設定/登録一覧表	4-5
各機能に共通の仕様を設定する (共通仕様設定)	4-24
初期画面を設定する	4-24
オートクリア後の表示画面を設定する	4-26
ブザーを設定する	4-27
用紙残量を表示するかどうかを設定する	4-27
自動カラー選択で白黒判定されたときの文字/写真優先を設定する	4-28
カラー選択時の画質を自動調整する (カラーモード選択時の原稿画質自動切替)	4-28
ワンタッチ白黒モードキーの表示を設定する	4-29
インチ入力をするかどうかを設定する	4-29
カセットオート選択の ON/OFF を設定する	4-30
給紙箇所の用紙種類を登録する	4-32
用紙種類選択の簡易/詳細設定画面のどちらを優先させるかを設定する (用紙選択画面の優先表示)	4-35
節電モードを変更する	4-35
スリープ時の消費電力を設定する	4-36
LTRR サイズ原稿と STMT サイズ原稿を区別する	4-37
機能ごとの排紙トレイを設定する	4-38
プリント優先順位を設定する	4-39
イメージ合成のフォームを登録する	4-40
イメージ合成のフォーム登録	4-40
フォーム画像の詳細情報を確認する	4-41
フォーム画像の消去	4-41
イメージ合成したプリントの画質を設定する	4-42
ページ印字/スタンプの文字列を登録する	4-42
ページ印字/スタンプの文字列の登録	4-42
ページ印字/スタンプの文字列の編集	4-43
ページ印字/スタンプの文字列の消去	4-43
手差し用紙の標準モードを登録する	4-44
ユーザ設定サイズを登録/編集する	4-46
ユーザ設定サイズの登録/編集	4-46

サイズキーの名称登録	4-47
ユーザ設定サイズの消去	4-47
ローカルプリントの標準モードを設定する	4-48
表示言語の切り替えをする	4-49
画面色反転を設定する	4-49
ジョブ間シフトを設定する	4-50
ジョブ間仕切紙を設定する	4-50
部数間仕切紙を設定する	4-51
プリント待ち時間表示を設定する	4-51
プリントジョブ終了予測時間を表示する	4-52
原稿読み取り部の清掃表示を設定する	4-52
リモートスキャン時のガンマ値を設定する	4-53
機能制限モードを設定する	4-53
トナー残量の警告表示を消去する	4-54
共通仕様設定を初期化する	4-54
各種タイマーを設定する (タイマー設定)	4-55
時刻の微調整をする	4-55
オートスリープタイムの設定をする	4-55
オートクリアタイムの設定をする	4-56
静音モード移行時間の設定をする	4-56
ウイークリータイマーの設定をする	4-57
低電力モード移行時間の設定をする	4-57
調整をする (調整/クリーニング)	4-58
ズーム微調整をする	4-58
中とじユニットの針の頭出しをする	4-59
中とじ位置を変更する	4-59
階調や濃度を自動補正する	4-60
クイック補正をする	4-60
フル補正をする	4-60
クリーブ (ずれ) 補正量の調整	4-62
濃度を補正する	4-62
文字/背景のコントラスト調整	4-63
プリントが汚れるときは (ローラのクリーニング)	4-65
プリントが汚れるときは (ワイヤのクリーニング)	4-65
フィーダで読み取った原稿が汚れるときは (フィーダのクリーニング)	4-66

第5章 いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認

カウンタやコントローラのバージョンなどを確認する	5-2
ジョブ状況やデバイス状況を確認する	5-4
システム状況画面からの操作	5-5
プリント画面からの操作	5-7

ジョブの詳細情報を確認する	5-9
コピー、プリントジョブの詳細情報を確認する	5-9
システム状況画面からの操作	5-9
プリント画面からの操作	5-10
コピー、プリントジョブ履歴をプリントする	5-11
システム状況画面からの操作	5-11
プリント画面からの操作	5-12
優先プリントする	5-13
システム状況画面からの操作	5-13
プリント画面からの操作	5-14

第 6 章 システム管理設定

システム管理者情報を設定する (システム管理者情報の設定)	6-3
部門別 ID 管理を設定する (部門別 ID 管理)	6-5
部門 ID / 暗証番号 / 制限面数の登録	6-6
暗証番号と制限面数を変更する	6-9
部門を消去する	6-11
カウント情報の確認とプリントをする	6-12
カウント情報を消去する	6-13
ID 不定のプリントジョブ / スキャンジョブを受け付けるかどうかを設定する	6-14
部門 ID を入力しないときに白黒コピー / プリントのみ許可するかを設定する	6-15
リモート UI の設定をする (リモート UI の ON/OFF)	6-17
デバイス情報を設定する (デバイス情報の設定)	6-18
掲示板を消去する (掲示板の消去)	6-19
ネットワークの自動接続 / 切断を設定する (自動オンライン / オフライン移行)	6-20
自動オンライン移行を設定する (自動オンライン移行)	6-20
自動オフライン移行を設定する (自動オフライン移行)	6-20
日付 / 時刻を設定する (日付 / 時刻設定)	6-21
管理キー OFF 時の機能制限を設定する (管理キー OFF 時の機能制限切替)	6-23
システム状況画面の制限を設定する (システム状況画面の制限)	6-24
システム状況 / 中止の使用制限を設定する (認証前のジョブ状況の表示)	6-24
プリント状況画面からのセキュアプリントの設定をする (プリント状況からセキュアプリントを許可)	6-25
システム状況画面のジョブ履歴の表示を設定する (ジョブ履歴の表示)	6-25
MEAP の設定をする (MEAP 設定)	6-27
HTTP サーバを使用するかを設定する (HTTP を使用)	6-27
インストールされているアプリケーションの情報を印刷する (システム情報のプリント)	6-28

部数印字拡張を設定する (部数印字拡張の設定).....	6-30
トナー残量の警告画面を表示する (トナー残量警告表示の ON/OFF)	6-32
ログインしている部門 ID / ユーザ名を表示する (ID / ユーザ名表示の ON/OFF).....	6-33
USB の設定をする (USB 設定).....	6-34
USB デバイスを使用するかどうか設定する (USB デバイスを使用).....	6-34
USB ホストを使用するかどうか設定する (USB ホストを使用).....	6-34
機器情報配信の設定をする (機器情報配信の設定).....	6-35
機器情報の配信先を登録/消去する.....	6-37
機器情報の配信先を登録する.....	6-37
機器情報の配信先の設定状況を確認する.....	6-39
機器情報の配信先を消去する.....	6-40
機器情報の配信先をプリントする.....	6-41
自動配信の設定をする.....	6-42
手動配信の設定をする.....	6-44
配信元による受信制限を設定する.....	6-45
機器情報のデータを更新前に戻す.....	6-45
配信されたデータの受信を制限する.....	6-46
通信履歴を確認プリントする.....	6-47
通信履歴を確認する.....	6-47
通信履歴をプリントする.....	6-48
データを完全に消去する (全データ/設定の初期化).....	6-49
機密情報の入力時に伏せ字で表示する (機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF).....	6-51
地紋印字モードを設定する (地紋印字モード).....	6-52
強制地紋印字モードを設定する (強制地紋印字).....	6-52
プリンタドライバ地紋印字モードを設定する (プリンタドライバ地紋印字).....	6-55
暗号化セキュアプリントの設定をする (暗号化セキュアプリント設定)....	6-58
暗号化セキュアプリントジョブのみを受け付けるかどうか設定する (暗号化セキュアプリントジョブのみ受付).....	6-58
IC カード使用時に自動でプリントをする (IC カード使用時の自動プリント).....	6-58
ユーザ定義の用紙種類を登録/編集する (用紙種類の管理設定).....	6-59
ユーザ定義の用紙種類を登録する.....	6-59
ユーザ定義の用紙種類を編集する.....	6-60
ユーザ定義の用紙種類を消去する.....	6-63
本体側で指定した機能に対応するドライバをパソコン側で検出、インストールする (ページ記述言語選択 (プラグ&プレイ)).....	6-64
ユーザボックスの設定をする (ユーザボックス一括設定).....	6-65
文書の自動消去までの時間を設定する (文書の自動消去までの時間).....	6-65

プリンタドライバからの保存結果をプリントする（プリンタドライバから保存時のプリント）.....	6-65
プリンタドライバからのジョブを制限する（プリンタジョブの制限）.....	6-66
コピージョブのカラーモードを制限する（コピーのカラーモード設定）....	6-67
自動カラー選択の使用を制限する（自動カラー選択を使用）.....	6-67
フルカラーの使用を制限する（フルカラーを使用）.....	6-67

第7章 日常のメンテナンス

用紙の補給.....	7-2
ペーパーデッキ/カセットに用紙を補給する.....	7-2
カセットの用紙サイズを変更する.....	7-7
インデックス紙をセットする.....	7-9
フィーダ.....	7-13
スタンプカートリッジを交換する.....	7-13
サイドペーパーデッキ・U1（オプション）.....	7-15
サイドペーパーデッキに用紙を補給する.....	7-15
フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 / パンチャーユニット・L1（オプション）.....	7-19
ステイプルユニット針ケースの交換.....	7-19
中とじユニット針カートリッジの交換.....	7-22
パンチ肩の処理.....	7-25
トナー容器の交換.....	7-28
ブラックトナーの交換方法.....	7-30
カラートナーの交換方法.....	7-33
日常のお手入れ.....	7-38
原稿台ガラス/フィーダ裏面を清掃する.....	7-38
フィーダを清掃する.....	7-39
プリントが汚れるときは（ローラのクリーニング）.....	7-43
プリントが汚れるときは（ワイヤのクリーニング）.....	7-44
フィーダで読み取った原稿が汚れるときは（フィーダのクリーニング）.....	7-44
消耗品.....	7-45
保守について.....	7-47

第8章 困ったときには

頻繁に紙づまりが起こるときは.....	8-3
紙づまりが起きたときには.....	8-4
紙づまりが起こったときの表示.....	8-4
フィーダの紙づまりの処理.....	8-9

本体内部（定着搬送ユニット）の紙づまりの処理	8-12
手差しトレイの紙づまりの処理	8-18
右カバー部の紙づまりの処理	8-20
カセット内部の紙づまりの処理	8-22
ペーパーデッキ（右側）内部の紙づまりの処理	8-24
ペーパーデッキ（左側）内部の紙づまりの処理	8-26
サイドペーパーデッキ・U1 の紙づまりの処理（オプション）	8-28
フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の上カバー内部の紙づまりの処理（オプション）	8-32
フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の排紙搬送部の紙づまりの処理（オプション）	8-35
サドルフィニッシャー・AC2 の前カバー部の紙づまりの処理（オプション）	8-39
サドルフィニッシャー・AC2 の中とじユニットの紙づまりの処理（オプション）	8-42
パンチャーユニット・L1 の紙づまりの処理（オプション）	8-45
シフトトレイ・C1 の紙づまりの処理（オプション）	8-50
コピートレイ・K1 の紙づまりの処理（オプション）	8-54
針づまりが起きたときには	8-59
フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 のステイプルユニットの針づまりの処理（オプション）	8-59
サドルフィニッシャー・AC2 の中とじユニットの針づまりの処理（オプション）	8-62
エラーメッセージ一覧	8-66
自己診断表示	8-66
終了コード一覧	8-70
読み込み中にメモリがいっぱいになったときには	8-77
サービスコール表示	8-79
担当サービスを呼ぶときは	8-79
サービスコール画面から機能制限モードを設定する	8-81
電源が入らないとき（ブレーカーの確認）	8-83

第9章 付録

レポートサンプル	9-2
コピー履歴レポート	9-2
プリント履歴レポート	9-3
機器情報配信先リスト	9-4
機器情報通信履歴レポート	9-5
仕様	9-6
本体	9-6
フィーダ	9-8
サイドペーパーデッキ・U1	9-9
フィニッシャー・AC1	9-9

サドルフィニッシャー・AC2	9-11
パンチャーユニット・L1	9-13
シフトトレイ・C1	9-14
コピートレイ・K1	9-14
カードリーダー-C1	9-15
ユーザ入力項目の文字制限と機能制限について	9-16
文字制限	9-16
機能制限	9-20
原稿向きと用紙向きの関係について	9-22
ローマ字入力表	9-26
JIS 漢字コード表	9-27
索引	9-40
iR C6880N/iR C5880N システム管理モードについて	9-51
システム管理モードにする	9-51
部門別 ID 管理をしている場合	9-51
部門別 ID 管理をしていない場合	9-52
システム管理モードを解除する	9-53
システム管理モードでボックスの操作をする	9-54
システム管理モードでボックス仕様を変更する	9-55

はじめに

このたびはキヤノン iR C6880N/iR C5880N をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

-  **警告** 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
-  **注意** 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
-  **重要** 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。
-  **メモ** 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーについて

本書では、キー名称を以下のように表しています。

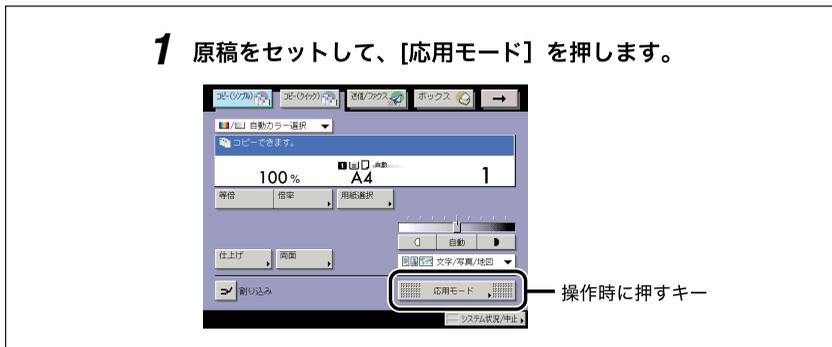
- タッチパネルディスプレイ上のキー：[キー名称]
例： [キャンセル]
 [閉じる]
- 操作パネル上のキー：<キーアイコン>+（キー名称）
例： ◎(スタート)
 △(ストップ)

画面について

本書で使われている画面は、特にお断りがない限り iR C6880N にスーパー G3FAX ボード、サドルフィニッシャー・AC2、パンチャーユニット・L1 が装着され、Send 拡張キット、LIPS V 拡張キットを有効にした場合のものです。

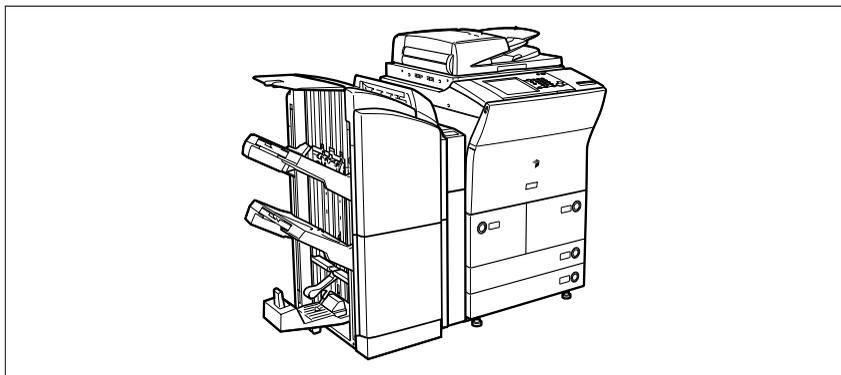
アクセサリ、オプションの組み合わせによって使用できない機能に関しては、本製品の画面には表示されませんが、ご了承ください。

操作時に押すキーの場所は、 (丸) で囲んで表しています。また、操作を行うキーが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。



イラストについて

本書で使われているイラストは、特にお断りがない限り、iR C6880N にサドルフィニッシャー・AC2、パンチャーユニット・L1 が装着されている場合のものです。



略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Novell NetWare : NetWare

本書では、日本郵政公社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

商標について

MEAP、MEAP ロゴはキヤノン株式会社の商標です。

AppleTalk、macintosh は米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

下記の書体は米国 Bitstream Inc. よりライセンスを受けています。

Dutch 801 Bold, Dutch 801 Roman, Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text

下記の書体は米国 Bitstream Inc. の商標です。

Dutch 801

©Copyright 1987, Bitstream Inc. Cambridge Massachusetts USA.

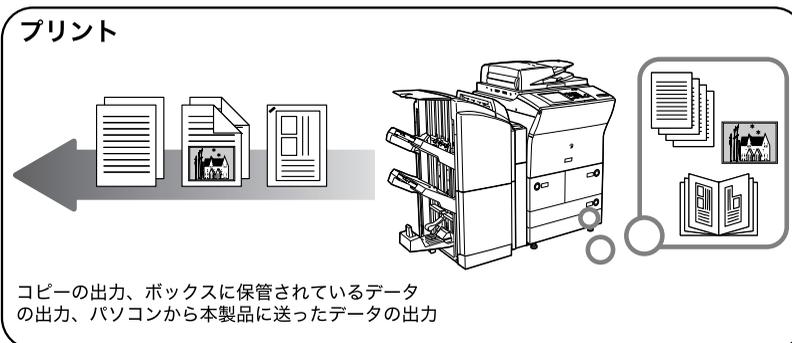
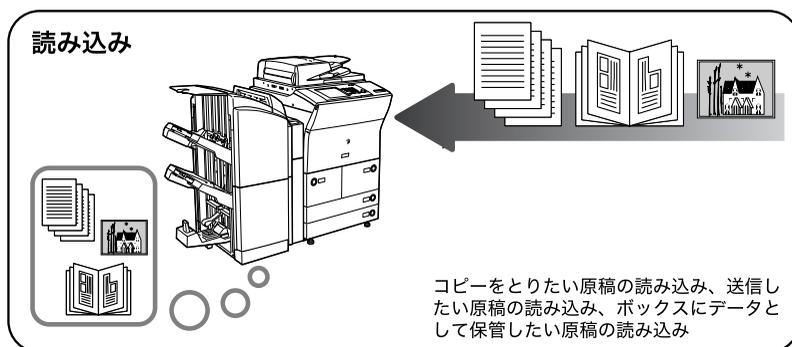
All rights reserved.

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

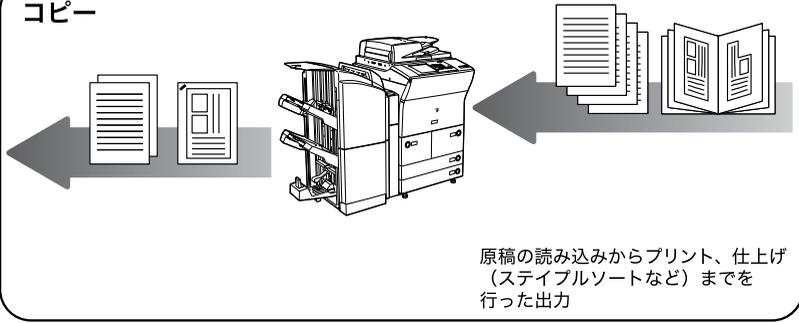
本製品の動作と本書で用いる用語について

本製品は効率よくプリント処理を行えるように、メモリを有効に活用しています。たとえば、コピーをとりたい原稿の読み込みが終了すれば、次にコピーをとりたい方は順番を待たずに原稿の読み込みを済ませることができます。また、コピー以外の機能を使って本製品からプリントさせることもできます。本製品はこれらの動作が複合的に処理されますので、コピーに限らずいろいろなプリントが順番を待っていたりプリントされたりします。

本文中での混乱をさけるために、この取扱説明書では「読み込み」、「プリント」、「コピー」を以下のように定義して、コピーをとるとき原稿の読み込みとプリントをしている状況を使い分けて説明する場合があります。



コピー



原稿の読み込みからプリント、仕上げ
(ステイブルソートなど) までを
行った出力

規制について

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の（ ）内の名称で登録されている場合があります。

iR C6880N/iR C5880N (F144000)

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

高調波の抑制について

本機器は社団法人 日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

IPv6 Ready Logo について



本製品は、IPv6 Forum が定める IPv6 Ready Logo Phase-1 を取得しています。

物質エミッションに関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマーク No117 「複写機 Version2.0」の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品用に推奨しておりますキヤノン NPG-39 トナーを使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2002 の付録 3～5 に基づき試験を実施しました。)

著作権について

本製品には、キャノン株式会社またはそのライセンサーが、それぞれ下記 (a) から (h) の条件に基づき許諾を受けたフリーソフトウェア・モジュールが含まれています。

(a)

Copyright (c) 1992, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Ralph Campbell.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(b)

Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

(c)

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (c) 1991 by AT&T.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR AT&T MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

(d)

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business. Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

(e)

Copyright (c) 1994, 1997 Cygnus Solutions.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed at Cygnus Solutions. Cygnus Solutions may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

(f)

Copyright (c) 2000 The Legion Of The Bouncy Castle (<http://www.bouncycastle.org>)

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

(g)

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) and is subject to the following terms and conditions.

- / * =====
- * The Apache Software License, Version 1.1
 - *
 - * Copyright (c) 2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

- *
 - * Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification,
 - * are permitted provided that the following conditions are met:
 - *
 - * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this
 - * list of conditions and the following disclaimer.
 - *
 - * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice,
 - * this list of conditions and the following disclaimer in the documentation
 - * and/or other materials provided with the distribution.
 - *
 - * 3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must
 - * include the following acknowledgment:
 - * "This product includes software developed by the Apache Software
 - * Foundation (<http://www.apache.org/>)."
 - * Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and
 - * wherever such third-party acknowledgments normally appear.
 - *
 - * 4. The names "Apache" and "Apache Software Foundation" must not be used to
 - * endorse or promote products derived from this software without prior
 - * written permission. For written permission, please contact
 - * apache@apache.org.
 - *
 - * 5. Products derived from this software may not be called "Apache", nor may
 - * "Apache" appear in their name, without prior written permission of the
 - * Apache Software Foundation.
 - * THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED
 - * WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
 - * OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
 - * DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR
 - * ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
 - * SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT
 - * LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF
 - * USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED
 - * AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT

* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN
* ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE
* POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

* =====

*

* This software consists of voluntary contributions made by many individuals on
* behalf of the Apache Software Foundation. For more information on the Apache
* Software Foundation, please see <<http://www.apache.org/>>.

*

* Portions of this software are based upon public domain software originally
* written at the National Center for Supercomputing Applications, University of
* Illinois, Urbana-Champaign.

* /

(h)

Copyright (c) 1999, 2000, 2002 Aladdin Enterprises. All rights reserved.

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

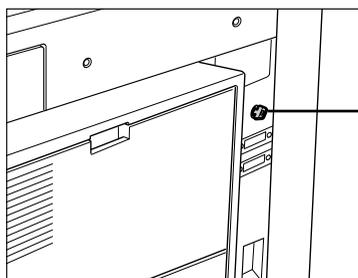
- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

【関係法律】

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

■ 不正コピーの防止のために

オプションの管理キーを取り付けると、不正なコピーが行われないよう本製品の使用を管理することができます。本製品に特定の管理者を設けて、不正コピーが行われないよう運営管理してください。



管理キー
使用時には管理キーを差し込んで
右に回します。

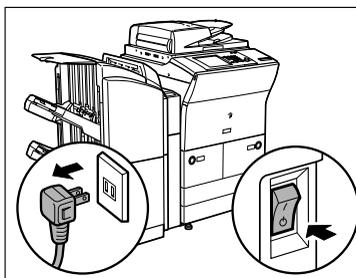
▲安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

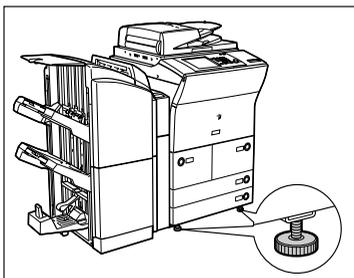
▲ 警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
製品内部に入った場合は、直ちに操作部電源スイッチを切り、本体右側の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
 - ネックレスなどの金属物
 - コップ、花瓶、植木鉢など、水や液体が入った容器



▲ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 水道の蛇口付近などの水気のある場所
 - ・ 直射日光のあたる場所
 - ・ 高温な場所
 - ・ 火気に近い場所
- 設置したあとは、製品固定用のストッパは外さないでください。製品が動いたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。



⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離して行って下さい。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
 - 〈アース線を接続してもよいもの〉
電源コンセントのアース端子
接地工事（D種）が行われているアース端子
 - 〈アース線を接続してはいけないもの〉
水道管：配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
 - ガス管：ガス爆発や火災の原因になります。
 - 電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、100 V15 A 以上のものを使用してください。使用時は束ねをほどこき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように根もとまで電源プラグを差し込んでください。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

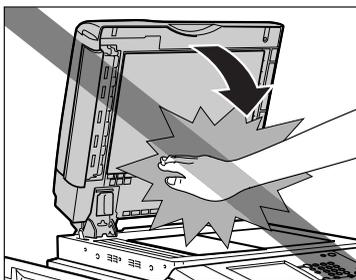
取り扱いについて

⚠ 警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 異常な音が出たり、煙が出たり、熱が出たり、変なおいが出た場合は、直ちに操作部電源スイッチを切り、本体右側面の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず操作部電源スイッチを切り、本体右側面の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜き、インターフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると電源コードやインターフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。これらが製品内部に入った場合は、直ちに操作部電源スイッチを切り、本体右側面の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

⚠ 注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- 原稿台カバー、フィーダは、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。



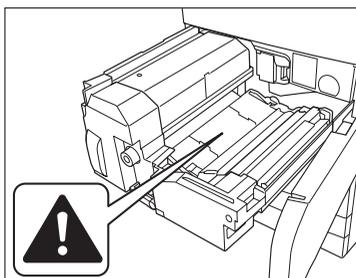
- 原稿台ガラスに厚い本などをセットしてコピーするときは、原稿台カバー、フィーダを強く押さないでください。原稿台ガラスが破損してけがの原因になることがあります。
- コピー、プリント中は、フィニッシャのトレイに触れたりしないでください。フィニッシャのトレイはコピー、プリント中に位置が移動するため、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため操作部電源スイッチを切ってください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため操作部電源スイッチを切り、本体右側面の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いてください。
- 左側面など、本製品の排紙部にあるローラには手を近づけないでください。動作中でなくても、プリントなどのため急に動き出し、衣服や手が巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

⚠ 警告

- 清掃のときは、操作部電源スイッチを切り、本体右側面にある主電源スイッチを切ってから電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネットワークレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナー容器を火中に投げないでください。トナー容器内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。



- 紙づまり処理やトナー容器を交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するとき、原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- トナー容器を補給口から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナー容器は分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナー容器からトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

消耗品について

- ⚠ 警告**
- トナー容器を火中に投げないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
 - トナー容器、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。
 - トナー容器を廃棄する場合は、トナー容器を袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。

- ⚠ 注意**
- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
 - トナー容器は分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
 - トナー容器からトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

その他

- ⚠ 警告**
- 心臓ペースメーカーをご使用の方へ
- 本製品から微弱な電磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

資源再利用のお願い

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

■ 使用済み複写機の受け入れ場所について

使用済みとなった複写機につきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	<p>キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複写機のリサイクルを推進しています。</p> <p>使用済みの複写機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。</p> <p>なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。</p>
---	--

■ 使用済みドラムユニット、トナー容器（カートリッジを含む）などの回収について

使用済みとなったトナー容器などにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	<p>キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みドラムユニットおよび使用済みトナー容器の回収とリサイクルを推進しています。</p> <p>使用済みドラムユニット、トナー容器の回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。</p> <p>なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋等に入れて、地域の条例に従い処分してください。</p>
---	---

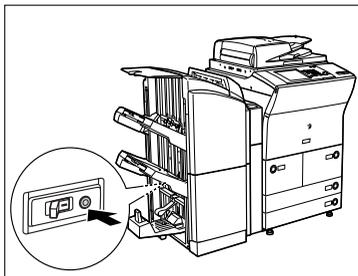
ブレーカーの定期点検

本製品には感電防止のため、過電流や漏電を検知するブレーカーが装着されています。以下の手順に従って、月に1～2度必ずブレーカーの定期点検を行ってください。

- 重要** • ブレーカーの定期点検は、本製品の主電源スイッチがOFFの状態で行ってください。
- ブレーカーの定期点検を行って正常に動作しなかった場合は、担当サービスにご連絡ください。

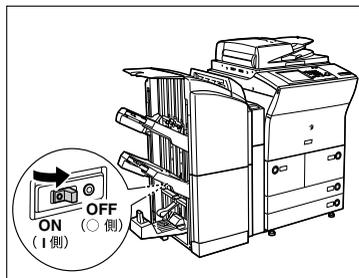
ブレーカーのチェックのしかた

- 1 ボールペンの先などでブレーカーのテストボタンを押します。



- 重要** テストボタンを押すときは、押し続けしないですぐに離してください。
- メモ** • ブレーカーは本製品の本体左側面にあります。
- ブレーカーの位置の詳細については、「本体内部」(→P.1-12)を参照してください。

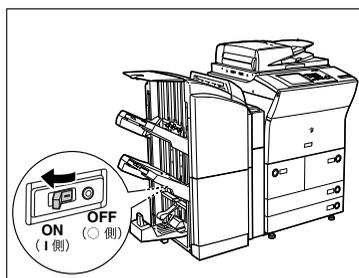
2 ブレーカースイッチが OFF (○側) の方へ倒れることを確認します。



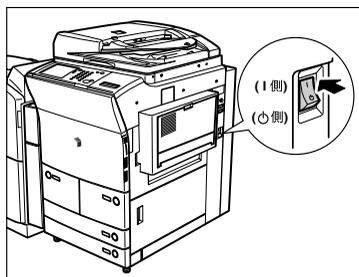
重要

- 主電源を ON/OFF する目的でテストボタンを使用しないでください。
- ブレーカースイッチが OFF (○側) の方へ倒れない場合は、手順 1 をもう一度行います。
- 手順 1 を 2～3 度繰り返してもブレーカースイッチが OFF (○側) の方へ倒れない場合は、担当サービスにご連絡ください。

3 ブレーカースイッチを ON (I側) へ戻します。



4 主電源スイッチを「I」側へ倒します。



5 次頁のブレーカー点検チェックシートにテストの日時を記入します。

お使いになる前に

本体各部の名称とはたらきや電源の入れかたなど、本製品をお使いになる前に知っておいてほしいことを説明しています。

設置場所と取り扱いについて	1-2
設置場所のご注意	1-2
取扱上のご注意	1-8
データのバックアップについて	1-10
本体各部の名称とはたらき	1-11
本体外観	1-11
本体内部	1-12
フィーダ	1-13
操作パネル各部の名称とはたらき	1-14
主電源と操作部電源について	1-15
主電源の入れかた	1-15
操作部電源スイッチについて	1-20
主電源の切りかた	1-20
本製品のシステム設定について	1-25
ライセンス登録が必要なオプション機能をお使いになるには	1-26
ライセンスキーを取得する	1-26
ライセンス登録をする (ライセンス登録)	1-27

設置場所と取り扱いについて

1

お使いになる前に

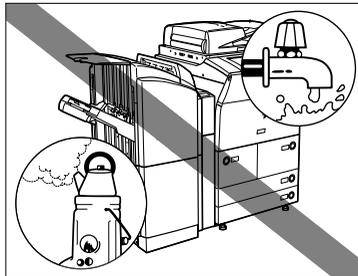
設置場所と取り扱いについての注意事項を記載しています。お使いになる前に必ずお読みください。

設置場所のご注意

次のような場所への設置は避けてください

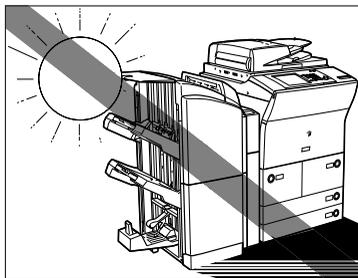
■ 低温、低湿または高温、高湿の場所

水道の蛇口、湯沸器、加湿器、エアコン、ヒータ、ストーブなどの近く。



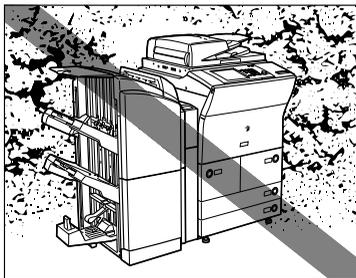
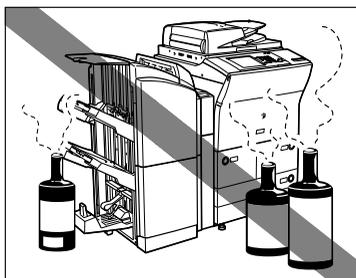
■ 直射日光の当たる場所

やむをえない場合はカーテンなどで遮光してください。カーテンが製品の通気口をふさいだり、電源コードや電源プラグにかぶさらないように注意してください。

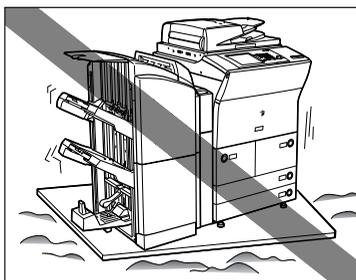


■ 換気の悪い場所

使用中の製品からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。

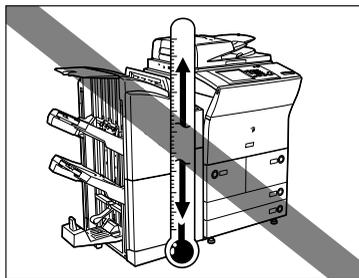
**■ ホコリ、チリなどの多い場所****■ アンモニアガスの発生する場所****■ アルコール、シンナーなどの近く****■ 振動の多い場所**

床や土台などが不安定な場所



■ 温度が急に变化する場所

冷えきった部屋を急激に暖めたときなど、製品内部に水滴がつき（結露現象）、画像が著しく損なわれたり、原稿が正しく読み取られなかったり、プリント画像が写らないことがあります。

**■ コンピュータなどの電子機器や精密機械の近く**

電気的な原因や動作時の振動により、電子機器、精密機器などに悪影響を与えることがあります。

■ テレビ、ラジオなどの電子機器の近く

テレビやラジオ、オーディオ機器に、画面のチラツキや雑音の発生などの受信障害が生じることがあります。製品とは別系統の電源を使用し、離して設置してください。

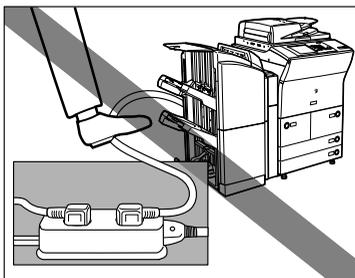
■ 本体固定用のストッパについて

一度設置したあとは、本体固定用のストッパは外さないでください。

カセットや本体ユニットをすべて引き出した状態で、機械前部に荷重をかけると、機械が前方に倒れる恐れがあり大変危険です。ストッパは必ず固定しておいてください。

電源は安全な場所から

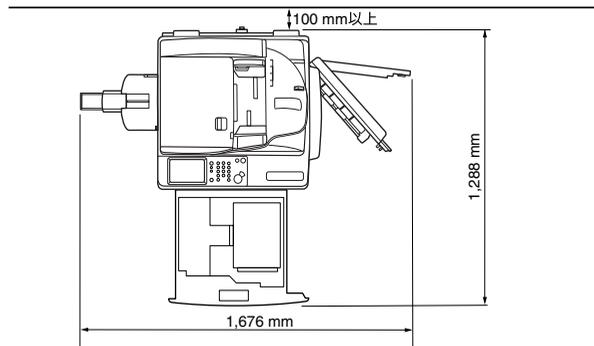
- 電源は 100 V (90 V ~ 110 V) 15 A 以上のコンセントに製品の電源を接続してください。
- 製品への電源供給が安全であること、安定電圧であることを確認してください。
- 同じコンセントには、ほかの電気製品を接続しないでください。
- テーブルタップなどによるタコ足配線はしないでください。火災の原因になることがあります。
- 電源コードを踏みつけたり、重いものをのせたりしないでください。コードがいたみ、そのままご使用を続けると、火災や感電などの事故の原因になります。



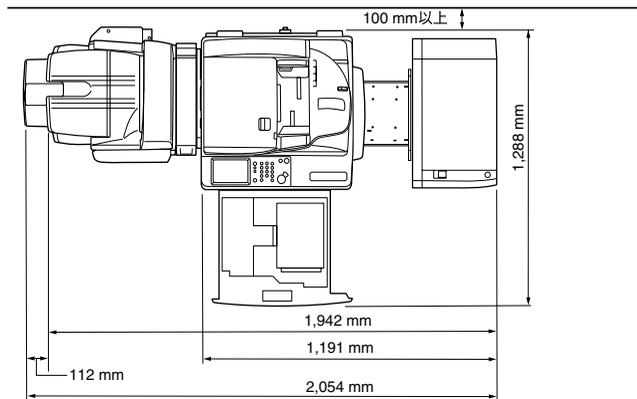
設置スペースにはゆとりを

- 製品の左右と前面には、操作に十分なスペースをとってください。

オプション非装着時



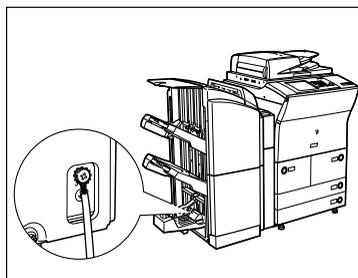
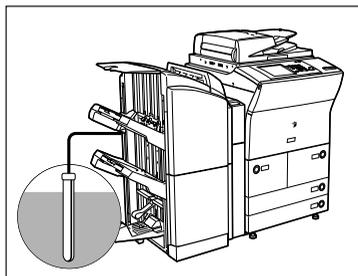
サドルフィニッシャー・AC2+パンチャーユニット・L1+サイドペーパーデッキ・U1装着時



アース線の接続を忘れずに

■ 感電防止のため必ずアース線を接続してください。

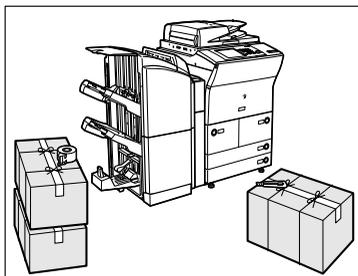
- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いて行ってください。



- アース線を接続してよいもの
 - ・電源コンセントのアース端子
 - ・接地工事（第D種）が行われているアース端子
- アース線を接続してはいけないもの
 - ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
 - ・水道管（配管途中がプラスチックになっている場合があります、その場合はアースの役目を果たしません。ただし水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。）
 - ・電話線のアースや避雷針（落雷のときに大量の電流が流れ危険です。）

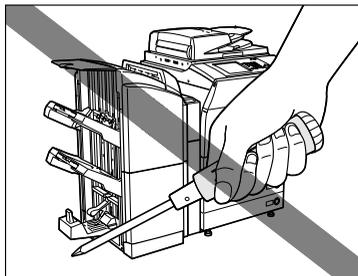
移動の際はご連絡を

- 製品の移動は、お客様ご自身で行わず、必ず担当サービスにご連絡ください。

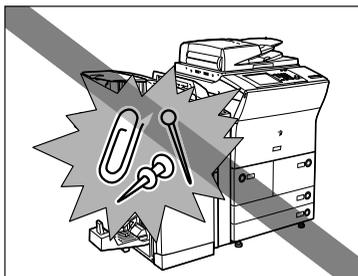


取扱上のご注意

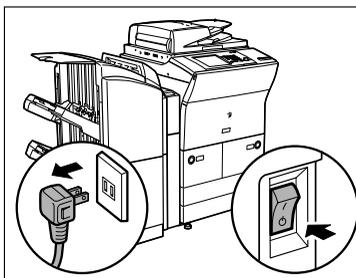
- 製品を分解したり、改造したりしないでください。



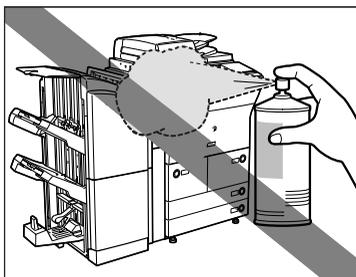
- 製品の内部には高温、高圧になる部分があります。内部点検の際は十分に注意してください。また、この取扱説明書に記載されていないことは行わないでください。
- 製品の内部にクリップなどの異物を落とさないでください。また水などの液体をこぼさないでください。これらが電圧部分に接触すると、短絡や漏電などが起き、火災や感電の原因になる恐れがあります。



- 異常な音がしたり煙が出たりした場合は、直ちに主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、担当サービスにご連絡ください。また、いつでも電源プラグが引き抜けるよう、電源プラグの周りには物を置かないようにしてください。



- 動作中に主電源スイッチを切ったり、前カバーを開けたりしないでください。紙づまりの原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。火災の原因になります。



- 使用中の製品からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。
- 夜間など長時間製品をご使用にならない場合は、操作部電源スイッチを切ってください。



⚠ 注意

万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、受信したデータや記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

データのバックアップについて

本製品は、宛先表や初期設定／登録の設定内容などのデータを内蔵のハードディスクに保存しています。

万一、ハードディスクに不具合が発生した場合、受信したデータや記録保存したデータが消失することがあります。大切なデータは定期的にバックアップを行ってください。

お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

バックアップできるデータは以下のとおりです。

■ 宛先表、初期設定／登録の設定内容、転送設定、ボックスデータ（ユーザボックス、フォーム合成）

各データのバックアップ（エクスポート）については、リモートUIガイド「第3章 使いかたにあわせた設定」を参照してください。

■ 機器情報配信機能によって送信できる登録内容

本製品が持つ登録内容の子機側へ配信することで一時的なバックアップを行うことができます。機器情報配信機能については、「機器情報配信の設定をする（機器情報配信の設定）」（→P.6-35）を参照してください。

■ MEAP 関連のデータ

● MEAP アプリケーションのライセンスファイル

ライセンスファイルのバックアップ（ダウンロード）については、「MEAP アプリケーション管理機能ガイド」を参照してください。

● SDL (Simple Device Login) /SSO (Single Sign-On) のローカルデバイス認証で登録されているユーザの認証情報

ユーザの認証情報のバックアップ（エクスポート）については、「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照してください。

● MEAP アプリケーションが保存しているデータ

MEAP アプリケーションによっては、保存しているデータをバックアップできる場合があります。各 MEAP アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

 **メモ** 本製品をネットワークに接続しない状態でお使いの場合は、宛先表などの重要な情報をプリントして保管することをおすすめします。（→送信／ファクスガイド「第12章 レポート出力」）

本体各部の名称とはたらき

本体外観と内部、操作パネル、タッチパネルディスプレイについて、各部の名称とはたらきを説明します。

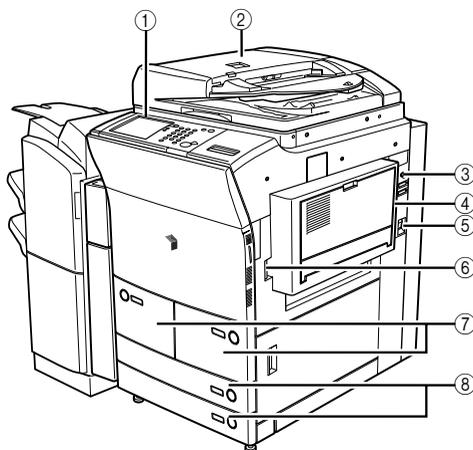
また、オプションを装着した場合の本製品の構成についても紹介します。オプション機器と、その各部の名称とはたらきの詳細については、「第3章 オプション機器について」を参照してください。

1

お
使
い
に
な
る
前
に

本体外観

サドルフィニッシャー・AC2+パンチャーユニット・L1装着時



① 操作パネル

本製品を操作するのに必要な、キーやタッチパネルディスプレイ、ランプなどがあります。(→ 操作パネル各部の名称とはたらき：P. 1-14)

② フィーダ

まとめてセットした原稿を1枚ずつ原稿台に送って読み込みます。また、両面原稿を読み込む場合は、原稿を反転して送ります。

③ 管理キー (オプション)

本製品の使用を管理し、不正コピーを防止できます。(→ 不正コピーの防止のために：P. xxv)

④ 手差しトレイ

手差しで用紙がセットできます。郵便はがきはこちらにセットします。(→ 手差しトレイの用紙にプリントする：P.2-41)

⑤ 主電源スイッチ

「I」側を押すと電源が入ります。(→ 主電源と操作部電源について：P.1-15)

⑥ 本体右カバー

紙づまりを処理するときに、このカバーを開けます。(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

⑦ ペーパーデッキ

約 1700 枚 (64 g/m²) または 1500 枚 (80 g/m²) の用紙をセットできます。

⑧ カセット

約 600 枚 (64 g/m²) または 550 枚 (80 g/m²) の用紙をセットできます。



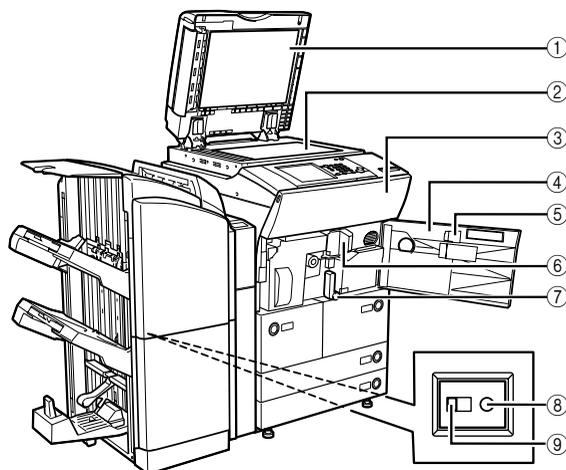
本製品に装着するオプションの詳細については、「第 3 章 オプション機器について」を参照してください。

1

本体内部

お使いになる前に

サドルフィニッシャー・AC2+パンチャーユニット・L1 装着時



① フィーダ裏面

原稿台ガラスにセットした原稿を押さえます。

② 原稿台ガラス

ブック原稿や厚手の原稿、薄手の原稿、OHP フィルムなどを読み込むときにセットします。

③ ブラックトナー交換カバー

ブラックトナーを交換するときに開けます。

④ 前カバー

カラートナーを交換したり、紙づまりの処理をするときに開けます。

⑤ カラートナー容器交換補助つまみ

カラートナーを交換するときにトナーノブを回しやすくすることができます。(→カラートナーの交換方法：P.7-33)

⑥ カラートナー挿入口カバー

カラートナー容器を交換するときに開けます。

⑦ 定着搬送ユニット

本体内部の紙づまりを処理するときに、引き出します。(→紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

⑧ テストボタン

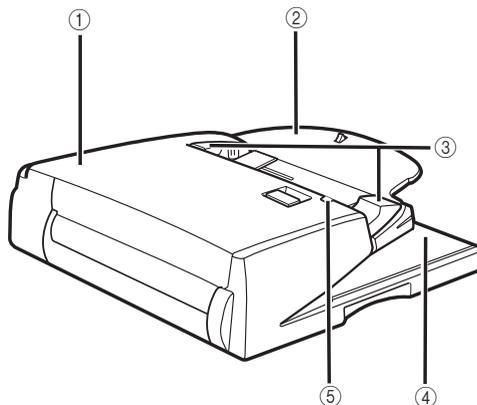
ブレーカーの定期点検をするときに押します。

⑨ ブレーカー

ブレーカーの定期点検をするときに操作します。漏電防止用ブレーカーです。(→ブレーカーの定期点検：P. xxxiv)

フィーダ

原稿給紙トレイにセットした原稿を、自動的に原稿台に送ることができます。また自動的に反転送りして、原稿の両面を読み取ることもできます。



1

お使いになる前に

⚠ 注意

原稿給紙トレイのすき間に手を入れないでください。けがをする恐れがあります。また、すき間にクリップなどの物を落とさないでください。

📌 重要

- 原稿台ガラスに本や雑誌などの厚い原稿をセットしてコピーや読み込みを行うときは、フィーダを強く押さないでください。
- 排紙口がふさがれると、原稿を破損する恐れがありますので、原稿排紙部には物などを置かないでください。

📎 メモ

フィーダにオプションのスタンプユニット・A1を装着することができます。

① フィーダカバー

紙づまりを処理するとき、このカバーを開けます。

② 原稿給紙トレイ

原稿をセットすると、1枚ずつ自動的に原稿台に送ることができます。原稿は、読み込む面を上向きにして、セットしてください。

③ スライドガイド

原稿の幅にあわせ、このガイドを調節します。

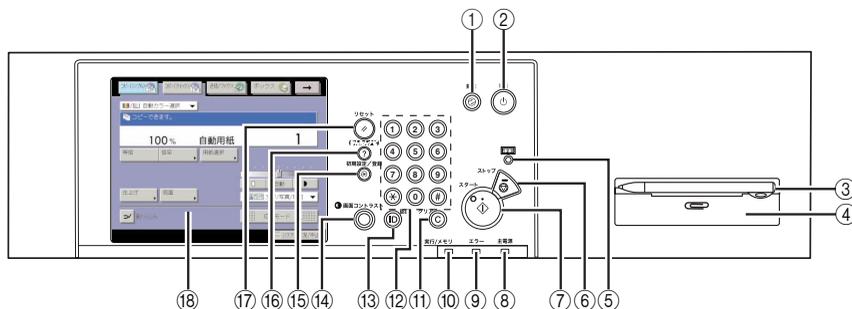
④ 原稿排紙部

原稿給紙トレイから読み込んだ原稿が排紙されます。

⑤ 原稿セット表示

原稿給紙トレイに原稿がセットされると点灯します。

操作パネル各部の名称とはたらき



1
お使いになる前に

- ① **節電キー**
節電モードを設定／解除するときに押します。
- ② **操作部電源スイッチ（サブ電源）**
操作部の電源を ON/OFF するときに押します。
OFF のとき、本製品はスリープ状態になります。
- ③ **操作ペン**
エリアを指定してコピーや読み込みをするときに、プレビュー画面の操作に使用します。
操作ペンを紛失した場合は、担当サービスにお問い合わせください。シャープペンシルやボールペンなど先のとがったもので押さないでください。
- ④ **クリップ置き**
原稿をとめてあるクリップを置きます。
- ⑤ **カウンタ確認キー**
タッチパネルディスプレイにコピーやプリントの総枚数を表示するときに押します。
- ⑥ **ストップキー**
読み込みジョブ、コピージョブ、ファクスジョブ（読み込みのみ）などの進行中の動作を止めるときに押します。
- ⑦ **スタートキー**
動作（読み込み）を開始するときに押します。
- ⑧ **主電源ランプ**
本体主電源が ON のときは点灯、OFF のときは消灯しています。
- ⑨ **エラーランプ**
本製品にトラブルが発生したときに点滅または点灯します。点滅の場合はタッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従ってトラブルの対処をしてください。エラーランプが赤色に点灯し続ける場合は担当サービスへ連絡してください。
- ⑩ **実行／メモリランプ**
本製品が動作中は緑色に点滅します。待機中のジョブやメモリ受信文書があるときは緑色に点灯します。
- ⑪ **クリアキー**
入力した数字や文字を取り消すときに押します。
- ⑫ **テンキー**
数値を入力するときに押します。
- ⑬ **ID（認証）キー**
部門別 ID 管理を設定しているときに押します。
- ⑭ **画面コントラストダイヤル**
画面の明るさを調整します。
- ⑮ **初期設定／登録キー**
仕様を設定するときに押します。
- ⑯ **かんたんナビキー**
かんたんナビ画面をタッチパネルディスプレイに表示させるときに押します。
- ⑰ **リセットキー**
設定したモードを標準モードに戻すときに押します。
- ⑱ **タッチパネルディスプレイ**
各機能の設定画面が表示されます。

主電源と操作部電源について

本製品には主電源スイッチと操作部電源スイッチの2つの電源スイッチがあります。また、過電流や漏電を検知するブレーカーが装着されています。

主電源の入れかた

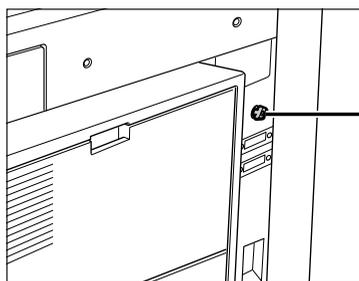
主電源の入れかたについて説明します。

1 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているかを確認します。

警告 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

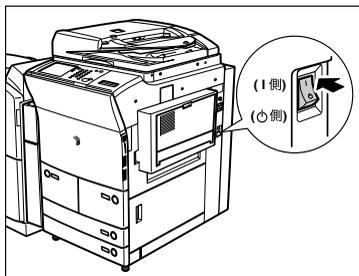
注意 アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になることがあります。

2 オプションの管理キーを装着しているときは、管理キーがONの状態（右に回した状態）になっていることを確認します。



管理キー
使用時には管理キーを差し込んで
右に回します。

3 本体右側面にある主電源スイッチを「I」側に倒して電源を入れます。



操作パネルの主電源ランプが点灯します。

- 重要** 主電源スイッチが入っているのに操作パネルの主電源ランプが点灯しない場合は、ブレーカーが OFF になっていないか必ず確認してください。(→ 電源が入らないとき (ブレーカーの確認) : P.8-83)

4 読み込みできる状態になるまでの画面が表示されます。

- SDL や SSO のログインサービスによる認証を設定せず、[機能の表示設定] で MEAP 以外を選択した場合
 - 読み込みできる状態になるまで本製品の起動画面が表示されます。



タッチパネルディスプレイにメッセージが表示された場合は、手順 5 へ進みます。

- 読み込みできる状態になると下の画面が表示されます。



約1分で、読み込みできる状態になります。

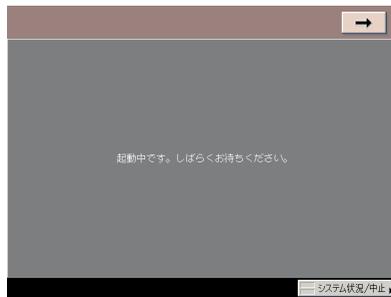
- メモ**
- 「予約コピーできます。」というメッセージが表示されている間に、ジョブの予約をすることができます。(→ コピー/ボックスガイド「第1章 コピーについて」)
 - このとき、モードは標準モードが設定されています。
 - コピー標準モードの設定内容は以下のとおりです。
 - ・コピー倍率：等倍
 - ・用紙選択：自動用紙選択
 - ・濃度調節：手動濃度調節
 - ・コピー枚数：1枚
 - ・コピー：片面原稿 → 片面コピー
 - ・カラーモード：自動カラー選択
 - コピー、ボックス、送信/ファクスの標準モードの設定内容は、お好みに応じて変更することができます。(→ コピー/ボックスガイド「第8章 使いかたにあわせた仕様の設定」、送信/ファクスガイド「第9章 送信/受信仕様の設定/登録」)
 - 初期設定/登録の設定によって、表示させる画面を選択することができます。(→ 初期画面を設定する：P.4-24)
 - 本製品の起動直後に [→] を押しても、画面が替わりません。少ししてからもう一度押してください。
 - 本製品を起動する際に、シャットダウンされたMacintoshがUSBケーブルにより接続されている場合、本製品とともにMacintoshも起動することがあります。この場合は、USBケーブルによる接続を取り外してください。(本製品とMacintoshの間にUSBハブを使用すると、この問題が解決される場合があります。)

● SDL や SSO のログインサービスによる認証を設定せず、【機能の表示設定】で MEAP を選択した場合

- 読み込みできる状態になるまで本製品の起動画面が表示されます。



- 本製品の起動画面の終了後、MEAP の起動画面が表示されます。



[→] を押すと、MEAP 以外の基本画面に移動することができます。

- MEAP の基本画面が表示されます。



● SDL や SSO のログインサービスによる認証をしている場合

- 本製品の起動画面が表示されます。



- 本製品の起動画面の終了後、[機能の表示設定]にかかわらず、MEAP の起動画面が表示されます。



📌 重要

- 主電源スイッチをいったん切って入れなおす場合は、10 秒以上待ってから行ってください。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」(→ P.1-15)を参照してください。
- オプションの Send 拡張キットを有効にした場合、または FAX ボードを装着している場合は、主電源スイッチは切らないでください。ファクス/1ファクスの送受信ができなくなります。
- ログインサービスにSDLまたはSSOを設定している場合、読み込みできる状態になるまで時間がかかります。

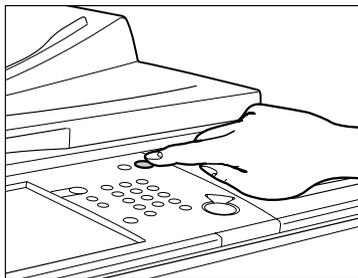
5 ログインサービスを使用する場合は、それぞれの手順に従ってログインしてください。

📌 メモ

- オプションのカードリーダー-C1を使用して部門別ID管理をしている場合は、「本体を使用する前の操作」(→ P.3-31)を参照してください。
- 部門別 ID 管理をしている場合は、「部門 ID と暗証番号を入力する」(→ P.2-27)を参照してください。
- SDLやSSOを設定している場合は、「SDLやSSOの認証画面でログインする」(→ P.2-30)を参照してください。なお、IC カードを利用したユーザログインサービス(Single Sign-On IC Card Smart Card)をご利用の場合は、「IC カード認証機能拡張キットユーザズガイド」を参照してください。

操作部電源スイッチについて

スリープ状態を解除してコピーやボックス、送信／ファクスなどの操作をするときに操作パネル上の操作部電源スイッチを押します。



- メモ**
- スリープ状態のときでもパソコンからのデータ受信プリントや1ファクス、ファクスの受信は可能です。
 - スリープ状態が解除されてから、コピー／プリントができるまでには最大で8分50秒かかります。
 - [スリープ時の消費電力] を [少ない] に設定したときは、操作部電源スイッチを押してからタッチパネルディスプレイが表示されるまで、10秒以上かかる場合があります。

主電源の切りかた

主電源の切りかたについて説明します。本製品の主電源を切る際に実行中のジョブがある場合や、MEAP アプリケーションなどが起動中の場合、ジョブを確認しながらキャンセル処理を行い、ハードディスクへのアクセスを制限します。この処理を行うことによって本製品のハードディスクを保護することができます。また、本製品内部の冷却作業を行うハードウェアの終了処理を行います。この処理を行うことによって本製品を安全に終了できます。本製品の主電源の切断は必ず以下の手順に従って行ってください。

- 注意** 以下の手順に従わずに主電源を切断した場合、次回立ち上げ時以降の出力画像が乱れる可能性があります。この際、正常な画像に戻すためには、一定量の用紙出力が必要となります。

1 操作部電源スイッチを3秒以上長押しします。

スリープ状態の場合は、操作部電源スイッチを押してスリープ状態を解除したあと、再度3秒以上の長押しをしてください。

ジョブ確認画面が表示され、シャットダウンモードに移行します。

重要

フロントダウンロード中は、シャットダウンモードに移行しないでください。

メモ

- (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [シャットダウンモード] を押しても、シャットダウンモードに移行することができません。
- 以下の場合は、シャットダウンモードに移行することができません。
 - ・機器情報の受信中
 - ・機器情報の参照中
 - ・本製品に対しリモートUIからインポートまたはエクスポート中
- 上記の動作中以外で、まれに操作部電源スイッチを3秒以上長押ししてもシャットダウンモードに移行できないことがあります。その場合は、画面の指示に従って本製品の主電源を切ってください。
- シャットダウンモード実行中にプリントデータが送信されると、プリントデータの大きさによってはiR本体がデータを受信する場合があります。その場合にはプリントデータの印刷はされません。

2 実行中または待機中のジョブを確認したあと、[実行] を押します。



ジョブは、[実行] を押すまではそのまま動作を続けます。

シャットダウンモードを終了するには、[キャンセル] を押します。

実行中のジョブがない場合は、[実行] を押したあと手順4へ進みます。

メモ

- ジョブ確認画面に表示されるジョブは、以下のとおりです。
 - ・実行中のコピージョブ、プリントジョブ、ファクスジョブ
 - ・待機中のコピージョブ、プリントジョブ
- ジョブ確認画面には、実行中のジョブを先頭に、受付順に7件までのジョブが表示されません。

3 表示されたメッセージを確認したあと、[はい] を押します。



実行中または待機中のジョブがある場合



機器情報配信中の場合など

確認画面に表示されている実行中/待機中のジョブは、すべてキャンセルされます。また、ハードウェアの終了処理とネットワーク関連の通信処理も終了準備に移行します。

実行画面が表示されます。

4 以下の画面が表示されるので、シャットダウンが終了するまで待ちます。



シャットダウン開始後、都合により本体をすぐに動作させたい場合は [再起動] → [はい] を押します。

デバイス内情報の更新中に [再起動] を押すと、確認画面が表示されます。表示されたメッセージを確認したあと、[はい] を押します。

注意

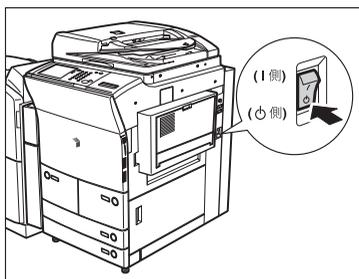
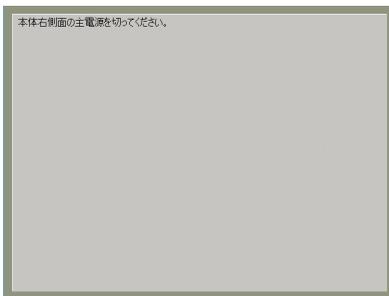
[強制 OFF] を押して強制終了（正しい終了処理を省略）させることもできます。ハードウェアの終了処理時やネットワーク通信処理中に [強制 OFF] を押すと確認画面が表示されるので [はい] を押します。ただし、最悪の場合、通信中のデータを破壊してしまう可能性もあります。また、本製品が故障する恐れがありますので、どうしても必要な場合を除き使用しないことをおすすめします。お客さまのデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

メモ

- ハードウェア終了処理のときに、本製品内部の冷却作業を行います。そのため終了までの処理に最大で約 1 時間かかる場合があります。
- 使用しているアプリケーションによっては、終了までの処理に 1 時間以上かかる場合があります。
- 次の状態で [強制 OFF] を押すと、以下の画面が表示されます。
 - ハードウェアの終了処理時
 - デバイス内情報の更新中



5 終了画面を確認したあと、主電源スイッチを「」側へ倒します。



重要

シャットダウン実行中、またはシャットダウン終了後にしばらく製品が動作し続ける場合があります。本製品の機器音が止まるまでコンセントを抜かないでください。

本製品のシステム設定について

本製品をネットワーク上で使用したり、プリンタやファクスとして使用する場合は、お使いになる前に各種設定をする必要があります。

以下の該当項目を参照してください。

■ ネットワークとの接続や設定について

「ネットワークガイド」を参照してください。

■ プリンタドライバのインストールなどについて

「ソフトウェアガイド」を参照してください。

■ 送信機能の設定について

「送信／ファクスガイド」を参照してください。

■ ファクス機能の設定について

「送信／ファクスガイド」を参照してください。

■ 日付／時刻の設定について

「日付／時刻を設定する（日付／時刻設定）」（→ P.6-21）を参照してください。

■ システム管理者情報の設定について

「システム管理者情報を設定する（システム管理者情報の設定）」（→ P.6-3）を参照してください。

ライセンス登録が必要なオプション機能をお使いになるには

ライセンス登録が必要なオプション機能を使用するために必要な手続きや操作の説明をします。以下のオプション製品は、ご利用になる前にライセンスキーの取得、登録を行う必要があります。

- LIPS V 拡張キット
- LIPS V/PS 拡張キット
- ダイレクトプリント拡張キット
- Send 拡張キット
- 暗号化 PDF 拡張キット
- サーチャブル PDF 拡張キット
- 機器署名 PDF 拡張キット
- ユーザ署名 PDF 拡張キット
- タイムスタンプ PDF 拡張キット
- 地紋拡張キット
- HDD データ上書消去キット
- ウェブブラウザ拡張キット
- 暗号化セキュアプリントキット
- IC カード認証機能拡張キット
- Access Management System 拡張キット

重要 ライセンスキーを取得、登録しても、単独ではご利用になれないオプション機能もあります。詳しくは、「システムオプション」(→ P.3-5)、「組み合わせ可能なオプション」(→ P.3-9)を参照してください。

ライセンスキーを取得する

本製品に登録するライセンスキーは、Web ブラウザからライセンス管理システムにアクセスし、取得します。以下の URL へアクセスしてください。

<http://www.canon.com/lms/license/>

■ ライセンスキー取得に必要な管理番号

画面に表示される指示に従ってライセンスキーを取得してください。ライセンスキーを取得するには、以下の管理番号が必要になります。

- ライセンスアクセス番号：
パッケージに同梱されている「ライセンスアクセス番号証書」をご確認ください。
- デバイスシリアル No.：
本製品のカウンタ確認キーを押したときに画面左下に表示される [シリアル NO] をご確認ください。



ライセンス登録をする (ライセンス登録)

オプションの機能を有効にするために、ライセンスの登録を行います。

- 1 ⑧(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [ライセンス登録] を押します。
- 2 ①～⑨(テンキー) でライセンスキーを入力したあと、[実行] を押します。

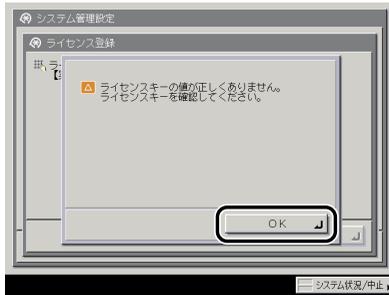


表示される項目

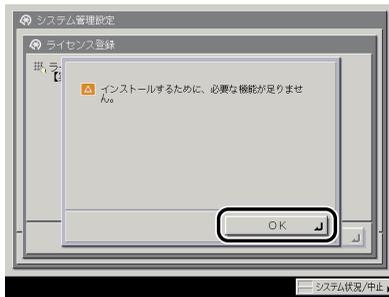
[◀] [▶] : カーソルを移動するときに押します。

[バックスペース] : 数字を押し間違えたときに押します。カーソル位置の手前の数字が消去されて、正しい数字が入力できます。

次の画面が表示されたときは、[OK] を押したあと、正しいライセンスキーを入力しなおしてください。



次の画面が表示されたときは、ライセンスキーを登録することができません。[OK] を押したあと、登録を中止してください。



3 [OK] を押します。



重要

登録した情報は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあとに使用できる状態になります。(→主電源と操作部電源について：P.1-15)

おもな機能と基本的な使いかた

2

CHAPTER

本製品のおもな機能や基本的な使いかたについて説明しています。

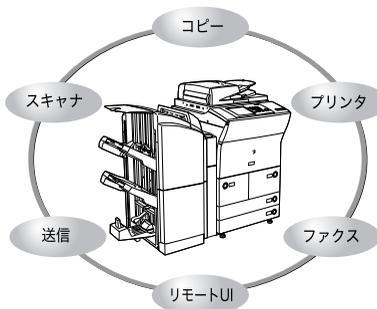
iR C6880N/iR C5880N のおもな機能	2-2
こんなことができます	2-5
タッチパネルディスプレイの表示について	2-5
新機能を追加することができます	2-7
使いかたにあわせて仕様の設定ができます	2-9
消費電力を抑えることができます	2-10
ジョブの確認や操作ができます	2-11
かんたんナビ画面を表示させることができます	2-13
ネットワーク管理者からのメッセージを知ることができます	2-15
その他ご紹介しておきたい機能	2-16
タッチパネルディスプレイの操作について	2-19
タッチパネルディスプレイでよく使うキーについて	2-19
タッチパネルディスプレイのキー表示について	2-20
タッチパネルディスプレイの明るさを調節する	2-21
タッチパネルディスプレイから文字を入力する	2-22
文字を入力する	2-22
文節の区切りを変更する	2-24
インチ入力のしかたについて	2-26
部門 ID と暗証番号を入力する	2-27
SDL や SSO の認証画面でログインする	2-30
原稿をセットする	2-34
原稿サイズについて	2-34
原稿の「タテ置き」と「ヨコ置き」について	2-35
原稿台ガラスにセットする	2-36
フィーダにセットする	2-38
手差しトレイの用紙にプリントする	2-41
複合動作について	2-51
使用できる用紙について	2-53

iR C6880N/iR C5880N のおもな機能

2

おもな機能と基本的な使いかた

カラーデジタル複合機に求められる多くの要素を実現しています。



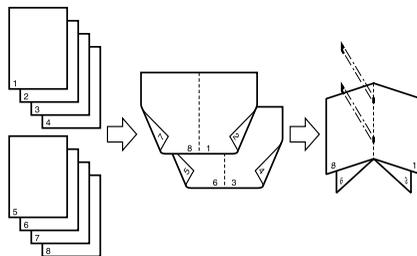
iR C6880N/iR C5880N は、さまざまなドキュメントの入出力環境を効率化する機能を搭載しています。ご使用の環境やお客様のニーズに応じて機能を追加することによって、オフィスにおけるドキュメントワークを最適化することができる、新発想のカラーデジタル複合機です。

* マークは、オプション装着時に使用できる機能です。各機能に必要なオプション製品と同時装着に必要なオプションおよび制限については「組み合わせ可能なオプション」(→ P.3-9) を参照してください。

コピーする

→ コピー/ボックスガイド

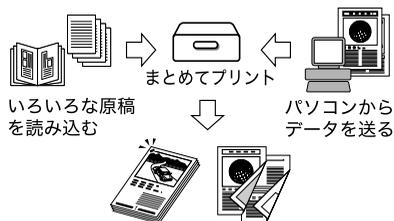
従来のコピー機能に加え、ミスコピーを防止する「試しコピー」、複数枚の原稿を小冊子になるようにコピーする「製本」、異なるサイズの原稿を一度にセットしてコピーできる「原稿サイズ混載」など、さらに便利な機能で生産性を高めます。



ボックスを活用する

→ コピー/ボックスガイド

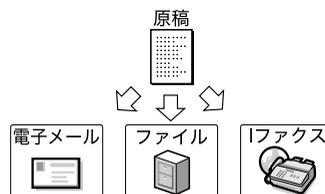
スキャナ部から取り込んだ紙文書データやパソコンで作成したデータを保存できます。保存されたデータは、必要ときにプリントしたり、別べつに保管されているデータやパソコンで作成したデータとまとめてプリントすることもできます。



送信機能を活用する*

→ 送信/ファクスガイド

スキャナ部で取り込んだ紙文書データを電子メールやIファクスで送ったり、ファイルサーバに保存できます。ファイル形式 (TIFF、JPEG、PDF) が指定できるので、受け取り側の環境に合わせて自由に設定できます。



ファクスする*

→ 送信/ファクスガイド

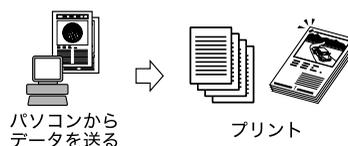
ファクス本来の機能の他、スーパー G3 にも対応しているので遠距離通信に威力を発揮し、従来のファクスに比べ、大幅な通信コストの削減も実現します。マルチポート FAX ボードを装着することによって、回線を増設することもできます。



プリントする

→ プリントガイド

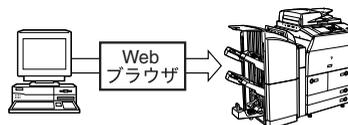
プリンタドライバとプリンタコントローラで印刷処理の負荷を分散する技術 (負荷分散プリンティングシステム) を搭載した高速プリンタへと進化します。さらに、LIPS V 拡張キットを有効にすることで、豊富な LIPS 対応ソフトウェア資産を生かしたプリント環境を実現します。LIPS V/PS 拡張キットを有効にした場合は、LIPS の他に PS プリンタとしての利用が可能となります。また、別売りのダイレクトプリント拡張キットを有効にした場合は、TIFF や PDF のダイレクトプリントが可能となります。



リモート UI を活用する

→ リモート UI ガイド

本製品の状態やジョブの操作、ボックスに保存した文書データのプリント指示の操作などを、パソコンの Web ブラウザからコントロールできます。



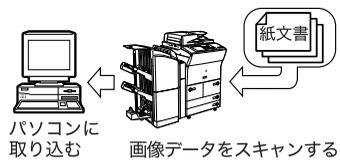
2

おもな機能と基本的な使いかた

スキャンする

→ Network ScanGear ユーザーズガイド

パソコンへの画像取り込みに対応しています。原稿台を、最大 A3 サイズ 600 dpi のカラーキャナとして利用できます。



2

おもな機能と基本的な使いかた

こんなことができます

本製品を使っでの操作は、おもにタッチパネルディスプレイから行います。タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従ってキーを押していくと本製品の機能を活用することができます。

⚠注意 タッチパネルディスプレイは指または操作ペンで軽く押してください。シャープペンシルやボールペンなど先のとがったもので押さないでください。タッチパネルディスプレイの表面に傷がついたり破損の恐れがあります。

メモ タッチパネルディスプレイに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。

タッチパネルディスプレイの表示について

タッチパネルディスプレイの上部には各機能を切り替えるキーが表示されています。各機能を使用する際には、まずこれらのボタンを押します。また、タッチパネルディスプレイの下部に表示されるメッセージやボタンでは、本製品の状態を確認することができます。

タッチパネルディスプレイの表示を切り替えることができます

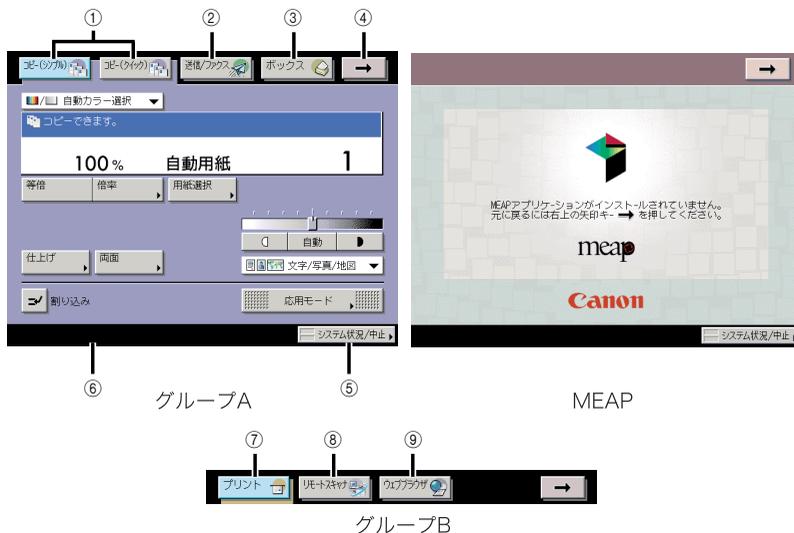
本製品の電源を入れると、以下の画面がタッチパネルディスプレイに表示されます。タッチパネルディスプレイの [コピー]、[送信 / ファクス]、[ボックス]、[プリント]、[システム状況 / 中止] などのキーで画面を切り替えることができます。(→ 初期画面を設定する : P.4-24)

タッチパネルディスプレイに表示されていない機能に切り替える場合は、[→] を押してください。

- メモ**
- 各キーの表示については、「オプション装着状態による画面の違いについて」(→P.2-7) を参照してください。
 - 電源投入時の画面は初期設定 / 登録で変更することができます。設定できるのは、コピー、送信 / ファクス、ボックス、プリント、MEAP、システム状況 / 中止の各画面です。

■ タッチパネルディスプレイに表示されるキー

以下の画面はコピー基本画面を例に表示します。



- ① **コピー**
コピー機能を使用するときを押します。(→ コピー/ボックスガイド「第1章 コピーについて」)
- ② **送信/ファクス**
送信/ファクス機能を使用するときを押します。(→ 送信/ファクスガイド「第1章 送信機能について」)
- ③ **ボックス**
ボックス機能を使用するときを押します。(→ コピー/ボックスガイド「第2章 ボックスについて」)
- ④ **→**
[→] を押すことで、表示されるキーを切り替えることができます。表示されるキーはグループA、MEAP、グループBに分けることができます。キーの並び順や切り替わるグループの順序は、初期設定/登録を変更することができます。(→ 初期画面を設定する：P.4-24)
- ⑤ **システム状況/中止**
ジョブの変更、確認、中止をするときやジョブ履歴の確認、プリントをするときを押します。(→ 第5章 いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認)
- ⑥ **ジョブ/プリント状況表示部**
コピーや他の機能のジョブの状況やデバイスの状態を表示します。また、ご利用になるログインサービスによっては、部門IDやユーザ名などを表示することができます。(→ ログインしている部門ID/ユーザ名を表示する(ID/ユーザ名表示のON/OFF)：P.6-33)
- ⑦ **プリント**
プリントジョブの確認、中止をするときやジョブ履歴の確認、プリントをするときを押します。(→ 第5章 いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認)
- ⑧ **リモートスキャナ**
リモートスキャン機能を使用するときを押します。(→ Network ScanGear ユーザーズガイド)
- ⑨ **ウェブブラウザ**
ウェブページを閲覧するときを押します。

オプション装着状態による画面の違いについて

タッチパネルディスプレイ上部の表示は、オプションの装着状態によって切り替わります。以下にオプション装着時とタッチパネルディスプレイの例を表示します。

オプション装着状態	タッチパネルディスプレイ上部の表示
オプション非装着時 (iRC6880N、iRC5880N の工場出荷時)	
Send 拡張キット有効	
FAX ボード装着時	
FAX ボード装着時 +Send 拡張キット有効	
FAX ボード + ウェブブラウザ拡張キット装着時 +Send 拡張キット有効	

新機能を追加することができます

本製品は MEAP (Multifunctional Embedded Application Platform) に対応しています。MEAP とは、本製品に Java プラットフォームを搭載し、Java アプリケーションをインストールできるシステムです。MEAP を利用することにより、以下のことが可能になります。

■ アプリケーションのインストール/アンインストール

MEAP 対応アプリケーションをインストールすることにより、新たな機能を利用できるようになります。また、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることができます。

-  **メモ** MEAP 対応アプリケーションのインストールおよびアンインストール方法については、「MEAP アプリケーション管理機能ガイド」を参照してください。

■ ログインサービスによる使用者の管理と特定

ログインサービスによって本製品を利用するユーザを管理することができます。次の 3 種類のログインサービスが利用可能です。

● Default Authentication

本製品の初期設定／登録で部門別 ID 管理を「ON」にした場合、1 つの部門に対して 7 桁の部門 ID と部門 ID ごとの暗証番号を登録することにより、番号を入力したユーザのみ本製品を使えるようにします。(→ 部門別 ID 管理を設定する (部門別 ID 管理): P.6-5)

● SDL (Simple Device Login)

本製品単体で使用できるログインサービスです。Web ブラウザを使って本製品にユーザ情報を登録することができます。(詳細は、「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照してください。)

● SSO (Single Sign-On)

Active Directory環境ネットワークのドメイン上および本製品単体で運用できるログインサービスです。次の 3 つのユーザ認証方式があります。(詳細は、「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照してください。)

- ・「ドメイン認証」
- ・「ローカルデバイス認証」
- ・「ドメイン認証+ローカルデバイス認証」

重要

SSO でドメイン認証 (「ドメイン認証+ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用する場合も含む) を使用する場合は、Active Directory をインストールした Windows サーバと Security Agent が必要です。Security Agent は、本体に付属しているソフトウェア CD-ROM に同梱されています。インストールの方法については、Readme.pdf を参照してください。

メモ

工場出荷時は、Default Authentication に設定されています。ログインサービスの選択および設定については、「MEAP アプリケーション管理機能ガイド」を参照してください。

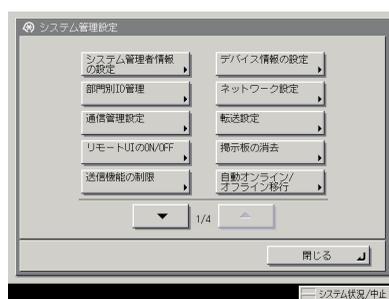
使いかたにあわせて仕様の設定ができます

Ⓞ(初期設定/登録)を押すと初期設定/登録画面が表示されます。初期設定/登録では本製品に共通の設定や各機能ごとの設定を、使用する条件や環境に合わせて変更することができます。また、本書に記載されていない設定方法については、下記の各ガイドを参照してください。

- コピー仕様設定： コピー/ボックスガイド
- 送信/受信仕様設定、宛先表仕様設定： 送信/ファクスガイド
- ボックス仕様設定： コピー/ボックスガイド
- プリンタ仕様設定： プリンタガイド
- ネットワーク設定： ネットワークガイド



初期設定/登録画面



システム管理設定画面



- 初期設定/登録で設定した内容は、Ⓞ(リセット)を押しても変更されません。
- 仕様の設定方法については、「第4章 使いかたにあわせた仕様の設定」を参照してください。
- システム管理設定については、「第6章 システム管理設定」を参照してください。
- [プリンタ仕様設定] の設定については、「プリンタガイド」を参照してください。
- [ネットワーク設定] の設定については、「ネットワークガイド」を参照してください。
- [送信/受信仕様設定]、[宛先表仕様設定] は、オプションの Send 拡張キットを有効にした場合、または FAX ボードを装着している場合のみ表示されます。
- システム管理設定画面の [通信管理設定]、[転送設定]、[送信機能の制限]、[LDAP サーバの登録] は、オプションの Send 拡張キットを有効にした場合、または FAX ボードを装着している場合のみ表示されます。

消費電力を抑えることができます

本製品が動作していないときや、ご使用になっていないときに、以下の機能で効率的に節電することができます。

重要 主電源スイッチを「OFF」にした場合でも、電源プラグを電源コンセントに差し込んだ状態では、わずかですが電力が消費されています。完全に電力消費をなくすためには、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

メモ ●以下の各機能が働くと、タッチパネルディスプレイの表示は消えた状態になります。
●以下の各機能が働いている状態でも、パソコンからデータを送ってプリントしたり、ファクスや、ファクスの受信をすることはできます。

■ 節電モードについて

長時間操作を行わない場合は \odot (節電)を押して節電モードにすることができます。節電モードは、定着器の温度を下げて消費電力を少なくします。操作を再開する場合は再度 \odot (節電)を押します。操作部電源スイッチを押しても操作を再開することができます。

メモ 節電モードは、-10%モード、-25%モード、-50%モード、復帰時間なしの中から選択できます。(→節電モードを変更する：P.4-35)

■ スリープモードについて

操作部電源スイッチを押すことで、好きなときにスリープモードにすることができます。操作を再開する場合は再度、操作部電源スイッチを押してください。

メモ ●条件によっては、完全なスリープ状態に移行しないことがあります。詳細は、「スリープ時の消費電力を設定する」(→P.4-36)を参照してください。
●スリープモードは、低電力モードよりさらに消費電力を少なくします。
●夜間など長時間製品を使用しない際には、操作部電源スイッチを切ってください。
●本製品がスリープ状態から復帰する際に、シャットダウンされたMacintoshがUSBケーブルにより接続されている場合、本製品とともにMacintoshも起動することがあります。この場合は、USBケーブルによる接続を取り外してください。(本製品とMacintoshの間にUSBハブを使用すると、この問題が解決される場合があります。)
●自動的にスリープ状態になるまでの時間は10分～4時間の範囲で設定できます。工場出荷時は「1」時間に設定されています。(→オートスリープタイムの設定をする：P.4-55)
●[スリープ時の消費電力]を[少ない]に設定したときは、操作部電源スイッチを押してからタッチパネルディスプレイが表示されるまで、10秒以上かかる場合があります。

■ 低電力モードについて

プリント終了後、またはキー操作後一定時間経過したときに、タッチパネルディスプレイの表示が消え、 \odot (節電)が緑色に点灯した状態になります。このとき本製品は低電力モードに入っています。低電力モードは、定着器の電力を減らして、消費電力を少なくするモードです。操作を再開する場合は、 \odot (節電)を押してください。

メモ ●低電力モードは、節電モードの-10%モード、-25%モード、復帰時間なしに設定した場合より消費電力を少なくします。
●低電力モードは、10分～4時間の範囲で設定できます。工場出荷時は「15」分に設定されています。(→低電力モード移行時間の設定をする：P.4-57)

■ ウィークリータイマーについて

ウィークリータイマーで設定された曜日、時刻になると自動的にスリープモードになります。操作を再開する場合は、操作部電源スイッチを押します。

-  **メモ** ウィークリータイマーは日曜日～土曜日、00:00～23:59の範囲で設定できます。(→ウィークリータイマーの設定をする：P.4-57)

■ 静音モードについて

プリント終了後、またはキー操作後一定時間経過したときに本機内部の機械音を止めて静音モードになります。

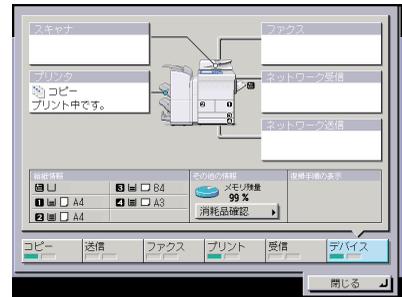
-  **メモ** 静音モードは、0～9分の範囲で1分きざみで設定できます。(→静音モード移行時間の設定をする：P.4-56)

ジョブの確認や操作ができます

システム状況画面では、システムの状況の確認やジョブの中止、優先プリントの指定などを行うことができます。



システム状況画面（プリント）



システム状況画面（デバイス）

プリント画面では、プリントジョブの状況の確認や中止、優先プリントの指定などを行うことができます。



プリント画面



- 機能と説明については、「第5章 いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認」、送信／ファクスガイド「第8章 送信／受信状況の確認と変更」を参照してください。
- 画面の左下に表示される以下のアイコンはそれぞれ次の状況を示しています。

アイコン (ジョブの種類)	説明
	コピージョブ
	送信／ファクスジョブ
	ボックスジョブ
	プリンタジョブ
	レポートジョブ
	リモートスキャン
	初期設定／登録ジョブ

アイコン (本製品の状態)	説明
	エラー
	紙づまり
	針づまり
	トナー容器交換

かんたんナビ画面を表示させることができます

②(かんたんナビ)を押すと、本製品の機能をより有効に活用するためのかんたんナビ画面が表示されます。画面に従ってやりたいことを選択していくと、機能の説明や設定方法を表示します。

■ トップ画面

②(かんたんナビ)を押すと最初に表示される画面です。



[かんたんナビの使いかた]を押すと、かんたんナビの使いかたの説明を表示します。

メモ コピー機能、送信機能またはボックス機能で、ある機能の選択後②(かんたんナビ)を押すと、その機能の詳細説明画面が表示される場合があります。

■ リスト表示画面

トップ画面で選択した機能の一覧を表示します。



■ 詳細説明画面

リスト表示画面で選択した項目の、詳細な説明を表示します。



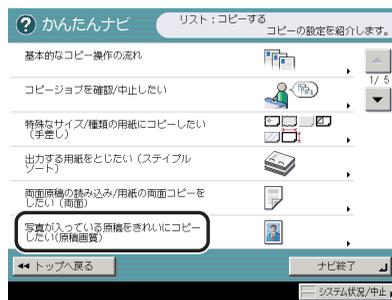
[使ってみる] を押すと、表示している機能の設定画面に移動します。

[この機能の詳細な設定を探せます。] を押すと、さらに詳しい説明や関連項目を表示します。

 **メモ** [使ってみる] は、コピー機能と送信機能の各機能において一部の詳細説明画面でのみ表示されます。

例：
写真をコピーする場合の手順

1 [コピーする] → [写真が入っている原稿をきれいにコピーしたい(原稿画質)] を押します。



2 機能の詳細を確認します。

すぐに機能を使用するときは、[使ってみる] → [はい] を押します。

2

おもな機能と基本的な使いかた

ネットワーク管理者からのメッセージを知ることができます

「掲示板」とは、ネットワーク管理者が、リモートUIから本製品の使用者に知らせておきたい内容などをメッセージにして、タッチパネルディスプレイに表示する機能です。(→ リモートUIガイド「第3章 使いかたにあわせた設定」)

- **メモ** 掲示板は、ネットワークに接続している場合のみ使用することができます。
- 掲示板の消去方法については、「掲示板を消去する (掲示板の消去)」(→ P.6-19) を参照してください。

掲示板の種類について

掲示板には以下の3つの種類があります。

■【閉じる】のないもの



■【閉じる】のあるもの

【閉じる】を押して掲示板を閉じれば通常の操作を行うことができます。本製品の主電源スイッチを入れなおしたときや、オートクリア機能が働くと再び同じ掲示板が表示されます。



- **メモ** オートクリアする時間を「0」分に設定すると、オートクリアしません。(→ オートクリアタイムの設定をする：P.4-56)

■ タッチパネルディスプレイの一番下の行に表示されるもの



その他のご紹介しておきたい機能

先に説明した機能の他に、知っておいていただきたい機能について、以下に説明します。

■ オートカセットチェンジ機能について

選択中の給紙箇所用の用紙がなくなったとき、他に同じサイズ用の用紙がセットされている給紙箇所があれば、その給紙箇所から自動的に給紙を始めます。

- ☞ **メモ** それぞれの給紙箇所をオートカセットチェンジの対象にするかどうかを、機能ごとに設定することができます。工場出荷時は、手差しが「OFF」に、他はすべて「ON」に設定されています。(→カセットオート選択のON/OFFを設定する：P.4-30)

■ オートクリア機能について

プリント終了後、またはキー操作後、約2分間何の操作も行わなかった場合は、設定した機能が自動的に「標準モード」になります。

- ☞ **メモ** オートクリアする時間は0～9分の範囲で1分間隔で設定できます。工場出荷時は「2」分に設定されています。(→オートクリアタイムの設定をする：P.4-56)

■ プリント待ち時間表示機能について

共通仕様設定（初期設定／登録）でプリント待ち時間表示を「ON」に設定すると、プリント終了までの待ち時間を表示させることができます。

- ☞ **メモ** 待ち時間が1分以下の場合、待ち時間表示を「ON」にしても表示されません。(→プリント待ち時間表示を設定する：P.4-51)

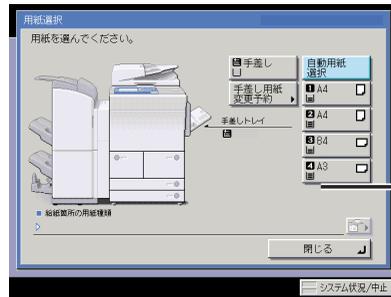
■ 部数/待ち時間の状況表示機能について

共通仕様設定（初期設定／登録）で部数/待ち時間の状況表示を「ON」に設定すると、ジョブ/プリント状況表示部に、出力部数と実行中のジョブが終了するまでの予測時間を表示させることができます。

- ☞ **メモ** 終了予測時間が1分以下の場合、予測時間は表示されません。(→プリントジョブ終了予測時間を表示する：P.4-52)

■ 用紙残量表示について

用紙選択時や連続プリント中に用紙がなくなったときに、それぞれの給紙箇所用の紙残量を表示します。(→ コピー/ボックスガイド「第3章 基本的なコピー/ボックスの使いかた」)



用紙選択のときの画面



用紙切れのときの画面

表示には、次の4種類があります。

表示	用紙残量
	カセット容量の 100 % ～約 50 %
	カセット容量の約 50 % ～約 10 %
	カセット容量の約 10 % 以下
	用紙なし

■ オートタテヨコ回転機能について

原稿サイズと倍率などから計算された画像を自動的に回転させ、セットしてある用紙にプリントします。

回転させても画像が用紙に合わない場合は、画像を回転させずに、画像の一部が欠けたままでプリントします。

オートタテヨコ回転機能を「ON」に設定していても、原稿サイズ混載、表紙／合紙、ダブルステイブル、OHP 中差し、ユーザ設定サイズ設定、エリア外消去、XY 独立ズーム、移動、イメージリピートなどのモードが設定されている場合は、回転が実行されません。
(→ コピー／ボックスガイド「第 8 章 使いかたにあわせた仕様の設定」)

タッチパネルディスプレイの操作について

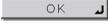
タッチパネルディスプレイでよく使うキーや表示方法、タッチパネルディスプレイの明るさの調節方法について記載しています。

注意 タッチパネルディスプレイは指または操作ペンで軽く押してください。シャープペンシルやボールペンなど先のとがったもので押さないでください。タッチパネルディスプレイの表面に傷がついたり破損の恐れがあります。

メモ タッチパネルディスプレイに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。

タッチパネルディスプレイでよく使うキーについて

タッチパネルディスプレイでよく使う以下のキーについて説明します。

	ある機能（モード）を設定中、またはすでに設定された機能を解除するときに押します。
	モードの設定中に設定内容はそのままの状態、現在の画面を閉じるときに押します。
	ある機能（モード）の設定を確定して、次の設定手順へ進むときに押します。
	機能（モード）の設定中、現状の設定内容はそのままの状態、前の設定手順に戻りたいときに押します。
	いま開いている画面を閉じるときに押します。
	ある機能（モード）の設定を確定するときに押します。

タッチパネルディスプレイのキー表示について

タッチパネルディスプレイのキーを押すと、キーに色がつき、対応する機能（モード）が設定されます。モードを設定すると、キーに表示されている文字がグレーアウトされることがあります。グレーアウトされたキーは押せないで、あらかじめ設定したモードと組み合わせでこれらのモード設定することはできません。

■ 機能（モード）設定キー

キーの状態	モードの設定状態
	ページ連写が設定されていない状態です。選択できます。
 (キーに色がついている状態)	ページ連写が設定されている状態です。選択できます。
 (文字がグレーになっている状態です。取扱説明書の中では、グレーアウトと記載してあります。)	先に設定した機能（モード）と同時に設定できない機能のため、ページ連写が設定できません。

■ キーを押すと設定の ON/OFF が切り替わるキー

設定 OFF	設定 ON
	 (チェックマークがつく)
	 (色がつく)

右下に▶がついているキーを押すと、設定項目画面が表示され、ついていないキーを押すと設定の ON/OFF が切り替わります。

設定画面が表示されるキー	設定の ON/OFF を切り替えるキー

設定登録画面で右下の▲に色がついているキーは設定が登録されています。

登録されているキー	登録されていないキー

■ キーを押すとドロップダウンリストが表示されるキー

右側に▼がついているキーを押すと、選択するリストが表示されます。

選択前	ドロップダウンリスト	選択後
		

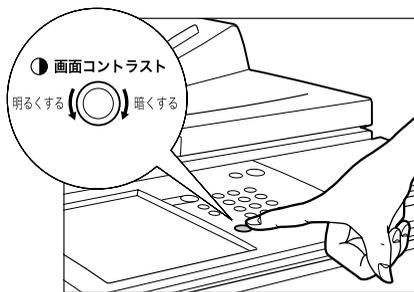
■ テンキーアイコンについて

タッチパネルディスプレイにアイコンが表示されたときは、操作パネルのテンキーを使用して入力できます。

 テンキーでも入力できます。	タッチパネルディスプレイから入力できますが、同様に操作パネルのテンキーからも入力できます。
 テンキーで入力してください。	操作パネルのテンキーで入力します。

タッチパネルディスプレイの明るさを調節する

タッチパネルディスプレイの表示が見づらいときは、操作パネルの画面コントラストダイヤルを使用し、明るさを調節してください。



-  **メモ** 明るくする場合は、ダイヤルを反時計回りに回します。暗くする場合は、ダイヤルを時計回りに回します。

タッチパネルディスプレイから文字を入力する

名称の入力を促す画面が表示されたら、次のように文字を入力してください。

文字の入力はタッチパネルディスプレイに表示されるキーや操作パネルの①～④(テンキー)を使います。

-  **メモ**
- 「かな漢」、「カタカナ」、「記号(全角)」、「コード入力」で入力する場合は、共通仕様設定(初期設定/登録)の表示言語の切替を「OFF」にしてください。(→表示言語の切り替えをする:P.4-49)
 - SDLやSSOの認証画面やMEAPアプリケーションの機能から文字を入力するときは、操作画面が異なる場合があります。
 - タッチパネルディスプレイを表示させるまでの手順は、各機能の操作説明を参照してください。

文字を入力する

- 1 入力モードドロップダウンリストを押して入力モードを選択したあと、文字を入力します。



入力モードと入力手順は以下のとおりです。

入力モード	入力例	入力手順
カタカナ	キヤノン	ローマ字で「kiyanonn」と入力します。 <ul style="list-style-type: none"> かな漢モードで入力する場合は、[かな / カナ] → [確定] を押します。
英字	canon	「canon」と入力します。
記号	%	「%」を押します。
ひらがな	きやのん	ローマ字で「kiyanonn」と入力します。 [確定] を押します。 <ul style="list-style-type: none"> キーボード画面上の  を押しても確定することができます。
かな漢	中島	ローマ字で「nakajima」と入力します。 [スペース / 変換 (次候補)] を押します。 目的の漢字に変換された場合は、[確定] を押します。 <ul style="list-style-type: none"> キーボード画面上の  を押しても確定することができます。 <p>目的の漢字に変換されない場合は、再度 [スペース / 変換 (次候補)] を押したあと、目的の漢字の番号を押します。</p>
コード入力	鯨	「1619」を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 区点コードは「JIS 漢字コード表」(→ P.9-27) の縦列と横列の数字の和になります。 「鯨」の区点コード：1616+3 → 1619 コード表にない番号を入力すると、「変換できません。」というメッセージが約 2 秒間表示されます。

文字の入力方法はローマ字入力です。

半角のカタカナ、記号を入力する場合は、[半角] を押します。

アルファベットの大文字を入力する場合は、[シフト] を押します。

スペースを入れる場合は、[スペース] を押します。

カーソルは [◀] [▶] を押すと移動させることができます。

他の入力モードで続けて入力する場合は、[OK] を押す前に入力モードドロップダウンリストを押して、入力モードを切り替えて入力します。



- 入力を間違えた場合は、[◀] [▶] を押してカーソルを移動したあと、[バックスペース] を使って間違えた文字を削除して入力しなおします。
-  を押すと、入力した文字をすべて取り消すことができます。
- 登録できる名称の文字モード (かな漢、カタカナ、英字、記号、コード入力) や文字数は設定する内容によって異なります。「カタカナ (半角)」で入力した濁点 (゛)、半濁点 (゜) は半角 1 文字分に数えます。

2 すべての文字を入力したあと、[OK] を押します。

文節の区切りを変更する

例：「三田会館」を入力します。

1 入力モードドロップダウンリストを押したあと、[かな漢] を押します。

2 ローマ字で「mitakaikann」と入力します。

文字の入力方法はローマ字入力です。(→ ローマ字入力表：P.9-26)

3 [スペース / 変換 (次候補)] を押します。

入力した文字の一部の漢字候補が表示されます。

4 [◀] [▶] を押して、変換する文節の長さを変更します。



[◀] を押すと文節を短く、[▶] を押すと文節を長くすることができます。

● 目的の漢字に変換された場合

□ [確定] を押します。

キーボード画面上の  を押しても確定することができます。

● 目的の漢字に変換されない場合

- 再度 [スペース / 変換 (次候補)] を押したあと、目的の漢字の番号を押します。



候補の漢字が一度に表示できない場合は、[▼] [▲] を押して候補の表示を切り替えて目的の漢字を表示してください。

◎～◎ (テンキー) で目的の漢字の番号を押して選択することもできます。

- 5 手順 3～4 を繰り返し、すべての文字を漢字に変換します。
- 6 すべての文字を入力したあと、[OK] を押します。

インチ入力のしかたについて

数値入力が必要なモードを設定する場合にインチ単位で入力するときには、共通仕様設定（初期設定／登録）で、インチ入力の ON/OFF を「ON」に設定しておきます。（→インチ入力をするかどうか設定する：P.4-29）数値入力が必要な画面中の「インチ入力へ」を押すと、インチ単位で入力することができるようになります。

例：ズームプログラムモードで原稿サイズ 1_1/2" を入力する。

2

おもな機能と基本的な使いかた

1 画面のテンキーを [1] → [] → [1] → [/] → [2] の順に押します。



-  **メモ**
- 間違えて入力した場合は、[C] を押して正しい数値を入力します。
 - 分母として入力できる数値は、2、4、8、16 のみです。
 - 本製品は、インチ入力された数値を mm に換算して計算を行います。そのため、指定した数値とコピー結果に若干のずれが生じることがあります。
 - mm 単位で入力する場合は、[mm 入力へ] を押します。

部門 ID と暗証番号を入力する

部門別 ID 管理をしている場合は、本製品を使用する前に部門 ID と暗証番号を入力する必要があります。

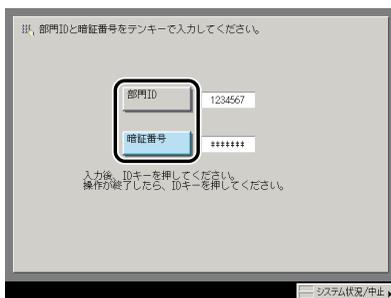
-  **メモ**
- 部門 ID と暗証番号の登録については、「部門別 ID 管理を設定する（部門別 ID 管理）」（→ P.6-5）を参照してください。
 - オプションのコントロールカードを使用している場合は、「コントロールカードをセットしてください。」というメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。コントロールカードをカードリーダーに差し込んでください。（→ カードリーダー - C1 : P.3-30）
 - ファンクション制限を設定している場合は、本製品を使用している中でも、部門 ID を入力する画面、またはコントロールカードをセットする画面が表示されることがあります。そのときは、メッセージの指示に従ってください。
 - ログインサービスに SDL や SSO を設定している場合は、「SDL や SSO の認証画面でログインする」（→ P.2-30）を参照してください。

2

おもな機能と基本的な使いかた

1 部門 ID と暗証番号を①～⑨（テンキー）で入力します。

- [部門 ID] を押したあと、部門 ID を入力します。
- [暗証番号] を押したあと、暗証番号を入力します。

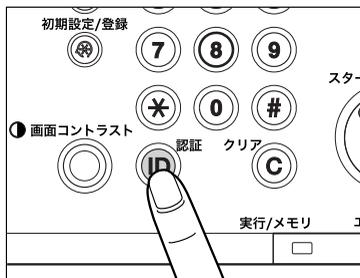


暗証番号が設定されていない場合は、暗証番号を入力せずに手順 2 へ進んでください。

入力した暗証番号は「*****」マークで表示されます。

-  **メモ**
- 部門 ID、暗証番号を間違えた場合は、◎（クリア）を押して正しい番号を入力します。

2 ⑩(認証) を押します。



タッチパネルディスプレイに選択した機能の基本画面が表示されます。

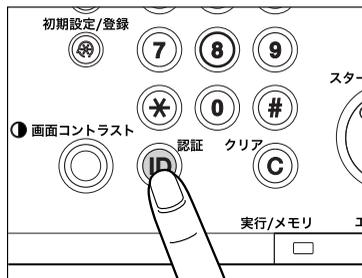


メモ

部門 ID か暗証番号が間違っている場合は、「この番号は登録されていません。再入力してください。」と表示されます。手順 1 からやりなおしてください。

3 本製品の使用終了後、操作パネル上の⑩(認証)を押します。

オプションのコントロールカードを使用している場合は、コントロールカードを抜き取ります。(→カードリーダー - C1 : P.3-30)



部門 ID と暗証番号を入力する画面に戻ります。

メモ

- 再度本製品を使用する場合は、再び部門 ID と暗証番号を入力します。
- ⑩(認証) を押さないと、以後の操作も現在の部門 ID に枚数がカウントされます。
- 操作終了後、⑩(認証) を押し忘れても一定時間がたつと自動的に暗証番号を入力する画面が表示されます。(→オートクリアタイムの設定をする : P.4-56)
- ⑩(認証) を押すと、すべての設定が解除され、本製品は標準モードに戻ります。

SDL や SSO の認証画面でログインする

SDL (Simple Device Login) や SSO (Single Sign-On) のログインサービスを使って本製品を管理している場合は、本製品を使用する前にユーザ名とパスワードを入力します。

2

おもな機能と基本的な使いかた

メモ

- ここでは SDL (Simple Device Login) と SSO (Single Sign-On) を例に操作の説明を行います。他のログインサービスを使用しているときは、手順が異なる場合があります。
- ログインサービスの選択および設定については、「MEAP アプリケーション管理機能ガイド」を参照してください。
- SDL および SSO のローカルデバイス認証のユーザ登録は「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照してください。
- SSO のドメイン認証（「ドメイン認証 + ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用する場合も含む）のユーザ名称についてはネットワーク管理者にお尋ねください。

1 ユーザ名の入力部分を押しします。

ログインサービスに SDL を設定している場合は、以下のような画面が表示されます。

ログインサービスに SSO を設定している場合は、以下のような画面が表示されます。

重要

- SSO でドメイン認証（「ドメイン認証＋ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用する場合も含む）を使用する場合は、Active Directory をインストールした Windows サーバと Security Agent が必要です。
- SSO のドメイン認証（「ドメイン認証＋ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用する場合も含む）でログインする場合は、Active Directory が載っているパソコンと本製品の時刻をあわせておく必要があります。パソコンの時計と本製品の時刻の設定が 30 分以上ずれていると、SSO でのログイン時にエラーが発生します。本製品の日付と時刻の設定に関しては「日付／時刻を設定する(日付／時刻設定)」(→ P.6-21)を参照してください。

メモ

- ログインしたユーザの履歴を示すドロップダウンリストから選択するよう設定することもできます。（詳細は、「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照してください。）
- SDL を使用する場合はユーザ名、パスワードは半角英数字で設定してください。
- SSO でドメイン認証（「ドメイン認証＋ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用する場合も含む）を使用する場合はユーザ名は、半角英数字および、(ピリオド)、- (ハイフン)、_ (アンダーバー)、% (パーセント) で設定してください。使用できない文字を設定すると、ログインできません。
- SSO でローカルデバイス認証（「ドメイン認証＋ローカルデバイス認証」でローカルデバイス認証を使用する場合も含む）を使用する場合はユーザ名、パスワードは、半角英数字で設定してください。

2 ユーザ名を入力したあと、[OK] を押します。**3 パスワードの入力部分を押しします。**

SDL の画面

4 パスワードを入力したあと、[OK] を押します。



-  **メモ**
- SSO でドメイン認証（「ドメイン認証+ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用する場合も含む）を使用する場合は、ログイン先をドロップダウンリストから選択します。
 - ログイン先の選択方法については、「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照ください。

5 [ログイン] を押します。

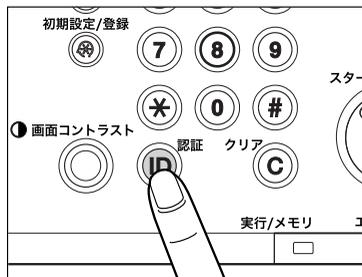
 (認証) を押してログインすることもできます。

タッチパネルディスプレイに選択した機能の基本画面が表示されます。



ユーザ名かパスワードが間違っているときは、確認を促すメッセージが表示されます。手順 1 からやりなおしてください。

6 本製品の使用終了後、操作パネル上の⑩(認証)を押します。



ユーザ名とパスワードを入力する画面に戻ります。

メモ

- 再度本製品を使用する場合は、再びユーザ名とパスワードを入力します。
- ⑩(認証)を押さないと、以後の操作も現在のユーザに枚数がカウントされます。
- 操作終了後、⑩(認証)を押し忘れても一定時間がたつと自動的にパスワードを入力する画面が表示されます。(→ オートクリアタイムの設定をする：P.4-56)
- ⑩(認証)を押すと、すべての設定が解除され、本製品は標準モードに戻ります。

原稿をセットする

原稿は、サイズや種類、使用する機能のモードに応じて、次の場所にセットしてください。

 **メモ** 原稿がたくさんあって一度にセットできない場合は、応用モードの連続読込モードを設定します。(→コピー/ボックスガイド「第4章 便利なコピー/ボックスの使いかた」、送信/ファクスガイド「第4章 便利な読み取り機能」)

■ 原稿台ガラス

ブック原稿や厚手の原稿、薄手の原稿、OHP フィルムなどを読み込む場合はここにセットします。

■ フィーダ (自動原稿送り装置)

シート状の原稿をまとめて読み込む場合、原稿をフィーダにセットして⊙(スタート)を押すと自動的に読み込みを開始します。また、両面原稿を自動的に反転送りして両面読み込みすることもできます。

原稿サイズについて

本製品は原稿サイズを自動的に検知して読み込みます。ファクスの場合、受信側にセットされた記録紙のサイズが読み込んだ原稿サイズと異なるときは、受信側の記録紙サイズに合わせて縮小されるか、分割されて送信されることがあります。

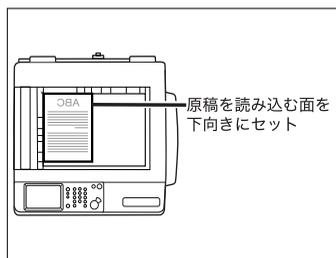
また、ユーザ設定サイズの原稿や本などの厚みのある原稿の場合、原稿サイズを正しく検知できないことがあります。

この場合は、読み込む原稿のサイズをあらかじめ指定してください。(→送信/ファクスガイド「第3章 基本的な読み取り機能」)

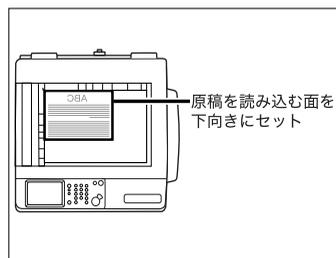
原稿の「タテ置き」と「ヨコ置き」について

原稿の置きかたには、「タテ置き」と「ヨコ置き」の2とおりがあります。いずれの場合も原稿の天部（上側）が奥側になるようにセットしてください。

原稿台ガラスの場合

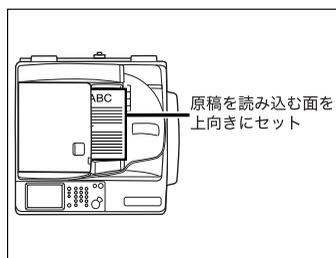


タテ置き

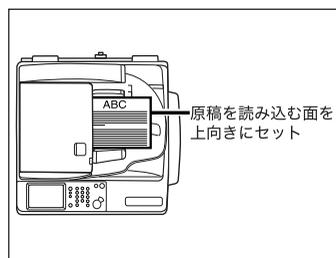


ヨコ置き

フィーダの場合



タテ置き



ヨコ置き

メモ

- 原稿の天部を奥側にしてセットしないと、モードによっては正しく読み込みできません。
- A4、B5、A5 サイズの原稿は、ヨコ置き・タテ置きの両方も可能ですが、ヨコ置きはタテ置きに比べ、読み込みスピードがやや遅くなります。ヨコ置きは A4 → A3 などの定形変倍を設定してコピーするときなどにお使いください。
- A4、B5、A5 サイズのヨコ置きを、A4R、B5R、A5R と呼びます。
- A3、B4 サイズの原稿は、ヨコ置きのみ可能です。
- B5 サイズの原稿をタテ置きでファクスを送信するときは、B4 短尺で送信されます。ヨコ置きのときは、A4 で送信されます。

原稿台ガラスにセットする

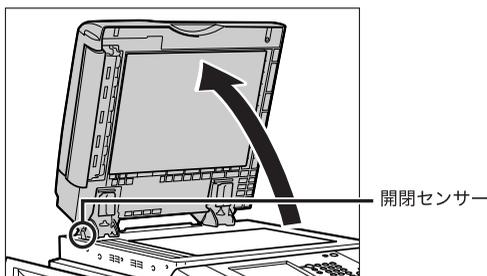
ブック原稿や厚手の原稿、薄手の原稿、OHP フィルムなどを読み込む場合はここにセットします。また、用紙いっぱい画像がある A3 サイズの原稿を、画像が欠けないように読み込む場合も原稿台ガラスにセットします。(→コピー/ボックスガイド「第1章 コピーについて」、「第3章 基本的なコピー/ボックスの使いかた」、送信/ファクスガイド「第3章 基本的な読み取り機能」)

 **メモ** A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、B6 サイズをセットすると、原稿サイズの検知をします。

2

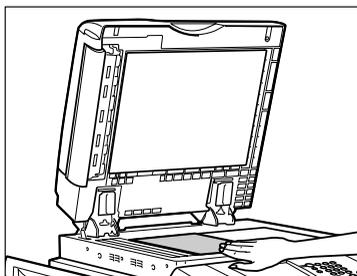
おもな機能と基本的な使いかた

1 フィーダを開きます。

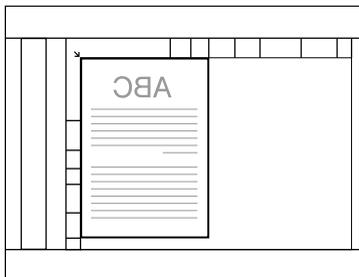


 **重要** 本製品にはフィーダの開閉センサーが装着されています。原稿台ガラスに原稿をセットする場合は、フィーダをセンサーから離れる位置まで(約 30 cm)開いてください。センサーが一度離れないと、原稿サイズを正しく検知できないことがあります。

2 読み込む面を下向きにして、原稿をセットします。



原稿は読み込む面を下向きにして、原稿台ガラス面の左奥（矢印マーク）に原稿の角を合わせてセットします。



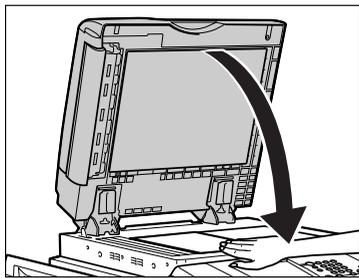
ブック原稿も同様にセットします。



メモ

A4、B5、A5 サイズの原稿を A3、B4 サイズ用紙に拡大コピーするときは、原稿を A4R、B5R または A5R の指標に合わせ、ヨコ置きにセットします。

3 フィーダを静かに閉じます。



注意

- フィーダは手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- 厚いブック原稿などをフィーダで強く押さないでください。原稿台ガラスが破損して、負傷する恐れがあります。
- フィーダを閉じるときには、ランプが光りまぶしいことがあるのでご注意ください。

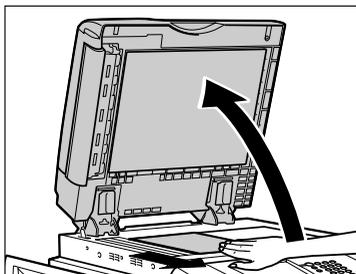


重要

- 厚いブック原稿などを原稿台ガラスにセットして [自動カラー選択] で読み込む場合は、原稿と原稿台ガラスの間にすき間をあげないようにしっかりとセットしてください。白黒原稿をカラー原稿と誤認することがあります。
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合の原稿サイズの検知は、フィーダを閉じてから実行されます。フィーダは必ず閉じてください。



●読み込みが終了した原稿は、原稿台ガラスから取り除いてください。



- A5R、A6R、はがきサイズをセットした場合は原稿サイズを検知することができません。
 ◎（スタート）を押したあとに表示される画面のメッセージに従って原稿サイズを指定してください。または、マニュアル用紙選択をしてください。



2

おもな機能と基本的な使いかた

フィーダにセットする

シート状の原稿をまとめて読み込む場合、原稿をフィーダにセットして◎（スタート）を押すと自動的に読み込みを開始します。また、両面原稿を自動的に反転送りして両面読み込みすることもできます。

原稿給紙トレイには、次のような原稿をセットすることができます。

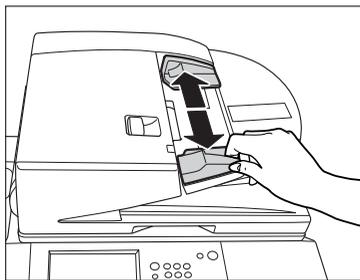
- 原稿の厚さ：
 - ・片面読み込み： 42 g/m² ～ 128 g/m²
 - ・両面読み込み： 50 g/m² ～ 128 g/m²
 （ただし、カラー原稿は片面読み込み、両面読み込みともに 64 g/m² ～ 128 g/m²）
- 原稿のサイズ： A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、B6
- 原稿給紙トレイに一度にセットできる枚数：100枚（80 g/m²）まで

重要

- 薄い原稿は、高温高湿の使用環境ではしわになることがあります。
- 次のような原稿の使用は避けてください。
 - ・ 破れや大きなとじ穴などがあいた原稿
 - ・ 大きくカールしたり、ひどく折れた部分のある原稿
 - ・ クリップやステイプル針などでとめてある原稿
 - ・ カーボン紙など、すべりの悪い原稿
 - ・ OHP フィルムなどの透明度の高い原稿
- 同じ原稿を繰り返して読み込む場合の使用頻度は、30 回程度（紙質により回数は異なります。）を目安にしてください。使用頻度が多くなると、原稿が折れたり、しわになったりして、原稿が送りにくくなる場合があります。
- 鉛筆で書かれた原稿を読み込んで原稿給紙ローラが汚れた場合は、フィーダのクリーニングを行ってください。（→ フィーダで読み取った原稿が汚れるときは（フィーダのクリーニング）：P.7-44）
- 折られている原稿をセットする場合は、原稿の折り部分を修正してからフィーダにセットしてください。

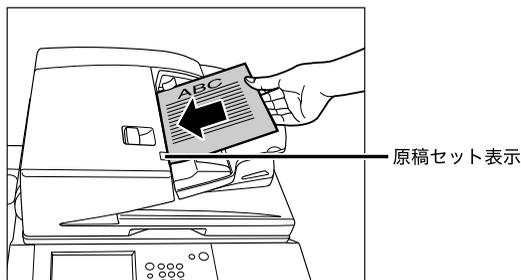
2

1 スライドガイドを原稿のサイズに合わせます。



2 原稿をそろえ、読み込む面を上向きにして原稿給紙トレイの上にセットします。

原稿は、原稿セット表示が点灯するまでつき当ててセットしてください。



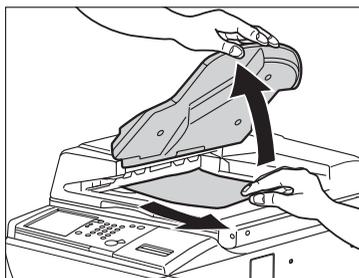
原稿をセットしたときに、原稿読み取り部が汚れている場合は、以下のような画面が表示されます。原稿読み取り部を清掃してください。[閉じる]を押して原稿の読み込みを行うこともできます。原稿読み取り部の清掃については、「フィーダを清掃する」(→ P.7-39)を参照してください。



原稿読み取り部の清掃を行っても、プリントした用紙にスジ状の汚れが出る場合は、[地色除去]を設定してください。(→ コピー/ボックスガイド「第4章 便利なコピー/ボックスの使いかた」、送信/ファクスガイド「第4章 便利な読み取り機能」)

重要

- 読み込み中にセットした原稿を抜き取ったり追加したりしないでください。
- 読み込みが終了した原稿は、順次原稿排紙部から取り除いてください。紙づまりの原因になります。



メモ

- A4、B5、A5 サイズの原稿を A3、B4 サイズの用紙に拡大コピーするときなどは、原稿をヨコ置きにセットします。
- 読み込みが終了した原稿は、セットした順番どおりに原稿排紙部に排紙されます。
- フィーダを使用して読み込むとき「原稿サイズ混載」を設定すると、異なるサイズの原稿を一度にセットできます。(→ コピー/ボックスガイド「第4章 便利なコピー/ボックスの使いかた」、送信/ファクスガイド「第4章 便利な読み取り機能」)

手差しトレイの用紙にプリントする

郵便はがきなどにプリントするときは、手差しトレイにセットします。

- 重要**
- 手差しする用紙については次の点に注意してください。
 - ・用紙枚数：1枚～約100枚（80 g/m²、高さ約10 mm）
 - ・用紙サイズ：100 × 148 mm～330 × 483 mm
 - ・用紙の厚さ：64～250 g/m²
 - ・カールした用紙は、必ずカールをなおしてから使用してください。（カール量：厚紙以外の用紙10 mm以下、厚紙5 mm以下）紙質によっては紙送りされない場合があります。
 - 異なるサイズの用紙を同時にセットしないでください。
 - はがきは郵便はがきをご使用ください。ただし、インクジェット用の郵便はがきは使用できません。
 - 第2原図用紙は1枚ずつセットし、排紙されるごとにトレイから取り除いてください。一度に複数枚セットすると、紙づまりの原因となります。
 - 厚紙の種類によっては、手差しトレイに複数枚セットした場合に紙づまりが起きることがあります。その場合は1枚ずつセットしてください。
 - 用紙の両面にプリントする場合は、両面モードを指定してプリントしてください。用紙の吸湿状態によって、プリントした用紙がしわになることがあります。
 - すでにプリントされた用紙のウラ面にプリントする場合は、用紙を手差しトレイにセットし、用紙種類の選択画面で「両面2面目」を設定してください。
 - 用紙の種類は必ず正しく設定してください。特に厚紙など、特別な種類の用紙にプリントする場合は正しく設定されていないと画像不良が起こる可能性があり、定着器が汚れたり紙の巻きつきが発生したりして、担当サービスによる修理が必要になる場合もあります。
 - コピー機能使用時にユーザ設定サイズを選択した場合は、ポスター、仕上げ、片面▶両面、両面▶両面、ページ連写両面、ページ連写、表紙/合紙、製本、OHP 中差し、縮小レイアウト、インデックス紙作成、ジョブ結合、ボックス保存の各機能と組み合わせた設定はできません。（→コピー/ボックスガイド「第1章 コピーについて」）
 - コピー機能使用時に郵便はがきを選択した場合は、ポスター、仕上げ、片面▶両面、両面▶両面、ページ連写両面、ページ連写、表紙/合紙、縮小レイアウト、製本、OHP 中差し、インデックス紙作成、イメージ合成、ジョブ結合の各機能と組み合わせた設定はできません。（→コピー/ボックスガイド「第1章 コピーについて」）
 - ボックス文書プリント時にユーザ設定サイズを選択した場合は、仕上げ、両面プリント、製本、表紙/合紙、表紙/仕切紙、インデックス紙作成の各機能と組み合わせた設定はできません。（→コピー/ボックスガイド「第2章 ボックスについて」）
 - ボックス文書プリント時に郵便はがきを選択した場合は、仕上げ、両面プリント、表紙/合紙、表紙/仕切紙、製本、インデックス紙作成、イメージ合成の各機能と組み合わせた設定はできません。（→コピー/ボックスガイド「第2章 ボックスについて」）
- メモ**
- 次のような原稿を読み込む場合は、原稿のサイズを指定してください。
 - ・OHP フィルムなどの透明度の高い原稿
 - ・地色が極端に濃い原稿
 - 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。

■ 定形サイズ

A/B サイズまたはインチサイズの定形サイズ用の紙がセットできます。

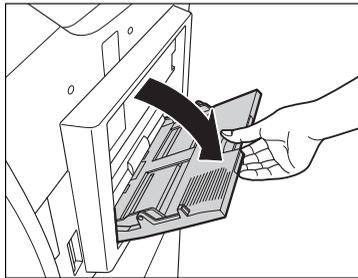
■ ユーザ設定サイズ

ユーザ設定サイズ (100 × 148 mm ~ 330 × 483 mm) の用紙がセットできます。ただし、A5、STMT サイズの用紙は必ずヨコ置きにセットしてください。

■ 郵便はがき

はがき (100 × 148 mm)、往復はがき (148 × 200 mm)、4 面はがき (296 × 200 mm) がセットできます。

1 手差しトレイを開きます。



メモ

セットする用紙と異なる用紙が手差し用紙の標準モードで登録されている場合は、共通仕様設定 (初期設定/登録) の手差し用紙の標準モード登録を「OFF」にしてください。
(→ 手差し用紙の標準モードを登録する：P.4-44)

● 指定する用紙がすでに手差しトレイにセットされている場合

[用紙選択] → [手差し] を押して指定したあと、手順 6 へ進みます。

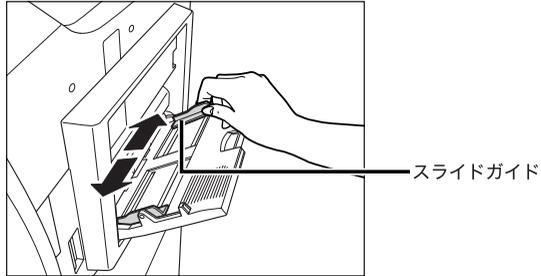
● 指定する用紙と異なる用紙が手差しトレイにセットされている場合

予約されているジョブがあるかどうかを確認してください。(→ ジョブ状況やデバイス状況を確認する：P.5-4)

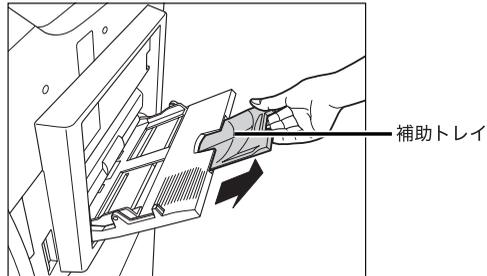
予約されているジョブがあるときは手差し用紙変更予約を行ってください。(→ コピー/ボックスガイド「第 1 章 コピーについて」)

予約されているジョブがないときは、セットされている用紙を取り除いたあと、手順 2 以降を続けます。

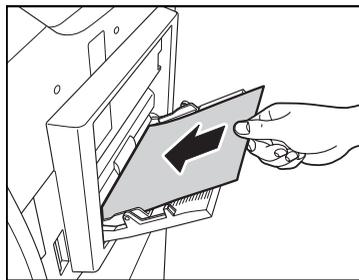
2 セットする用紙サイズに合わせて、スライドガイドを調節します。



用紙が大きいときは補助トレイを引き出します。

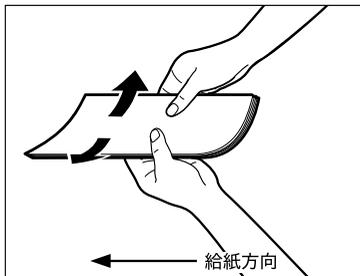


3 用紙を手差しトレイにセットします。

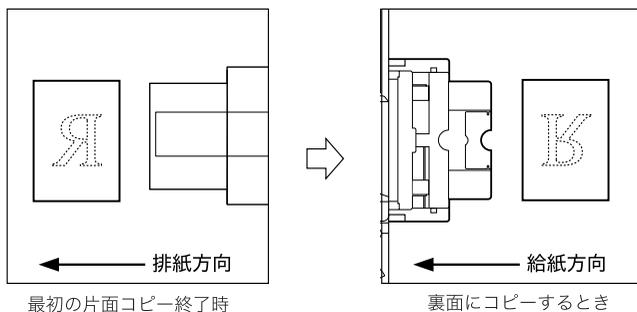


積載制限表示 (≡) を越えないようにセットしてください。

手差しコピーをするときは、用紙がカールしていると、紙づまりを起こしやすくなります。そのため、図のようにカールをなおしてから手差しトレイにセットしてください。



一度コピーした用紙の裏面に手差しコピーするときは、カールをなおしたあと、コピーする面を上向きにして、また、最初のコピーで前に排紙された辺が給紙方向になるように、用紙をセットしてください。



最初の片面コピー終了時

裏面にコピーするとき

重要

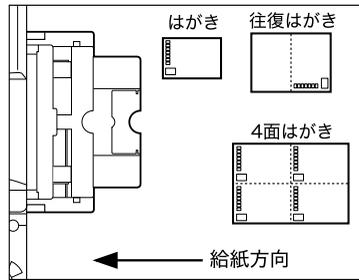
手差しトレイに用紙をセットする場合は、用紙のかどをきちんとそろえてセットしてください。正しくセットしないと、紙づまりを起こしやすくなります。

メモ

- 用紙の梱包紙に給紙面についての指示が書かれている場合は、その指示に従って用紙をセットしてください。
- 手差しトレイに用紙をセットする場合は、プリントする面を上にしてセットしてください。
- プリントするときに不具合が生じた場合は、用紙を裏返してセットしなおしてください。
- あらかじめロゴなどが印刷されている用紙のプリント方向については、「原稿向きと用紙向きの関係について」(→P.9-22)を参照してください。

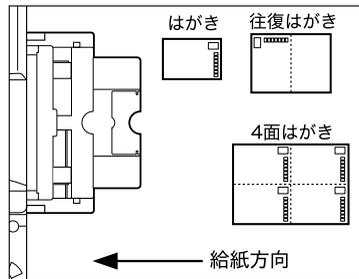
● 郵便はがきをセットする場合

- 下の図のようにセットします。



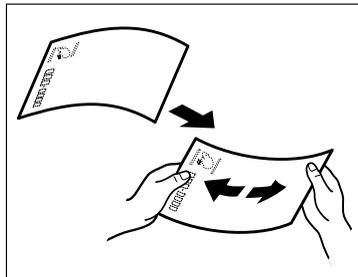
宛先面にプリントする場合

- コピー仕様設定（初期設定／登録）の画像向き優先が「ON」の場合は、下の図のようにセットします。



宛先面にプリントする場合

郵便はがきの両面にプリントする場合は、一面目にプリントしたあと、再び手差しトレイにセットし、二面にプリントしてください。一面目にプリントしたあと、カールがってしまった場合はカールをなおしてからプリントしてください。



重要

- 郵便はがきは下向きにカールしていると、紙づまりを起こしやすくなります。
- 正しくセットしてもはがきの給紙がうまくいかないときは、担当サービスにご連絡ください。
- はがきは郵便はがきをご使用ください。ただし、インクジェット用の郵便はがきは使用できません。
- 4面はがきを手差しトレイにセットする場合は、必ずタテ送り（A4Rの方向）にしてください。

4 用紙サイズを選択します。**● A/B サイズの用紙を選択する場合**

- 「A/B サイズ」から用紙を選択したあと、[次へ]を押します。

**メモ**

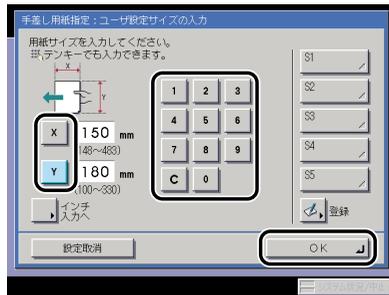
インチサイズを選択する場合は、[インチサイズへ]を押します。

● 定形サイズ以外の用紙を選択する場合

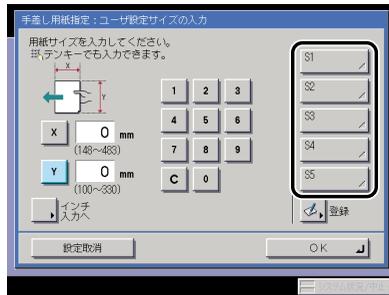
- [ユーザ設定サイズ]を押します。



- 画面上のテンキーを使用して、mm 単位で用紙サイズを入力します。
- [X] を押したあと、数値を入力します。
- [Y] を押したあと、数値を入力します。
- [OK] を押します。



数値を入力するかわりに、用紙サイズが登録されているサイズキー（[S1]～[S5]）を選択することもできます。



用紙サイズの選択画面に戻ります。



- インチ単位で入力するときは、[インチ入力へ] を押します。共通仕様設定（初期設定／登録）でインチ入力の ON/OFF を「ON」に設定しておきます。（→ インチ入力をするかどうか設定する：P.4-29）
 - インチ単位で入力する方法は、「インチ入力のしかたについて」（→P.2-26）を参照してください。
 - 間違えて入力したときは、[C] を押して正しい数値を入力します。
 - サイズキー（[S1]～[S5]）を選択する場合は、あらかじめ用紙サイズをキーに登録しておく必要があります。用紙サイズの登録のしかたについては、「ユーザ設定サイズを登録／編集する」（→P.4-46）を参照してください。
- [次へ] を押します。

● 郵便はがきを選択する場合

- [はがき] を押します。



- 郵便はがきの種類を選択したあと、[OK] を押します。



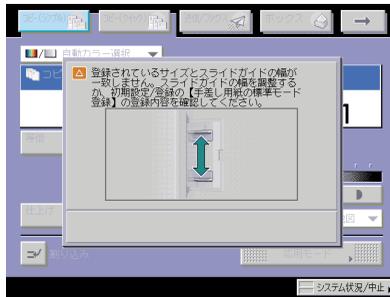
すでにプリントされた郵便はがきのウラ面にプリントする場合は、[両面 2 面目] を押します。

- [OK] を押したあと、手順 6 に進みます。

下の画面が表示されたときは、スライドガイドの幅を調節してサイズを設定したあと、[OK] を押してください。



下の画面が表示されたときは、スライドガイドの幅を手差し用紙の標準モードとして登録した用紙サイズに合わせるか、共通仕様設定（初期設定／登録）で手差し用紙の標準モード登録を「OFF」にしてください。（→手差し用紙の標準モードを登録する：P.4-44）



重要 用紙サイズは、手差しトレイにセットした用紙と同じサイズを選択してください。

5 用紙の種類を選択したあと、[OK] を押します。



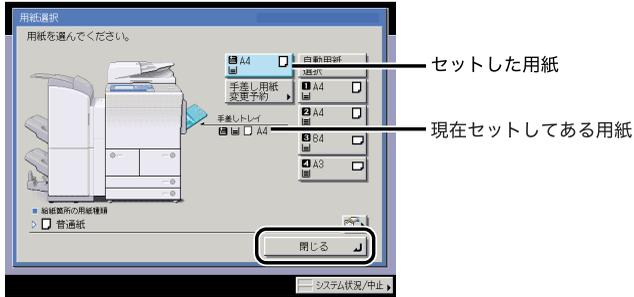
リストにない用紙の種類を使用したい場合は、[詳細設定] を押して、用紙の種類を選択したあと、[OK] を押します。



すでにプリントされた用紙のウラ面にプリントする場合は、[両面2面目] を押します。

- メモ**
- A4 の用紙を設定したときのみ、OHP フィルムを選択することができます。
 - 用紙種類の詳細については、「使用できる用紙について」（→ P.2-53）を参照してください。
 - [用紙種類の選択] の詳細設定のリストにない用紙の種類を登録することができます。用紙種類の登録については、「ユーザ定義の用紙種類を登録／編集する（用紙種類の管理設定）」（→ P.6-59）を参照してください。

6 [閉じる] を押します。



[手差し用紙変更予約] を押すと、手順 4 の画面が再度表示され、セットする用紙を設定しなおすことができます。

メモ を押すと、選択されている用紙の詳細情報が表示されます。

7 コピー機能選択時は原稿をセットして、読み込むモードを設定します。

ボックス文書プリント時はこの操作は必要ありません。

8 (スタート) を押します。

ボックス文書プリント時は、[プリント開始] を押します。

読み込みが開始されます。

メモ 他の読み込みモードと一緒に一括して設定を解除するには、 (リセット) を押します。(標準モードの設定になります。)

複合動作について

本製品はプリンタ、送信など、複数の機能を備えている複合機です。それぞれの機能を同時に行うこと（複合動作）ができるようになっています。詳細は以下の表のとおりです。

○：実行可能 ×：実行不可 △：条件付き

		受信			送信		読み込み		プリント			コピー読み込み&プリント
		ネットワーク受信	ファクス受信	プリントデータ蓄積	ネットワーク送信	ファクス送信	コピー/ボックス読み込み	送信読み込み	コピープリント	受信文書プリント	プリントデータプリント	
受信	ネットワーク受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ファクス受信	○	△ +5	○	○	△ +5	○	○	○	○	○	○
	プリントデータ蓄積	○	○	○ +3	○	○ +3	○	○ +3	○	○ +3	○ +3	○
送信	ネットワーク送信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ファクス送信	○	△ +5	○ +3	○	△ +5	○ +1	○ +1 +3	○	○ +1 +3	○ +1 +3	○ +1
読み込み	コピー/ボックス読み込み	○	○	○	○	○ +1	×	×	○	○ +1	○ +1	×
	送信読み込み	○	○	○ +3	○	○ +1 +3	×	×	○	○ +1 +3	○ +1 +3	×

プリント	コピープリント	○	○	○	○	○	○	○	×	△ *2	△ *2	×
	受信文書プリント	○ *4	○	○ *3	○ *4	○ *1 *3	○ *1	○ *1 *3	△ *2	△ *2 *3	△ *2 *3	△ *2
	プリントデータ プリント	○	○	○ *3	○	○ *1 *3	○ *1	○ *1 *3	△ *2	△ *2 *3	×	△ *2
コピー読み込み&プリント		○	○	○	○	○ *1	×	×	×	△ *2	△ *2	×

*1：画像処理（圧縮、拡大/縮小、回転など）が必要な場合、動作性能が低下することがあります。

*2：オプションのフィニッシャの装着状態によって、競合したジョブの出力順が変わります。

フィニッシャ装着時： 1部ごと交互に出力

フィニッシャ非装着時： 1枚ごと交互に出力

*3：動作性能が低下することがあります。

*4：PDF（高圧縮）、PDF（OCR）、PDF（アウトライン）のファイル送信または1ファクス送信時に、受信プリントと画像処理の競合が発生します。

搭載されているメモリの容量によっては、すべての競合動作で動作性能が低下することがあります。

*5：装着しているファクスボードにより異なります。

スーパー G3FAX ボード：×

マルチポート FAX ボード：○（3ジョブ目以降は、ジョブ予約のみ可能です。）

メモ

- 複合動作が実行可能の場合でも、動作性能が低下することがあります。
- ネットワークの送信/受信は複数のジョブが同時に行われている場合、動作性能が低下することがあります。
- ボックスからプリントするときは「プリントデータプリント」と同じ動作になります。

使用できる用紙について

本製品には次のような用紙をセットしてプリントすることができます。セットした用紙の種類を本製品で登録すると、どの給紙箇所にもどの種類の用紙をセットしたかひとめでわかるように、アイコン表示させることができます。(→ 給紙箇所の用紙種類を登録する：P.4-32)

○：使用可能 ×：使用不可

用紙の種類		給紙可能な位置 (用紙セット位置)			
		ペーパーデッキ (64 ~ 209 g/ m ²)	カセット (64 ~ 209 g/ m ²)	手差しトレイ (64 ~ 250 g/ m ²)	サイドペーパー デッキ (64 ~ 209 g/m ²)
普通紙 ^{*1}		○	○	○	○
再生紙 ^{*2*3}		○	○	○	○
色紙 ^{*1}		○	○	○	○
パンチ済み紙 ^{*1}		○	○	○	○
厚紙 1 ^{*4}		○	○	○	○
厚紙 2 ^{*5}		○	○	○	○
厚紙 3 ^{*6}		×	×	○	×
第 2 原図 ^{*7}		×	×	○	×
OHP フィルム ^{*8}		×	○	○	×
ラベル用紙		×	×	○	×
はがき ^{*9}		×	×	○	×
往復はがき ^{*9}		×	×	○	×
4 面はがき ^{*9}		×	×	○	×
インデックス紙 1 ^{*10}		×	○	×	×
インデックス紙 2 ^{*11}		×	○	×	×

- *1：普通紙、色紙、パンチ済み紙は 64～105 g/m² の用紙です。
- *2：再生紙は 64～80 g/m² の用紙です。
- *3：再生紙は古紙配合率 100% の再生紙が使用できます。
- *4：厚紙 1 は 106～163 g/m² の用紙です。
- *5：厚紙 2 は 164～209 g/m² の用紙です。
- *6：厚紙 3 は 210～250 g/m² の用紙です。
- *7：第 2 原図用紙の種類によっては使用できないものもあります。
- *8：OHP フィルムは本製品専用の A4 の用紙です。
- *9：インクジェット用を除く郵便はがきが使用できます。
- *10：インデックス紙 1 は 64～163 g/m² の用紙です。
- *11：インデックス紙 2 は 164～209 g/m² の用紙です。

○：使用可能 ×：使用不可

用紙サイズ	タテ×ヨコ	給紙可能な位置（用紙セット位置）			
		ペーパー デッキ	カセット	手差し トレイ	サイド ペーパー デッキ
—	305 × 457 mm	×	○	○	×
SRA3	320 × 450 mm	×	○	○	×
—	330 × 482 mm	×	○	○	×
A3	297 × 420 mm	×	○	○	×
A4	297 × 210 mm	○	○	○	○
A4R	210 × 297 mm	×	○	○	×
A5R	148 × 210 mm	×	○	○	×
B4	257 × 364 mm	×	○	○	×
B5	257 × 182 mm	○	○	○	○
B5R	182 × 257 mm	×	○	○	×
はがき	100 × 148 mm	×	×	○	×
往復はがき	148 × 200 mm	×	×	○	×
4面はがき	200 × 296 mm	×	×	○	×
ユーザ設定 サイズ	(100 × 148 mm ~ 330 × 483 mm)	×	×	○	×

 **メモ**

- 用紙をセットする方法については、次を参照してください。
 - ・ペーパーデッキ/カセット → ペーパーデッキ/カセットに用紙を補給する：P.7-2
 - ・サイドペーパーデッキ → サイドペーパーデッキに用紙を補給する：P.7-15
 - ・手差しトレイ → 手差しトレイの用紙にプリントする：P.2-41
- サイドペーパーデッキはオプションです。

2

おもな機能と基本的な使いかた

オプション機器について

オプション機器の各部の名称やはたらきについて説明しています。

システムの構成	3-2
オプション機器	3-2
オプション装着例	3-4
システムオプション	3-5
組み合わせ可能なオプション	3-9
ユーティリティソフトウェア	3-11
サイドペーパーデッキ・U1	3-13
各部の名称とはたらき	3-13
フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 / パンチャーユニット・L1	3-14
各部の名称とはたらき	3-14
フィニッシャーの機能	3-16
シフトトレイ・C1	3-22
各部の名称とはたらき	3-22
コピートレイ・K1	3-24
各部の名称とはたらき	3-24
ハンドセット・G2	3-26
電話をかける	3-26
電話をうける	3-28
カードリーダー - C1	3-30
本体を使用する前の操作	3-31
本体の使用終了後の操作	3-31
カードリーダー - C1 使用時の部門別 ID 管理について	3-32

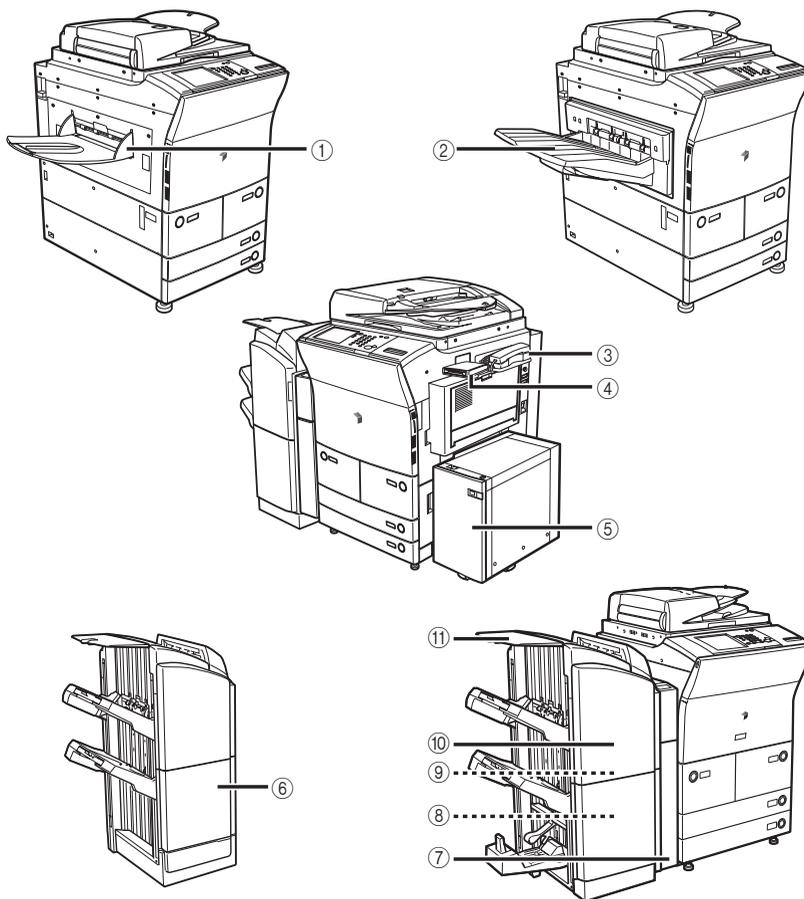
システムの構成

ここでは、本製品に装着できるオプション機器とオプションを装着した例を記載しています。

オプション機器

3

オプション機器について

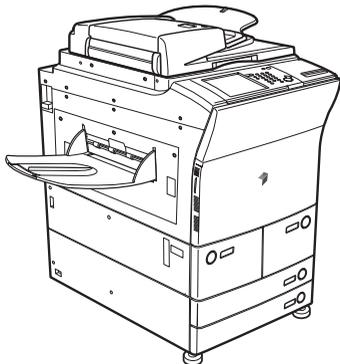


- ① **コピートレイ・K1**
コピートレイは次の機能を備えています：ソート、グループ、回転
- ② **シフトトレイ・C1**
シフトトレイは次の機能を備えています：ソート、グループ、シフト
- ③ **ハンドセット・G2**
ファクスを手動で送信することができます。また、電話の受話器としても使用することができます。
- ④ **カードリーダー - C1**
カードリーダー - C1 を装着すると、コントロールカードを使用して部門別 ID 管理を行うことができます。
- ⑤ **サイドペーパーデッキ・U1**
サイドペーパーデッキ・U1 を装着すると、給紙箇所を 1 つ追加することができます。
サイドペーパーデッキ・U1 には、約 4000 枚 (64 g/m²) または 3500 枚 (80 g/m²) の用紙がセットできます。
- ⑥ **フィニッシャー・AC1**
フィニッシャー・AC1 は次の機能を備えています：ソート、グループ、シフト、ステイプルソート (コーナー/ダブル)
- ⑦ **パンチャーユニット・L1**
プリントされた用紙にパンチ穴を開けます。
- ⑧ **ステイプル・D3**
オプションのサドルフィニッシャー・AC2 に装着する中とし用の針カートリッジです。
- ⑨ **ステイプル・J1**
オプションのフィニッシャーに装着するコーナーステイプル、ダブルステイプル用の針カートリッジです。
- ⑩ **サドルフィニッシャー・AC2**
サドルフィニッシャー・AC2 は次の機能を備えています：ソート、グループ、シフト、ステイプルソート (コーナー/ダブル/中とし)
- ⑪ **ノンソートトレイ**
ここに出力紙が排紙されます。排紙トレイの設定により出力種類の設定を行うことができます。(→ 機能ごとの排紙トレイを設定する：P.4-38)

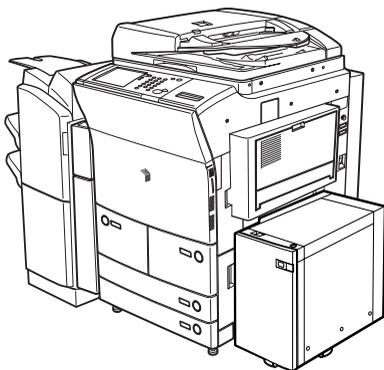
オプション装着例

本製品には以下のようなオプション機器を装着することができます。ここで記載しているのは一部の例です。組み合わせ可能なオプション機器については、お求めになった販売店にお問い合わせください。

コピートレイ・K1 装着時



サドルフィニッシャー・AC2 +パンチャーユニット・L1+ サイドペーパーデッキ・U1 装着時



3

オプション機器について

システムオプション

システム関連のオプション製品を装着することで、本製品の性能を高めることができます。ここでは、本製品に装着できるシステム関連のオプション製品とその機能について説明します。

■ LIPS V 拡張キット

LIPS プリンタとして使用するための拡張オプションです。

-  **メモ** LIPS プリント機能を使用できるようにするには、LIPS V 拡張キットを有効にする必要があります。

■ LIPS V/PS 拡張キット

LIPS/PS プリンタとして使用するための拡張オプションです。

-  **メモ** LIPS/PS プリント機能を使用できるようにするには、本製品に搭載されているメモリを 1536 MB にした状態で、LIPS V/PS 拡張キットを有効にする必要があります。

■ ダイレクトプリント拡張キット

リモート UI から PDF や TIFF/JPEG 画像のダイレクトプリントを行うための拡張オプションです。

-  **メモ** ダイレクトプリント機能を使用できるようにするには、本製品に搭載されたメモリを 1536 MB にした状態で、ダイレクトプリント拡張キットを有効にする必要があります。

■ iR512MB 拡張 RAM

本製品に標準で搭載されているメモリ (1024 MB) を増やすための拡張オプションです。いくつかのオプションを使用する際には、iR512MB 拡張 RAM を搭載し、本製品のメモリを 1536 MB にする必要があります。

■ スーパー G3FAX ボード

スーパー G3FAX ボードを装着すると、アプリケーションで作成された文書を直接パソコンからネットワークを経由してファクス送信することができます。

-  **メモ**
- スーパー G3FAX ボードにはファクスドライバが同梱されています。これにより、本製品を経由してパソコンからファクス送信できます。
 - マルチポート FAX ボードと同時に装着することはできません。

■ マルチポート FAX ボード

上記のスーパー G3FAX ボードの機能に加え、2 回線を使用してファクスの送受信ができるようになります。

-  **メモ** スーパー G3FAX ボードと同時に装着することはできません。

■ Send 拡張キット

送信機能を使用するための拡張オプションです。読み込んだ文書を電子メールや1ファクス文書として送信したり、ファイルサーバやボックスに保存することができます。高圧縮 PDF やアウトライン化した PDF を送信することもできます。

 **メモ** 送信機能を使用できるようにするには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。

■ 暗号化 PDF 拡張キット

本製品から生成する PDF ファイルの性能を高めるための拡張オプションです。電子メールやファイルサーバを宛先として PDF を送信する場合、安全に送信するために PDF を暗号化して、パスワードを設定することができます。

 **メモ** 暗号化 PDF 機能を使用できるようにするには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。

■ サーチャブル PDF 拡張キット

本製品から生成する PDF ファイルの性能を高めるための拡張オプションです。電子メールやファイルサーバを宛先として PDF を送信する場合、読み込んだ文書に OCR（光学式文字読取装置）処理をかけて、テキスト検索を行える PDF ファイル（サーチャブル PDF）を生成することができます。

 **メモ** サーチャブル PDF 機能を使用できるようにするには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。

■ 機器署名 PDF 拡張キット

本製品から生成する PDF ファイルの性能を高めるための拡張オプションです。電子メールやファイルサーバを宛先として PDF を送信する場合、どのデバイスで読み込みされた文書かを受信者に対して証明することができます。

 **メモ** 機器署名 PDF 機能を使用できるようにするには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。

■ ユーザ署名 PDF 拡張キット

本製品から生成する PDF ファイルの性能を高めるための拡張オプションです。電子メールやファイルサーバを宛先として PDF を送信する場合、どのユーザによって署名された文書かを受信者に対して証明することができます。

 **メモ** ユーザ署名 PDF 機能を使用できるようにするには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。また、認証局との契約が別途必要です。

■ タイムスタンプ PDF 拡張キット

本製品から生成する PDF ファイルの性能を高めるための拡張オプションです。電子メールやファイルサーバを宛先として PDF を送信する場合、PDF データがスタンプされた時刻に存在していたことを受信者に対して証明することができます。

 **メモ** タイムスタンプ PDF 機能を使用できるようにするには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。また、認証局との契約が別途必要です。

■ 地紋拡張キット

コピーすると浮き出す文字列を隠し文字列として、出力紙の背景に埋め込んでコピー／プリントするためのオプションです。「コピー禁止」などの文言や、日時、部署などを隠し文字列として埋め込むことで、出力紙がコピーされたときにこれらの文字列が浮かび上がるようになります。

-  **メモ** 地紋拡張キットを使用できるようにするには、本製品に搭載されたメモリを 1536 MB にする必要があります。

■ HDD データ暗号化キット

本製品のハードディスク内に保存されるすべてのデータを暗号化することによって、大切なデータの漏洩を防ぐための拡張オプションです。暗号化することで本製品から抜き出されたハードディスク内のデータを不正に読み取られることを防ぎます。

■ HDD データ上書消去キット

本製品のハードディスク内に保存されたデータを完全消去することができるセキュリティオプションです。

-  **メモ** データを完全消去する機能を使用できるようにするには、HDD データ上書消去キットを有効にする必要があります。

■ ウェブブラウザ拡張キット

ウェブページを本製品のタッチパネルディスプレイで閲覧するために用いる拡張オプションです。

-  **メモ** ウェブページ、PDF ファイルのプリントをするには、ダイレクトプリント拡張キットが必要です。

■ IC カード認証機能拡張キット

IC カードでのユーザ認証や暗号化セキュアプリントを行う場合に必要な拡張オプションです。

-  **メモ**
- IC カード ユーザー用 5 枚セット、IC カード 管理者用が必要です。
 - カードリーダー-C1 と同時に使用することはできません。

■ IC カード認証クライアントソフトウェア

IC カードでのユーザ認証や暗号化セキュアプリントを行う場合にパソコン側に必要な拡張オプションです。

■ 暗号化セキュアプリントキット

セキュアプリントするデータをパソコンで暗号化し、本製品で復号することによって、セキュリティを強化するための拡張オプションです。暗号化セキュアプリントキットを使用すると、プリント内容を他のユーザに見られることを防ぎ、大切なデータの漏洩を防ぐことができます。

-  **メモ**
- LIPS V 拡張キットと同時に使用することができます。
 - IC カードでのセキュアプリントを行う場合には、暗号化セキュアプリントキット、IC カード認証機能拡張キット、IC カード認証クライアントソフトウェアが必要です。

■ Access Management System 拡張キット

コピー、プリント、ボックス、送信など各機能の使用を、ユーザごとに制限するための拡張オプションです。送信機能の使用を制限することによって情報漏洩のリスクを軽減したり、複数ページ文書の片面印刷を制限することによってコスト削減を実現したりすることができます。

■ Workflow Composer

本製品の原稿読み込み、プリント、送信などの複数の機能を組み合わせて登録することができるオプションです。原稿を読み込んで送信したり、ボックスに保存された文書を文書結合して製本プリントしたりなど、複数の機能を一度の操作で実行することができます。

また、認証機能を使用してユーザ毎に設定を登録し、実行することができます。

組み合わせ可能なオプション

各機能に必要なオプション製品と、同時装着に必要なオプションおよび制限を以下に示します。

機能	必要なオプション	同時装着に必要なオプションおよび制限	
		必要なオプション	制限
送信機能	Send 拡張キット	—	送信機能を使用するには、Send 拡張キットを有効にする必要があります。
	暗号化 PDF 拡張キット	Send 拡張キット	暗号化 PDF 機能を使用するには、Send 拡張キットを有効にした状態で、暗号化 PDF キットを有効にする必要があります。
	サーチャブル PDF 拡張キット	Send 拡張キット	サーチャブル PDF 機能を使用するには Send 拡張キットを有効にした状態でサーチャブル PDF 拡張キットを有効にする必要があります。
ファクス機能	スーパー G3FAX ボード、マルチポート FAX ボード	—	複数の FAX ボードを同時に装着することはできません。
	ハンドセット・G2	スーパー G3FAX ボード、マルチポート FAX ボード	お客さまがお使いの電話機とハンドセット・G2 を同時に装着することはできますが、同時に使用することはできません。
追加排紙トレイ	コピートレイ・K1 シフトトレイ・C1	—	フィニッシャー・AC1 またはサドルフィニッシャー・AC2 を同時に装着することはできません。
地紋印字	地紋拡張キット	iR512MB拡張RAM	地紋印字を使用するには、地紋拡張キットを有効にする必要があります。
LIPS プリント機能	LIPS V 拡張キット	iR512MB拡張RAM	LIPS プリント機能を使用するには、LIPS V 拡張キットを有効にする必要があります。
LIPS/PS プリント機能	LIPS V/PS 拡張キット	iR512MB拡張RAM	LIPS/PS プリント機能を使用するには、LIPS V/PS 拡張キットを有効にする必要があります。

PDF/TIFF/JPEG ダイレクトプリント機能	ダイレクトプリント拡張キット	iR512MB拡張RAM	PDF/TIFF/JPEG ダイレクトプリント機能を使用するには、ダイレクトプリント拡張キットを有効にする必要があります。
ソートグループ シフト ステイプル	フィニッシャー・AC1 または、サドルフィニッシャー・AC2	—	シフトトレイ・C1 またはコピートレイ・K1 とフィニッシャー・AC1 またはサドルフィニッシャー・AC2 を同時に装着することはできません。
パンチ	パンチャーユニット・L1	フィニッシャー・AC1 またはサドルフィニッシャー・AC2	—
部門別 ID 管理 ^{*2}	カードリーダー -C1	—	IC カード認証機能拡張キットと同時に使用することはできません。
大型給紙カセット	サイドペーパーデッキ・U1	—	—
セキュリティ管理 (データ暗号化)	HDDデータ暗号化キット	—	—
セキュリティ管理 (データの完全消去)	HDDデータ上書消去キット	—	—
ウェブ ページの 表示	閲覧	ウェブブラウザ拡張キット	—
	ウェブページ/ PDF ファイルの プリント	iR512MB拡張RAM とダイレクトプリント 拡張キット	—
セキュア 文書のセ キュリ ティ強化 (暗号化)	暗証番号を 入力する場合	暗号化セキュアプリント キット	—
	ICカードを 使う場合	IC カード認証機能 拡張キット	カードリーダー -C1 と同時に 使用することはできません。

*1 : 部門別 ID 管理機能は本製品に標準で搭載されています。オプションのカードリーダー -C1 が装着されていると、部門別 ID 管理機能が作動し、部門 ID とパスワードを手動で入力する必要がありません。カードリーダー -C1 があるとタッチパネルディスプレイ上で、部門 ID とカウント残数が表示されます。

ユーティリティソフトウェア

以下のユーティリティソフトウェアを使用すると、ネットワークに接続されているキヤノンデバイスの各種設定をコンピュータ上で行うことができます。

■ NetSpot Device Installer

ネットワーク上に接続されたキヤノン製デバイスの初期設定を行うユーティリティソフトウェアです。NetSpot Device Installer は、コンピュータへのインストールが不要なソフトウェアで、簡単にデバイスの初期設定を行うことができます。

■ imageWARE Enterprise Management Console

ネットワーク上に接続されたデバイスを一元管理するユーティリティソフトウェアです。デバイスの一覧表示、デバイス状態の表示や通知、複数のデバイスのタスク管理など、Web ブラウザ上でさまざまな操作を行うことができます。また、imageWARE Enterprise Management Console から本製品のリモート UI に直接ジャンプして、本製品の各種設定を行えます。

■ imageWARE Document Manager Personal

画像データや各種アプリケーションで作成した文書を管理/閲覧するためのソフトウェアです。デバイスとネットワーク経由で組み合わせることによって、高機能な文書管理を行うことができます。保存された文書は、Document Manager のキャビネットに作成されたフォルダの中で管理されます。

■ imageWARE Document Manager Gateway

Windows 上で動作する文書格納用のソフトウェアです。デバイスでスキャンした文書やファクス受信した文書を、Document Manager のキャビネットに作成されたフォルダへ送信し、格納することができます。

■ imageWARE Access Management System

デバイスの使用制限を管理するためのシステムです。使用制限情報をユーザやユーザグループに割り当てることで、デバイスに搭載された機能の使用を制限することができます。

👉 重要

imageWARE Enterprise Management Console は、同梱されていません。キヤノン株式会社およびキヤノンマーケティングジャパン株式会社のホームページ (<http://canon.jp>) からダウンロードしてください。または担当サービスにお問い合わせください。



メモ

- NetSpot Device Installer の動作環境と使用方法については、「LIPS LX ソフトウェアガイド」、「LIPS V ソフトウェアガイド」、または「PS ソフトウェアガイド」を参照してください。ソフトウェアをダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルに含まれている Readme ファイルまたはユーザズガイド（PDF 取扱説明書）を参照してください。
- imageWARE Enterprise Management Console の動作環境と使用方法については、ダウンロードしたファイルに含まれている「imageWARE Enterprise Management Console インストールガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

3

オプション機器について

サイドペーパーデッキ・U1

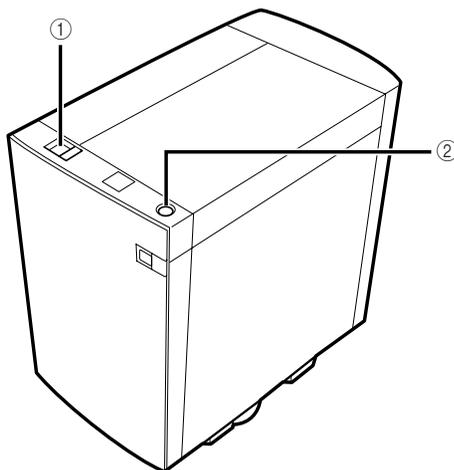
サイドペーパーデッキ・U1 を装着すると、本体に標準装備されているカセットの用紙サイズに加え、1 種類の用紙サイズが追加できます。

サイドペーパーデッキ・U1 には、約 4000 枚 (64 g/m²) または 3500 枚 (80 g/m²) まで用紙がセットできます。

重要 本製品がスリープモードに移行しているとき（タッチパネルディスプレイの表示が消灯し、主電源ランプが点灯しているとき）はサイドペーパーデッキを開くことができない場合があります。この場合は、操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してからオープンボタンを押してください。

メモ サイドペーパーデッキの用紙サイズは、A4 あるいは B5 に固定されています。サイドペーパーデッキのサイズ変更については、担当サービスにご連絡ください。

各部の名称とはたらき



① リリースレバー

本体からサイドペーパーデッキを引き離すときに押します。

② オープンボタン

用紙を補給するとき、紙づまりが起きたときに押します。

フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 / パンチャーユニット・L1

フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 は、ソート機能、グループ機能、シフト機能、ステイブルソート機能を備えています。

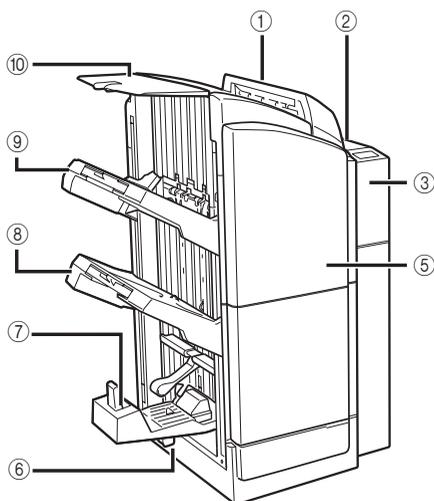
また、サドルフィニッシャー・AC2 は中とじステイプル機能も備えています。

パンチャーユニット・L1 を装着すると、パンチ穴をあけることができます。

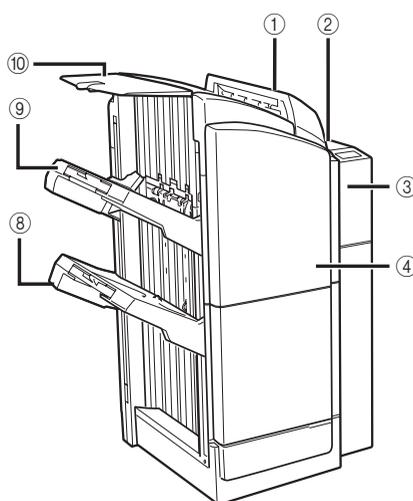
3

オプション機器について

各部の名称とはたらき



サドルフィニッシャー・AC2 +
パンチャーユニット・L1



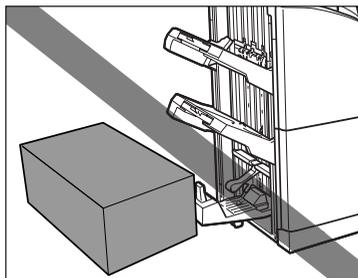
フィニッシャー・AC1 +
パンチャーユニット・L1

- ① **上カバー**
紙づまりが起きたときに開きます。(→ フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の上カバー内部の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-32)
- ② **上カバー (パンチャーユニット・L1)**
紙づまりが起きたときに開きます。(→ パンチャーユニット・L1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-45)
- ③ **前カバー (パンチャーユニット・L1)**
パンチ屑の処理をするときや、パンチャーユニットで紙づまりが起きたときに開きます。(→ パンチ屑の処理 : P.7-25、→ パンチャーユニット・L1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-45)
- ④ **前カバー (フィニッシャー・AC1)**
ステイブルユニットの針カートリッジを交換するときや、針づまりが起きたときに開きます。(→ ステイブルユニット針ケースの交換 : P.7-19、→ フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 のステイブルユニットの針づまりの処理 (オプション) : P.8-59)
- ⑤ **前カバー (サドルフィニッシャー・AC2)**
ステイブルユニットの針ケースの交換や、紙づまりが起きたとき、ステイブルユニットや中とじユニットで針づまりが起きたときに開きます。(→ ステイブルユニット針ケースの交換 : P.7-19、→ 中とじユニット針カートリッジの交換 : P.7-22、→ サドルフィニッシャー・AC2 の前カバー部の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-39、→ サドルフィニッシャー・AC2 の中とじユニットの紙づまりの処理 (オプション) : P.8-42、→ フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 のステイブルユニットの針づまりの処理 (オプション) : P.8-59、→ サドルフィニッシャー・AC2 の中とじユニットの針づまりの処理 (オプション) : P.8-62)
- ⑥ **製本トレイ (サドルフィニッシャー・AC2 のみ)**
ここに中とじ紙折製本された出力紙が排紙されます。
- ⑦ **製本トレイガイド (サドルフィニッシャー・AC2 のみ)**
製本トレイに出力する用紙サイズに合わせてセットします。(→ フィニッシャーの機能 : P.3-16)
- ⑧ **下トレイ**
ここに出力紙が排紙されます。排紙トレイの設定により出力種類の設定を行うことができます。(→ 機能ごとの排紙トレイを設定する : P.4-38)
- ⑨ **上トレイ**
ここに出力紙が排紙されます。排紙トレイの設定により出力種類の設定を行うことができます。(→ 機能ごとの排紙トレイを設定する : P.4-38)
- ⑩ **ノンソートトレイ**
ここに出力紙が排紙されます。排紙トレイの設定により出力種類の設定を行うことができます。(→ 機能ごとの排紙トレイを設定する : P.4-38)

フィニッシャの機能

フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 は以下の機能を備えています。

- ⚠ 注意**
- フィニッシャのトレイの上には排紙された用紙以外は載せないでください。トレイが破損する恐れがあります。
 - フィニッシャの下に物を置かないでください。トレイが破損する恐れがあります。



- メモ** ソート、グループを設定している場合、トレイはプリント用紙排出ごとに下降していき、積載制限に達すると自動的に排紙可能なトレイに排紙先が移ります。排紙可能なトレイがすべて積載制限に達すると、プリント動作は一時停止します。この状態でプリント用紙を取り除くと、トレイが上昇し、残りのプリントが再開されます。

■ ソート機能

プリント用紙を自動的にページぞろえして排紙する機能です。

■ グループ機能

原稿の各ページのプリント用紙を、ページごとに仕分けて排紙する機能です。

■ シフト機能

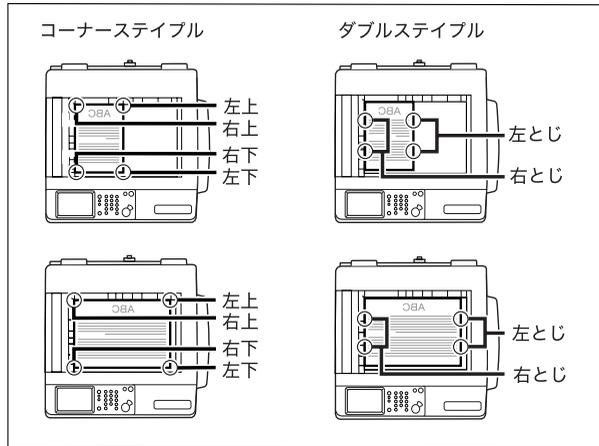
プリント用紙を手前にずらして排紙する機能です。プリント用紙は、排紙トレイの前後に交互にずらして排紙されます。

- メモ** ソート機能、グループ機能選択時に [シフト] を押してプリントした場合、出力された用紙束を約 30 mm ずらして排紙します。

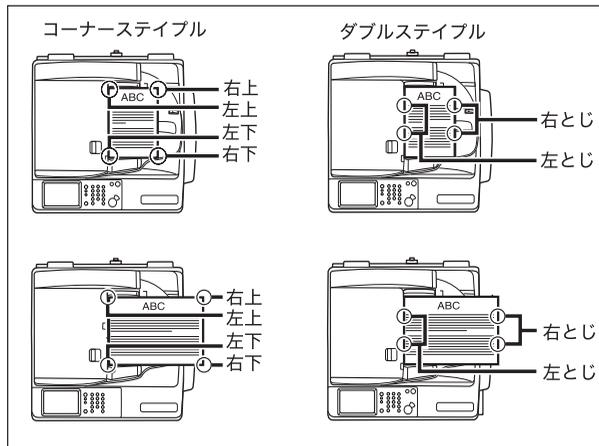
■ ステイプルソート機能

1部プリント後、自動的にステイブラで綴じて排紙する動作を連続して行う機能です。
ステイプルされる箇所は次のようになります。

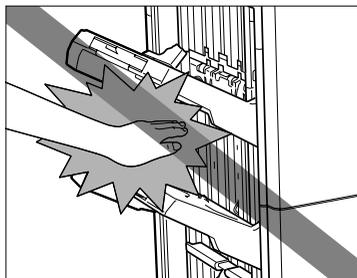
- 原稿台ガラスにセットした場合



- フィーダにセットした場合



- 注意** フィニッシャを装着しているときは、トレイ内のステイブルされる場所やローラ部に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。



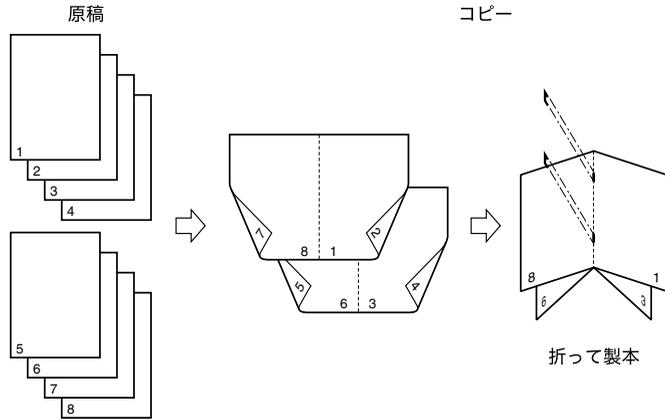
3

オプション機器について

- 重要**
- トレイはプリント用紙束排出ごとに下降していき、ある位置に達したときにプリント動作とステイブル動作は一時停止します。トレイにあるすべての用紙を取り除くと残りのプリントが再開され、ステイブル動作を続行します。
 - B5R、A5、A5Rの用紙はコーナーステイブルできません。
 - A4R、B5R、A5、A5Rの用紙はダブルステイブルできません。
 - 郵便はがき、第2原図、OHPフィルム、ラベル用紙にはステイブルできません。
 - ステイブル処理中の用紙束は途中で取り除かず完全にトレイに排紙されてから取り除いてください。
- メモ**
- ステイブルできる用紙の枚数は、以下のとおりです。(表紙含む)
 - ・A3、B4、A4R： 30枚 (64～80 g/m²)
20枚 (81～105 g/m²)
2枚 (106～209 g/m²)
 - ・A4、B5： 50枚 (64～80 g/m²)
20枚 (81～105 g/m²)
2枚 (106～209 g/m²)
 - ステイブルの途中でフィニッシャが停止して、「ステイブラの針を補給してください。」と表示された場合は、針が残り少なくなり針カートリッジの交換が必要となっています。針カートリッジを交換してください。(→ステイブルユニット針ケースの交換：P.7-19)

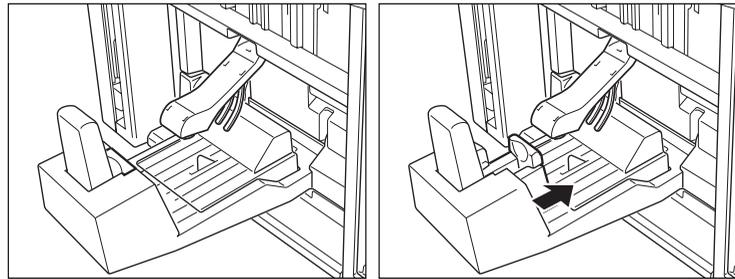
■ 中とじステイブル機能

プリントされた用紙を、中とじステイブルする機能です。



重要

- 中とじステイブルは、サドルフィニッシャー・AC2 のみの機能です。
- 中とじステイブルできる用紙の枚数は、以下のとおりです。
 - ・ 15 枚 (64 ~ 80 g/m²)
 - ・ 10 枚 (81 ~ 105 g/m²)
- 中とじステイブルできる用紙の枚数は 15 枚 (60 ページ、80 g/m²) までです (表紙含む)。ステイブルできる用紙枚数を変更したい場合は、担当サービスにご連絡ください。
- 中とじステイブルできる用紙サイズは、A3、B4、A4R です。
- 中とじステイブルを設定した場合、紙の種類や枚数によって折り具合が変わることがあります。
- 出力する前に、出力する用紙サイズにあわせて製本トレイガイドを以下の位置にセットしてください。



305×457mm/A3/B4

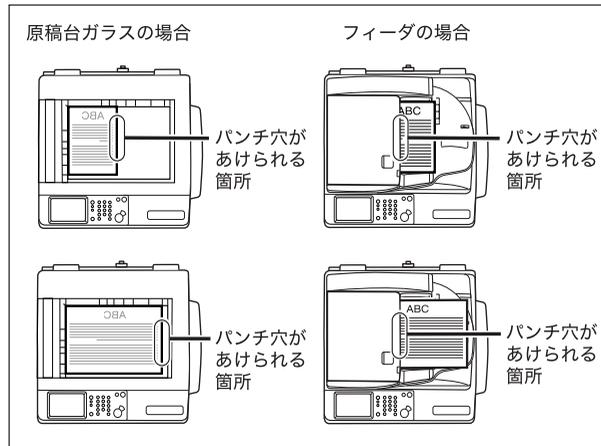
A4R

- 製本トレイガイドが用紙サイズに合わせて正しくセットされていないと、紙づまりの原因になることがあります。

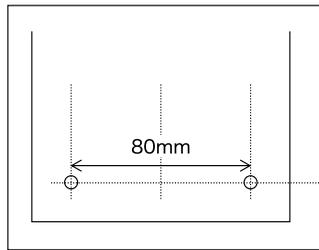
■ パンチ機能

プリントされた用紙にパンチ穴をあける機能です。

- パンチ穴をあけられる箇所は次のようになります。



- パンチ穴の間隔は次のようになります。



👉 重要

- A5、A5R の用紙はパンチ穴をあけることはできません。
- 郵便はがき、OHP フィルム、第 2 原図、ラベル用紙にはパンチ穴をあけることはできません。

メモ

- 本製品の排紙トレイに排紙できる用紙サイズは次のようになります。ただし、設定した機能によっては排紙できない場合があります。

○：使用可能 ×：使用不可

用紙サイズ		排紙トレイ			
		トレイ A (ノン ソート トレイ)	トレイ B	トレイ C	製本トレイ
305 × 457 mm		○	○	○	○
SRA3		○	○	○	×
330 × 483 mm		○	○	○	×
A3		○	○	○	○
A4		○	○	○	×
A4R		○	○	○	○
A5R		○	○	○	×
B4		○	○	○	○
B5		○	○	○	×
B5R		○	○	○	×
はがき		○	○	○	×
往復はがき		○	○	○	×
4面はがき		○	○	○	×
ユーザ設定 サイズ	100 × 148 mm ~ 330 × 483 mm	○	○	○	×

- 製本トレイは、サドルフィニッシャー・AC2 装着時のみ使用できます。

シフトトレイ・C1

シフトトレイ・C1 を装着しているときには、以下の機能を使用することができます。

- 重要** ● フィニッシャ、コピートレイ・K1 を装着している場合は、シフトトレイ・C1 を装着することはできません。
- トレイに 6 kg 以上の荷重はかけないでください。正常にスライドできなったり、破損する可能性があります。

■ ソート機能

プリント用紙を自動的にページそろえて排紙する機能です。

■ グループ機能

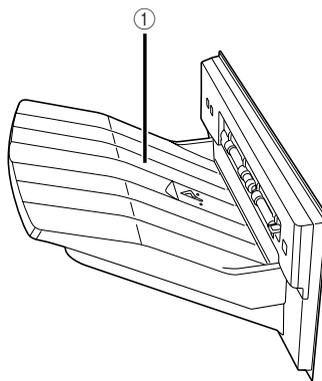
原稿の各ページのプリント用紙を、ページごとに仕分けて排紙する機能です。

■ シフト機能

プリント 1 部ごとにトレイが手前と奥に約 55 mm スライドして、1 部ごとの区切りを見分けられるようにすることができます。

- 重要** A4R、B5R、A5R の用紙はシフトできません。

各部の名称とはたらき



① シフトトレイ

ここに出力紙が排紙されます。

メモ

本製品の排紙トレイに排紙できる用紙サイズは次のようになります。ただし、設定した機能によっては排紙できない場合があります。

○：使用可能 ×：使用不可

用紙サイズ		排紙トレイ
305 × 457 mm		○
SRA3		○
330 × 483 mm		○
A3		○
A4		○
A4R		○
A5R		○
B4		○
B5		○
B5R		○
はがき		○
往復はがき		○
4面はがき		○
ユーザ設定サイズ	100 × 148 mm ~ 330 × 483 mm	○

コピートレイ・K1

コピートレイ・K1 を装着しているときには、以下の機能を使用することができます。

■ ソート機能

プリント用紙を自動的にページぞろえして排紙する機能です。

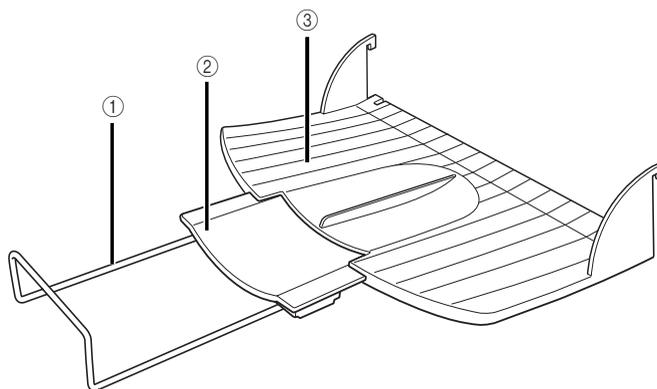
■ グループ機能

原稿の各ページのプリント用紙を、ページごとに仕分けて排紙する機能です。

■ 回転機能

同じサイズの下紙をセットした場合、ページぞろえを行い、一部ずつ交互に方向を変えて排紙する機能です。

各部の名称とはたらき



① 補助用ワイヤ

B4より大きいサイズにプリントするとき引き出します。

② 補助トレイ

大きいサイズの下紙 (A3、B4、A4R) にプリントするとき引き出します。

③ 排紙トレイ

ここに出力紙が排紙されます。

メモ

本製品の排紙トレイに排紙できる用紙サイズは次のようになります。ただし、設定した機能によっては排紙できない場合があります。

○：使用可能 ×：使用不可

用紙サイズ		排紙トレイ
305 × 457 mm		○
SRA3		○
330 × 483 mm		○
A3		○
A4		○
A4R		○
A5R		○
B4		○
B5		○
B5R		○
はがき		○
往復はがき		○
4面はがき		○
ユーザ設定サイズ	100 × 148 mm ~ 330 × 483 mm	○

ハンドセット・G2

本機は電話を受信すると電話機に、ファクスを受信するとファクスに切り替わる FAX/TEL 切り替え機能を持っています。このため、本機に電話機またはオプションのハンドセット・G2 を接続すると通常の電話と同じように電話をかけたり、電話をうけたりすることができます。FAX/TEL 機能を使うためには、初期設定／登録の受信モード選択を「FAX/TEL 切替」に設定してください。

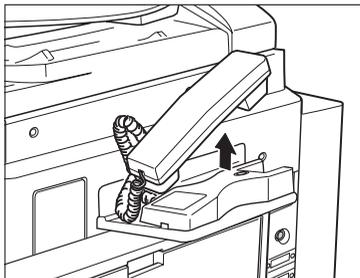
3

オプション機器について

- 重要** ● システム管理設定（初期設定／登録）の宛先の制限で、新規宛先の制限を「ON」に設定している場合は、ハンドセット・G2 を使用して電話をかけることができません。
 - 回線を増設した場合、この設定が機能するのは回線 1（標準回線）のみです。回線 1（標準回線）にてお使いください。
 - 通話するには、本機に電話機またはオプションのハンドセット・G2 を接続する必要があります。
 - ハンドセット・G2 がハウリングする場合は、アラーム音量、通信音量の設定を下げてください。（→送信／ファクスガイド「第 9 章 送信／受信仕様の設定／登録」）
- メモ** ● ハンドセット・G2 を使用するには、オプションの FAX ボードが必要です。

電話をかける

1 ハンドセットを上げます。

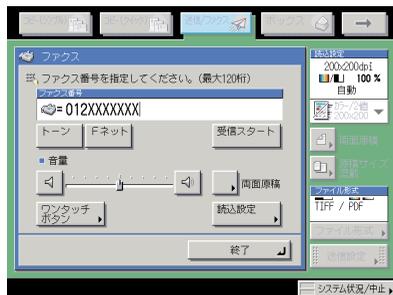


2 [新規宛先] を押したあと、[ファクス] を押します。



- メモ** 送信画面が表示されていて宛先が1件も指定されていないときは、[ファクス] を押さずに①～④、*、# (テンキー) を押すと、手順3の画面が表示され、電話番号を入力することができます。

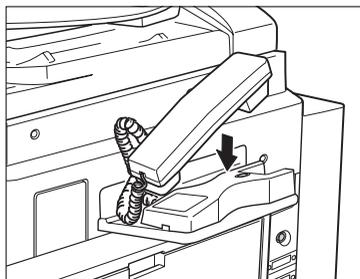
3 ①～④、*、# (テンキー) で相手先の電話番号を入力します。



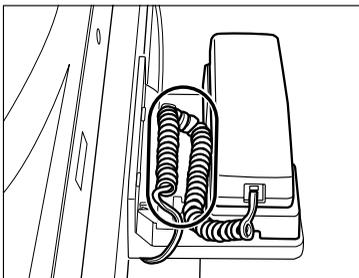
- メモ** ① (スタート) を押す必要はありません。

4 相手の声が聞こえたら、通話します。

5 通話が終わったら、ハンドセットを戻します。



 **メモ** ハンドセットを戻すときは、コードを正しい位置に戻してください。

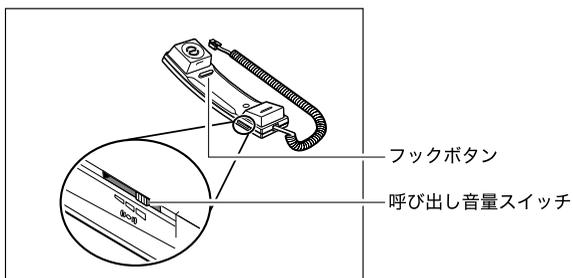


3

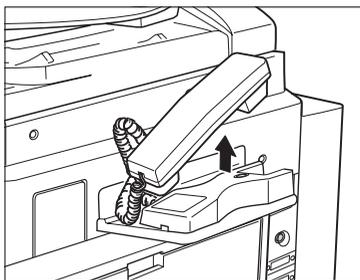
電話をうける

1 呼び出し音になります。

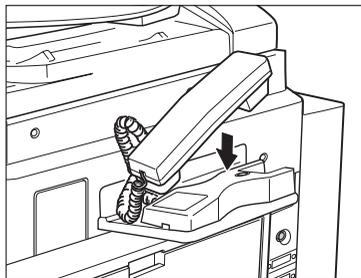
 **メモ** ハンドセットの形状が異なることがありますが、機能や性能は変わりありません。呼び出し音量は大、小、切の3段階で調整できます。シャープペンシルの先などで、呼び出し音量スイッチを切り替えてください。



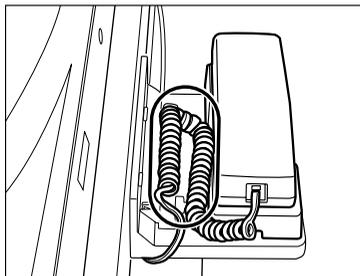
2 ハンドセットを上げ通話します。



3 通話が終わったら、ハンドセットを戻します。



メモ ハンドセットを戻すときは、コードを正しい位置に戻してください。



カードリーダー - C1

オプションのカードリーダー - C1 が装着されている場合は、本体を使用する前にコントロールカードをセットしてください。自動的に部門別 ID 管理を行います。

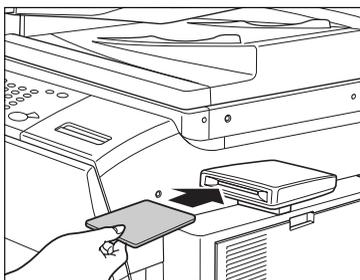
- 重要**
- 部門管理ID以外のログインサービスを使っている場合は、ファンクション制限の設定はご使用になれません。
 - ICカード認証機能拡張キットを使用している場合は、カードリーダー-C1を使用することはできません。
 - ログインサービスにSSOを設定している場合は、カードリーダー - C1 をご使用になれません。
 - ログインサービスにSDLを設定している場合は、カードID欄にお手持ちのカード番号を入力してください。詳しくは、「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照してください。
- メモ**
- コントロールカードを差し込んでもタッチパネルディスプレイに基本画面が表示されないときは、次のような点をチェックしてください。
 - ・差し込む向きは正しいですか
 - ・十分に奥まで差し込まれていますか
 - ・使用不可能なコントロールカードが挿入されていませんか（破損したコントロールカード、使用禁止のコントロールカード）
 - 使用可能なコントロールカードを正しく挿入してください。
 - 電源を入れるまでの操作については、「主電源と操作部電源について」(→ P.1-15) を参照してください。
 - カードリーダー - C1 装着時は、以下のカードを使用することができます。磁気式カードでは1000部門まで管理できます。

磁気式カード



本体を使用する前の操作

- 1 コントロールカードを差し込み口に、正しい向きで差し込みます。

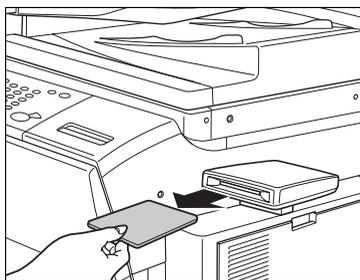


タッチパネルディスプレイに基本画面が表示されます。



本体の使用終了後の操作

- 1 本体の使用終了後、コントロールカードを抜き取ります。



コントロールカードをセットする画面に戻ります。

重要 コントロールカードを抜き取ると、再度差し込むまで本体を使用することはできません。

カードリーダー - C1 使用時の部門別 ID 管理について

カードリーダー - C1 使用時の暗証番号、制限面数の変更、およびカウント情報の確認について説明します。

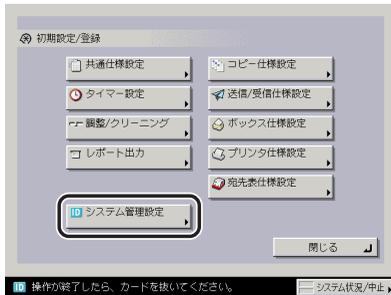
- ☎ **メモ** 暗証番号は 7 桁まで登録できます。7 桁に満たない場合は以下のようになります。
例：「321」と入力 → 「0000321」と設定されます。

初期設定／登録画面の操作の流れ

カードリーダー - C1 使用時の初期設定／登録の操作の流れについて説明します。

- ☎ **メモ** 初期設定／登録で設定した内容は、⓪(リセット) を押しでも変更されません。

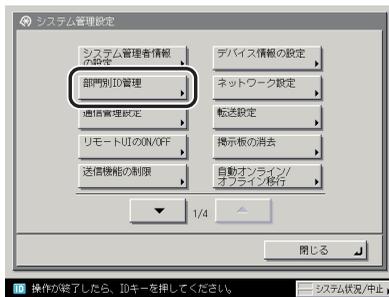
1 ⓪(初期設定／登録) → [システム管理設定] を押します。



システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号が設定されている場合は、[システム管理設定] を押したあとにシステム管理部門 ID と暗証番号を ⓪～⓪ (テンキー) で入力して ⓪ (認証) を押します。

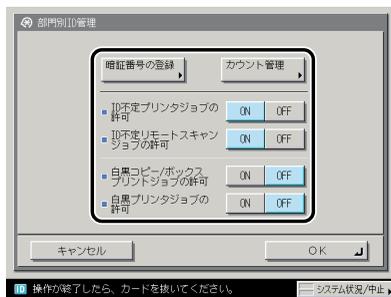
システム管理設定画面が表示されます。

2 [部門別 ID 管理] を押します。

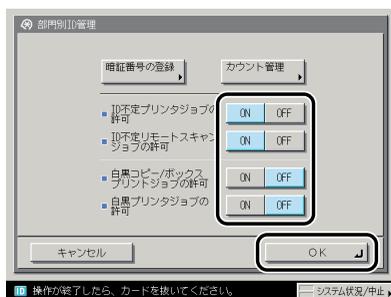


- ☎ **メモ** 目的の画面が表示されていない場合は、[▼] [▲] を押して画面を表示させます。

3 設定するモードを選択します。



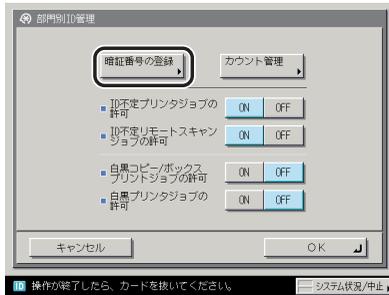
4 項目を設定したあと、[OK] を押します。



5 基本画面に戻るまで【閉じる】を押していきます。

暗証番号と制限面数を変更する

- 1 ④ (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。
- 2 [暗証番号の登録] を押します。



- 3 [▼] [▲] を押して、暗証番号を変更する部門を表示させて選択したあと、[編集] を押します。



[▼] [▲] を長押しすると、ページ番号が増減し、キーを離れた時点のページが表示されます。部門 ID が大量に登録されている場合に、すばやく目的の部門 ID を表示させることができます。

4 ①～⑨(テンキー)で暗証番号を入力します。



- [暗証番号] を押します。
- [暗証番号] を押したあと、暗証番号を入力します。
- [確認入力] を押して、同じ暗証番号を入力したあと、[OK] を押します。

「0」、「00」のような「0」だけの連数字を暗証番号として登録することはできません。また、「02」、「002」のように「0」から始まる番号を入力した場合は、「0」の入力は認識されず「2」と入力した時と同じ「0000002」として設定されます。



メモ

- ⓪(クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。
- 部門IDの変更はできません。
- システム管理設定(初期設定/登録)の機密情報入力時の伏せ字表示のON/OFFを「OFF」に設定している場合は、確認入力が表示されず、機密情報が直接表示されます。(→機密情報の入力時に伏せ字で表示する(機密情報入力時の伏せ字表示のON/OFF): P.6-51)

5 [制限のON/OFFと制限面数の設定]を押します。

6 制限面数を設定します。

- 面数を制限する項目の[ON]を押します。

制限を解除する場合は、[OFF]を押します。



メモ

- 「トータルプリント」は「カラートータルプリント」と「白黒トータルプリント」の制限面数の合計です。
- 「カラートータルプリント」は「カラーコピー」と「カラープリント」の制限面数の合計です。
- 「白黒トータルプリント」は「白黒コピー」と「白黒プリント」の制限面数の合計です。
- 面数を制限する項目の[□]を押して、①～⑨(テンキー)で制限面数を入力します。

重要

- カラーモードの「自動カラー選択」設定時に、各制限においてカラー、白黒のいずれかが制限面数に達している場合、各操作を行うことはできません。
- カラー／白黒が混在している文書のプリント中に、プリント制限のいずれかが上限に達した場合、出力は中止されます。
- カラー／白黒が混在している原稿のコピー中に、トータルプリント制限、コピー制限のいずれかが上限に達した場合、出力は中止されます。
- ファクス送信中に、「白黒スキャン制限」が制限面数に達した場合、送信は中止されます。
- フィーダからの原稿読み込み中にスキャン制限が上限に達した場合、ジョブは中止されます（読み込まれた分のスキャンはカウントされません）。

メモ

- **Ⓞ** (クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。
- 制限面数の入力範囲は 0～999999 です。設定した数値を超えるコピー／スキャン／プリントはできません。
- 制限面数とは、プリント面に対しての数です。1 枚の用紙に両面プリントした場合は面数は 2 になります。

□ [OK] → [OK] を押します。



7 特定の機能を制限する場合は、[ファンクション制限] を押します。

8 コピー以外で部門別 ID 管理の対象とするファンクションを選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[ON] : すべての機能が部門別 ID 管理の対象になります。

[OFF] : プリント機能のみ部門別 ID 管理の対象になります。

[送信／ファクス] はオプションの Send 拡張キットを有効にし、さらに FAX ポードを装着している場合に表示されます。Send 拡張キットを有効にして FAX ポードを装着していない場合は、[送信] と表示されます。FAX ポードを装着して Send 拡張キットを有効にしている場合は、[ファクス] と表示されます。

9 [閉じる] → [OK] を押します。

制限面数の設定を「ON」にすると、以下の画面にカウント残数（制限面数－カウント面数）が表示されます。



コピー基本画面

表示される項目

- : トータルプリント残数
- : カラートータルプリント残数
- : 白黒トータルプリント残数
- : カラーコピー残数
- : 白黒コピー残数



読み込み画面

表示される項目

- : カラースキャン残数
- : 白黒スキャン残数



プリント設定画面

表示される項目

- : トータルプリント残数
- : カラートータルプリント残数
- : 白黒トータルプリント残数
- : カラープリント残数
- : 白黒プリント残数



送信画面

表示される項目

- : カラースキャン残数
- : 白黒スキャン残数



メモ

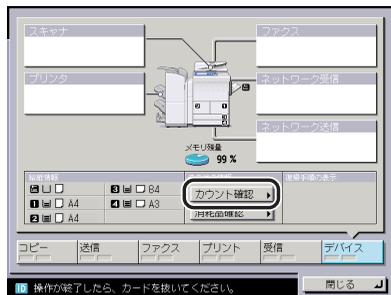
- 「ON」 に設定されている制限項目のみ表示されます。
- コピー基本画面とプリント設定画面には、残数の少ない項目が2つ表示されます。ただし、トータルプリントの残数が一番少ない場合には、トータルプリントの残数のみ表示されます。
- 送信画面は、オプションの Send 拡張キットを有効にした場合、または FAX ボード装着時に表示されます。

現在使用しているコントロールカードのカウント情報を確認する

現在使用しているコントロールカード（部門 ID）のカウント面数と制限面数を確認することができます。

1 [システム状況 / 中止] を押します。

2 [カウント確認] を押します。



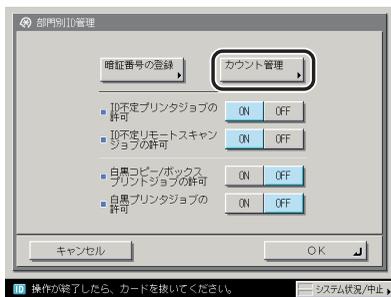
3 カウントを確認したあと、[閉じる] → [閉じる] を押します。

カウント情報の確認とプリントをする

部門ごとに使用したプリント面数のカウントを表示したり、リストをプリントすることができます。

1 Ⓢ(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。

2 [カウント管理] を押します。



3 カウントの確認、またはプリントをします。

部門 ID が空欄（表示なし）のプリント面数は部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリント（ID 不定ジョブ）です。

部門 ID が空欄（表示なし）のスキャン面数は部門 ID に対応していないドライバからのリモートスキャン（ID 不定ジョブ）です。

● 確認だけの場合

- [▼] [▲] を押して任意の部門を表示させたあと、必要に応じて [◀] [▶] を押して内容を確認します。

 **メモ** [▼] [▲] を長押しすると、ページ番号が増減し、キーを離れた時点のページが表示されます。部門 ID が大量に登録されている場合に、すばやく目的の部門 ID を表示させることができます。

● 表示されているカウントをプリントする場合

- [カウントプリント] を押します。
- カウント管理レポートの種類を選択したあと、[プリント開始] を押します。

 **メモ**

- プリントを中止する場合は、[中止] を押します。
- プリント中の画面を閉じる場合は、[閉じる] を押します。
- 共通仕様設定（初期設定／登録）のカセットオート選択の ON/OFF の [その他] で「ON」に設定されている給紙箇所に、A3、B4、A4、A4R の普通紙、再生紙または色紙がセットされているときにリストをプリントできます。（→カセットオート選択の ON/OFF を設定する：P.4-30）

4 [閉じる] → [OK] を押します。

カウント情報を消去する

登録されている部門のカウント数を消去します。

1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。

2 [カウント管理] を押します。

この手順の画面を確認する場合は、「カウント情報の確認とプリントをする」(→P.3-39)の手順 2 を参照してください。

3 [オールクリア] を押します。

部門ごとに消去したい場合は、[▼] [▲] を押して、消去したい部門を表示させて選択したあと、[クリア] を押します。

4 [はい] を押します。

5 [閉じる] → [OK] を押します。

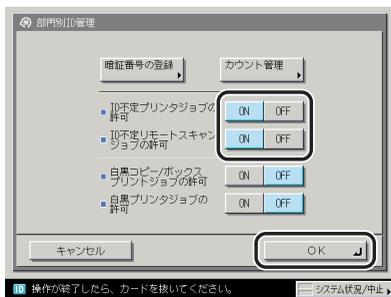
ID 不定のプリントジョブ/スキャンジョブを受け付けるかどうか設定する

部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリントや、パソコンからのリモートスキャンをさせるか、させないかの設定をします。

-  **メモ**
- [ID 不定プリンタジョブの許可]、[ID 不定リモートスキャンジョブの許可] は、プリンタ機能、リモートスキャン機能を装備している場合のみ設定が有効になります。
 - 工場出荷時は、すべて「ON」に設定されています。

1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。



< ID 不定プリントジョブの許可 > :

[ON] : 部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリントを行います。

[OFF] : 部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリントは行いません。

< ID 不定リモートスキャンジョブの許可 > :

[ON] : 部門 ID に対応していないドライバからのリモートスキャンを行います。

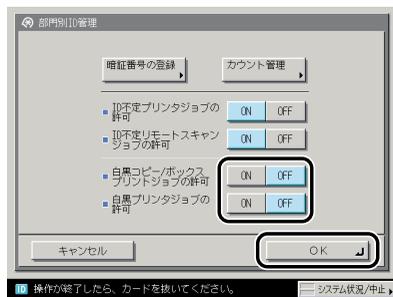
[OFF] : 部門 ID に対応していないドライバからのリモートスキャンを行いません。

コントロールカードをセットしないときに白黒コピー/プリントのみ許可するか設定する

コントロールカードを差し込まなくても、白黒コピー/プリントのみできるように設定します。

- 1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。



<白黒コピー／ボックスプリントジョブの許可>：

[ON]： コントロールカードをセットする画面に [白黒コピー / 白黒ボックスプリント] キーが表示されます。

[OFF]： コントロールカードをセットする画面に [白黒コピー / 白黒ボックスプリント] キーは表示されません

<白黒プリントジョブの許可>：

[ON]： 部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからの白黒プリントを行います。

[OFF]： 部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからの白黒プリントを行いません。

[白黒コピー / ボックスプリントジョブの許可] を「ON」に設定した場合は、コントロールカードをセットする画面に [白黒コピー / 白黒ボックスプリント] キーが表示されます。



白黒コピー／ボックスプリントする場合は、[白黒コピー / 白黒ボックスプリント] を押します。



- [ID 不定プリントジョブの許可] を「ON」に設定している場合はすべてのプリントジョブが許可されるので、[白黒プリントジョブの許可] の設定は無効になります。
- 自動カラー選択、単色カラーを設定してコピー／プリントする、ボックスに原稿を読み込む、文書を送信するなど、白黒コピー／プリント以外の機能を使用する場合は、コントロールカードをセットする必要があります。

3

オプション機器について

使いかたにあわせた仕様の 設定

4

CHAPTER

工場出荷時の設定を、使いかたにあわせて変更する方法について説明しています。

初期設定／登録画面の操作の流れ.....	4-3
初期設定／登録一覧表.....	4-5
各機能に共通の仕様を設定する（共通仕様設定）.....	4-24
初期画面を設定する.....	4-24
オートクリア後の表示画面を設定する.....	4-26
ブザーを設定する.....	4-27
用紙残量を表示するかどうかを設定する.....	4-27
自動カラー選択で白黒判定されたときの文字／写真優先を設定する.....	4-28
カラー選択時の画質を自動調整する（カラーモード選択時の原稿画質自動切替）.....	4-28
ワンタッチ白黒モードキーの表示を設定する.....	4-29
インチ入力をするかどうかを設定する.....	4-29
カセットオート選択の ON/OFF を設定する.....	4-30
給紙箇所の用紙種類を登録する.....	4-32
用紙種類選択の簡易／詳細設定画面のどちらを優先させるかを設定する（用紙選択画面の優先表示）.....	4-35
節電モードを変更する.....	4-35
スリープ時の消費電力を設定する.....	4-36
LTRR サイズ原稿と STMT サイズ原稿を区別する.....	4-37
機能ごとの排紙トレイを設定する.....	4-38
プリント優先順位を設定する.....	4-39
イメージ合成のフォームを登録する.....	4-40
イメージ合成したプリントの画質を設定する.....	4-42
ページ印字／スタンプの文字列を登録する.....	4-42
手差し用紙の標準モードを登録する.....	4-44
ユーザ設定サイズを登録／編集する.....	4-46
ローカルプリントの標準モードを設定する.....	4-48
表示言語の切り替えをする.....	4-49
画面色反転を設定する.....	4-49
ジョブ間シフトを設定する.....	4-50
ジョブ間仕切紙を設定する.....	4-50
部数間仕切紙を設定する.....	4-51

4. 使いかたにあわせた仕様の設定

プリント待ち時間表示を設定する.....	4-51
プリントジョブ終了予測時間を表示する.....	4-52
原稿読み取り部の清掃表示を設定する.....	4-52
リモートスキャン時のガンマ値を設定する.....	4-53
機能制限モードを設定する.....	4-53
トナー残量の警告表示を消去する.....	4-54
共通仕様設定を初期化する.....	4-54
各種タイマーを設定する（タイマー設定）.....	4-55
時刻の微調整をする.....	4-55
オートスリープタイムの設定をする.....	4-55
オートクリアタイムの設定をする.....	4-56
静音モード移行時間の設定をする.....	4-56
ウイークリータイマーの設定をする.....	4-57
低電力モード移行時間の設定をする.....	4-57
調整をする（調整／クリーニング）.....	4-58
ズーム微調整をする.....	4-58
中とじユニットの針の頭出しをする.....	4-59
中とじ位置を変更する.....	4-59
階調や濃度を自動補正する.....	4-60
クリープ（ずれ）補正量の調整.....	4-62
濃度を補正する.....	4-62
文字／背景のコントラスト調整.....	4-63
プリントが汚れるときは（ローラのクリーニング）.....	4-65
プリントが汚れるときは（ワイヤのクリーニング）.....	4-65
フィーダで読み取った原稿が汚れるときは（フィーダのクリーニング）.....	4-66

初期設定／登録画面の操作の流れ

初期設定／登録では本製品のさまざまな設定を使用する条件や環境にあわせて変更することができます。

- **重要** ● SDLやSSOのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが一般ユーザの場合はシステム管理設定モードを操作することができません。
- SDLやSSOのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが管理者の場合はシステム管理設定モードを操作することができます（システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力するダイアログボックスが表示されたときは、該当項目を入力してください）。

メモ 初期設定／登録で設定した内容は、Ⓜ（リセット）を押しても変更されません。

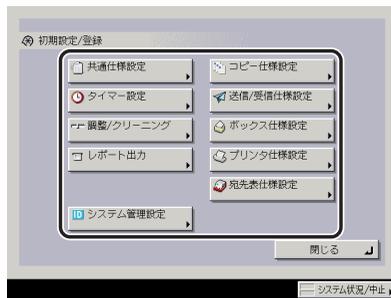
4

使いかたにあわせた仕様の設定

1 Ⓜ（初期設定／登録）を押します。

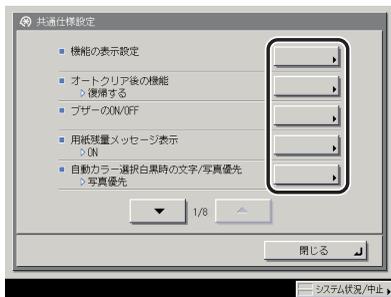
初期設定／登録画面が表示されます。

2 初期設定／登録画面から設定の種類を選択します。



システム管理設定を選択するときにシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号が設定されている場合は、[システム管理設定] を押したあとにシステム管理部門 ID と暗証番号を Ⓜ～Ⓜ（テンキー） で入力して Ⓜ（認証） を押します。

3 設定するモードを選択します。



各キーを押して設定できる内容は、「初期設定／登録一覧表」(→ P.4-5) を参照してください。

4

使いかたにあわせた仕様の設定

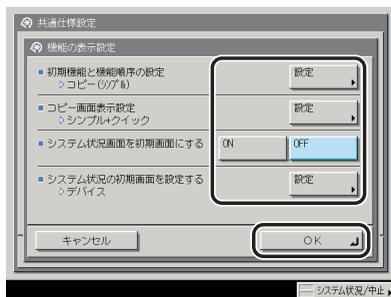


メモ

共通仕様設定、調整／クリーニング、システム管理設定、コピー仕様設定、送信／受信仕様設定は、いくつかの項目にわかれています。[▼] [▲] を押して、目的の項目を選択してください。



4 項目を設定したあと、[OK] を押します。



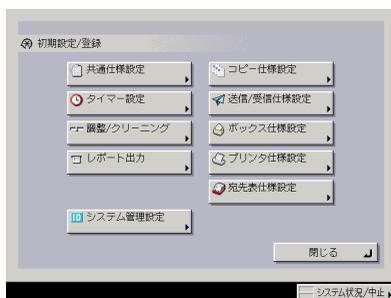
指定したモードが設定されます。

5 基本画面に戻るまで【閉じる】を押していきます。

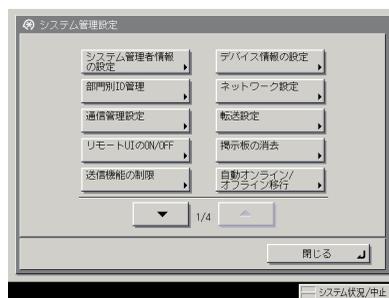
初期設定／登録一覧表

仕様設定で登録／設定できる項目を以下に示します。（* マークは工場出荷時の設定です。）
本書に記載されていない設定方法については、下記の各ガイドを参照してください。

- コピー仕様設定： コピー／ボックスガイド
- レポート出力、送信／受信仕様設定、宛先表仕様設定： 送信／ファクスガイド
- ボックス仕様設定： コピー／ボックスガイド
- プリンタ仕様設定、レポート出力： プリンタガイド
- ネットワーク設定、レポート出力： ネットワークガイド



初期設定／登録画面



システム管理設定画面

■ 共通仕様設定

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
機能の表示設定		×	P.4-24
初期機能と機能順序の設定	コピー*、送信/ファクス、ボックス、プリント、MEAP		
コピー画面表示設定	シンプルのみ、シンプル+クイック*、クイックのみ		
システム状況画面を初期画面にする	ON、OFF*		
システム状況の初期画面を設定する	コピー、送信、ファクス、プリント、受信、デバイス*		
オートクリア後の機能	復帰する*、復帰しない	○	P.4-26
ブザーの ON/OFF	入力音：ON*、OFF 入力無効音：ON、OFF* 補給予告音：ON、OFF* 警告音：ON*、OFF ジョブ終了音：ON*、OFF	○	P.4-27
用紙残量メッセージ表示	ON*、OFF	×	P.4-27
自動カラー選択白黒時の文字/写真優先	文字優先*、写真優先	○	P.4-28
カラーモード選択時の原稿画質自動切替	ON*、OFF	○	P.4-28
ワンタッチ白黒モードキーの表示	ON、OFF*	×	P.4-29
インチ入力	ON、OFF*	○	P.4-29
カセットオート選択の ON/OFF	コピー、プリンタ、ボックス、受信/ファクス、その他 (手差し：ON、OFF*、その他の給紙箇所：ON、OFF) コピー：用紙の種類を考慮する：する、しない*	×	P.4-30
用紙種類の登録	普通紙*、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、OHP フィルム、インデックス紙	×	P.4-32
用紙選択画面の優先表示	簡易*、詳細	×	P.4-35
節電モードの変更	- 10%、- 25%、- 50%、復帰時間なし	○	P.4-35
スリープ時の消費電力	少ない*、多い	○	P.4-36
LTRR/STMT 原稿の区別	手動で区別する、LTRR で動作*、STMT で動作	○	P.4-37

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
排紙トレイの設定 ^{*1}	フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 装着時 トレイ A：コピー、ボックス、プリンタ、受信 [*] 、ファクス [*] 、その他 [*] トレイ B：コピー [*] 、ボックス [*] 、プリンタ [*] 、受信、ファクス、その他 トレイ C：コピー [*] 、ボックス [*] 、プリンタ [*] 、受信、ファクス、その他 トレイ基本位置：トレイ A、トレイ B [*] 、指定しない	×	P.4-38
プリント優先順位	コピー：1 [*] 、2、3 プリンタ：1、2 [*] 、3 ボックス、受信／ファクス、その他：1、2、3 [*]	○	P.4-39
イメージ合成のフォーム登録	登録、消去、チェックコピー、詳細情報	×	P.4-40
イメージ合成時の画質優先	自動 [*] 、原稿優先、フォーム優先	○	P.4-42
ページ印字／スタンプの文字列登録	登録、編集、消去	○	P.4-42
手差し用紙の標準モード登録	ON、OFF [*]	×	P.4-44
ユーザ設定サイズの登録	登録／編集、消去、名称登録	○	P.4-46

4

使いかたにあわせた仕様の設定

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
ローカルプリントの標準モード		×	P.4-48
用紙選択	自動用紙選択*、給紙位置選択		
プリント部数	1部*～9999部		
仕上げ	<p>コピートレイ・K1 装着時</p> <p>ノンソート、ソート*、回転ソート、グループ、回転グループ</p> <p>シフトトレイ・C1 装着時</p> <p>ノンソート、ソート、シフトソート*、グループ、シフトグループ</p> <p>フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 装着時</p> <p>ノンソート、ソート、シフトソート*、グループ、シフトグループ、ステイプル(コーナー(左上、左下、右上、右下)、ダブル(左、右))</p> <p>フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 + パンチャーユニット・L1 装着時</p> <p>ノンソート、ソート、シフトソート*、グループ、シフトグループ、ステイプル(コーナー(左上、左下、右上、右下)、ダブル(左、右))、パンチ穴</p>		
両面プリント	ON、OFF*		
プリント後文書消去	ON、OFF*		
文書結合	ON、OFF*		
表示言語の切替	ON、OFF*常に切り替えキーを表示:ON、OFF*	×	P.4-49
画面色反転	ON、OFF*	×	P.4-49
ジョブ間シフト* ¹	ON*、OFF	○	P.4-49
ジョブ間仕切紙	ON、OFF* 仕切紙の給紙箇所:用紙選択	○	P.4-50
部数間仕切紙	ON、OFF* 給紙箇所と部数の設定:用紙選択、部数(1～9999、10*)	○	P.4-51

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
プリント待ち時間表示	コピー：ON、OFF* ボックス：ON、OFF* その他：ON、OFF*	×	P.4-51
部数／待ち時間の状況表示	ON*、OFF	×	P.4-52
原稿読み取り部の清掃表示	ON*、OFF	×	P.4-52
リモートスキャン時のガンマ値	r1.0、r1.4、r1.8*、r2.2	○	P.4-53
機能制限モード*1	ON、OFF*	○	P.4-53
トナー残量警告表示の消去	消去	×	P.4-54
シャットダウンモード	実行キー	×	P.1-20
共通仕様設定の初期化	初期化	×	P.4-54

* マークは工場出荷時の設定です。

*1：オプション装着時に表示される項目です。

■ タイマー設定

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
時刻微調整	00:00～23:59（1分間隔）	×	P.4-55
オートスリープタイム	10、15、20、30、40、50分、1時間*、90分、2～4時間（1時間間隔）	○	P.4-55
オートクリアタイム	0分（なし）、1～9分（1分間隔）・2分*	○	P.4-56
静音モード移行時間	0分（なし）、1～9分（1分間隔）・1分*	○	P.4-56
ウィークリータイマーの設定	日～土曜まで00:00～23:59（1分間隔）	○	P.4-57
低電力モード移行時間	10、15*、20、30、40、50分、1時間、90分、2～4時間（1時間間隔）	○	P.4-57

* マークは工場出荷時の設定です。

■ 調整/クリーニング

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
ズーム微調整	X: - 1.0 % ~ + 1.0 % (0.1 % 間隔)・0 % Y: - 1.0 % ~ + 1.0 % (0.1 % 間隔)・0 %	×	P.4-58
中とじ針頭出し ^{*1}	開始キー	×	P.4-59
中とじ位置変更 ^{*1}	位置: - 2.0 mm ~ + 2.0 mm (0.25 mm 間隔)・0 mm*	○	P.4-59
自動階調補正	クイック補正時: 開始キー フル補正時: 3 回のテストプリントと読み込み のあと自動補正	×	P.4-60
クリープ(ずれ)補正量の 調整	補正量(各用紙種類ごと): 0.00 ~ 2.00mm (0.05mm 間隔)・0.25mm*	×	P.4-62
濃度補正	コピー/ボックス、白黒送信、カラー送信 各: 9 段階・5 段階*	×	P.4-62
文字/背景のコントラスト 調整 ^{*1}	黒、シアン、マゼンタ 相対コントラスト値: -7 ~ +7・-1*、プ リント設定 基準値の設定: 基準コントラスト値: 0 ~ 64・24*、サンプルプリント、プリント設定 潜像部の濃度: 0 ~ 36・8*	×	P.4-63
ローラのクリーニング	開始キー	×	P.4-65
ワイヤのクリーニング	開始キー	×	P.4-65
フィーダのクリーニング	開始キー	×	P.4-66

* マークは工場出荷時の設定です。

*1: オプション装着時に表示される項目です。

■ レポート出力^{*1}

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
仕様設定：送信			送信／ファクス ガイド
送信結果レポート	エラー時のみ [*] 、ON、OFF 送信原稿の表示：ON [*] 、OFF カラー送信原稿の表示：ON、OFF [*]	○	
通信管理レポート		○	
100通信で自動プリント	ON [*] 、OFF		
指定時刻プリント	ON、OFF [*] 時刻指定：00:00～23:59		
送信／受信分離	する、しない [*]		
仕様設定：ファクス			
ファクス送信結果レポート	エラー時のみ [*] 、ON、OFF 送信原稿の表示：ON [*] 、OFF	○	
ファクス通信管理レポート		○	
40通信で自動プリント	ON [*] 、OFF		
指定時刻プリント	ON、OFF [*] 時刻指定：00:00～23:59		
送信／受信分離	する、しない [*]		
ファクス受信結果レポート	エラー時のみ、ON、OFF [*]	○	
ファクスボックス受信レポート	ON [*] 、OFF	○	
リストプリント：送信			
宛先表リスト	宛先表1～10、ワンタッチボタン リストプリント：プリント	×	
ユーザデータリスト	プリント	×	
リストプリント：ファクス			
ユーザデータリスト	プリント	×	

^{*} マークは工場出荷時の設定です。

^{*1}：オプション装着時に表示される項目です。

■ システム管理設定

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
システム管理者情報の設定			P.6-3
システム管理部門 ID	最大 7 桁	○	
システム管理暗証番号	最大 7 桁		
システム管理者名	半角 32 文字、全角 16 文字		
メールアドレス	半角 64 文字		
連絡先	半角 32 文字、全角 16 文字		
コメント	半角 32 文字、全角 16 文字		
部門別 ID 管理			P.6-5
部門別 ID 管理	ON、OFF*	○	
暗証番号の登録	登録、編集、消去、ファンクション制限	○	
カウント管理	クリア、カウントプリント、オールクリア	×	
ID 不定プリンタジョブの許可	ON*、OFF	○	
ID 不定リモートスキャンジョブの許可	ON*、OFF	○	
白黒コピー／ボックスプリントジョブの許可	ON、OFF*	○	
白黒プリンタジョブの許可	ON、OFF*	○	

4

使いかたにあわせた仕様の設定

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
通信管理設定			送信/ファクスガイド
電子メール/Iファクス共通設定 ^{*1}		○	
送信データサイズ上限値	0= なし、1 ~ 99MB・3MB*	○	
省略時の件名	半角40文字、全角20文字・Attached Image*		
認証ユーザ宛先を返信先に指定	ON、OFF*		
電子メール設定 ^{*1}			
認証ユーザ宛先を送信元に指定	ON、OFF*	×	
Iファクス設定 ^{*1}			
Full モードの送信タイムアウト	1 ~ 99 時間・24 時間*	○	
分割受信タイムアウト	0 ~ 99 時間 24 時間*		
MDN/DSN 受信時の印刷	ON、OFF*		
受信エラーは必ず通知	ON*、OFF		
サーバの経路を使用	ON、OFF*		
サーバを経由しない MDN を許可	ON*、OFF		
ファクス設定 ^{*1}			
送信スタートスピード	33600bps*、14400bps、9600bps、7200bps、4800bps、2400bps	○	
受信スタートスピード	33600bps*、14400bps、9600bps、7200bps、4800bps、2400bps	○	
受信パスワード	最大 20 桁	×	
FIS スイッチ	ON、OFF*	○	
システムボックス設定			
システムボックス暗証番号 ^{*1}	最大 7 桁	×	
ファクスメモリ受信を使用 ^{*1}	ON、OFF*	○	
Iファクスメモリ受信を使用 ^{*1}	ON、OFF*	○	
メモリ受信開始時刻 ^{*1}	毎日指定、曜日指定、指定しない*	○	
メモリ受信終了時刻 ^{*1}	毎日指定、曜日指定、指定しない*	○	

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
リモート UI の ON/OFF	ON*、OFF SSL を使用：ON、OFF*	○ ^{*2}	P.6-17
送信機能の制限			送信／ファクスガイド
宛先表の暗証番号 ^{*1}	最大 7 桁	○	
宛先表のアクセス番号管理 ^{*1}	ON、OFF*	○	
新規宛先の制限 ^{*1}	ON、OFF*	○	
ファクスドライバからの送信を許可 ^{*1}	ON*、OFF	○	
ファクス番号入力時の確認入力 ^{*1}	ON、OFF*	○	
電子メール／1 ファクスの送信ドメイン制限 ^{*1}	送信先ドメインを制限：ON、OFF* 送信許可ドメイン：登録、詳細／編集、消去	○ ^{*3}	
有効期限切れ証明書使用時のPDF送信を許可 ^{*1}	ON、OFF*	○	
PDF送信時に機器署名を必ずつける ^{*1}	ON、OFF* PDF 以外の送信制限：ON、OFF*	○	
デバイス情報の設定			
デバイス名	半角 32 文字、全角 16 文字	×	
設置場所	半角 32 文字、全角 16 文字	×	
転送設定^{*1}	受信手段、条件の ON/OFF、登録、条件なし転送の登録、電子メールの重要度 ^{*1} 、詳細／編集、消去、リストプリント	○ ^{*4}	送信／ファクスガイド
掲示板の消去	消去	×	P.6-19
自動オンライン／オフライン移行			P.6-20
自動オンライン移行	ON、OFF*	○	
自動オフライン移行	ON、OFF*	○	
日付／時刻設定	設定（12 桁の数字） タイムゾーン：GMT - 12：00 ～ GMT + 12：00・GMT + 09：00* サマータイム：ON、OFF*	×	P.6-21
管理キー OFF 時の機能制限切替	部分機能制限*、全機能制限	○	P.6-23
ライセンス登録	半角 24 文字	×	P.1-27

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
システム状況画面の制限			
認証前のジョブ状況の表示	ON*、OFF	×	P.6-24
プリント状況からセキュアプリントを許可	ON、OFF*	×	P.6-25
ジョブ履歴の表示	ON*、OFF 管理ソフトからのジョブ履歴 取得：許可する、許可しない*	×	P.6-25
LDAP サーバの登録 ^{*1}	登録、詳細／編集、消去、リストプリント	×	送信／ファクスガイド
MEAP 設定			
HTTP を使用	ON*、OFF SSL を使用：ON、OFF*	○ ^{*2}	P.6-27
システム情報のプリント	プリント	×	P.6-28
部数印字拡張の設定	ON、OFF* ID / ユーザ名：ON、OFF* 日付：ON、OFF* 文字：ON、OFF*	○	P.6-30
トナー残量警告表示の ON/OFF	ON*、OFF	×	P.6-32
ID / ユーザ名表示の ON/OFF	ON*、OFF	×	P.6-33
USB 設定			
USB デバイスを使用	ON*、OFF	○	P.6-34
USB ホストを使用	ON*、OFF	○	P.6-34
機器情報配信の設定			

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
配信先の登録	自動検索／登録、登録、詳細情報、消去、リストプリント		P.6-37
自動配信設定	毎日指定、曜日指定、指定しない* 初期設定／登録の設定値：ON、OFF* ネットワーク設定：含む、含まない* 部門 ID：ON、OFF* 宛先表：ON、OFF* プリンタ仕様設定：ON、OFF* 用紙情報：ON、OFF*		P.6-42
手動配信	初期設定／登録の設定値：ON、OFF* ネットワーク設定：含む、含まない* 部門 ID：ON、OFF* 宛先表：ON、OFF* プリンタ仕様設定：ON、OFF* 用紙情報：ON、OFF*		P.6-44
配信元による受信制限	ON*、OFF		P.6-45
データの復帰	初期設定／登録の設定値、部門 ID、宛先表、プリンタ仕様設定 用紙情報：ON、OFF*		P.6-45
機能毎受信制限	初期設定／登録の設定値：ON*、OFF 部門 ID：ON*、OFF 宛先表：ON*、OFF プリンタ仕様設定：ON*、OFF 用紙情報：ON、OFF*		P.6-46
通信履歴	詳細情報、リストプリント、レポート設定 100 通信で自動プリント：ON*、OFF 指定時刻プリント：ON、OFF* 指定時刻：00:00 ～ 23:59 種別で分離：する、しない*		P.6-47
全データ／設定の初期化	初期化	×	P.6-49
機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF	ON*、OFF	○	P.6-51
地紋印字モード⁻¹			
強制地紋印字	コピー：設定しない*、設定する ボックス：設定しない*、設定する プリンタ：設定しない*、設定する	○	P.6-52
プリンタドライバ地紋印字	設定しない*、設定する	○	P.6-52

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
暗号化セキュアプリント設定^{*1}			
暗号化セキュアプリントジョブのみ受付	ON、OFF*	○	P.6-58
IC カード使用時の自動プリント	ON、OFF*	○	P.6-58
用紙種類の管理設定	詳細／編集 名称、坪量、特徴、表面性、 クリープ（ずれ）補正量の調整、色	○	P.6-59
	複製、消去	×	
ページ記述言語選択（プラグ&プレイ）	FAX ^{*1} 、LIPS LX、LIPS ^{*1} 、PS3 ^{*1}	×	P.6-64
ユーザボックス一括設定			
文書の自動消去までの時間	0 = なし、1、2、3、6、12 時間、1、2、3 [*] 、7、30 日	×	P.6-65
プリンタドライバから保存時のプリント	ON、OFF*	×	P.6-65
プリンタジョブの制限	ON、OFF*	○	P.6-66
コピーのカラーモード設定			
自動カラー選択を使用	ON [*] 、OFF	○	P.6-67
フルカラーを使用	ON [*] 、OFF	○	P.6-67

* マークは工場出荷時の設定です。

*1：オプション装着時に表示される項目です。

*2：SSL を使用：×

*3：消去：×

*4：受信手段：×
電子メールの重要度：×
詳細／編集：×
消去：×
リストプリント：×

■ コピー仕様設定

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
クイック画面の用紙選択 キー設定	大*4 つまで（手差し/手差し用紙変更 予約/給紙段 1 / 給紙段 2 / 給紙段 3 / 給紙段 4 / 給紙段 5）、小	×	コピー/ボックス ガイド
シンプル画面のお好み キー 1、2 の設定	各モード（設定なし）	×	
クイック画面のお好み キーの設定	お好みキー表示数：5 個*、10 個 各モード（設定なし）	×	
自動ソート	ON*、OFF	○	
画像向き優先	ON、OFF*	○	
オートタテヨコ回転	ON*、OFF	○	
標準モードの変更	登録、初期化	×	
コピー仕様設定の初期化	初期化	×	

* マークは工場出荷時の設定です。

■ 送信/受信仕様設定*4

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
共通設定：送信機能設定			送信/ファクス ガイド
発信人名称の登録	01 ~ 99：登録/編集、消去	×	
ユーザ略称の登録	半角 24 文字、全角 12 文字	×	
FTP 送信指定に ASCII コード 以外を許可*1	ON、OFF*	○	
エラー文書クリア	ON*、OFF	○	
データ圧縮率*1	高圧縮、普通*、低圧縮	○	
転送エラー文書の処理	常にプリント、保存/プリント、OFF*	○	
リトライ回数*1	0 ~ 5 回・3 回*	○	
送信機能の標準モードの変更	Send 拡張キットを有効にしたとき 読取モード：カラー/2 値 200 × 200 ファイル形式：TFF/PDF 自動選択 済スタンプ：押さない FAX ボード装着時 読取モード：白黒 200 × 100 済スタンプ：押さない Send 拡張キットを有効 +FAX ボード 装着時 読取モード：カラー/2 値 200 × 200 ファイル形式：TIFF/PDF 自動選択 済スタンプ：押さない	×	
定型業務ボタンの登録	登録/編集、消去 (18 個)、コメント の表示：ON、OFF*	○	
定型業務ボタン呼出時の確認 表示	ON*、OFF	×	
PDF (高圧縮) の画質レベル*1	文字/写真モード、写真モード時： データサイズ優先、普通*、画質優先 文字モード時：データサイズ優先、普 通*、画質優先	○	
PDF (OCR) 設定*1	原稿向き自動検知：ON*、OFF 文書名 OCR の文字数設定：1 ~ 24・24*	○	

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
PDF（アウトライン）設定	図形のアウトライン化：ON*、OFF 図形と認識するレベル：普通*、やや高い、 高い 背景画質のレベル：データサイズ優先、普 通*、画質優先	○	送信／ファクス ガイド
機器署名の証明書確認 ^{*1}	証明書詳細情報：証明書検証	×	
ユーザ署名の証明書確認 ^{*1}	証明書詳細情報：証明書検証	×	
ICカード署名送信時の確認 表示 ^{*1}	ON*、OFF	×	
送信画面の初期表示	定型業務ボタン、ワンタッチボタン、新 規宛先* 拡大表示：ON、OFF*	×	
発信元記録	つける*、つけない 印字位置：画像の内側、画像の外側* 相手先略称の表示：ON*、OFF 電話番号マーク：FAX*、TEL	○	
WebDAV 送信時にチャン ク分割送信を使用 ^{*1}	ON*、OFF	○	
YCbCr 送信のガンマ値 ^{*1}	r1.0、r1.4、r1.8*、r2.2	○	
送信機能設定の初期化	初期化	×	
共通設定：受信機能設定			
両面記録	ON、OFF*	○	
カセット選択	スイッチ A：ON*、OFF スイッチ B：ON*、OFF スイッチ C：ON*、OFF スイッチ D：ON*、OFF	○	
画像縮小	ON*、OFF 縮小モード：自動変倍*、固定 縮小率：75～97%（1%刻み）・90%* 縮小方向：縦横、縦のみ*	○	
受信情報記録	つける、つけない*	○	
2 in 1 記録	ON、OFF*	○	
YCbCr 受信のガンマ値 ^{*1}	r1.0、r1.4、r1.8*、r2.2	○	

初期設定/登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
ファクス設定：基本登録			送信/ファクス ガイド
ユーザ電話番号の登録	最大 20 桁	×	
回線種類の選択	ダイヤル 20PPS、ダイヤル 10PPS、 プッシュ*	×	
音量調整	アラーム音量：0～8・4* 通信音量：0～8・4*	○	
オフフックアラーム ¹	ON*、OFF	○	
ファクス設定：送信機能設定			
ECM 送信	ON*、OFF	○	
ポーズ時間セット	1～15 秒・2 秒*	○	
自動リダイヤル	ON*、OFF リダイヤル回数：1～15 回・2 回* リダイヤル間隔：2～99 分・2 回* 送信エラー時リダイヤル：1 ページ とエラーページ*、全ページ、OFF	○	
送信前のダイヤルトーン確認	ON*、OFF	○	
ファクス設定：受信機能設定			
ECM 受信	ON*、OFF	○	
受信モード選択	自動受信*、FAX/TEL 切替 呼出開始時間：0～30 秒・8 秒* 呼出時間：15～300 秒・17 秒* 呼出後の動作：終了、受信* 音声応答：ON、OFF*	○	
着信呼出	ON、OFF* 呼出回数：1～99 回・2 回*	○	
リモート受信	ON、OFF* リモート受信 ID：00～99・25*	×	
自動受信切替	ON、OFF* 呼出秒数：1～99 秒・15 秒*	○	
ナンバーディスプレイ着信受 付	ON、OFF*	×	

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
ファクス設定：増設回線設定^{*1}			送信／ファクス ガイド
ユーザ電話番号の登録	最大 20 桁	×	
ユーザ略称の登録	半角 24 文字、全角 12 文字	×	
回線種類の選択	ダイヤル 20PPS*、ダイヤル 10PPS、 プッシュ	×	
送信回線の選択	回線 1：優先送信*、送信禁止 回線 2：優先送信、送信禁止	×	

* マークは工場出荷時の設定です。

*1：オプション装着時に表示される項目です。

■ ボックス仕様設定

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
ユーザボックスの設定／登録	ボックス No.：00～99 名称：半角 24 文字、全角 12 文字以内 暗証番号：最大 7 桁 文書の自動消去：1、2、3、6、12 時 間、1、2、3*、7、30 日、なし URL 送信設定 プリンタドライバから保存時のプリン ト：ON/OFF* 初期化	○ ^{*7}	コピー / ボックス ガイド
読み込み設定の標準モード	登録、初期化	×	
ファクスボックスの設定／登録 ^{*1}	ボックス No.：00～49 名称：半角 24 文字、全角 12 文字以内 暗証番号：最大 7 桁 URL 送信設定 初期化	○ ^{*7}	

* マークは工場出荷時の設定です。

*1：オプション装着時に表示される項目です。

*7：暗証番号が設定されているボックス、初期化：×

■ 宛先表仕様設定 *1

初期設定／登録項目	設定項目	機器情報 配信項目	参照ページ
宛先の登録	新規宛先の登録、詳細／編集、消去	○	送信／ファクス ガイド
宛先表の名称登録	名称登録	○	
ワンタッチボタンの登録	登録／編集、消去	○	

*1 : オプション装着時に表示される項目です。

- 重要**
- SDLやSSOのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが一般ユーザの場合はシステム管理設定モードを操作することができません。
 - SDLやSSOのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが管理者の場合はシステム管理設定モードを操作することができます（システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力するダイアログボックスが表示されたときは、該当項目を入力してください）。

- メモ**
- 機器情報配信項目の表示は以下のとおりです。機器情報配信機能については、「機器情報配信の設定をする（機器情報配信の設定）」（→ P.6-35）を参照してください。
- ・ ○ : 機器情報配信対象
 - ・ × : 機器情報配信対象外

各機能に共通の仕様を設定する (共通仕様設定)

コピーやボックス、送信、ファクスなどの各機能に共通する仕様の設定をします。

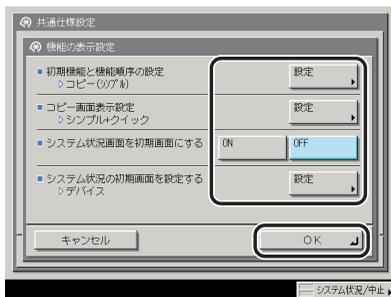
初期画面を設定する

電源を入れたときやオートクリア後に表示する画面の設定をします。

4

使いかたにあわせた仕様の設定

- 1 **Ⓜ** (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [機能の表示設定] を押します。
- 2 各項目を設定したあと、[OK] を押します。



● 初期機能と機能順序の設定をする場合

- [設定] を押します。
- 機能切替キーを選択します。

選択した機能の画面を初期画面に設定する場合は、[初期機能にする] を押します。



メモ

[MEAP] を初期画面に設定した場合は、多少、起動に時間がかかります。また、MEAPアプリケーションが1つもインストールされていない場合は、それを表すメッセージが表示されます。

- [上へ] または [下へ] を押したあと、[次へ] を押します。



機能切替キーは次のようにグループ分けされます。

グループ A： 1/2 の画面に機能切替キーが表示されます。

グループ B： 2/2 の画面に機能切替キーが表示されます。

- 機能グループを選択します。
- [上へ] または [下へ] を押したあと、[OK] を押します。



● コピー画面表示設定をする場合

- [設定] を押します。
- [シンプルのみ]、[シンプル+クイック] または [クイックのみ] を選択したあと、[OK] を押します。



[シンプル+クイック] を選択した場合は、シンプル画面が優先表示されます。

● システム状況画面を初期画面にする場合

- [ON] を押します。

● システム状況の初期画面を設定する場合

- [設定] を押します。
- 状況の種類を選択したあと、状況／履歴を選択します。



- [OK] を押します。

オートクリア後の表示画面を設定する

オートクリアしたあとに、初期機能で設定した機能の画面を表示させるかどうかを設定します。



メモ

オートクリアするまでの時間は、変更することができます。(→ オートクリアタイムの設定をする：P.4-56)

1 ④(初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [オートクリア後の機能] を押します。

2 [復帰する] または [復帰しない] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[復帰する]： オートクリア後、共通仕様設定（初期設定／登録）の「機能の表示設定」で設定した機能の画面を表示させます。例えば、「機能の表示設定」で「システム状況画面」を指定した場合、ボックス機能を設定中の画面などでオートクリアするとシステム状況画面に戻ります。

[復帰しない]： オートクリア前の機能の画面に戻ります。例えば、「機能の表示設定」で「システム状況画面」を指定した場合でも、ボックス機能を設定中の画面などでオートクリアするとボックス選択画面に戻ります。

ブザーを設定する

次に示す 5 種類のブザーを必要に応じて ON/OFF できます。それぞれのブザーは次の状態で鳴ります。

- 入力音： 操作部上のキーやタッチパネルディスプレイ上のキーを押したとき
- 入力無効音： 操作部やタッチパネルディスプレイ上の無効なキーを押したとき、または入力制限文字数を超えたとき
- 補給予告音： トナーが残り少なくなったとき
- 警告音： 機械にトラブル（紙づまり、誤操作など）が発生したとき
- ジョブ終了音： ジョブが終了（排紙終了、ステイプル終了、ファクス出力終了など）したとき

- 1 **Ⓞ**(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ブザーの ON/OFF] を押します。
- 2 各ブザーの [ON] または [OFF] をそれぞれ選択したあと、[OK] を押します。

用紙残量を表示するかどうか設定する

カセットにセットされている用紙の残量が、残り少なくなったことを示すメッセージを表示するかどうかを設定します。

- 1 **Ⓞ**(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [用紙残量メッセージ表示] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

自動カラー選択で白黒判定されたときの文字／写真優先を設定する

自動カラー選択で原稿が白黒と認識された場合に、画質を文字優先にするか写真優先にするかを設定します。

細かい文字やうすい文字をよりくっきりプリントまたはコピーしたいときは、文字を優先するように調整します。また、写真をより美しくプリントまたはコピーしたいときは、写真を優先するように調整します。

1  (初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [自動カラー選択白黒時の文字／写真優先] を押します。

2 [文字優先] または [写真優先] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[文字優先]：文字原稿に適した画質で処理を行います。

[写真優先]：写真原稿に適した画質で処理を行います。

 **メモ** 「文字優先」を選択すると、カラーモードで白黒判定された場合、コピーの画質調整で「文字／写真／地図」を選択していても、「文字」と同じ処理を行います。

カラー選択時の画質を自動調整する（カラーモード選択時の原稿画質自動切替）

選択したカラーモードに対応する画質調整が自動選択されるかどうかを設定します。カラーモードによって最適な画質を使用することができます。

 **メモ** 送信機能の読込設定画面からカラーモードを選択した場合は、自動的に画質が選択されることはありません。

1  (初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [カラーモード選択時の原稿画質自動切替] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

[ON] に設定した場合は、カラーモードによって次のように画質が決まります。

- 自動カラー選択：[文字 / 写真 / 地図]
- フルカラー：[文字 / 写真 / 地図]
- 白黒：[文字]

[OFF] に設定した場合は、カラーモードによって自動的に画質が選択されることはありません。

ワンタッチ白黒モードキーの表示を設定する

コピー基本画面やボックスの読込画面、プリント画面で表示されるカラー選択ドロップダウンリストの横に、ワンタッチで白黒モードを設定できるキーを表示するかどうかを設定します。

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ワンタッチ白黒モードキーの表示] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

インチ入力をするかどうか設定する

数値入力を行うモードの画面でインチ入力キーを表示させることができます。

 **メモ** インチ入力を「ON」に設定した場合でも、[mm 入力へ] を押すと数値を mm 単位で入力することができます。

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [インチ入力] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

カセットオート選択の ON/OFF を設定する

自動用紙選択とオートカセットチェンジの対象となる給紙箇所を各段ごとに設定することができます。また、この設定はそれぞれの機能ごとに設定できます。機能ごとに給紙箇所を使い分ける場合に設定してください。



「ON」に設定した給紙箇所は、次の機能の選択時に対象となります。

- ・自動用紙選択： プリント時に自動的に適切な用紙（給紙箇所）を選ぶ機能です。
- ・オートカセットチェンジ： 連続プリント中に給紙箇所の用紙がなくなった場合に、同じサイズの内紙がセットされている他の給紙箇所から自動的に給紙する機能です。

4

使いかたにあわせた仕様の設定

1 Ⓢ(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [カセットオート選択の ON/OFF] を押します。

2 [コピー]、[プリンタ]、[ボックス]、[受信 / ファクス] または [その他] を選択します。

[受信 / ファクス] は、オプションの Send 拡張キットを有効にし、さらに FAX ボードを装着している場合に表示されます。

Send 拡張キットを有効にして FAX ボードを装着していない場合は、[受信] と表示されます。FAX ボードを装着して Send 拡張キットを有効にしていない場合は、[ファクス] と表示されます。

[その他] は、レポート出力時に対象となるカセットの設定を行います。

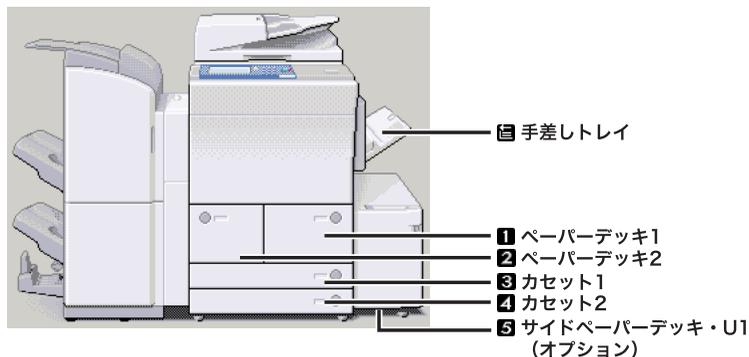
3 各給紙箇所について [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[ON]： 給紙箇所をオート選択の対象にします。

[OFF]： 給紙箇所をオート選択の対象にしません。

給紙箇所の各番号はそれぞれ以下の場所を示しています。



サドルフィニッシャー・AC2+パンチャーユニット・L1+サイドペーパーデッキ・U1 装着時

メモ

- 手差し以外の給紙箇所をすべて「OFF」に設定することはできません。
- [コピー] を選択した場合は、用紙の種類を考慮するかどうか設定することができます。
 - ・ [用紙の種類を考慮する] を「ON」にした場合は、プリント中に用紙がなくなったときに、サイズが同じであっても登録されている用紙の種類が異なる場合は、他の給紙箇所から給紙を行いません。登録されている用紙の種類については、「給紙箇所の用紙種類を登録する」(→ P.4-32) を参照してください。
 - ・ [用紙の種類を考慮する] を「OFF」にした場合は、プリント中に給紙箇所の用紙がなくなったときに、サイズが同じ用紙がセットされていれば、他の給紙箇所から給紙を行います。
- 手順 2 で [プリンタ] を選択した場合、■ は表示されません。

4

使いかたにあわせた仕様の設定

給紙箇所用の紙種類を登録する

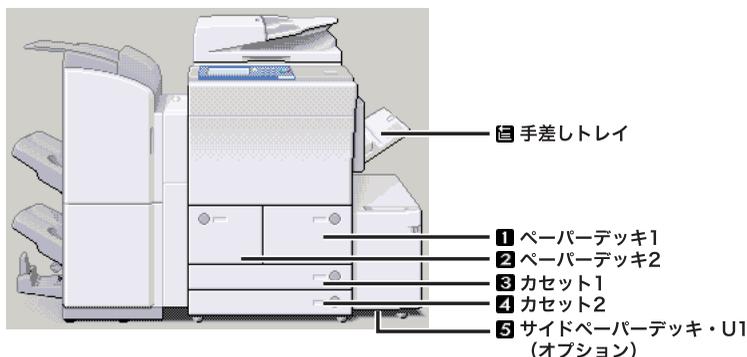
本製品にセットした用紙の種類を登録することができます。

- 重要** 用紙の種類は必ず正しく登録してください。特に厚紙など、特別な種類の用紙にプリントする場合は正しく登録されていないと画像不良が起こる可能性があり、定着器が汚れたり紙の巻きつきが発生したりして、担当サービスによる修理が必要になる場合もあります。

1 **Ⓢ**(初期設定/登録) → **[共通仕様設定]** → **[用紙種類の登録]** を押します。

2 用紙種類を登録する給紙箇所を選択したあと、**[設定]** を押します。

給紙箇所の各番号はそれぞれ以下の場所を示しています。



サドルフィニッシャー・AC2+ パンチャーユニット・L1+ サイドペーパーデッキ・U1 装着時

4

使いかたにあわせた仕様の設定

3 セットする用紙種類を選択したあと、[OK] を押します。

登録した用紙種類と同じ種類の用紙をセットしてください。

サイドペーパーデッキの給紙箇所を選択した場合は、[OHP フィルム] は表示されません。

- 重要** 用紙種類を OHP フィルムで登録したカセットに普通紙をセットすると紙づまりが起きます。OHP フィルムで登録したカセットには、必ず OHP フィルムをセットしてください。
- メモ**
 - 用紙種類の詳細については、「使用できる用紙について」(→ P.2-53) を参照してください。
 - [用紙種類の選択] の詳細設定のリストにない用紙の種類を登録することができます。用紙種類の登録については、「ユーザ定義の用紙種類を登録／編集する (用紙種類の管理設定)」(→ P.6-59) を参照してください。
 - ここで設定した用紙種類は、各機能の用紙選択時に、下の画面のように表示されます。



● インデックス紙を登録する場合

- [インデックス紙 1]、または [インデックス紙 2] を押します。



[インデックス紙] は、カセットを選択したときに表示されます。

- [-] [+] でインデックスの数を設定したあと、[閉じる] を押します。



設定できる分割数は 1 ～ 10 分割です。

メモ 工場出荷時は「5」分割に設定されています。

指定したモードが設定されます。

メモ ここで設定した用紙種類は、各機能の用紙選択時に、下の画面のように表示されます。



4

使いかたにあわせた仕様の設定

用紙種類選択の簡易／詳細設定画面のどちらを優先させるかを設定する（用紙選択画面の優先表示）

用紙サイズの選択画面から、用紙種類の選択画面を表示する際に、用紙種類の簡易設定画面を優先するか、詳細設定画面を優先するかを設定します。

1 ④(初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [用紙選択画面の優先表示] を押します。

2 [簡易] または [詳細] を選択したあと、[OK] を押します。

節電モードを変更する

操作パネルの④(節電)を押すと、節電モードが設定されます。節電モード時には定着器の温度を下げ、消費電力を少なくします。

ここでは、節電レベルを－10%、－25%、－50%、復帰時間なしのいずれかに設定します。

節電レベル	復帰時間
－10%	約70秒
－25%	約150秒
－50%	約360秒
復帰時間なし	約0秒

 **メモ** 節電モードが設定されていた時間や環境により、復帰時間には差があります。

1 ④(初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [節電モードの変更] を押します。

2 節電レベルを選択したあと、[OK] を押します。

[復帰時間なし] を押すと、約0秒でコピー／プリントできる状態になります。

スリープ時の消費電力を設定する

スリープ状態のときの消費電力を設定することができます。

-  **メモ**
- 初期設定／登録の BMLinkS を使用が「ON」に設定されている場合は、完全なスリープ状態に移行しません。
 - インストールされている MEAP アプリケーションの種類や状態によっては、完全なスリープ状態に移行しないことがあります。
 - タイマー指定のジョブ（タイマー送信に予約されたジョブ）がある場合には、そのジョブの動作まで 120 分以上の時間がなければ完全なスリープ状態に移行しません。
 - ネットワークを経由して、本製品の設定や状態などを閲覧または管理できるアプリケーションを利用している場合、完全なスリープ状態に移行しません。
 - 本製品を Windows のプリンタとして使用している場合、お使いの Windows で SNMP ステータスが有効な設定になっていると、完全なスリープ状態に移行しません。（コンピュータの電源 OFF 時を除く）
SNMP ステータスを無効にする方法は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 - 以下のいずれかの場合に本製品がスリープモードに入ると、消費電力を「少ない」に設定していても、「多い」に設定した場合と同じになります。各機能の設定については、「送信／ファクスガイド」、「ネットワークガイド」または「プリンタガイド」を参照してください。
 - ・動作中のジョブがある場合（転送ジョブ、レポートジョブ、受信ジョブ、転送終了通知を含む）
 - ・初期設定／登録で以下の設定をしている場合

レポート出力		
仕様設定	送信	通信管理レポートで「指定時刻プリント」が「ON」に設定されている ^{*1}
	ファクス	ファクス通信管理レポートで「指定時刻プリント」が「ON」に設定されている ^{*1}
システム管理設定		
通信管理設定	システムボックス設定	メモリ受信で有効時間の指定がある ^{*1}
ネットワーク設定	TCP/IP 設定	DHCP が「ON」に設定されている
	NetWare 設定	NetWare を使用が「ON」に設定されている
	AppleTalk 設定	AppleTalk を使用が「ON」に設定されている
	SMB 設定	SMB 印刷を使用がアクティブに設定されている
	電子メール、I ファクス設定	POP 発行間隔が 1 分以上に設定されている

送信/送信仕様設定		
ファクス設定	受信機能設定	電話機を接続している場合に設定する [受信モード選択] が [FAX/TEL 切替] に設定されている [リモート受信] が「ON」に設定されている

*1 動作まで 120 分以上の時間がある場合は、消費電力を「少ない」に設定したとおりの消費電力になります。

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [スリープ時の消費電力] を押します。

2 [少ない] または [多い] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[少ない]：スリープ時の消費電力は少なくなりますが、復帰時間は長くなります。

[多い]：スリープ時の消費電力は多くなりますが、復帰時間は短くなります。



[少ない] に設定したときは、操作部電源スイッチを押してからタッチパネルディスプレイが表示されるまで、10 秒以上かかる場合があります。

LTRR サイズ原稿と STMT サイズ原稿を区別する

LTRR サイズ原稿、または STMT サイズ原稿を原稿台ガラスにセットして読み込むときに、原稿サイズを手動で区別させるか、どちらかのサイズで動作させるかを設定することができます。

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [LTRR/STMT 原稿の区別] を押します。

2 [手動で区別する]、[LTRR で動作] または [STMT で動作] を選択したあと、[OK] を押します。

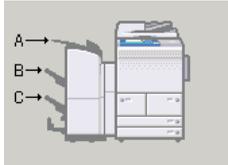
[手動で区別する]：原稿台ガラスに LTRR または STMT サイズの原稿をセットすると、読み込み時に原稿サイズを指定する画面が表示されます。

[LTRR で動作]：原稿台ガラスに LTRR または STMT サイズ原稿をセットすると、読み込み時に LTRR サイズで動作します。

[STMT で動作]：原稿台ガラスに LTRR または STMT サイズ原稿をセットすると、読み込み時に STMT サイズで動作します。

機能ごとの排紙トレイを設定する

用紙排先先の各トレイを、どの機能の排紙トレイとして使用するかを設定します。
オプションの装着状態により、トレイ A/B/C の示す排紙トレイは異なります。

オプション装着状態	工場出荷時の設定	トレイ A/B/C
フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2	トレイ A：受信／ファクス、その他 トレイ B：コピー、ボックス、プリンタ トレイ C：コピー、ボックス、プリンタ トレイ基本位置：トレイ B	

 **メモ** 1つのトレイを、複数の機能の排紙先として設定することもできます。

4

使いかたにあわせた仕様の設定

- 1  (初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [排紙トレイの設定] を押します。
- 2 トレイ A/B/C に排紙する機能とトレイの優先順位を選択したあと、[OK] を押します。



サドルフィニッシャー・AC2 装着時

[その他] は、レポートをプリントする場合に選択します。

[受信] は、オプションの Send 拡張キットを有効にしている場合に表示されます。

[ファクス] は、オプションの FAX ボードを装着している場合に表示されます。

オプションのマルチポート FAX ボードを装着している場合は、ファクスを 2 種類 (ファクス 1、ファクス 2) を設定することができます。

1 つのトレイを、1 つの機能のみの排紙先として設定する場合、その機能のみを選択します。

 **重要** 複数のトレイを同じ機能の排紙先として設定した場合は、トレイの積載制限に達すると、自動的に排紙可能なトレイに排紙先が移ります。ただし、ファクスや 1 ファクスの受信プリントは紛失を防ぐために排紙先を一箇所のみとすることをおすすめします。

 **メモ** 選択したトレイの順に排紙先の優先順位となります。優先順位は、「1」、「2」、「3」と表示されます。

● **トレイ基本位置を設定する場合（オプションのフィニッシャー・AC1 またはサドルフィニッシャー・AC2 装着時）**

- トレイ基本位置ドロップダウンリストを押して、ジョブ待機中の排紙トレイの基本位置を選択します。**

選択する項目

[トレイ A] : トレイ A が排紙部に近くなります。

[トレイ B] : トレイ B が排紙部に近くなります。

[指定しない] : トレイの基本位置が設定されません。プリント動作が終了した位置で排紙トレイがとまります。

プリント優先順位を設定する

プリントの優先順位を設定できます。優先順位を高く設定した機能のジョブが、現在実行中のジョブの次に優先してプリントされます。

 **メモ** 優先順位が高く設定されていても、現在出力中のジョブが終了するまでジョブはプリント開始されません。ただし、現在出力中のジョブが中断され待機中になった場合、待機中のジョブの設定によっては、優先順位が高く設定されている機能のジョブに限り、プリントが開始されることがあります。

1  **(初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [プリント優先順位] を押します。**

2 **プリント優先順位を選択したあと、[OK] を押します。**

[1] を選ぶと、最優先に設定されます。

[受信 / ファクス] は、オプションの Send 拡張キットを有効にし、さらに FAX ボードを装着している場合に表示されます。

Send 拡張キットを有効にして FAX ボードを装着していない場合は、[受信] と表示されます。FAX ボードを装着して Send 拡張キットを有効にしていない場合は、[ファクス] と表示されます。

[その他] は、レポートをプリントする場合に選択します。

MEAP アプリケーションからの PDL プリントはプリンタに、ローカルプリントはボックスに含まれます。

 **メモ** 複数の機能に対して同じ順位を設定したときは、プリント動作を早く始めた方からプリントします。

イメージ合成のフォームを登録する

イメージ合成のフォーム画像を登録すると、コピーモード、ボックスモードの「イメージ合成」機能を使用することができます。「イメージ合成」機能については、コピー／ボックスガイド「第4章 便利なコピー／ボックスの使いかた」を参照してください。

-  **重要** • フォーム画像は、最大 100 枚まで登録することができます。ただし、ハードディスクの使用状況によって、登録できる枚数は異なります。
- フォーム画像として読み込む原稿は、必ず原稿台ガラスにセットしてください。フィーダからの読み込みはできません。
-  **メモ** フォーム画像は、パソコンから登録することもできます。

イメージ合成のフォーム登録

4

使いかたにあわせた仕様の設定

1  (初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [イメージ合成のフォーム登録] を押します。

2 [登録] を押します。

3 フォーム画像として読み込む原稿サイズを選択したあと、[次へ] を押します。

-  **メモ** • はがきを選択する場合は、[はがき] を押します。
- インチサイズを選択する場合は、[インチサイズへ] を押します。

4 読み込むモードを設定します。

倍率を変更して読み込むときは、[倍率] を押します。(→ コピー／ボックスガイド「第3章 基本的なコピー／ボックスの使いかた」)

読み込み濃度を変更するときは、[D] [D] を押します。(→ コピー／ボックスガイド「第3章 基本的なコピー／ボックスの使いかた」)

画質を選択して読み込むときは、画質選択ドロップダウンリストから原稿タイプを選択します。(→ コピー／ボックスガイド「第3章 基本的なコピー／ボックスの使いかた」)

ネガポジ反転、シャープネス、画質調整を設定して読み込むときは、[応用モード] を押したあと、それぞれの設定をします。(→ コピー／ボックスガイド「第4章 便利なコピー／ボックスの使いかた」)

フォーム画像に名称をつけるときは、[フォーム名] を押します。

-  **メモ** • 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-22) を参照してください。
- フォーム名を入力していないときは、フォーム名には日付と時刻が表示されます。

- 5** 原稿台ガラスにフォーム画像として読み込む原稿をセットしたあと、
Ⓞ(スタート) を押します。

フォーム画像の詳細情報を確認する

- 1** Ⓞ(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [イメージ合成のフォーム登録] を押します。

- 2** 詳細情報を確認するフォーム画像を選択したあと、[詳細情報] を押します。

 **メモ** 登録したフォームの画像をチェックするときは、[チェックコピー] を押してフォームをプリントすることができます。(→ コピー/ボックスガイド「第 4 章 便利なコピー/ボックスの使いかた」)

- 3** 詳細情報を確認したあと、[閉じる] を押します。

フォーム画像の名称を変更するときは、[フォーム名を変更する] を押します。

 **メモ** 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-22) を参照してください。

フォーム画像の消去

- 1** Ⓞ(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [イメージ合成のフォーム登録] を押します。

- 2** 消去するフォーム画像を選択したあと、[消去] を押します。

 **メモ** 登録したフォームの画像をチェックするときは、[チェックコピー] を押してフォームをプリントすることができます。(→ コピー/ボックスガイド「第 4 章 便利なコピー/ボックスの使いかた」)

- 3** [はい] を押します。

イメージ合成したプリントの画質を設定する

イメージ合成をしてプリントするときに、画質を自動で設定するか原稿とフォーム画像のどちらかを優先するか設定できます。

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [イメージ合成時の画質優先] を押します。

2 [自動]、[原稿優先] または [フォーム優先] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[自動]: 原稿とフォーム画像の画質を自動で決定し、プリントします。

[原稿優先]: 原稿の画質を優先してプリントします。

[フォーム優先]: フォーム画像の画質を優先してプリントします。

ページ印字/スタンプの文字列を登録する

ページ印字/スタンプの文字列を登録することができます。コピーモード、ボックスモードの「ページ印字」、「スタンプ」、地紋印字の「スタンプ」機能を使用するとき、いつも同じ文字列を印字、またはスタンプする場合に便利です。「ページ印字」、「スタンプ」、地紋印字の「スタンプ」機能については、コピー/ボックスガイド「第4章 便利なコピー/ボックスの使いかた」を参照してください。

 **メモ** 文字列は、30件まで登録することができます

ページ印字/スタンプの文字列の登録

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ページ印字/スタンプの文字列登録] を押します。

2 [登録] を押して文字列を入力したあと、[OK] を押します。

 **メモ** 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-22) を参照してください。

3 [閉じる] を押します。

ページ印字/スタンプの文字列の編集

- 1 ④(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ページ印字/スタンプの文字列登録] を押します。
- 2 編集する文字列を選択したあと、[編集] を押します。
- 3 新しい文字列を入力したあと、[OK] を押します。



文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-22) を参照してください。

- 4 [閉じる] を押します。

ページ印字/スタンプの文字列の消去

- 1 ④(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ページ印字/スタンプの文字列登録] を押します。
- 2 消去する文字列を選択したあと、[消去] を押します。
- 3 [はい] を押します。
- 4 [閉じる] を押します。

手差し用紙の標準モードを登録する

手差し用紙の標準モードを登録しておくこと、カセットと同様に手差しトレイを利用することができます。手差しトレイにいつも同じサイズ、種類の用紙をセットする場合に便利です。ファクスをご使用の場合は、標準モードを登録しておくこと、手差し用紙を使用して受信することができます。

重要 用紙の種類は必ず正しく登録してください。特に厚紙など、特別な種類の用紙にプリントする場合は正しく登録されていないと画像不良が起こる可能性があり、定着器が汚れたり紙の巻きつきが発生したりして、担当サービスによる修理が必要になる場合もあります。

メモ コピー、ボックス、受信/ファクスで手差しトレイを給紙段としてお使いになる場合は、手差しトレイをカセットオート選択の対象にしておく必要があります。(→カセットオート選択の ON/OFF を設定する：P.4-30)

4

使いかたにあわせた仕様の設定

1 **Ⓢ**(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [手差し用紙の標準モード登録] を押します。

2 [ON] → [登録] を押します。

[OFF] を押した場合は、そのまま手順 5 へ進みます。

3 用紙サイズを選択します。

● A/B サイズの用紙を選択する場合

「A/B サイズ」から用紙を選択したあと、[次へ] を押します。

メモ インチサイズを選択する場合は、[インチサイズへ] を押します。

● 定形サイズ以外の用紙を選択する場合

[ユーザ設定サイズ] を押します。

画面上のテンキーを使用して、mm 単位で用紙サイズを入力します。

[X] を押したあと、数値を入力します。

[Y] を押したあと、数値を入力します。

[OK] を押します。

数値を入力するかわりに、用紙サイズが登録されているサイズキー（[S1] ～ [S5]）を選択することもできます。

メモ

- インチ単位で入力するときは、[インチ入力へ] を押します。共通仕様設定（初期設定／登録）でインチ入力の ON/OFF を「ON」に設定しておきます。（→ インチ入力をするかどうか設定する：P.4-29）
- インチ単位で入力する方法は、「インチ入力のしかたについて」（→ P.2-26）を参照してください。
- 間違っで入力したときは、[C] を押して正しい数値を入力します。
- サイズキー（[S1] ～ [S5]）を選択する場合は、あらかじめ用紙サイズをキーに登録しておく必要があります。用紙サイズの登録のしかたについては、「ユーザ設定サイズを登録／編集する」（→ P.4-46）を参照してください。

[次へ] を押します。

● 郵便はがきを選択する場合

[はがき] を押します。

郵便はがきの種類を選択したあと、[OK] を押します。

[OK] を押したあと、手順 5 に進みます。

4 用紙の種類を選択したあと、[OK] を押します。**メモ**

- A4 の用紙を設定したときのみ、OHP フィルムを選択することができます。
- 用紙の種類については、「使用できる用紙について」（→ P.2-53）を参照してください。
- [用紙種類の選択] の詳細設定のリストにない用紙の種類を登録することができます。用紙種類の登録については、「ユーザ定義の用紙種類を登録／編集する（用紙種類の管理設定）」（→ P.6-59）を参照してください。

5 [OK] を押します。

ユーザ設定サイズを登録／編集する

定形サイズ以外の用紙サイズを 5 個まで、名称をつけて登録／編集することができます。
よく使う用紙のサイズを登録しておくくと便利です。

 **メモ** いったん登録した用紙サイズは、主電源を OFF にしても消えません。

ユーザ設定サイズの登録／編集

1  (初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [ユーザ設定サイズの登録] を押します。

2 登録または編集するサイズキー ([S1] ~ [S5]) を選択したあと、[登録 / 編集] を押します。

 **メモ**

- すでに用紙サイズが登録されているサイズキーには、キーの右下の三角 (▲) が色つきで表示されます。
- すでに登録されているサイズキーを選択したときは、登録内容が表示されます。

3 画面上のテンキーを使用して、mm 単位で用紙サイズを入力します。

[X] を押したあと、数値を入力します。

[Y] を押したあと、数値を入力します。

[OK] を押します。

 **メモ**

- インチ単位で入力するときは、[インチ入力へ] を押します。共通仕様設定 (初期設定／登録) でインチ入力の ON/OFF を「ON」に設定しておきます。(→インチ入力をするかどうか設定する：P.4-29)
- インチ単位で入力する方法は、「インチ入力のしかたについて」(→P.2-26) を参照してください。
- 間違って入力したときは、[C] を押して正しい数値を入力します。

サイズキーの名称登録

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ユーザ設定サイズの登録] を押します。

2 名称を登録するサイズキー ([S1] ~ [S5]) を選択したあと、[名称登録] を押します。

-  **メモ**
- すでに用紙サイズが登録されているサイズキーには、キーの右下の三角 (▲) が色つきで表示されます。
 - すでに登録されているサイズキーを選択したときは、登録内容が表示されます。
 - ユーザ設定サイズの設定が「未登録」のキーにも名称は登録できます。

3 新しい名称を入力したあと、[OK] を押します。

-  **メモ**
- 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-22) を参照してください。
 - 文字を入力していない状態で [OK] を押すと、サイズキーの名称は S1 ~ S5 になります。

ユーザ設定サイズの消去

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ユーザ設定サイズの登録] を押します。

2 消去するサイズキーを選択したあと、[消去] を押します。

-  **重要** 消去する内容を確認してください。

-  **メモ**
- すでに用紙サイズが登録されているサイズキーには、キーの右下の三角 (▲) が色つきで表示されます。
 - すでに登録されているサイズキーを選択したときは、登録内容が表示されます。

3 [はい] を押します。

-  **メモ** サイズキーの名称は消去されません。名称を変更する場合は「サイズキーの名称登録」(→ P.4-47) を参照してください。

ローカルプリントの標準モードを設定する

プリント時の標準モードを設定することができます。ここで設定した内容は次の場合に適用されます。

- ボックス内にある文書を、設定を変えずにそのままプリントする場合
- ボックス内にある複数の文書を、文書結合してプリントする場合
- パソコンからボックスに記録した文書を、プリント時に設定した内容をリセットしてプリントする場合

1 **Ⓢ**(初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ローカルプリントの標準モード] を押します。

2 各モードを設定したあと、[閉じる] を押します。

表示される項目

- | | |
|---------------|----------------------------------|
| [用紙選択] : | 用紙を選択します。 |
| [プリント部数] : | 部数を設定します。部数は 1 ~ 9999 部まで設定できます。 |
| [仕上げ] : | 仕上げの設定を選択します。 |
| [両面プリント] : | 両面プリントをするかどうか設定します。 |
| [プリント後文書消去] : | プリントしたあとに文書を消去するかどうか設定します。 |
| [文書結合] : | 複数の文書を選択したときに文書結合をするかどうか設定します。 |

表示言語の切り替えをする

画面に表示される言語を日本語以外の言語に切り替えることができます。

-  **メモ**
- 表示言語の切替を「ON」に設定すると、入力できる文字が制限されます。すべての文字入力を行えるようにする場合は、「OFF」に設定してください。
 - 表示言語を切り替えても、一部切り替わらない表示もあります。

1  (初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [表示言語の切替] を押します。

2 [ON] を押して、表示言語を選択したあと、[OK] を押します。

表示言語の切り替えをしない場合は、[OFF] を押します。

[常に切替キーを表示] を押すと、[システム状況 / 中止] のとなりに、[表示言語の切替] へのショートカットを表示することができます。

-  **重要**
- 表示言語を切り替えた場合、一部の機能のメッセージなどが切り替えた言語で正しく表示されないことがあります。このような場合は、電源を入れなおしてください。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」(→ P.1-15) を参照してください。
 - ログインサービスに SDL を設定している場合、ユーザ情報の [表示名] に半角英数字以外で入力を行った場合は、本製品の表示言語を日本語にしておく必要があります。本製品の表示言語が日本語以外になっている場合、電子メールの受信側で送信元の欄に登録した表示名が表示されません。
 - ログインサービスに SSO を設定している場合、Active Directory の言語設定と本製品の表示言語の設定内容が異なると、電子メールの送信先に送信者のフルネームが表示されません。

画面色反転を設定する

「ON」に設定すると、タッチパネルディスプレイの色調を変更することができます。画面の明るさを調整しても表示が見づらい場合など、ご利用にあわせて設定してください。

1  (初期設定／登録) → [共通仕様設定] → [画面色反転] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[ON] : タッチパネルディスプレイの画面色を反転表示します。

[OFF] : タッチパネルディスプレイの画面色を通常表示します。

ジョブ間シフトを設定する

ジョブ間シフトとは、複数のジョブをプリントしたときにジョブごとに仕分けする機能です。複数のジョブをプリントする場合に、仕分けし忘れることを防ぐことができます。

 **メモ** ジョブ間シフトは、オプションのフィニッシャを装着している場合のみ表示されます。

- 1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ジョブ間シフト] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

4

使いかたにあわせた仕様の設定

ジョブ間仕切紙を設定する

プリントジョブの先頭ページに指定した給紙段の用紙を挿入します。複数のジョブをプリントする場合に、プリントした文書を仕分けすることができます。

 **重要** 製本または中とじを設定している場合は、ジョブ間仕切紙は挿入されません。

- 1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [ジョブ間仕切紙] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択します。
 - [ON] を選択した場合
 - [用紙選択] を押して仕切紙の給紙箇所を選択したあと、[OK] を押します。
 - [OK] を押します。
 - [OFF] を選択した場合
 - [OK] を押します。

部数間仕切紙を設定する

ソート、シフトソート、またはステイプルソートを設定しているとき、指定した部数を出力したあと、指定した給紙段の用紙を挿入します。プリントした文書を仕分けすることができます。

重要 回転ソート、ノンソート、グループ、グループソート、製本、中とじを設定している場合は、部数間仕切紙は挿入されません。

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [部数間仕切紙] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択します。

● [ON] を選択した場合

[用紙選択] を押して仕切紙の給紙箇所を選択したあと、[OK] を押します。

 ~  (テンキー) で、部数を入力します。

[OK] を押します。

● [OFF] を選択した場合

[OK] を押します。

プリント待ち時間表示を設定する

プリント待ち時間表示を「ON」にすると、ジョブに必要な時間（プリント待ち時間）を1分単位で表示できます。

メモ

- プリント待ち時間は、プリント中に表示される画面で「出力時間」として表示されます。本製品の状態により、誤差が生じることがあります。
- 待ち時間が1分以下の場合は、待ち時間表示を「ON」にしても表示されません。

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [プリント待ち時間表示] を押します。

2 [コピー]、[ボックス] および [その他] の [ON] または [OFF] をそれぞれ選択したあと、[OK] を押します。

プリントジョブ終了予測時間を表示する

ジョブ/プリント状況表示部に、出力部数と実行中のジョブが終了するまでの予測時間を表示できます。

- ✎ **メモ** ● ジョブ/プリント状況表示部に表示される終了予測時間は、本製品の状態により、誤差が生じることがあります。
- 終了予測時間が1分以下の場合、予測時間は表示されません。

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [部数 / 待ち時間の状況表示] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

原稿読み取り部の清掃表示を設定する

フィーダの原稿読み取り部分に付着するゴミなどを読み取ってしまい、コピーの出力紙にスジ状の汚れが出てしまう場合に、本製品が汚れを検知して原稿読み取り部の清掃を促すメッセージを表示することができます。このメッセージは、フィーダに原稿をセットしたときに表示されます。フィーダの原稿読み取り部の清掃を行う場合は、「フィーダを清掃する」(→P.7-39)の手順10を参照してください。

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [原稿読み取り部の清掃表示] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

4

使いかたにあわせた仕様の設定

リモートスキャン時のガンマ値を設定する

カラーで読み込んだ画像をパソコンに取り込む際のガンマ値を設定することができます。パソコン側に合ったガンマ値を設定することで、パソコン側のプリンタ出力時に適切な濃度でプリントすることができます。

 **メモ** リモートスキャン機能については、「Network ScanGear ユーザーズガイド」を参照してください。

- 1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [リモートスキャン時のガンマ値] を押します。
- 2 ガンマ値 ([r1.0]、[r1.4]、[r1.8]、[r2.2]) を選択したあと、[OK] を押します。

機能制限モードを設定する

フィニッシャのシフトやステイプルソートを設定してプリントするとき何度でも失敗する場合は、フィニッシャのシフトやステイプルソートの機能を一時的に使用しないように設定することができます。

また、サービスコール画面から一時的な処置として機能制限モードを設定した場合も、本設定を「OFF」にすることで機能制限を解除できます。ただし、エラーの原因が解決されていない場合は、再びサービスコールが表示されます。(→ サービスコール画面から機能制限モードを設定する：P.8-81)

 **メモ** 機能制限モードは、オプションのフィニッシャを装着している場合のみ表示されます。

- 1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [機能制限モード] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

 **メモ** 設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあと有効になります。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」(→ P.1-15) を参照してください。

トナー残量の警告表示を消去する

システム管理設定の [トナー残量警告表示の ON/OFF] を設定しているときに、表示された警告画面を消去します。

-  **メモ** トナー残量警告表示の消去は、システム管理設定の [トナー残量警告表示の ON/OFF] を「ON」に設定している場合に表示されます。(→トナー残量の警告画面を表示する(トナー残量警告表示の ON/OFF) : P.6-32)

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [トナー残量警告表示の消去] を押します。

2 [はい] を押します。

警告画面で表示されたトナーと異なるトナーが少なくなった場合は、再び表示されます。

共通仕様設定を初期化する

共通仕様設定の内容を、工場出荷時の設定に戻します。

-  **メモ**
- 共通仕様設定 (初期設定/登録) の表示言語の切替を「ON」に設定して言語を切り替えているときに共通仕様設定を初期化した場合、設定は「OFF」(工場出荷時)に戻りますが、選択した言語は戻りません。(→表示言語の切り替えをする : P.4-49)
 - 共通仕様設定 (初期設定/登録) の機能制限モードを「ON」に設定している場合、共通仕様設定を初期化しても設定は「OFF」(工場出荷時)に戻りません。
 - イメージ合成のフォーム登録で登録したフォーム画像は消去されません。

1  (初期設定/登録) → [共通仕様設定] → [共通仕様設定の初期化] を押します。

2 [はい] を押します。

4

使いかたにあわせた仕様の設定

各種タイマーを設定する (タイマー設定)

時刻の微調整やスリープ状態になるまでの時間の設定などを行います。

時刻の微調整をする

現在の時刻を微調整することができます。日付と時刻の設定については、「日付／時刻を設定する (日付／時刻設定)」(→ P.6-21) を参照してください。

1  (初期設定／登録) → [タイマー設定] → [時刻微調整] を押します。

2 [-] [+] を押して時刻を調整したあと、[OK] を押します。

 **メモ** 00:00 を 23:59、23:59 を 00:00 のように調整しても、日付は変わりません。

オートスリープタイムの設定をする

「オートスリープ」とは、プリント終了後、またはキー操作終了後、一定時間以上何の操作も行われなかった場合に、節電のために自動的に操作部電源スイッチを OFF にしてスリープ状態になる機能です。

 **メモ** スリープ状態の詳細については、「スリープ時の消費電力を設定する」(→ P.4-36) を参照してください。

1  (初期設定／登録) → [タイマー設定] → [オートスリープタイム] を押します。

2 [▼] [▲] を押してオートスリープタイムを設定したあと、[OK] を押します。

オートクリアタイムの設定をする

「オートクリア」とは、本製品の操作を終了してから、一定時間以上何の操作も行われなかった場合に、タッチパネルディスプレイの表示を自動的に基本画面（標準モード）に戻す機能です。

 **メモ** 「0」分に設定すると、オートクリアを行いません。

1  (初期設定/登録) → [タイマー設定] → [オートクリアタイム] を押します。

2 [-] [+] を押してオートクリアタイムを設定したあと、[OK] を押します。

静音モード移行時間の設定をする

本機は、プリント終了後、またはキー操作から一定時間以上経過したときに、本機内部の機器音を止めて静音モードに移行します。ここでは静音モードに移行するまでの時間を設定します。

 **メモ** 「0」分に設定すると、静音モードに移行しません。

1  (初期設定/登録) → [タイマー設定] → [静音モード移行時間] を押します。

2 [-] [+] を押してオートクリアタイムを設定したあと、[OK] を押します。

-  **メモ**
- 0～9 (1分間隔) の範囲で設定できます。
 - ～ (テンキー) で設定することもできます。

ウィークリータイマーの設定をする

自動的にスリープ状態にする時刻を曜日ごとに設定することができます。

 **メモ** オートスリープタイムとウィークリータイマーが同時に設定されている場合は、オートスリープタイムが優先されます。

1  (初期設定/登録) → [タイマー設定] → [ウィークリータイマーの設定] を押します。

2 曜日を選択して、 ~  (テンキー) で時刻を入力したあと、[OK] を押します。

時刻は「時」「分」を連続した4桁の数字で入力します。時刻の表示形式は24時間制です。

例： 7時5分 → 0705

23時18分 → 2318

入力を間違えたときは、再度4桁の数字を入力します。

 (クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。

低電力モード移行時間の設定をする

「低電力モード」とは、プリント終了後、またはキー操作終了後、一定時間以上何の操作も行われなかった場合に、定着器の電力をOFFにして、消費電力を少なくするモードです。

低電力モードに入っていると、タッチパネルディスプレイの表示が消え (節電) が点灯した状態になります。

1  (初期設定/登録) → [タイマー設定] → [低電力モード移行時間] を押します。

2 [▼] [▲] を押して低電力モード移行時間を設定したあと、[OK] を押します。

調整をする (調整/クリーニング)

プリント画像や中とし位置の微調整およびクリーニングをします。
自動階調補正やクリーニングは定期的に行ってください。

ズーム微調整をする

コピーやボックス内文書のプリントをしたときに、原稿の画像の大きさとプリント画像の大きさにわずかな違いが生じた場合、この誤差を減らすためプリント時の画像サイズを微調整することができます。

1  (初期設定/登録) → [調整/クリーニング] → [ズーム微調整] を押します。

2 [-] [+] を押して % を調整したあと、[OK] を押します。

X (左右方向) または Y (上下方向) のどちらか一方のみ調整したい場合は、その方向のみ調整します。

中とじユニットの針の頭出しをする

中とじユニットの針づまり処理終了後または、中とじユニットへの針補給後、中とじユニットに用紙を送り数回ステイブルして、針の頭出しを行います。

⚠ 注意 OHP フィルムがカセットにセットされている場合は、セットされているカセットを少し引き出し、給紙されないようにしてください。針の頭出し用に OHP フィルムが給紙されると、機械が故障する恐れがあります。

- 👉 重要** • 頭出しを行うときは、A3 または B4、A4R の用紙をセットしてください。
- 頭出しを行うときは、製本トレイに排紙されている用紙を取り除いてください。

- ✎メモ** • 頭出しは、オプションのサドルフィニッシャー・AC2 を装着している場合のみ設定できません。
- 頭出しに必要な用紙は、自動的に給紙されます。

1 **Ⓞ**(初期設定/登録) → [調整/クリーニング] → [中とじ針頭出し] を押します。

2 [開始] を押します。

中とじ位置を変更する

オプションのサドルフィニッシャー・AC2 の中とじ機能を使用していて、折りの位置と用紙の中心にわずかな違いが生じた場合、この誤差を減らすために微調整をすることができます。

- ✎メモ** 中とじ位置の変更は、オプションのサドルフィニッシャー・AC2 を装着している場合のみ設定できます。

1 **Ⓞ**(初期設定/登録) → [調整/クリーニング] → [中とじ位置変更] を押します。

2 中とじ位置を変更する用紙サイズを選択します。

- ✎メモ** 日本国内で使用されない用紙サイズも表示されます。

3 [▼] [▲] を押して中とじ位置を調整したあと、[OK] を押します。

階調や濃度を自動補正する

特別な設定を行わずにコピーしたときに、コピーの階調や濃度、色味が原稿と異なるような場合、正しい画像が得られるように調整する機能です。

自動階調補正には、次の2種類があります。

■ クイック補正

画像の階調、濃度および色味を簡易に補正します。内部的に補正するため、テストプリントを出力しません。

■ フル補正

テストプリントを出力して原稿台ガラスにセットするだけで、画像の階調、濃度および色味を自動的に補正します。クイック補正よりも精密に補正されます。

重要 自動階調補正をする場合は、フル補正をお使いになることをおすすめします。クイック補正は、次回フル補正をするまでの簡易補正としてお使いください。

クイック補正をする

1 **Ⓢ**(初期設定/登録) → [調整/クリーニング] → [自動階調補正] を押します。

2 補正する用紙の種類を選択したあと、[クイック補正] を押します。

重要 本製品では、用紙種類に応じてトナーやプリントスピードを調節しています。確実に調整をするために、正しい用紙種類を選択してください。

3 [開始] を押します。

フル補正をする

- 重要**
- テストプリントは正しくセットしてください。テストプリントが正しく読み込まれないと、階調、濃度および色味の補正が正常に行われません。
 - テストプリントは3枚出力します。指定する用紙種類のA3、A4、LTRまたは11" × 17"の普通紙または厚紙が3枚以上セットされていることを確認してから操作してください。
 - 厚紙を使用して自動階調補正がうまくいかないときは、普通紙でテストプリントを行ってください。

メモ テストプリントとして出力する用紙はコピーカウントされません。

1 **Ⓢ**(初期設定/登録) → [調整/クリーニング] → [自動階調補正] を押します。

2 補正する用紙の種類を選択したあと、[フル補正] を押します。

**重要**

本製品では、用紙種類に応じてトナーやプリントスピードを調節しています。確実に調整をするために、正しい用紙種類を選択してください。

3 [テストプリント 1] を押します。

**メモ**

テストプリントに使用できる用紙がない場合、用紙の補給を促すメッセージが表示されず。所定の用紙を補給してください。

4 出力されたテストプリント 1 を原稿台ガラスにセットします。

ブラックの帯のあるほうを原稿台ガラスの左奥側にある矢印にあわせて、プリント画像面を下向きにセットします。

5 [読込開始] を押します。

6 原稿台からテストプリント 1 を取り除き、[テストプリント 2] を押します。

7 出力されたテストプリント 2 を原稿台ガラスにセットします。

ブラックの帯のあるほうを原稿台ガラスの左奥側にある矢印にあわせて、プリント画像面を下向きにセットします。

8 [読込開始] を押します。

9 原稿台からテストプリント 2 を取り除き、[テストプリント 3] を押します。

10 出力されたテストプリント 3 を原稿台ガラスにセットします。

ブラックの帯のある方を原稿台ガラスの左奥側にある矢印にあわせて、プリント画像面を下向きにしてセットします。

11 [読込開始] を押します。

12 原稿台からテストプリント 3 を取り除きます。

クリープ（ずれ）補正量の調整

用紙の種類ごとに、製本された状態で最も外側の用紙と最も内側の用紙の間のずれ幅を調整することができます。

1  (初期設定/登録) → [調整 / クリーニング] → [クリープ（ずれ）補正量の調整] を押します。

2 用紙の種類を選択したあと、[調整] を押します。

3 [▼] [▲] で補正量を調整したあと、[OK] を押します。



メモ

インチ単位で入力するときは、[インチ入力へ] を押します。共通仕様設定（初期設定/登録）でインチ入力の ON/OFF を「ON」に設定しておきます。（→インチ入力をするかどうか設定する：P.4-29）

濃度を補正する

濃度調節目盛りを中央に設定した状態でプリントしたときに、原稿画像とプリント画像の濃度に違いが生じた場合は、濃度補正で濃度の違いを補正することができます。

1  (初期設定/登録) → [調整 / クリーニング] → [濃度補正] を押します。

2 [うすく] [こく] を押して濃度を調整したあと、[OK] を押します。

<白黒送信>、<カラー送信>は、オプションの Send 拡張キットを有効にし、さらに FAX ボードを装着している場合、または Send 拡張キットを有効にして FAX ボードを装着していない場合に表示されます。FAX ボードを装着して Send 拡張キットを有効にしていない場合は、<送信>と表示されます。

文字／背景のコントラスト調整

地紋印字を設定してコピー／プリントする場合の文字と背景のコントラスト値を設定することができます。「地紋印字」機能については、コピー／ボックスガイド「第4章 便利なコピー／ボックスの使いかた」を参照してください。

重要 サンプルプリントを行うときは、A3、A4、LTR または 11" × 17" の普通紙または厚紙をセットしてください。

メモ 文字／背景のコントラスト調整は、オプションの地紋拡張キットを有効にしている場合のみ表示されます。

1 ④(初期設定／登録) → [調整／クリーニング] → [文字／背景のコントラスト調整] を押します。

文字／背景のコントラスト調整は、コピー、ボックス機能の応用モードにある [地紋印字] から設定することもできます。

2 調整する色を選択したあと、[サンプルプリント] → [はい] を押します。



相対コントラスト値の設定範囲は、基準値の設定により次のようになります。

基準値	相対コントラスト値
0	0 ~ +7
4	-4 ~ +7
8 ~ 56	-7 ~ +7
60	-7 ~ +4
64	-7 ~ 0

- メモ**
- 背景と文字（潜像）のコントラストを調整する場合に、相対コントラスト値を設定します。
 - サンプルプリントで枠囲みされた部分が、現在設定されている相対コントラスト値での出力サンプルです。

● サンプルプリントのプリント設定をする場合

- [プリント設定] を押して各項目を設定したあと、[OK] を押します。



背景模様、印字サイズ、文字列の向きや白抜きの設定ができます。

3 サンプルプリントの印刷結果から、文字が目立ちにくいイメージの相対コントラスト値を [▼] [▲] を押して設定します。

● 文字が目立ちにくいイメージが見つからない場合

- [基準値の設定] → [サンプルプリント] → [はい] を押します。



- 基準値サンプルプリントの印刷結果から、外側の四角と内側の四角の濃度が最も均一な地紋イメージの数値を [-] [+] を押して設定します。
- [OK] を押したあと、手順 2 に戻ります。

 **メモ** 相対コントラストのサンプルプリントの調整範囲を変更するときに、[基準値の設定] を設定します。

● 文字（潜像部）の濃度調整をする場合

- [潜像部の濃度] を押したあと、[-] [+] を押して設定します。
- [OK] を押したあと、手順 2 に戻ります。

 **メモ** 文字（潜像）の濃度を調整するときに、[潜像部の濃度] を設定します。

4 [OK] を押します。

文字と背景のコントラストが均一な地紋は、地紋印字の効果が高くなりますが、コピー後の文字の浮き上がりが弱くなります。コントラスト調整後、地紋印字した原稿をコピーして、文字の浮き上がり方を確認することをおすすめします。



「文字 / 背景のコントラスト調整」で変更した設定内容は、次に設定を変更するまで保持されます。

プリントが汚れるときは（ローラのクリーニング）

プリントした用紙にスジがつくときは、機械内部のローラが汚れている可能性があります。このようなときはローラのクリーニングをします。

1 (初期設定 / 登録) → [調整 / クリーニング] → [ローラのクリーニング] を押します。

2 [開始] を押します。

ローラのクリーニングが終わったら、プリントを再度行ってください。

プリントが汚れるときは（ワイヤのクリーニング）

プリントした用紙に汚れがつくときは、必要に応じて帯電電のワイヤのクリーニングをします。



- ワイヤのクリーニングは約 35 秒間かかります。
- プリント中は、ワイヤのクリーニングはできません。

1 (初期設定 / 登録) → [調整 / クリーニング] → [ワイヤのクリーニング] を押します。

2 [開始] を押します。

クリーニングをしない場合は、[キャンセル] を押します。

ワイヤのクリーニングが開始された画面が表示されます。

クリーニングが終了すると、「ワイヤのクリーニング終了しました。」というメッセージが約 2 秒間表示されます。

調整/クリーニングの画面に戻ります。

ワイヤのクリーニングが終わったら、プリントを再度行ってください。

フィーダで読み取った原稿が汚れるときは（フィーダのクリーニング）

フィーダを使用して原稿を読み取ったときに、ローラについた鉛筆の粉などのために原稿が汚れ、原稿にないものがプリントされていることがあります。この場合は、フィーダにセットした白紙原稿（用紙）を使用して原稿給紙ローラの汚れをクリーニングします。

 **メモ** フィーダのクリーニングは約 15 秒間かかります。

1  (初期設定/登録) → [調整 / キーニング] → [フィーダのクリーニング] を押します。

2 フィーダに白紙を 10 枚くらいセットしたあと、[開始] を押します。

用紙はよくさばいてください。

A4 サイズ (60 ~ 80 g/m²) の用紙をセットしてください。

フィーダのクリーニングが終わったら、読み込みを再度行ってください。

 **メモ** フィーダのクリーニングを中止する場合は、[中止] を押します。

いろいろなジョブの操作と デバイス状況の確認

システムの状況を確認したり、プリントジョブの確認や変更などのしかたについて説明しています。

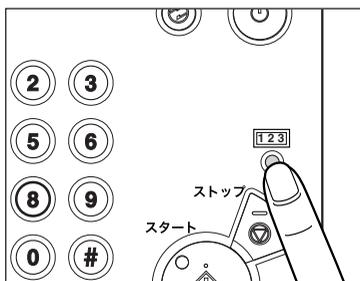
カウンタやコントローラのバージョンを確認する	5-2
ジョブ状況やデバイス状況を確認する	5-4
システム状況画面からの操作	5-5
プリント画面からの操作	5-7
ジョブの詳細情報を確認する	5-9
コピー、プリントジョブの詳細情報を確認する	5-9
コピー、プリントジョブ履歴をプリントする	5-11
優先プリントする	5-13
システム状況画面からの操作	5-13
プリント画面からの操作	5-14

カウンタやコントローラのバージョンなどを確認する

コピーやプリントのカウンタと、MEAP アプリケーションごとのコピーやプリントのカウンタを確認することができます。

また、コントローラのバージョンなどを確認することもできます。

1 操作パネルの○(カウンタ確認)を押します。



タッチパネルディスプレイにカウンタが表示されます。

2 送信/ファクスカウンタ、MEAP カウンタ、コントローラのバージョンを確認する場合は、次の操作を行います。

● 送信/ファクスカウンタを確認する場合

- [送信 / ファクスカウンタ確認] を押します。

[送信 / ファクスカウンタ確認] は、オプションの Send 拡張キットを有効にし、さらにFAXボードを装着している場合に表示されます。Send 拡張キットを有効にしてFAXボードを装着していない場合は、[送信カウンタ確認] と表示されます。FAX ボードを装着して Send 拡張キットを有効にしている場合は、[ファクスカウンタ確認] と表示されます。

- [閉じる] を押します。

● MEAP カウンタを確認する場合

- [MEAP カウンタ確認] を押します。
- 表示したいアプリケーションをアプリケーション名ドロップダウンリストから選択します。

アプリケーションのバージョン情報、MEAP システムのバージョン情報などを確認する場合は、[バージョン情報] を押します。

- [閉じる] を押します。

● コントローラのバージョンを確認する場合

- [デバイス構成確認] を押します。
- [閉じる] を押します。

3 [閉じる] を押します。

ジョブ状況やデバイス状況を確認する

[システム状況 / 中止] を押すとシステム状況画面が表示され、コピージョブ、送信ジョブ、ファクスジョブ、プリントジョブ、受信ジョブの状況を確認したり、変更することができます。

例えば、ジョブのプリント優先順位の変更、ジョブの中止、ジョブに関する詳細の確認などを行うことができます。

それぞれのジョブタイプごとに、ジョブリストを表示することにより、現在処理中または待機中のジョブを確認でき、履歴リストを表示することにより、処理済みまたは処理中のジョブを確認できます。また、ファクスの送信と受信に関するレポートをシステム状況画面からプリントすることもできます。

プリントジョブの状況確認や変更は、[プリント] を押して表示されるプリント画面から行うこともできます。

システム状況画面では、本製品の情報をすばやく入手することもできます。カセットやオプションのサイドペーパーデッキにセットされている用紙の残量や本製品のメモリ残量、エラーメッセージなども確認できます。

-  **メモ**
- 部門別 ID 管理や SSO・SDL などのログインサービスを設定している場合、システム管理設定（初期設定 / 登録）の「認証前のジョブ状況の表示」を「OFF」にすることで、ログイン前に [システム状況 / 中止] を押してもデバイス状況画面しか表示されないようにすることができます。（→ システム状況 / 中止の使用制限を設定する（認証前のジョブ状況の表示）：P.6-24）
 - システム管理設定（初期設定 / 登録）のジョブ履歴の表示を「OFF」に設定している場合、下記の項目は表示 / 選択できません。
 - ・システム状況画面：
受信の（受信ジョブ履歴）[詳細情報]、（受信ジョブ履歴）[リストプリント]
コピー / 送信 / ファクス / プrintの [ジョブ履歴]
 - ・プリント画面：
[ジョブ履歴]
 - プリント機能と連携した場合の [プリント] の操作については、「プリンタガイド」を参照してください。
 - ジョブの確認 / 変更は、リモート UI でも行うことができます。（→ リモート UI ガイド「第 2 章 いろいろな機能の確認 / 管理」）
 - システム状況画面の下に並んでいるキーには、それぞれ緑色と赤色のランプがついています。本製品がジョブを処理している間は、各キーに緑色のランプが点滅し、ジョブ待機中は点灯します。赤色のランプはエラーが発生した場合に点滅します。エラーが発生した場合の対処方法については、「第 8 章 困ったときには」を参照してください。
 - 送信機能を使用するには、オプションの Send 拡張キットを有効にする必要があります。
 - ファクスを使用するには、オプションの FAX ボードが必要です。

システム状況画面からの操作

1 [システム状況 / 中止] を押します。



2 システム状況画面の下に並んでいるキーから、確認または変更するジョブタイプを選択するか、[デバイス] を押して本製品の現在の状況を表示させます。

- ジョブタイプ（コピー、送信、ファクス、プリント、受信）を選択した場合
- 現在処理中または待機中のジョブを確認するには、[ジョブ状況] を押します。



ここでは、[プリント] を選択しています。

[ファクス] を選択した場合は、[送信ジョブ状況] または [受信ジョブ状況] を押します。

[受信] を選択した場合は、[転送ジョブ状況] を押します。



送信、ファクス、受信ジョブの状況確認の詳細については、送信／ファクスガイド「第8章 送信／受信状況の確認と変更」を参照してください。

5

いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認

- すでに処理済みのジョブを確認するには、[ジョブ履歴] を押します。



プリントのジョブ履歴は、ジョブの種類ごとに保存されています。種類の選択ドロップダウンリストを押したあと、確認するジョブの種類を選択します。

[受信] を選択した場合は、受信ジョブ履歴が最初から表示されています。



メモ

- 受信ジョブは、ジョブ履歴のみ確認できます。
- 画面に表示される以下のアイコンはそれぞれ次の状況を示しています。

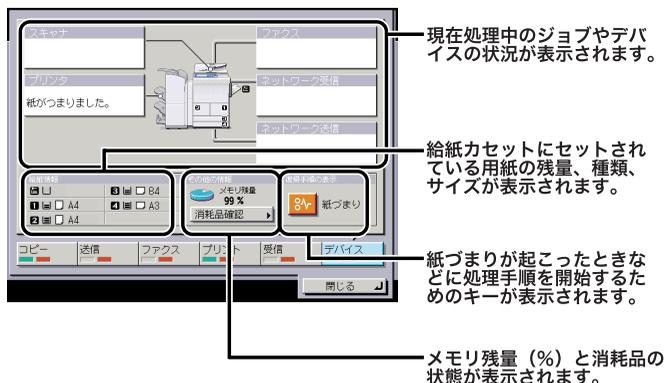
アイコン (ジョブ状況)	説明
	実行中
	待機中
	エラー
	中止中
	一時停止中
	セキュア文書
	送信終了

アイコン (ジョブの種類)	説明
	コピージョブ
	送信/ファクスジョブ
	ボックスジョブ
	プリンタジョブ
	レポートジョブ

- ジョブ履歴には、コピー/ファクス/プリントは 100 件、送信/受信はあわせて 100 件のジョブが表示されます。

● デバイスを選択した場合

- 本製品の状況を確認します。



- トナーやステイプル針の残量を確認するには、[消耗品確認] を押します。
- 確認が終了したら、[閉じる] を押します。

メモ 残量の表示はおおよその目安です。

3 [閉じる] を押します。

プリント画面からの操作

1 [プリント] を押します。



2 ジョブ状況やジョブ履歴を確認します。

- 現在処理中または待機中のジョブを確認するには、[ジョブ状況] を押します。



- メモ** ログインサービスを利用している場合は、[マイジョブ状況] が表示されます。現在ログインしているユーザのジョブのみ表示されます。

- すでに処理済みのジョブを確認するには、[ジョブ履歴] を押します。



- 種類の選択ドロップダウンリストを押したあと、確認するジョブの種類を選択します。

- メモ** 画面に表示されるアイコンは「システム状況画面からの操作」(→ P.5-5) を参照してください。

ジョブの詳細情報を確認する

ジョブの受付日時やページ数などの、詳細情報を確認します。

- メモ**
- システム管理設定（初期設定／登録）のジョブ履歴の表示を「OFF」に設定している場合、下記の項目は表示／選択できません。
 - ・ システム状況画面：
受信の（受信ジョブ履歴）[詳細情報]、（受信ジョブ履歴）[リストプリント]
コピー／送信／ファクス／プリントの [ジョブ履歴]
 - ・ プrint画面：
[ジョブ履歴]
 - プリント機能と連携した場合の [プリント] の操作については、「プリンタガイド」を参照してください。
 - プrint画面からの操作は、Printジョブのみ対象となります。

コピー、Printジョブの詳細情報を確認する

システム状況画面からの操作

- 1 [システム状況 / 中止] を押したあと、ジョブタイプ（[コピー]、[Print]）を選択します。



- 重要** MEAPアプリケーションの場合は、コピージョブの場合も [Print] を選択してください。

- 2 [ジョブ状況] または [ジョブ履歴] を押して、詳細を表示するジョブを選択したあと、[詳細情報] を押します。



- 3 詳細情報を確認したあと、基本画面に戻るまで [閉じる] を押していきます。

プリント画面からの操作

- 1 [プリント] を押します。

この手順の画面を確認する場合は、「プリント画面からの操作」(→P.5-7)の手順1を参照してください。

- 2 [ジョブ状況] または [ジョブ履歴] を押して、詳細を表示するジョブを選択したあと、[詳細情報] を押します。



- 3 詳細情報を確認したあと、[閉じる] を押します。

コピー、プリントジョブ履歴をプリントする

システム状況画面からの操作

- 1 [システム状況 / 中止] を押したあと、ジョブタイプ ([コピー]、[プリント]) を選択します。

この手順の画面を確認する場合は、「システム状況画面からの操作」(→ P.5-9) の手順 1 を参照してください。

- 2 [ジョブ履歴] → [リストプリント] を押します。



[プリント] を選択した場合は、種類の選択ドロップダウンリストを押して、ジョブの種類を選択したあと、[リストプリント] を押します。

- メモ 共通仕様設定 (初期設定 / 登録) のカセットオート選択の ON/OFF の [その他] で「ON」に設定されている給紙箇所に、A3、B4、A4、A4R の普通紙、再生紙または色紙がセットされているときにリストをプリントできます。(→ カセットオート選択の ON/OFF を設定する : P.4-30)

- 3 [はい] を押します。

[コピー] の場合は「コピー履歴レポート」、[プリント] の場合は「プリント履歴レポート」がプリントされます。

- 4 [閉じる] を押します。

- メモ コピー履歴レポート、プリント履歴レポートの詳細については、「レポートサンプル」(→ P.9-2) を参照してください。

プリント画面からの操作

- 1 [プリント] → [ジョブ履歴] を押します。
- 2 種類の選択ドロップダウンリストを押して、ジョブの種類を選択したあと、[リストプリント] を押します。



- 3 [はい] を押します。

5

いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認

優先プリントする

優先プリントを行うと、現在プリント中のジョブの次にプリントを開始します。

システム状況画面からの操作

- 1 [システム状況 / 中止] → [プリント] を押します。
- 2 [ジョブ状況] を押して、優先プリントするジョブを選択したあと、[優先プリント] を押します。



- 3 [閉じる] を押します。

5

いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認

プリント画面からの操作

- 1 [プリント] → [ジョブ状況] を押します。
- 2 優先プリントするジョブを選択したあと、[優先プリント] を押します。



5

いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認

システム管理設定

運用を管理するシステム管理者などを対象とする設定について説明しています。

システム管理者情報を設定する（システム管理者情報の設定）.....	6-3
部門別 ID 管理を設定する（部門別 ID 管理）.....	6-5
部門 ID / 暗証番号 / 制限面数の登録.....	6-6
暗証番号と制限面数を変更する.....	6-9
部門を消去する.....	6-11
カウント情報の確認とプリントをする.....	6-12
カウント情報を消去する.....	6-13
ID 不定のプリントジョブ / スキャンジョブを受け付けるかどうかを設定する.....	6-14
部門 ID を入力しないときに白黒コピー / プリントのみ許可するかを設定する.....	6-15
リモート UI の設定をする（リモート UI の ON/OFF）.....	6-17
デバイス情報を設定する（デバイス情報の設定）.....	6-18
掲示板を消去する（掲示板の消去）.....	6-19
ネットワークの自動接続 / 切断を設定する（自動オンライン / オフライン移行）... ..	6-20
自動オンライン移行を設定する（自動オンライン移行）.....	6-20
自動オフライン移行を設定する（自動オフライン移行）.....	6-20
日付 / 時刻を設定する（日付 / 時刻設定）.....	6-21
管理キー OFF 時の機能制限を設定する（管理キー OFF 時の機能制限切替）.....	6-23
システム状況画面の制限を設定する（システム状況画面の制限）.....	6-24
システム状況 / 中止の使用制限を設定する（認証前のジョブ状況の表示）.....	6-24
プリント状況画面からのセキュアプリントの設定をする（プリント状況からセキュア プリントを許可）.....	6-25
システム状況画面のジョブ履歴の表示を設定する（ジョブ履歴の表示）.....	6-25
MEAP の設定をする（MEAP 設定）.....	6-27
HTTP サーバを使用するかを設定する（HTTP を使用）.....	6-27
インストールされているアプリケーションの情報を印刷する（システム情報のプリント）..	6-28
部数印字拡張を設定する（部数印字拡張の設定）.....	6-30
トナー残量の警告画面を表示する（トナー残量警告表示の ON/OFF）.....	6-32
ログインしている部門 ID / ユーザ名を表示する（ID / ユーザ名表示の ON/OFF）. .	6-33

6. システム管理設定

USB の設定をする (USB 設定).....	6-34
USB デバイスを使用するかどうか設定する (USB デバイスを使用).....	6-34
USB ホストを使用するかどうか設定する (USB ホストを使用).....	6-34
機器情報配信の設定をする (機器情報配信の設定)	6-35
機器情報の配信先を登録/消去する.....	6-37
自動配信の設定をする.....	6-42
手動配信の設定をする.....	6-44
配信元による受信制限を設定する.....	6-45
機器情報のデータを更新前に戻す.....	6-45
配信されたデータの受信を制限する.....	6-46
通信履歴を確認プリントする.....	6-47
データを完全に消去する (全データ/設定の初期化).....	6-49
機密情報の入力時に伏せ字で表示する (機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF) .	6-51
地紋印字モードを設定する (地紋印字モード)	6-52
強制地紋印字モードを設定する (強制地紋印字)	6-52
プリンタドライバ地紋印字モードを設定する (プリンタドライバ地紋印字).....	6-55
暗号化セキュアプリントの設定をする (暗号化セキュアプリント設定)	6-58
暗号化セキュアプリントジョブのみを受け付けるかどうか設定する (暗号化セキュア プリントジョブのみ受付).....	6-58
IC カード使用時に自動でプリントをする (IC カード使用時の自動プリント)	6-58
ユーザ定義の用紙種類を登録/編集する (用紙種類の管理設定).....	6-59
ユーザ定義の用紙種類を登録する.....	6-59
ユーザ定義の用紙種類を編集する.....	6-60
ユーザ定義の用紙種類を消去する.....	6-63
本体側で指定した機能に対応するドライバをパソコン側で検出、インストールす る (ページ記述言語選択 (プラグ&プレイ))	6-64
ユーザボックスの設定をする (ユーザボックス一括設定).....	6-65
文書の自動消去までの時間を設定する (文書の自動消去までの時間).....	6-65
プリンタドライバからの保存結果をプリントする (プリンタドライバから保存時のプ リント).....	6-65
プリンタドライバからのジョブを制限する (プリンタジョブの制限)	6-66
コピージョブのカラーモードを制限する (コピーのカラーモード設定)	6-67
自動カラー選択の使用を制限する (自動カラー選択を使用).....	6-67
フルカラーの使用を制限する (フルカラーを使用)	6-67

システム管理者情報を設定する (システム管理者情報の設定)

本製品のシステム管理者情報を設定します。

システム管理部門 ID を設定すると、システム管理設定モードに対して、制限をかけることができます。

- 重要**
- ・カードリーダー-C1 を装着すると、すでに登録済のシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号は消去されます。
 - ・設定しているログインサービスによっては、部門別 ID 管理を「OFF」にし、システム管理者を設定していないときは、すべてのユーザが管理者ユーザになる場合があります。
 - ・ログインサービスとして SDL や SSO を設定している場合、システム管理設定モードは、ユーザタイプによって以下のように制限されます。
 - ・「一般ユーザ」として登録されたユーザは、システム管理部門 ID の設定に関わらず、システム管理設定を変更することができません。
 - ・「管理者」として登録されたユーザは、正しいシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力するか、あらかじめユーザ情報として登録しておくことでシステム管理設定を変更することができます。

- メモ**
- ・カードリーダー-C1 装着時は、それぞれのカードに割り当てられている数字 (工場出荷時は 1 ~ 1000) をシステム管理部門 ID として登録することができません。
 - ・文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-22) を参照してください。
 - ・システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号は 7 桁まで登録できます。7 桁に満たない場合は以下ようになります。
例：「321」と入力 → 「0000321」と設定されます。

6

システム管理設定

1 ⑧(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [システム管理者情報の設定] を押します。

2 各項目を設定したあと、[OK] を押します。

システム管理部門ID	1234567	設定なしは空欄
システム管理暗証番号	*****	設定なしは空欄
システム管理者名	中島	
メールアドレス	xxx01@example.co.jp	
連絡先	A棟3階	
コメント	何かありましたらご連絡ください	

[システム管理部門 ID] :

[システム管理部門 ID] を押して、システム管理部門 ID として設定または変更する 7 桁以内の数字を ①～⑨ (テンキー) で入力します。本製品の操作を管理するために、システム管理部門 ID は必ず設定してください。

[システム管理暗証番号] :

[システム管理暗証番号] を押したあと、システム管理暗証番号として設定または変更する 7 桁以内の数字を、[暗証番号] を押して ①～⑨ (テンキー) で入力します。確認のため、[確認入力] を押して、同じ暗証番号を入力したあと、[OK] を押します。

「0」、「00」のような「0」だけの連数字をシステム管理部門 ID または暗証番号として登録することはできません。また、「02」、「002」のように「0」から始まる番号を入力した場合は、「0」の入力は認識されず「2」と入力した時と同じ「0000002」として設定されます。

[システム管理者名] :

[システム管理者名] を押して、システム管理者の名称を入力したあと、[OK] を押します。

[メールアドレス] :

[メールアドレス] を押して、システム管理者のメールアドレスを入力したあと、[OK] を押します。

[連絡先] :

[連絡先] を押して、システム管理者の連絡先を入力したあと、[OK] を押します。

[コメント] :

[コメント] を押して、システム管理者のコメントを入力したあと、[OK] を押します。

 **メモ**

- ① (クリア) を押すと、入力した文字 (数字) を取り消すことができます。
- システム管理設定 (初期設定 / 登録) の機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF を「OFF」に設定している場合は、確認入力が表示されず、機密情報が直接表示されます。(→ 機密情報の入力時に伏せ字で表示する (機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF) : P.6-51)

部門別 ID 管理を設定する (部門別 ID 管理)

1つの部門に対して7桁の部門IDと部門IDごとの暗証番号を登録することにより、番号を入力した場合のみ本製品が使えるように設定することができます。この機能を部門別ID管理と呼びます。部門IDと暗証番号は1000部門まで登録でき、部門ごとのコピー/スキャン/プリントのカウントを確認できます。

ここでは、以下の設定/登録、およびカウント情報の確認を行います。

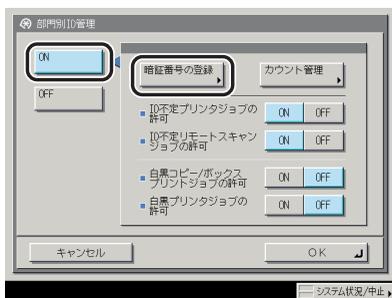
- 部門別 ID 管理をするかしないかの設定
- 部門 ID と暗証番号の登録
- カラー/白黒スキャン、カラー/白黒プリント、およびカラー/白黒コピーの制限面数の設定
- ボックス、送信/ファクス、およびリモートスキャン機能を部門別 ID 管理の対象とするかしないかの設定(コピー機能は部門別ID管理が設定されていれば自動的に対象となります)
- コピー/スキャン/プリントの制限の設定

- 重要**
- SSO のドメイン認証 (「ドメイン認証+ローカルデバイス認証」でドメイン認証を使用している場合も含む) と部門別 ID 管理を同時に使うためには、オプションの imageWARE Accounting Manager が必要です。imageWARE Accounting Manager と連携していない状態でログインサービスに SSO のドメイン認証を設定している場合は、部門別 ID 管理を「ON」にしないでください。ログインできなくなります。
 - SSO のドメイン認証を使用しているときに部門別 ID 管理を「ON」にしてログインできなくなった場合は、一度ログインサービスを Default Authentication に変更して部門別 ID 管理を「OFF」にしてください。ログインサービスを設定する方法は、MEAP アプリケーション管理機能ガイド「第3章 MEAP システムの管理」を参照してください
 - オプションのカードリーダー-C1 を装着し、ログインサービスに Default Authentication または SDL を設定している場合は、部門別 ID 管理を行います。(→ カードリーダー-C1 : P. 3-30)
 - ログインサービスに SDL や SSO を設定している場合は、登録されているユーザ名に対応した部門 ID に対して、部門別 ID 管理を行います。
 - SDL および SSO のローカルデバイス認証に登録している情報と部門別 ID 管理のユーザ情報とパスワードを一致させる必要があります。機器情報配信などによって、登録されている部門 ID / 暗証番号が変わった場合は、SDL および SSO のローカルデバイス認証のユーザ情報もあわせて変更してください。SDL および SSO のローカルデバイス認証のユーザ情報の設定については、「MEAP 認証システム設定ガイド」を参照してください
 - ログインサービスに SDL や SSO を設定している場合は、ファンクション制限の設定はご使用になれません。

- メモ**
- 部門IDや暗証番号は7桁まで登録できます。7桁に満たない場合は以下ようになります。例: 「321」と入力 → 「0000321」と設定されます。
 - 本製品では、部門別ID管理以外にもSDL(Simple Device Login)やSSO(Single Sign-On)を使ってユーザの情報を管理することができます。

部門 ID / 暗証番号 / 制限面数の登録

- 1 ④ (初期設定 / 登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。
- 2 [ON] → [暗証番号の登録] を押します。



暗証番号を登録しない場合は、手順 10 へ進みます。

- 3 [登録] を押します。



6

システム管理設定

4 部門 ID と暗証番号を①～⑨(テンキー) で入力します。



- [部門 ID] を押したあと、部門 ID を入力します。
- [暗証番号] を押します。
- [暗証番号] を押したあと、暗証番号を入力します。
- [確認入力] を押して、同じ暗証番号を入力したあと、[OK] を押します。

「0」、「00」のような「0」だけの連数字を登録することはできません。また、「02」、「002」のように「0」から始まる番号を入力した場合は、「0」の入力は認識されず「2」と入力した時と同じ「000002」として設定されます。



- ⓪(クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。
- 暗証番号を登録しない場合は、部門IDを入力しただけで、本製品が使えるようになります。
- システム管理設定(初期設定/登録)の機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF を「OFF」に設定している場合は、確認入力が表示されず、機密情報が直接表示されます。(→ 機密情報の入力時に伏せ字で表示する(機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF): P.6-51)

5 [制限の ON/OFF と制限面数の設定] を押します。

6 制限面数を設定します。

- 面数を制限する項目の [ON] を押します。

制限を解除する場合は、[OFF] を押します。



- 「トータルプリント」は「カラートータルプリント」と「白黒トータルプリント」の制限面数の合計です。
- 「カラートータルプリント」は「カラーコピー」と「カラープリント」の制限面数の合計です。
- 「白黒トータルプリント」は「白黒コピー」と「白黒プリント」の制限面数の合計です。
- 面数を制限する項目の [□] を押したあと、①～⑨(テンキー) で制限面数を入力します。

重要

- カラーモードの「自動カラー選択」設定時に、各制限においてカラー、白黒のいずれかが制限面数に達している場合、各操作を行うことはできません。
- カラー／白黒が混在している文書のプリント中に、プリント制限のいずれかが上限に達した場合、出力は中止されます。
- カラー／白黒が混在している原稿のコピー中に、トータルプリント制限、コピー制限のいずれかが上限に達した場合、出力は中止されます。
- ファクス送信中に、「白黒スキャン制限」が制限面数に達した場合、送信は中止されます。
- フィーダからの原稿読み込み中にスキャン制限が上限に達した場合、ジョブは中止されます（読み込まれた分のスキャンはカウントされません）。

メモ

- **Ⓞ** (クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。
- 制限面数の入力範囲は 0～999999 です。設定した数値を超えるコピー／スキャン／プリントはできません。
- 制限面数とは、プリント面に対しての数です。1 枚の用紙に両面プリントした場合は面数は 2 になります。

□ [OK] → [OK] を押します。



7 特定の機能を制限する場合は、[ファンクション制限] を押します。

8 コピー以外で部門別 ID 管理の対象とするファンクションを選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[ON] : すべての機能が部門別 ID 管理の対象になります。

[OFF] : プリント機能のみ部門別 ID 管理の対象になります。

[送信 / ファクス] は、オプションの Send 拡張キットを有効にし、さらに FAX ボードを装着している場合に表示されます。Send 拡張キットを有効にして FAX ボードを装着していない場合は、[送信] と表示されます。FAX ボードを装着して Send 拡張キットを有効にしている場合は、[ファクス] と表示されます。

9 [閉じる] を押します。

10 [OK] を押します。

 手順2の「ON」が設定されている場合は、部門別ID管理されます。

暗証番号と制限面数を変更する

登録されている暗証番号と制限面数を変更します。

- 1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別ID管理] を押します。
- 2 [ON] → [暗証番号の登録] を押します。
- 3 [▼] [▲] を押して、暗証番号を変更する部門を表示させて選択したあと、[編集] を押します。



 [▼] [▲] を長押しすると、ページ番号が増減し、キーを離した時点のページが表示されます。部門IDが大量に登録されている場合に、すばやく目的の部門IDを表示させることができます。

4 ①～⑨(テンキー) で暗証番号を入力します。

- [暗証番号] を押します。
- [暗証番号] を押したあと、暗証番号を入力します。
- [確認入力] を押して、同じ暗証番号を入力したあと、[OK] を押します。

「0」、「00」のような「0」だけの連数字を暗証番号として登録することはできません。
また、「02」、「002」のように「0」から始まる番号を入力した場合は、「0」の入力は認識されず「2」と入力した時と同じ「0000002」として設定されます。

**メモ**

- ◎(クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。
- 部門 ID の変更はできません。
- システム管理設定(初期設定/登録)の機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF を「OFF」に設定している場合は、確認入力が表示されず、機密情報が直接表示されます。(→機密情報の入力時に伏せ字で表示する(機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF): P.6-51)

5 [制限の ON/OFF と制限面数の設定] を押します。

6 必要に応じて制限面数を変更します。

- 対象とする項目の [ON] を押します。
- 対象とする項目の [□] を押したあと、①～⑨(テンキー) で制限面数を入力します。
- [OK] → [OK] を押します。

項目ごとに制限の ON/OFF を切り替えることもできます。

**メモ**

- ◎(クリア) を押すと、入力した数字を取り消すことができます。
- 制限面数の入力範囲は 0～999999 です。設定した数値を超えるプリントはできません。
- 制限面数とは、プリント面に対しての数です。1 枚の用紙に両面プリントした場合は面数は 2 になります。

7 [閉じる] → [OK] を押します。

**メモ**

手順 2 の「ON」が設定されている場合は、部門別 ID 管理されます。

部門を消去する

登録されている部門を消去します。

 **メモ** カードリーダー-C1 で部門別 ID 管理をしている場合は、部門 ID の消去はできません。

- 1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。
- 2 [ON] → [暗証番号の登録] を押します。
- 3 [▼] [▲] を押して、消去する部門を表示させて選択したあと、[消去] を押します。



 **メモ** [▼] [▲] を長押しすると、ページ番号が増減し、キーを離れた時点のページが表示されます。部門 ID が大量に登録されている場合に、すばやく目的の部門 ID を表示させることができます。

- 4 [はい] を押します。
- 5 [閉じる] → [OK] を押します。

 **メモ** 手順 2 の「ON」が設定されている場合は、部門別 ID 管理されます。

カウント情報の確認とプリントをする

部門ごとに使用したプリント面数のカウントを表示したり、リストをプリントすることができます。

- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。
- 2 [ON] → [カウント管理] を押します。



- 3 カウントの確認、またはプリントをします。

部門 ID が空欄 (表示なし) のプリント面数は部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリント (ID 不定ジョブ) です。

部門 ID が空欄 (表示なし) のスキャン面数は部門 ID に対応していないドライバからのリモートスキャン (ID 不定ジョブ) です。

● 確認だけの場合

- [▼] [▲] を押して任意の部門を表示させたあと、必要に応じて [◀] [▶] を押して内容を確認します。



メモ

[▼] [▲] を長押しすると、ページ番号が増減し、キーを離れた時点のページが表示されます。部門 ID が大量に登録されている場合に、すばやく目的の部門 ID を表示させることができます。

● 表示されているカウントをプリントする場合

- [カウントプリント] を押します。
- カウント管理レポートの種類を選択したあと、[プリント開始] を押します。



- プリントを中止する場合は、[中止] を押します。
- プリント中の画面を閉じる場合は、[閉じる] を押します。
- 共通仕様設定（初期設定／登録）のカセットオート選択の ON/OFF の [その他] で「ON」に設定されている給紙箇所、A3、B4、A4、A4R の普通紙、再生紙または色紙がセットされているときにリストをプリントできます。（→カセットオート選択の ON/OFF を設定する：P.4-30）

4 [閉じる] → [OK] を押します。



手順 2 の「ON」が設定されている場合は、部門別 ID 管理されます。

カウント情報を消去する

登録されている部門のカウント数を消去します。

1 (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。

2 [ON] → [カウント管理] を押します。

この手順の画面を確認する場合は、「カウント情報の確認とプリントをする」（→P.6-12）の手順 2 を参照してください。

3 [オールクリア] を押します。

部門ごとに消去したい場合は、[▼] [▲] を押して、消去したい部門を表示させて選択したあと、[クリア] を押します。

4 [はい] を押します。

5 [閉じる] → [OK] を押します。



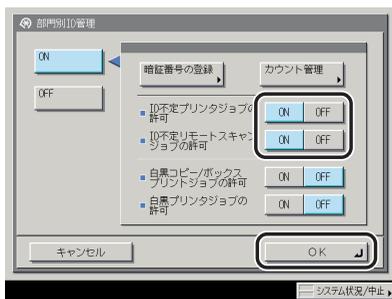
手順 2 の「ON」が設定されている場合は、部門別 ID 管理されます。

ID 不定のプリントジョブ／スキャンジョブを受け付けるかどうか設定する

部門 ID に対応していないプリンタドライバからのプリントやパソコンからのリモートスキャンなどをさせるか、させないかの設定をします。

 [ID 不定プリントジョブの許可]、[ID 不定リモートスキャンジョブの許可] は、プリンタ機能、リモートスキャン機能を装備している場合のみ設定が有効になります。

- 1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。
- 2 [ON] を押します。
- 3 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。



< ID 不定プリントジョブの許可 > :

[ON] : 部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリントを行います。

[OFF] : 部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからのプリントは行いません。

< ID 不定リモートスキャンジョブの許可 > :

[ON] : 部門 ID に対応していないドライバからのリモートスキャンを行います。

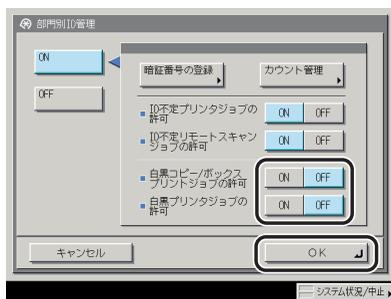
[OFF] : 部門 ID に対応していないドライバからのリモートスキャンを行いません。

 手順 2 の「ON」が設定されている場合は、部門別 ID 管理されます。

部門 ID を入力しないときに白黒コピー／プリントのみ許可するか設定する

部門別 ID 管理設定時に部門 ID と暗証番号を入力せずに、白黒コピー／プリントのみできるように設定します。

- 1 **Ⓜ**(初期設定／登録) → [システム管理設定] → [部門別 ID 管理] を押します。
- 2 [ON] を押します。
- 3 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。



<白黒コピー／ボックスプリントジョブの許可> :

[ON] : 部門 ID と暗証番号を入力する画面に [白黒コピー／白黒ボックスプリント] キーが表示されます。

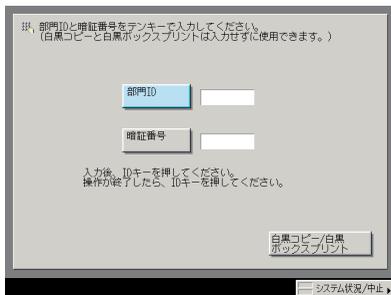
[OFF] : 部門 ID と暗証番号を入力する画面に [白黒コピー／白黒ボックスプリント] キーは表示されません。

<白黒プリントジョブの許可> :

[ON] : 部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからの白黒プリントを行います。

[OFF] : 部門 ID に対応していないプリンタドライバなどからの白黒プリントを行いません。

[白黒コピー / ボックスプリントジョブの許可] を「ON」に設定した場合は、[白黒コピー / 白黒ボックスプリント] キーが表示されます。



白黒コピー/ボックスプリントする場合は、[白黒コピー / 白黒ボックスプリント] を押します。

 **メモ**

- [ID 不定プリンタジョブの許可] を「ON」に設定している場合はすべてのプリンタジョブが許可されるので、[白黒プリンタジョブの許可] の設定は無効になります。
- 自動カラー選択、単色カラーを設定してコピー/プリントする、ボックスに原稿を読み込む、文書を送信するなど、白黒コピー/プリント以外の機能を使用する場合は、部門 ID と暗証番号を入力する必要があります。
- 手順 2 の「ON」が設定されている場合は、部門別 ID 管理されます。

6

システム管理設定

リモート UI の設定をする (リモート UI の ON/OFF)

リモート UI を使用して本製品の設定や操作を可能にするかどうかの設定をします。

 **メモ** リモート UI の詳しい内容については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [リモート UI の ON/OFF] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択します。

選択する項目

[ON] : リモート UI からの設定を有効にします。

[OFF] : リモート UI からの設定を無効にします。

● [ON] を選択した場合

[ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

< SSL を使用 > :

[ON] : SSL のセキュア通信を使用します。

[OFF] : SSL のセキュア通信を使用しません。

● [OFF] を選択した場合

[OK] を押します。

 **メモ**

- 「ON」に設定するには、ネットワーク設定 (初期設定/登録) で、あらかじめ使用鍵設定を行う必要があります。(→ ネットワークガイド「第 3 章 TCP/IP ネットワークで使用する」)
- 設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあと有効になります。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」(→ P.1-15) を参照してください。
- 「SSL を使用」の設定変更は、MEAP 設定 (システム管理設定) の「HTTP を使用」にある「SSL を使用」にも適用されます。

デバイス情報を設定する (デバイス情報の設定)

本製品の名称と設置されている場所を設定します。

1 ④ (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [デバイス情報の設定] を押します。

2 本製品の名称と設置場所を登録します。

- [デバイス名] を押して、本製品の名称を入力したあと [OK] を押します。
- [設置場所] を押して、本製品の設置場所を入力したあと、[OK] を押します。
- [OK] を押します。



 **メモ** 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-22) を参照してください。

掲示板を消去する（掲示板の消去）

「掲示板」とは、ネットワーク管理者が、リモート UI から本製品の使用者に知らせておきたい内容などをメッセージにして、タッチパネルディスプレイに表示する機能です。掲示板の設定はリモート UI から行いますが、メッセージの消去は本製品からも行うことができます。

 **メモ** メッセージを作成する方法については、リモート UI ガイド「第 3 章 使いかたにあわせた設定」を参照してください。

- 1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [掲示板の消去] を押します。
- 2 [はい] を押します。

ネットワークの自動接続／切断を設定する（自動オンライン／オフライン移行）

リモートスキャン機能などを使用する場合、ネットワークをオンラインに切り替える必要があります。ここでは、オンライン／オフラインの切り替え方法を設定します。

 **メモ** リモートスキャン機能については、「Network ScanGear ユーザーズガイド」を参照してください。

自動オンライン移行を設定する（自動オンライン移行）

自動オンライン移行を「ON」に設定すると、基本画面の［リモートスキャナ］を押すだけで、自動的にネットワークをオンラインに切り替えることができます。

1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [自動オンライン / オフライン移行] → [自動オンライン移行] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

自動オフライン移行を設定する（自動オフライン移行）

ネットワークがオンラインの状態では、コピー、ボックスでの読み込みなどの操作を行うことができない場合があります。自動オフライン移行を「ON」に設定しておく、と、本製品は自動的にオフラインに移行します。

1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [自動オンライン / オフライン移行] → [自動オフライン移行] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

 **メモ** 「ON」に設定した場合は、タイマー設定（初期設定／登録）のオートクリアタイムで設定した時間が経過すると、自動的にオフラインに移行します。オートクリアをしない（0分）に設定してある場合は約2分でオフラインに移行します。（→オートクリアタイムの設定をする：P.4-56）

日付／時刻を設定する（日付／時刻設定）

現在の日付と時刻を設定します。設定した時刻と日付は、時刻指定機能の基準時刻になります。

- GMT：グリニッジ標準時を GMT（Greenwich Mean Time）と呼びます。
- タイムゾーン：世界の地域別標準時間帯は、GMT（±0 時）からの時差（±12 時間以内）を使用して各国の標準時間帯としています。この時差を使用している地域をタイムゾーンといいます。日本の標準時はこれより 9 時間先行しているため、[GMT+09:00] を設定します。
- サマータイム：国によっては、夏季に時間を進める夏時間を採用しています。この夏時間をサマータイムと呼びます。

 **メモ** 初期設定／登録の設定によって、ネットワーク上のサーバとの日付／時刻あわせを自動的に行うこともできます。（→ネットワークガイド「第3章 TCP/IP ネットワークで使用する」）

6

システム管理設定

1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [日付／時刻設定] を押します。

2  ~  (テンキー) で、現在の日付（西暦、月、日）と時刻を入力します。



年は西暦の 4 桁を入力します。

月日、時刻は 0 を含む数字 4 桁を入力します。時刻の表示形式は 24 時間制です。

例： 5 月 6 日 → 0506
 7 時 5 分 → 0705
 23 時 18 分 → 2318

 **メモ** 入力を間違えたときは、Ⓞ(クリア) を押して、西暦から入力しなおしてください。

● **タイムゾーンを設定する場合**

- タイムゾーンドロップダウンリストを押したあと、タイムゾーンを選択します。

● **サマータイムを設定する場合**

- [ON] → [開始日] を押します。
- 月、日のドロップダウンリストを押したあと、設定する項目を選択します。
- [-] [+] を押して時刻を設定したあと、[OK] を押します。
- [終了日] を押して、開始日と同じように終了日の設定をしたあと、[OK] を押します。

 **メモ** サマータイムを設定すると、開始日から終了日までの一定期間、本製品の基準時刻を自動的に1時間進めることができます。

3 [OK] を押します。

6

管理キー OFF 時の機能制限を設定する (管理キー OFF 時の機能制限切替)

管理キーが OFF にされたときに制限される機能を切り替えます。

 **メモ** 管理キー OFF 時の機能制限切替はオプションの管理キー装着時のみ有効になります。

1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [管理キー OFF 時の機能制限切替] を押します。

2 [部分機能制限] または [全機能制限] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[部分機能制限]: コピー、ボックス、レポート出力 (手動操作時)、送信、リモート UI、リモートスキャンの機能を制限します。

[全機能制限]: すべての機能を制限します。

システム状況画面の制限を設定する（システム状況画面の制限）

システム状況画面での操作を制限するかどうかの設定をします。

システム状況／中止の使用制限を設定する（認証前のジョブ状況の表示）

ログインサービスを利用している場合に、システム状況画面の使用を制限することができます。

1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [システム状況画面の制限] → [認証前のジョブ状況の表示] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

「認証前のジョブ状況の表示」を [OFF] に設定した場合

○：表示 ×：非表示

部門別 ID 管理や SSO・SDL などの ログインサービス	システム状況画面	
	プリント、コピー、送信、 ファクス、受信画面	デバイス状況画面
ログイン前	×	○
ログイン後	○	○

 **重要** ログインサービスを利用していない場合は、「OFF」に設定してもシステム状況画面の使用は制限されません。

プリント状況画面からのセキュアプリントの設定をする（プリント状況からセキュアプリントを許可）

プリントのジョブ状況画面からのセキュアプリントをするかどうかを設定します。

- 1 (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [システム状況画面の制限] → [プリント状況からセキュアプリントを許可] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

システム状況画面のジョブ履歴の表示を設定する（ジョブ履歴の表示）

システム状況画面のジョブ履歴を表示するかどうかを設定します。

- 1 (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [システム状況画面の制限] → [ジョブ履歴の表示] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択します。

選択する項目

[ON]： ジョブ履歴を表示します。

[OFF]： ジョブ履歴を表示しません。

「OFF」に設定している場合、下記の項目は表示/選択できません。

- システム状況画面： 受信の（受信ジョブ履歴）[詳細情報]、（受信ジョブ履歴）[リストプリント]
コピー/送信/ファクス/プリントの [ジョブ履歴]
- プrint画面： [ジョブ履歴]

● [ON] を選択した場合

[OK] を押します。

● **[OFF] を選択した場合**

- (管理ソフトからのジョブ履歴取得) [許可する] または [許可しない] を選択したあと、[OK] を押します。

<管理ソフトからのジョブ履歴取得> :

[許可する] : 管理ソフトが行うジョブ履歴の集計を許可する

[許可しない] : 管理ソフトが行うジョブ履歴の集計を許可しない

MEAP の設定をする (MEAP 設定)

MEAP に関する設定を行います。

HTTP サーバを使用するか設定する (HTTP を使用)

Web ブラウザから本製品にアクセスして MEAP 機能を使用する場合に設定します。

- 重要**
 - SDL でユーザ管理／設定を行う場合には「ON」に設定してください。
 - SSO のローカルデバイス認証のユーザ管理を行う場合は「ON」に設定してください。
 - SSO のユーザ認証方式 (ドメイン認証、ドメイン認証+ローカルデバイス認証、ローカルデバイス認証) を変更する場合には「ON」に設定してください。
 - リモート UI を使用する場合は、「ON」に設定してください。
- メモ**
 - MEAP機能やMEAPアプリケーションがHTTPを使用する場合に設定します。MEAP機能以外でHTTPを使用する場合は、ネットワーク設定の「HTTPを使用」を「ON」に設定してください。(→ネットワークガイド「第3章 TCP/IP ネットワークで使用する」)
 - ネットワーク設定の「HTTPを使用」を「ON」に設定している場合、MEAP機能やMEAPアプリケーションが使用するHTTPのポート番号は「8000」になります。

1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [MEAP 設定] → [HTTP を使用] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択します。

選択する項目

[ON] : HTTP を使用します。

[OFF] : HTTP を使用しません。

● [ON] を選択した場合

[ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

< SSL を使用 > :

[ON] : SSL のセキュア通信を使用します。

[OFF] : SSL のセキュア通信を使用しません。

● [OFF] を選択した場合

□ [OK] を押します。



メモ

- 「ON」に設定するには、ネットワーク設定（初期設定／登録）で、あらかじめ使用鍵設定を行う必要があります。（→ネットワークガイド「第3章 TCP/IP ネットワークで使用する」）
- 設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあと有効になります。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」（→P.1-15）を参照してください。
- 「SSL を使用」の設定変更は、リモート UI の ON/OFF（システム管理設定）にある「SSL を使用」にも適用されます。

インストールされているアプリケーションの情報を印刷する (システム情報のプリント)

MEAP 上にインストールされているアプリケーション、および一部のシステムアプリケーションの情報を印刷することができます。



メモ

この情報はレポートプリントとして印刷されます。

6

システム管理設定

1 (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [MEAP 設定] → [システム情報のプリント] を押します。

2 [はい] を押します。

```
*****  
*** System Information ***  
*****  
  
MEAP Contents : 00.73  
MEAP Specifications : 5,6,7,9,10,11  
  
Application Name : PortalService  
Application ID/System Application Name : 0906ebfc-d39e-4149-9cc5-3caa528fcd03  
Application Version : 2.0.0  
Status : Active  
Installed on : Tue Apr 14 15:53:24 GMT+09:00 2005  
Vendor : Canon Inc.  
License Status : Unnecessary  
Maximum Memory Usage : 220  
Registered Service : com.canon.meap.service.portalservice.PortalService
```

アプリケーションごとにプリントされる項目は以下のとおりです。

- MEAP Contents : MEAP のバージョンが印刷されます。
- MEAP Specifications : MEAP の機能を示す情報が印刷されます。
- Application Name : アプリケーションの名称が印刷されます。
- Application ID/System Application Name : システムアプリケーションの場合はファイル名、一般のアプリケーションの場合はアプリケーション ID が印刷されます。
- Application Version : アプリケーションのバージョン名が印刷されます。
- Status : アプリケーションの状態が印刷されます。
 - ・ Installed : インストール済み
 - ・ Active : 起動中
 - ・ Stopped : 停止中
- Installed on : アプリケーションをインストールした日時が印刷されます。
- Vendor : アプリケーションの開発メーカー名が印刷されます。
- License Status : ライセンスの状態が印刷されます。
 - ・ Installed : インストール済み
 - ・ Invalid : 失効
 - ・ Overlimit : 超過
- License Expires After : ライセンス期限が印刷されます。ライセンスの状態が Unnecessary のときは印刷されません。
- License Upper Limit : カウンタごとの上限枚数が印刷されます。ライセンスの状態が Unnecessary のときは印刷されません。
- Counter Value : カウンタごとの現在値が印刷されます。ライセンスの状態が Unnecessary のときは印刷されません。
- Maximum Memory Usage : アプリケーションの最大メモリ使用量が印刷されます。印刷された数値の単位は K バイトです。
- Registered Service : アプリケーションから MEAP のシステムに登録しているサービスが印刷されます。該当するデータがない場合は印刷されません。



- プリントされる項目は製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。
- プリントサンプルは、「PortalService」というアプリケーションがインストールされている状態のものです。「PortalService」は MEAP Administration Software CD-ROM に入っているファイルを使用して、インストールすることができます。

部数印字拡張を設定する（部数印字拡張の設定）

部数印字拡張から、コピーモード、ボックスモードの「部数印字」機能の詳細を設定することができます。「部数印字」機能については、コピー／ボックスガイド「第4章 便利なコピー／ボックスの使いかた」を参照してください。

1 ⑨(初期設定／登録) → [システム管理設定] → [部数印字拡張の設定] を押します。

2 部数印字拡張の [ON] または [OFF] を選択します。

選択する項目

[ON] : [全面に印字]、[5 箇所]に印字] がグレーアウトして、選択することができません。
印字サイズは次のようになります。

[小] : 10.5 ポイント [中] : 12 ポイント [大] : 14 ポイント

[OFF] : [全面に印字]、[5 箇所]に印字] を選択することができます。

印字サイズは次のようになります。

[小] : 12 ポイント [中] : 24 ポイント [大] : 36 ポイント

● [ON] を選択した場合

□ 各項目の [ON] または [OFF] を選択したあと、[次へ] を押します。



< ID / ユーザ名 > :

[ON] : 部門管理 ID を印字します。部門 ID 管理以外のログインサービスを使用している場合はユーザ名を印字します。

[OFF] : ユーザ名を印字します。

<日付> :

[ON] : 日付を印字します。

[OFF] : 日付を印字しません。

<文字> :

[ON] : 任意の文字列を印字します。

[OFF] : 文字列を印字しません。

- 日付を [ON] に設定している場合は、日付（年月日の表示形式）の設定を選択したあと、[次へ] を押します。

[OFF] に設定している場合は、次の手順に進みます。

- 文字を [ON] に設定している場合は、[入力] を押して印字する文字列を入力したあと、[OK] → [次へ] を押します。

[OFF] に設定している場合は、次の手順に進みます。

共通仕様設定（初期設定／登録）のページ印字／スタンプの文字列登録で登録した文字列から選択することもできます。

- 文字列の揃えかたを選択したあと、[OK] を押します。

- **[OFF] を選択した場合**

- [OK] を押します。

トナー残量の警告画面を表示する（トナー残量警告表示の ON/OFF）

トナーの残量が少なくなったときに、少なくなった色がすぐわかるように警告画面を表示することができます。新しいトナー容器を用意する場合などに便利です。

 **メモ** 表示された警告画面を消去する方法については、「トナー残量の警告表示を消去する」（→ P.4-54）を参照してください。

1 （初期設定／登録） → **[システム管理設定]** → **[トナー残量警告表示の ON/OFF]** を押します。

2 **[ON]** または **[OFF]** を選択したあと、**[OK]** を押します。

選択する項目

[ON] : トナーの残量が残り約 10% 以下になった場合に警告画面を表示します。警告画面は **[閉じる]** を押して表示しないようにすることができますが、スリープモード、節電モード、低電力モードからの復帰や主電源を入れた場合には、再び表示されます。

[OFF] : トナーの残量が少なくなっても、警告画面を表示しません。

ログインしている部門 ID / ユーザ名を表示する (ID / ユーザ名表示の ON/OFF)

ログインサービスを利用している場合に、ジョブ/プリント状況表示部に現在ログインしている部門 ID / ユーザ名を表示することができます。

表示できるログインサービスと表示される項目は以下のとおりです。

使用しているログインサービス	表示項目
Default Authentication	部門 ID
SDL (Simple Device Login)	ユーザ名
SSO (Single Sign-On)	

1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [ID/ ユーザ名表示の ON/OFF] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

 **重要** ログインサービスを利用していない場合は、「ON」に設定しても部門 ID / ユーザ名は表示されません。

USB の設定をする (USB 設定)

USB に関する設定を行います。



設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあと有効になります。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」(→P.1-15)を参照してください。

USB デバイスを使用するかどうか設定する (USB デバイスを使用)

本製品とコンピュータを USB で接続する場合は、「ON」に設定します。

- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [USB 設定] → [USB デバイスを使用] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

USB ホストを使用するかどうか設定する (USB ホストを使用)

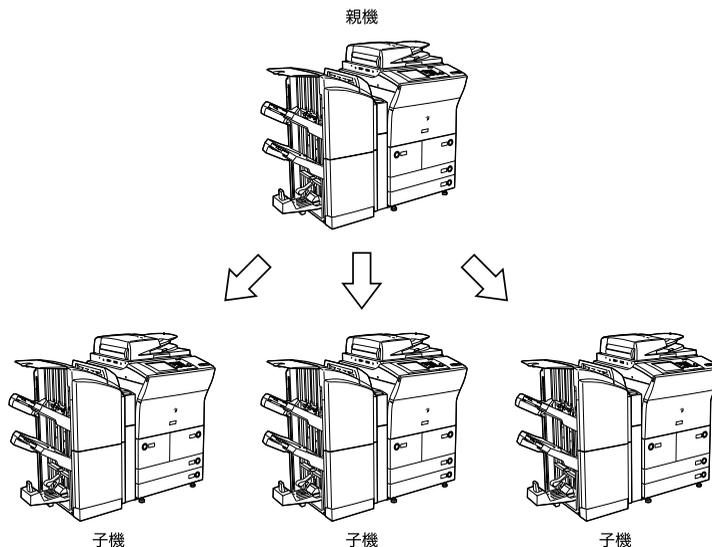
本製品に USB 機器を接続して使用する場合は、「ON」に設定します。

- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [USB 設定] → [USB ホストを使用] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

機器情報配信の設定をする（機器情報配信の設定）

ネットワーク上に接続されている複数の imageRUNNER/Color imageRUNNER シリーズ（以下、iR 機と呼びます。）間では、1 台の親機に機器情報（管理データ）を登録するだけで子機に同じ情報を配信することができます。機器情報を配信された子機は、情報を受信して、更新します。機器情報を登録する手間や時間を省くことができ、複数の iR 機を同時に管理、運用することができます。

本製品は、機器情報を配信または受信することができます。



配信できる機器情報は以下のとおりです。

配信項目	配信内容	備考
宛先表	宛先表、転送設定、定型業務ボタンの設定	<ul style="list-style-type: none"> 既に登録されている宛先をすべて消去してから、配信されたデータの内容が登録されます。 宛先表の配信、受信は、オプションの Send 拡張キットを有効にした場合、または FAX ボードを装着している場合のみ利用できます。
部門 ID	システム管理者設定、部門別 ID 管理	<ul style="list-style-type: none"> 子機にだけ存在する部門 ID は消去されます。 子機に同じ部門 ID がある場合は、パスワード、カウンタ上限値の上書きを行います。カウンタ値の上書きは行いません。 親機にあって、子機にない部門 ID の場合は、部門 ID、パスワード、カウンタ上限値の追加を行います。カウンタ値は初期化して登録されます。 親機と子機で、カードリーダー-C1 の装着状態が異なる場合は、システム管理者情報の設定のみ配信が行われます。
プリンタ仕様設定	プリンタ仕様設定	<ul style="list-style-type: none"> 配信されない項目もあります。詳しくは、「プリンタガイド」を参照してください。
初期設定／登録の設定値	上記以外の初期設定／登録	<ul style="list-style-type: none"> 配信されない項目もあります。詳しくは、「初期設定／登録一覧表」(→ P.4-5) を参照してください。 パスワード付きボックスの情報は配信されません。また、子機側のパスワード付きボックスの情報も上書きされません。 初期設定／登録の設定値と宛先表を同時に配信しないと、ボックス仕様設定の「URL 送信設定」は設定内容が消えてしまうことがあります。
用紙情報	用紙種類の管理設定のインポート、エクスポート	<ul style="list-style-type: none"> 既に登録されているユーザ定義用紙が配信されます。エクスポートの際は、ユーザ定義された用紙情報を複製して配信されます。インポートの際には、既に登録されているユーザ定義用紙に用紙情報が上書きされます。

注意 配信の準備および受信後の更新に数分かかることがあります。これらの動作が完了するまで、本製品の主電源は切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

- 重要**
- この機能は同一機種グループ間 (iRC6880N、iRC5880N) で有効です。ただし、オプションの装着状態によっては、一部の情報は正常に配信されない場合があります。
 - この機能は、受信側設定の [配信元による受信制限] を「OFF」にした場合、同一機種グループ以外からの配信を受け付けます。(→ 配信元による受信制限を設定する：P.6-45) ただし、一部の情報は正常に配信されない場合があります。
 - 子機側で親機とは異なるシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を登録している場合、子機に機器情報は配信されません。

メモ IP アドレスなどの固有の情報は配信されません。

機器情報の配信先を登録／消去する

機器情報の配信先を登録／消去します。

 **メモ** 配信先は、100 件まで登録することができます。

機器情報の配信先を登録する

1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定]
→ (配信側設定) [配信先の登録] を押します。

2 配信先を登録します。

● 手動で登録する場合

[登録] を押します。



IP アドレスまたは FQDN (starfish.organization.company.com のような形式) を入力したあと、[OK] を押します。

-  **メモ**
- 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」(→ P.2-22) を参照してください。
 - 登録する配信先が以下の場合、「登録するデバイスの詳細情報が取得できませんでした。配信先として登録しますか？」というメッセージが表示されます。[はい] を押すと、詳細情報の「配信が可能なもの」が空欄で登録されます。
 - ・電源が OFF になっている
 - ・ネットワークに接続されていない
 - ・機能毎受信制限がすべて「ON」に設定されている

● 自動検索で登録する場合

- [自動検索 / 登録] を押します。
- [自動検索開始] を押します。

検索の深さ（ルータ）を設定する場合は、[-] [+] を押します。



- 検索時にはSLPプロトコルを使用しているため、ルータの設定がSLPプロトコルの通過を禁止している場合は、検索の深さを増やしても検索範囲は広がりません。
- 検索する配信先が以下の場合は、検索できません。
 - ・電源がOFFになっている
 - ・ネットワークに接続されていない
 - ・機能毎受信制限がすべて「ON」に設定されている
- 登録する配信先を選択したあと、[OK] を押します。



配信先をすべて選択するには、[全選択] を押します。（配信先を選択しているときは、[選択解除] に変わります。）



- 選択した配信先を解除する場合は、もう一度配信先を選択してチェックマークを解除します。
- 配信先の選択をすべて解除するには、[選択解除] を押します。（このとき [選択解除] は、[全選択] に変わります。）

3 [閉じる] を押します。

機器情報の配信先の設定状況を確認する

1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (配信側設定) [配信先の登録] を押します。

2 確認する配信先を選択したあと、[詳細情報] を押します。



3 詳細情報を確認したあと、[OK] を押します。

配信先の機能毎受信制限の設定を変更した場合は、[情報の取得] を押して、情報を更新します。



メモ

確認する配信先が以下の場合、詳細情報の「配信が可能なもの」が空欄で表示されます。

- ・電源が OFF になっている
- ・ネットワークに接続されていない
- ・機能毎受信制限がすべて「ON」に設定されている

機器情報の配信先を消去する

- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (配信側設定) [配信先の登録] を押します。
- 2 消去する配信先を選択したあと、[消去] を押します。



配信先をすべて選択するには、[全選択] を押します。(配信先を選択しているときは、[選択解除] に変わります。)



メモ

- 選択した配信先を解除する場合は、もう一度配信先を選択してチェックマークを解除します。
- 配信先の選択をすべて解除するには、[選択解除] を押します。(このとき [選択解除] は、[全選択] に変わります。)

- 3 [はい] を押します。

6

システム管理設定

機器情報の配信先をプリントする

 **メモ** 機器情報配信先リストの詳細については、「機器情報配信先リスト」(→ P.9-4) を参照してください。

1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (配信側設定) [配信先の登録] を押します。

2 [リストプリント] を押します。



 **メモ** 共通仕様設定 (初期設定/登録) のカセットオート選択の ON/OFF の [その他] で「ON」に設定されている給紙筒所に、A3、B4、A4、A4R の普通紙、再生紙または色紙がセットされているときにリストをプリントできます。(→ カセットオート選択の ON/OFF を設定する：P.4-30)

3 [はい] を押します。

自動配信の設定をする

指定した時刻になると、自動的に機器情報を配信するように設定できます。また、配信する情報を指定することができます。

- 重要**
- 機器情報の配信時、次のような状態にある子機は機器情報の更新を行いません。
 - ・送信ジョブの動作中
 - ・リモート UI からのインポート/エクスポート中
 - ・初期設定/登録の操作中
 - 上記に加え、宛先表を操作中の子機または送信ジョブ動作中の子機は宛先表の更新を、プリントジョブ動作中の子機はプリンタ仕様設定の更新を行いません。
 - 電源断やネットワーク障害のため機器情報を受信できなかった子機は、復旧後の最初の自動配信まで機器情報は更新されません。

メモ 自動配信の指定時刻になっても、本製品がシャットダウンモードのシャットダウン実行中の場合、配信は行いません。

6

システム管理設定

1 **Ⓢ**(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → [配信側設定] [自動配信設定] を押します。

2 [毎日指定]、[曜日指定] または [指定しない] を選択します。

● [毎日指定] を選択した場合

- 番号 ([1] ~ [5]) を押して、開始時刻を Ⓣ ~ Ⓠ (テンキー) で入力したあと、[次へ] を押します。



自動配信の開始時刻を、5 時刻まで設定できます。

時刻の表示形式は 24 時間制です。時刻は 0 を含む 4 桁の数字を入力します。

例： 7 時 5 分 → 0705

 2 3 時 1 8 分 → 2318

入力を間違えたときは、再度 4 桁の数字を入力します。

●【曜日指定】を選択した場合

- 曜日（[日]～[土]）を選択して、番号（[1]～[5]）を押します。
- 開始時刻を①～⑤（テンキー）で入力したあと、[次へ]を押します。



曜日ごとに自動配信の開始時刻を、5 時刻まで設定できます。

時刻の表示形式は 24 時間制です。時刻は 0 を含む 4 桁の数字を入力します。

例： 7 時 5 分 → 0705

 2 3 時 1 8 分 → 2318

入力を間違えたときは、再度 4 桁の数字を入力します。

●【指定しない】を選択した場合

- [OK] を押します。

3 配信する機器情報の【ON】または【OFF】を選択したあと、[次へ]を押します。



選択する項目

[ON]： データを配信します。

[OFF]： データを配信しません。

<ネットワーク設定>：

初期設定／登録の設定値を「ON」にした場合に選択します。ネットワーク設定を配信する場合は [含む]、配信しない場合は [含まない] を選択したあと、[閉じる] を押します。

4 配信先を選択したあと、[OK] を押します。

手動配信の設定をする

機器情報を手動で配信します。

- 重要**
- 機器情報の配信時、次のような状態にある子機は機器情報の更新を行いません。
 - ・ 送信ジョブの動作中
 - ・ リモート UI からのインポート/エクスポート中
 - ・ 初期設定/登録の操作中
 - 上記に加え、宛先表を操作中の子機または送信ジョブ動作中の子機は宛先表の更新を、プリントジョブ動作中の子機はプリンタ仕様設定の更新を行いません。

1 ⑨ (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (配信側設定) [手動配信] を押します。

2 配信する機器情報の [ON] または [OFF] を選択したあと、[次へ] を押します。



選択する項目

[ON] : データを配信します。

[OFF] : データを配信しません。

<ネットワーク設定> :

初期設定/登録の設定値を「ON」にした場合に選択します。ネットワーク設定を配信する場合は [含む]、配信しない場合は [含まない] を選択したあと、[閉じる] を押します。

3 配信先を選択したあと、[手動配信スタート] を押します。

配信を中止する場合は、[中止] を押します。

-  **メモ** [中止] を押しても、配信中の子機への配信は中止されません。次の子機以降の配信が中止されます。

4 配信が終了したら、画面の「状況」欄で配信結果を確認します。

配信元による受信制限を設定する

iRC6880N、iRC5880N 以外で、機器情報配信機能を持つ機種からの機器情報の配信を受けつけるかどうかの設定をします。

- 1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (受信側設定) [配信元による受信制限] を押します。

- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[ON] : 同一機種グループ以外からの機器情報の配信を受け付けません。

[OFF] : 同一機種グループ以外からの機器情報の配信を受け付けます。

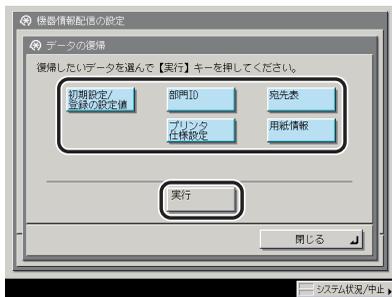
機器情報のデータを更新前に戻す

機器情報を誤って更新してしまった場合などに、更新前のデータに戻すことができます。

-  **メモ** 戻すことができるのは、更新されたデータの1つ前のみです。

- 1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (受信側設定) [データの復帰] を押します。

2 復帰させる項目を選択したあと、[実行] を押します。



- 重要** • 初期設定/登録の設定値と宛先表を同時にデータ復帰させないと、ボックス仕様設定の「URL 送信設定」は設定内容が消えてしまうことがあります。
- オプションの Workflow Composer の設定内容を、更新前のデータに戻すことはできません。

3 [はい] を押します。

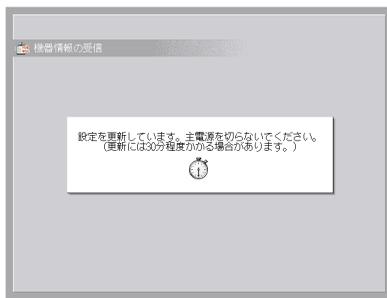
6

システム管理設定

配信されたデータの受信を制限する

配信された機器情報を受信して、更新するかどうかを設定することができます。

- 重要** 配信データを受信して更新を開始すると、更新が終了するまで設定更新画面が表示され、本製品の操作を一切行うことができません。



- 1 (Ⓢ) (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → (受信側設定) [機能毎受信制限] を押します。

2 受信制限するデータの [ON] または [OFF] を選択したあと、[閉じる] を押します。



表示する項目

[ON] : 機器情報を受信して更新することができません。

[OFF] : 機器情報を受信して更新することができます。



メモ

- 各項目を「OFF」に設定するには、ネットワーク設定（初期設定／登録）で、あらかじめ使用鍵設定を行う必要があります。（→ネットワークガイド「第3章 TCP/IP ネットワークで使用する」）
- 設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあとに有効になります。主電源スイッチを入れなおす方法は、「主電源と操作部電源について」（→P.1-15）を参照してください。

通信履歴を確認プリントする

通信された機器情報の履歴を確認プリントすることができます。

通信履歴を確認する

- 1 ④(初期設定／登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → [通信履歴] を押します。

- 2 通信された機器情報の履歴を確認したあと、[閉じる] を押します。



メモ

履歴の詳細を確認するには、詳細を確認する履歴を選択したあと、[詳細情報] を押します。

通信履歴をプリントする



機器情報通信履歴レポートの詳細については「機器情報通信履歴レポート」(→ P.9-5)を参照してください。

1 (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機器情報配信の設定] → [通信履歴] を押します。

2 [リストプリント] を押します。

プリントの詳細な設定をするには、[レポート設定] を押します。

● [レポート設定] を押した場合

各項目を設定したあと、[OK] を押します。

< 100 通信で自動プリント > :

[ON] : 100 件の通信を終えた時点でレポートをプリントします。

[OFF] : 100 件の通信で自動プリントは設定されません。

< 指定時刻プリント > :

[ON] を選択した場合は、時刻を①～⑨(テンキー) で入力します。

時刻の表示形式は 24 時間制です。時刻は 0 を含む 4 桁の数字を入力します。

例: 7 時 5 分 → 0705

 23 時 18 分 → 2318

入力を間違えたときは、再度 4 桁の数字を入力します。

指定時刻までに 100 通信以上が行われたときは、新しいものから 100 通信分のレポートをプリントします。

[種別で分離]

配信と受信に分けてプリントする場合は [種別で分離] を押して、設定を ON にします。

配信と受信に分けないでプリントする場合は [種別で分離] を押さずに、設定を OFF にします。



共通仕様設定 (初期設定/登録) のカセットオート選択の ON/OFF の [その他] で「ON」に設定されている給紙箇所、A3、B4、A4、A4R の普通紙、再生紙または色紙がセットされているときにリストをプリントできます。(→ カセットオート選択の ON/OFF を設定する : P.4-30)

3 [はい] を押します。

データを完全に消去する（全データ／設定の初期化）

この機能を実行すると本機に格納されている以下のデータが完全に消去されます。通常、この操作は必要ありませんが、本製品を返却したり廃棄するときなど必要に応じて行ってください。

- ボックスに保存されたデータ
- 宛先表に登録された宛先情報
- 送信機能で登録された読取モード
- コピー機能、ボックス機能で登録されたモードメモリ
- MEAP アプリケーションおよびライセンスファイル
- MEAP アプリケーションを使って保存されたデータ
- MEAP の SMS(Service Management Service) のパスワード
(パスワードを変更していた場合は、工場出荷時のパスワードに戻ります)
- SDL(Simple Device Login) で登録されたユーザの認証情報
- SSO (Single Sign-On) のローカルデバイス認証で登録されたユーザの認証情報
- 未送信の文書（タイマー送信が設定されている文書や予約中の送信文書）
- ジョブの履歴情報
- 初期設定／登録で設定された内容
- イメージ合成の登録フォーム
- 登録された転送設定
- システム管理設定（初期設定／登録） → [ネットワーク設定] → [TCP/IP 設定] → [証明書設定] で登録されている鍵ペアとサーバ証明書

⚠ 注意 • 全データ／設定の初期化を実行する際は、十分注意して行ってください。お客さまのデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

• カードリーダー-C1 を装着している場合に全データ／設定の初期化を行うと、カードリーダー-C1 を再設置する必要がありますので、担当サービスにご連絡ください。

📌 重要 • 他のユーザが、データを誤って消去してしまうことを防ぐため、システム管理者情報を設定することをおすすめします。

• 全データ／設定の初期化を行う前に、実行中のジョブがないかを確認してください。

• データを消去する前に、必要なデータのバックアップを行ってください。バックアップできるデータについては、「データのバックアップについて」(→ P.1-10) を参照してください。

• 初期化中は、本製品にアクセスすることができません。

• 本機からサーバやパソコンに画像などのデータが転送されて保存されている場合、これらのデータは全データ／設定の初期化を行っても消去されません。

1 **Ⓢ**(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [全データ/設定の初期化] を押します。

2 [はい] を押します。

データの消去には 30 分以上かかる場合があります。

👉 重要 実行中のジョブがある場合は、すべてのジョブが中止され消去されます。

3 初期化が終了したあとに、主電源スイッチを切ります。

👉 重要 初期化終了後にコピー/プリントの色味が初期化前と異なる場合は、調整/クリーニング(初期設定/登録)の自動階調補正の[フル補正]で色を調整してください。(→ 階調や濃度を自動補正する: P.4-60)

6

システム管理設定

機密情報の入力時に伏せ字で表示する（機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF）

パスワードや暗証番号などの機密情報を登録するとき、入力した文字を伏せて「*****」のように表示することができます。

 **メモ** 機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF が「ON」に設定されている場合、間違った文字の登録を防ぐため、確認入力を行う画面が表示されます。

1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択します。

選択する項目

[ON]： 機密情報を登録するとき、「*****」のように伏せ字で表示します。

[OFF]： 機密情報を登録するとき、入力した文字をそのまま表示します。

地紋印字モードを設定する（地紋印字モード）

常に地紋印字機能を設定してコピー、プリントすることや、プリンタドライバからプリントする場合にジョブごとに地紋印字機能を設定するかどうかを選択することができます。「地紋印字」機能については、コピー／ボックスガイド「第4章 便利なコピー／ボックスの使いかた」を参照してください。

 **メモ** 地紋印字モードは、オプションの地紋拡張キットを有効にしている場合のみ表示されます。

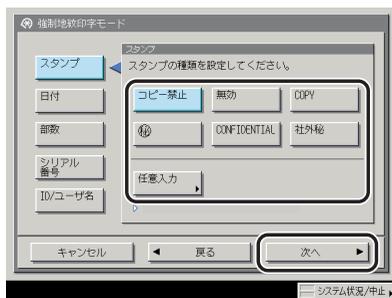
強制地紋印字モードを設定する（強制地紋印字）

強制地紋印字モードを設定すると、常に「地紋印字」機能を設定してコピー、プリントすることができます。

6

システム管理設定

- 1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [地紋印字モード] → [強制地紋印字] を押します。
- 2 強制地紋印字モードを設定する機能の [設定する] を押します。
- 3 印字の種類（スタンプ、日付、部数、シリアル番号、ID / ユーザ名）を選択します。
 - スタンプを選択した場合
 - スタンプの種類を設定したあと、[次へ] を押します。



●【スタンプ】→【任意入力】を押した場合

- 【入力】を押して文字列を入力したあと、【OK】→【OK】→【次へ】を押します。

共通仕様設定（初期設定／登録）のページ印字／スタンプの文字列登録で登録した文字列から選択することもできます。



文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」（→P.2-22）を参照してください。

●日付を選択した場合

- 日付形式を選択したあと、【次へ】を押します。



●部数を選択した場合

- 印字開始数字を設定したあと、【次へ】を押します。



● シリアル番号を選択した場合

- [次へ] を押します。



-  **メモ** 本製品のカウンタ確認キーを押したときに画面左下に表示される「シリアル NO」が印字されます。

● ID / ユーザ名を選択した場合

- [次へ] を押します。

-  **メモ**
- ログインサービスを利用している場合に、ログインしている部門ID / ユーザ名が印字されます。
 - ログインサービスを利用していない場合は、スタンプの [コピー禁止] が印字されます。

4 背景模様、印字サイズ、印字色を設定したあと、[OK] を押します。



出力紙の背景に模様を埋め込む場合は、背景模様をドロップダウンリストから選択します。
 印字サイズは [小] [中] [大] (36 ポイント、54 ポイント、72 ポイント) から選択します。
 文字列を横向きに印字する場合は、[横向きに印字する] を押します。
 文字列を白抜きにする場合は、[文字を白抜きにする] を押します。

プリンタドライバ地紋印字モードを設定する（プリンタドライバ地紋印字）

プリンタドライバ地紋印字モードを設定すると、プリンタドライバからプリントする場合、ジョブごとに地紋印字機能を設定するかどうかを選択することができます。

-  **メモ** 強制地紋印字とプリンタドライバ地紋印字が同時に設定されている場合は、強制地紋印字モードが優先されます。

1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [地紋印字モード] → [プリンタドライバ地紋印字] を押します。

2 [設定する] を押します。

3 印字の種類（スタンプ、日付、部数、シリアル番号、ID / ユーザ名）を選択します。

● **スタンプを選択した場合**

- スタンプの種類を設定したあと、[次へ] を押します。



● **[スタンプ] → [任意入力] を押した場合**

- [入力] を押して文字列を入力したあと、[OK] → [OK] → [次へ] を押します。
共通仕様設定（初期設定/登録）のページ印字/スタンプの文字列登録で登録した文字列から選択することもできます。

-  **メモ** 文字を入力する方法は、「タッチパネルディスプレイから文字を入力する」（→ P.2-22）を参照してください。

● 日付を選択した場合

- 日付形式を選択したあと、[次へ] を押します。



● 部数を選択した場合

- 印字開始数字を設定したあと、[次へ] を押します。



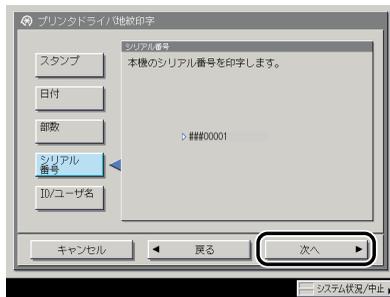
● シリアル番号を選択した場合

- [次へ] を押します。



メモ

本製品のカウンタ確認キーを押したときに画面左下に表示される「シリアル NO」が印字されます。



● ID / ユーザ名を選択した場合

□ [次へ] を押します。



- ログインサービスを利用している場合に、ログインしている部門ID / ユーザ名が印字されます。
- ログインサービスを利用していない場合は、スタンプの [コピー禁止] が印字されます。

4 背景模様、印字サイズ、印字色を設定したあと、[OK] を押します。



出力紙の背景に模様を埋め込む場合は、背景模様をドロップダウンリストから選択します。
印字サイズは [小] [中] [大] (36 ポイント、54 ポイント、72 ポイント) から選択します。
文字列を横向きに印字する場合は、[横向きに印字する] を押します。
文字列を白抜きにする場合は、[文字を白抜きにする] を押します。

暗号化セキュアプリントの設定をする（暗号化セキュアプリント設定）

暗号化セキュアプリントに関する設定を行います。

 **メモ** 暗号化セキュアプリント設定は、オプションの暗号化セキュアプリントキットを装着している場合のみ表示されます。

暗号化セキュアプリントジョブのみを受け付けるかどうか設定する（暗号化セキュアプリントジョブのみ受付）

パソコンからのプリントジョブは、暗号化セキュアプリントのみ受け付けるように設定することができます。

1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [暗号化セキュアプリント設定] → [暗号化セキュアプリントジョブのみ受付] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

IC カード使用時に自動でプリントをする（IC カード使用時の自動プリント）

IC カードを利用したユーザログインサービスをご利用の場合、ユーザ認証が実行されるとその時点で認証されたユーザが保持しているすべての IC カード暗号化セキュアプリントを解除し、プリントすることができます。

 **メモ**

- ICカード使用時の自動プリントは、オプションのICカード認証機能拡張キットを装着している場合のみ表示されます。
- セキュアプリント、パスワード版暗号化セキュアプリントは対象外となります。
- ログイン後に投入されたジョブは解除されません。

1  (初期設定／登録) → [システム管理設定] → [暗号化セキュアプリント設定] → [IC カード使用時の自動プリント] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

ユーザ定義の用紙種類を登録／編集する（用紙種類の管理設定）

登録されている用紙種類以外の用紙を 200 個まで名称をつけて登録／編集することができます。すでに登録されている用紙種類からもっとも近い特性を持つ用紙種類を複製し、名称を変更することで登録が行えます。

ユーザ定義の用紙種類を登録する

- 1 ④(初期設定／登録) → [システム管理設定] → [用紙種類の管理設定] を押します。
- 2 登録する用紙種類と最も近い特性を持つ用紙種類をリストから選択したあと、[複製] を押します。



- 3 任意の名称を入力したあと、[OK] を押します。



ユーザ定義用紙は、工場出荷時に登録されている基本用紙と同じ名称で登録することはできません。

ユーザ定義の用紙種類を編集する

- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [用紙種類の管理設定] を押します。
- 2 リストから任意で登録した用紙種類を選択したあと、[詳細/編集] を押します。



6

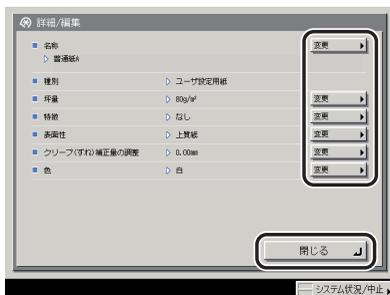
システム管理設定



メモ

- ユーザ設定用紙に表示される以下のアイコンは、それぞれ次の意味を示しています。
 - : [複製] から登録して、設定を変更していない用紙
 - : [複製] から登録して、設定を変更した用紙
- ドロップダウンリストで、表示する用紙種類を選択できます。
 - [すべて]: 基本用紙とユーザ設定用紙のすべての用紙種類を表示する
 - [基本用紙]: 基本用紙のみを表示する
 - [ユーザ設定用紙]: ユーザ設定用紙のみを表示する
- リストのソートドロップダウンリストで、登録順、名称順、坪量順にリストの並べ替えができます。

- 3 設定を変更する項目の [変更] を押して、設定内容を変更したあと、[閉じる] を押します。



重要

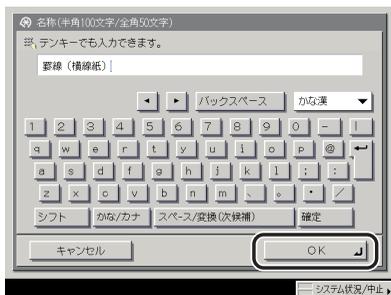
現在給紙箇所セットされているユーザ定義用紙の名称を変更した場合は、カセットや手差しトレイ、サイドペーパーデッキへの用紙種類の再登録が必要です。給紙箇所への用紙種類の登録については「給紙箇所の用紙種類を登録する」(→P.4-32)を参照してください。

メモ

工場出荷時に登録されている基本用紙の設定を変更することはできません。

● 名称を変更する場合

- 名称を入力したあと、[OK] を押します。

**● 坪量を変更する場合**

- [-] [+] を押して、坪量を設定したあと、[OK] を押します。

**● 特徴を変更する場合**

- 用紙の特徴を [なし] [インデックス紙] [パンチ済み紙] [レターヘッド] から選択したあと、[OK] を押します。



● 表面性を変更する場合

- 表面性を選択したあと、[OK] を押します。



● クリープ（ずれ）補正量を変更する場合

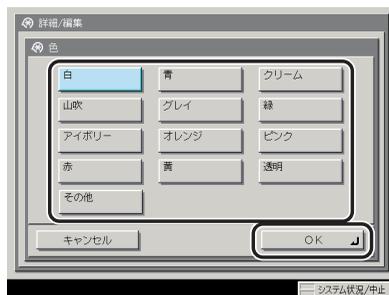
- [▼] [▲] で補正量を調整したあと、[OK] を押します。



製本したときの用紙 1 枚ごとのずれ幅を用紙種類ごとに設定/変更することができます。ここで設定した値は、選択中の用紙種類を使用して中とし製本を行う際に、[クリープ（ずれ）補正] を自動で行った場合の初期値となります。

● 色を変更する場合

- 用紙の色を選択したあと、[OK] を押します。



ユーザ定義の用紙種類を消去する

- 1 ④(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [用紙種類の管理設定] を押します。
- 2 リストから任意で登録した用紙種類を選択したあと、[消去] を押します。



重要 消去する内容を確認してください。

- 3 [はい] を押します。

本体側で指定した機能に対応するドライバをパソコン側で検出、インストールする (ページ記述言語選択 (プラグ&プレイ))

本体側で、本体に装着されているファクスボードやプリンタキットに適した機能を指定します。パソコン側では、本体側で指定された機能に対応するドライバを検出してインストールを行います。

- 重要**
- ページ記述言語選択 (プラグ & プレイ) 機能は、以下の場合に表示されます。
 - ・ LIPS V 拡張キット、LIPS V/PS 拡張キットのいずれかを有効にしたとき
 - ・ FAX ボードが装着されているとき
 - 対応するドライバがパソコン内にはない場合は、検出およびインストールは行われません。

1 **Ⓢ**(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [ページ記述言語選択 (プラグ&プレイ)] を押します。

2 プラグ&プレイの対象となる機能のボタンを選択したあと、[OK] を押します。

オプションの装着状態により、表示される機能のボタンは異なります。

ユーザボックスの設定をする (ユーザボックス一括設定)

ユーザボックスの文書の自動消去までの時間、プリンタドライバから保存時のプリントのON/OFFの設定を一括で行います。

- 📌 **重要**
 - すでに各ユーザボックスで、文書の自動消去までの時間やプリンタドライバから保存時のプリントが設定されている場合、各ユーザボックスの暗証番号設定にかかわらず、ユーザボックス一括設定で設定された内容が優先されます。
 - ユーザボックス一括設定後に各ユーザボックスで設定を更新した場合は、ユーザボックス一括設定の設定内容よりも優先されます。

文書の自動消去までの時間を設定する (文書の自動消去までの時間)

ユーザボックスの文書が自動的に消去されるまでの時間を一括設定します。

- 1 ⑧(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [ユーザボックス一括設定] → [文書の自動消去までの時間] を押します。
- 2 [▼] [▲] を押して自動消去するまでの時間を設定したあと、[OK] を押します。

プリンタドライバからの保存結果をプリントする (プリンタドライバから保存時のプリント)

ユーザ定義のパソコンから記録させた文書をボックスに保存する時に、保存した結果を1部プリントするかどうかを一括設定します。プリントする場合は「ON」に設定します。

- 1 ⑧(初期設定/登録) → [システム管理設定] → [ユーザボックス一括設定] → [プリンタドライバから保存時のプリント] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

プリンタドライバからのジョブを制限する (プリンタジョブの制限)

プリンタドライバからのジョブをボックス保存のみ受け付けるかどうかの設定をします。

1  (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [プリンタジョブの制限] を押します。

2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

選択する項目

[ON] : プリンタドライバからのジョブを制限します。
ボックス保存のみ受け付けます。

[OFF] : プリンタドライバからのジョブを制限しません。
ボックス保存、プリントを受け付けます。

コピージョブのカラーモードを制限する (コピーのカラーモード設定)

コピージョブのカラーモードに制限をかけることができます。

自動カラー選択の使用を制限する (自動カラー選択を使用)

カラーモード (自動カラー選択) の使用を制限することができます。

- 1 ④ (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [コピーのカラーモード設定] → [自動カラー選択を使用] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

フルカラーの使用を制限する (フルカラーを使用)

カラーモード (フルカラー) の使用を制限することができます。

- 1 ④ (初期設定/登録) → [システム管理設定] → [コピーのカラーモード設定] → [フルカラーを使用] を押します。
- 2 [ON] または [OFF] を選択したあと、[OK] を押します。

6

システム管理設定

日常のメンテナンス

用紙の補給方法、トナー容器や針カートリッジなど消耗品の交換方法、日常のお手入れについて説明しています。

用紙の補給.....	7-2
ペーパーデッキ/カセットに用紙を補給する.....	7-2
カセットの用紙サイズを変更する.....	7-7
インデックス紙をセットする.....	7-9
フィーダ.....	7-13
スタンプカートリッジを交換する.....	7-13
サイドペーパーデッキ・U1（オプション）.....	7-15
サイドペーパーデッキに用紙を補給する.....	7-15
フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 / パンチャーユニット ・L1（オプション）.....	7-19
ステイブルユニット針ケースの交換.....	7-19
中とじユニット針カートリッジの交換.....	7-22
パンチ屑の処理.....	7-25
トナー容器の交換.....	7-28
ブラックトナーの交換方法.....	7-30
カラートナーの交換方法.....	7-33
日常のお手入れ.....	7-38
原稿台ガラス/フィーダ裏面を清掃する.....	7-38
フィーダを清掃する.....	7-39
プリントが汚れるときは（ローラのクリーニング）.....	7-43
プリントが汚れるときは（ワイヤのクリーニング）.....	7-44
フィーダで読み取った原稿が汚れるときは（フィーダのクリーニング）.....	7-44
消耗品.....	7-45
保守について.....	7-47

用紙の補給

ペーパーデッキ、カセットに用紙を補給する方法について説明します。

- 重要** A5 サイズの用紙をセットするときは、ヨコ置き (A5R) でセットしてください。
- メモ**
 - ペーパーデッキ、カセットにセットできる用紙サイズは、次のとおりです。
 - ペーパーデッキ : A4、B5
 - カセット : 305 × 457 mm、320 × 450 mm (SRA3)、330 × 483 mm、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R
 - ペーパーデッキ、カセットにセットできる用紙の種類については、「使用できる用紙について」(→ P.2-53) を参照してください。

ペーパーデッキ/カセットに用紙を補給する

プリントする用紙を選択した際に選択した用紙がないときや、本製品のプリント動作中にプリントできる用紙がなくなったとき、タッチパネルディスプレイに用紙の補給を促す画面が表示されます。

以下の手順に従って、ペーパーデッキ/カセットに用紙を補給します。



注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

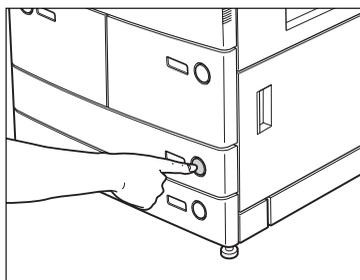
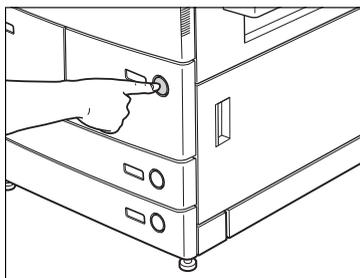
- 重要**
 - 選択したペーパーデッキやカセットが完全に押し込まれていないときにも、用紙補給画面が表示されます。ペーパーデッキやカセットは完全に押し込んでください。
 - 次のような用紙は、ペーパーデッキやカセットにセットしないでください。紙づまりの原因になります。
 - 大きくカールした用紙や、しわのある用紙
 - 薄いわら半紙
 - 熱転写プリンタで印字した紙 (裏面にもプリントしないでください。)
 - 用紙をセットするときは、平らな場所でよく揃えてからセットしてください。
 - 用紙をセットしたペーパーデッキやカセットの横の空いている部分には、用紙や用紙以外のものを入れないでください。紙づまりの原因になる場合があります。

メモ

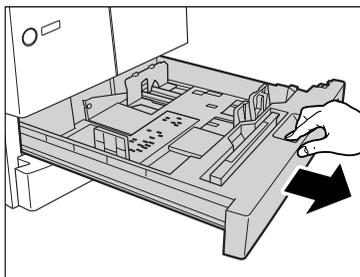
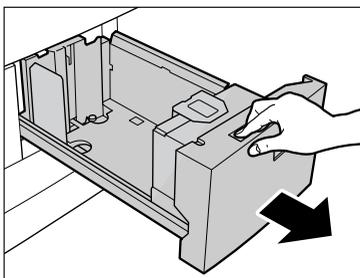
- 連続プリント中に用紙補給のメッセージが表示されたときには、用紙を補給したあと自動的にプリントが再開されます。他の給紙位置を選択した場合は、[OK] を押すとプリントが再開されます。
- [中止] を押すと、プリントが中止されます。
- 現在使用していないファンクションを使用するには、[他のファンクションへ] を押し、[コピー]、[送信/ファクス]、[ボックス]、または [リモートスキャナ] を選択したあと、[閉じる] を押します。



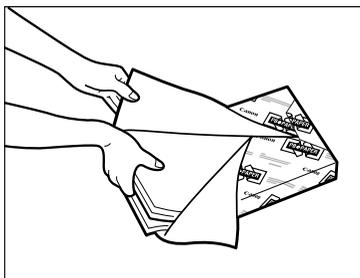
1 用紙を補給するペーパーデッキまたはカセットのオープンボタンをいったん押して離します。



- 2** ペーパーデッキまたはカセットの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出します。



- 3** 包装紙を開いて、用紙を取り出します。

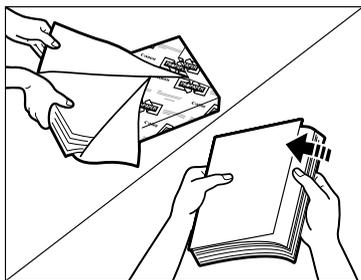


⚠ 注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

👉 重要 残った用紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらない場所に保管してください。

メモ

- 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をお勧めいたします。
- 用紙をセットするときは、給紙されやすくするために数回さばき、用紙の端をそろえてからセットしてください。また、包装紙を開いて取り出した用紙は、束ごとさばいてください。

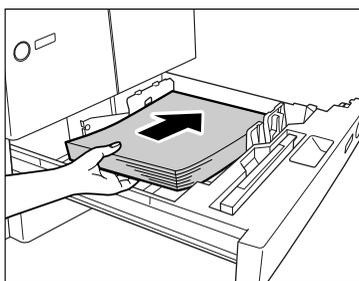
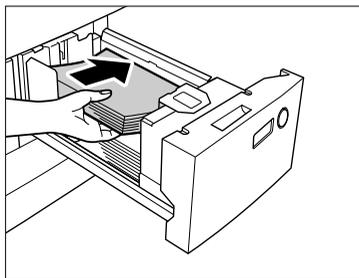


4 開封した面を下向きにして用紙をセットします。

用紙をそろえ、ペーパーデッキまたはカセットの右側面にぴったりとつき当ててセットしてください。

カセットに初めて用紙を補給するときは、使用する用紙に合わせて用紙サイズ登録ダイヤルをセットしてください。

用紙を補給する場合は、ペーパーデッキまたはカセットの用紙サイズ設定と、セットする用紙サイズが一致していることを確認してください。(→ カセットの用紙サイズを変更する：P.7-7)



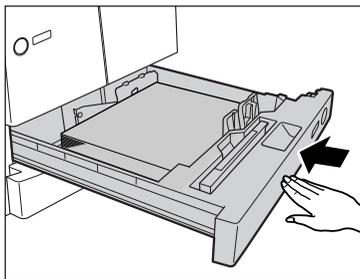
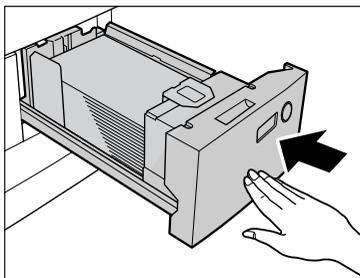
重要

- 用紙がカールしているときは、カールをなおしてからセットしてください。
- 用紙の高さが積載制限表示 () をオーバーしないように注意してください。



- ペーパーデッキにはそれぞれ約 1700 枚 (64 g/m²) または 1500 枚 (80 g/m²) の用紙がセットできます。
- カセットにはそれぞれ約 600 枚 (64 g/m²) または 550 枚 (80 g/m²) の用紙がセットできます。
- 用紙の梱包紙に給紙面についての指示が書かれている場合は、その指示に従って用紙をセットしてください。
- カセットに用紙をセットする場合は、プリントする面を下にしてセットしてください。
- プリントするときに不具合が生じた場合は、用紙を裏返してセットしなおしてください。
- あらかじめロゴなどが印刷されている用紙のプリント方向については、「原稿向きと用紙向きの関係について」(→ P.9-22) を参照してください。
- ペーパーデッキのサイズ変更については、担当サービスにご連絡ください。

5 ペーパーデッキまたはカセットを、本体にカチッと音がするまで静かに押し込みます。



注意 ペーパーデッキまたはカセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。



重要 積載制限枚数を超えたり、ペーパーデッキまたはカセットが確実に閉じられていないと、コピーやプリントができません。ペーパーデッキまたはカセットが確実にセットされているか確認してください。用紙を入れすぎている場合は、積載制限の表示まで用紙を減らしてください。



メモ 用紙切れでプリント動作が中断されたときは、用紙補給後、タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従って操作してください。本機はプリント動作を再開します。

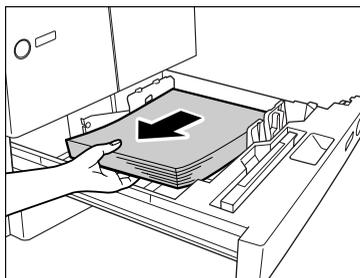
カセットの用紙サイズを変更する

セットする用紙サイズが今までセットしていた用紙と異なる場合は、次のようにカセットガイドを調節してください。

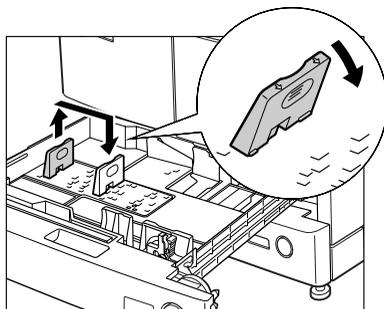
重要 OHP フィルムやインデックス紙は A4 サイズのみセットできます。OHP フィルムやインデックス紙をセットするときは、用紙サイズ登録ダイヤルを必ず A4 にあわせてください。A4 サイズ以外をセットすると、用紙サイズや用紙残量を正しく検知できません。

メモ 日本でもに使われている紙のサイズは、A3、A4、B4、B5 などの「A/B 系列」です。レター (LTR) やリーガル (LGL) といった「インチ系列」の紙は北米などの地域でよく使われています。本製品は、お客様の使用状況にあわせてどちらの系列の紙サイズでも使用できます。

- 1 用紙サイズを変更するカセットのオープンボタンをいったん押して離します。カセットを引き出し、セットされている用紙をすべて取り出します。

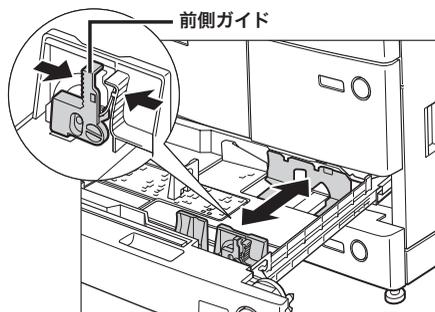


- 2 左側ガイドを取り外し、セットする用紙サイズの穴に差し込みます。



重要 330 × 483 mm の用紙をセットする場合は、取り外した左側ガイドを左側手前の指定された穴に差し込みます。

- 3** 図のようにレバーをつまみ、前側ガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズの指標に合わせます。

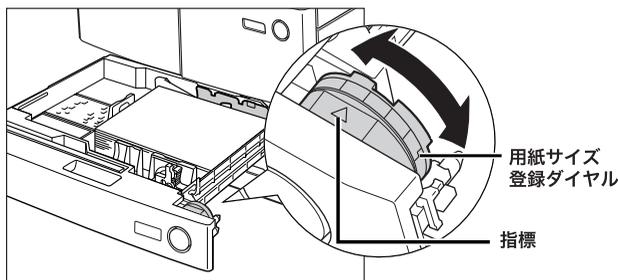


重要 紙づまりやプリントの汚れ、本製品内部の汚れの原因になりますので、用紙サイズの指標に必ず正しく合わせてください。

- 4** 変更したサイズの内紙をカセットにセットします。

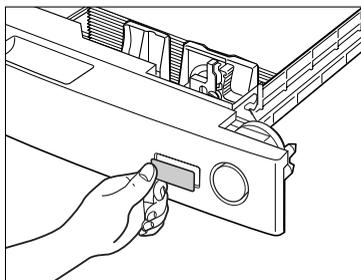
注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

- 5** カセット右側にある用紙サイズ登録ダイヤルを回して、セットする用紙サイズに指標を合わせます。

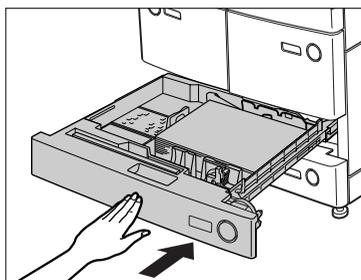


重要 セットする用紙サイズに指標を正しく合わせないと、用紙サイズがタッチパネルディスプレイに正しく表示されません。また、紙づまりやプリントの汚れ、本製品内部の汚れの原因になりますので、必ず正しく合わせてください。

6 カセットのシールを変更後の用紙サイズのものに交換します。



7 カセットを、本体にカチッと音がするまで静かに押し込みます。

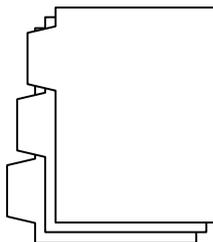


⚠注意 カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

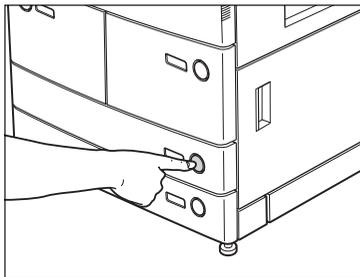
インデックス紙をセットする

インデックス紙は、カセットにセットすることができます。インデックス紙をセットする場合は、次のようにカセットにセットしてください。

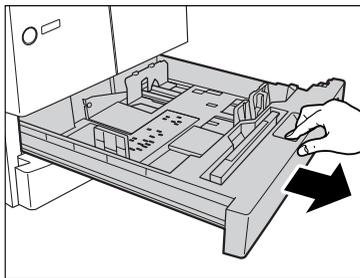
- 📌重要** インデックス紙は A4 サイズのみセットできます。
- 📝メモ** インデックス紙は図のように重ね、コピーする面を裏にしてセットしてください。



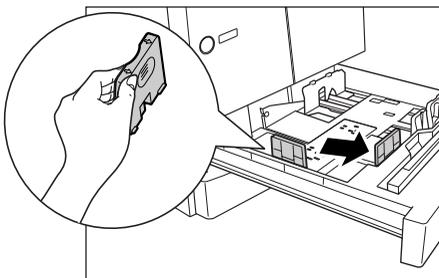
- 1 インデックス紙をセットするカセットのオープンボタンをいったん押し
て離します。



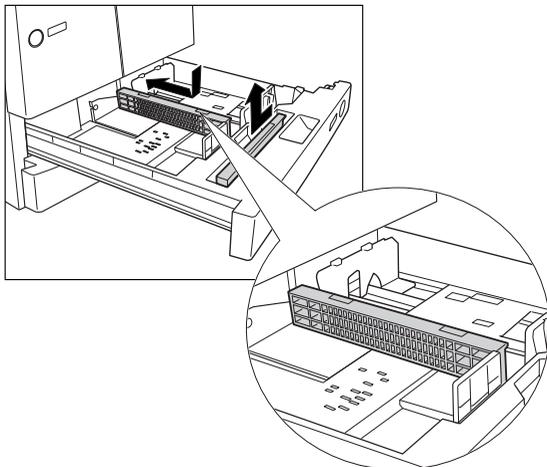
- 2 カセットの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出しま
す。



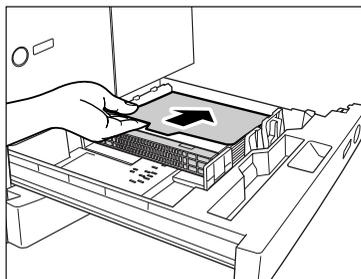
- 3 左側ガイドをカセットデッキ左側手前に移動させます。



4 図のようにインデックス紙ガイドを取り付けます。



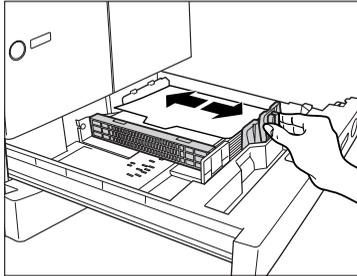
5 インデックス部を左側に向けてインデックス紙をセットします。



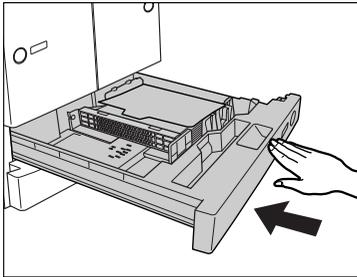
- 重要**
- インデックス紙がカールしていると、画像のかすれの原因となります。その場合は、インデックス紙を裏返してセットしなおしてください。
 - 用紙の高さが積載制限表示 () をオーバーしないように注意してください。

6 図のようにレバーをつまみ、前側ガイドをスライドさせ、セットするサイズの指標に合わせます。

用紙サイズが変わる場合は、用紙サイズ登録ダイヤルを回してセットする用紙サイズに指標を合わせます。



7 カセットを、本体にカチッと音がするまで静かに押し込みます。



注意 カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

- 重要**
- インデックス紙をセットしたカセットの横の空いている部分には、用紙や用紙以外のものを入れないでください。紙づまりの原因になる場合があります。
 - インデックス紙を使用しない場合は、必ずインデックスガイドを元の場所に戻してください。インデックスガイドをつけたままでインデックス紙以外の用紙をセットすると紙づまりの原因になる場合があります。

- メモ**
- インデックス紙をセットした場合は、必ず初期設定／登録の「用紙種類の登録」でインデックス紙の登録を行ってください。
 - インデックス紙を使ったコピーのしかたについては、コピー／ボックスガイド「第 4 章 便利なコピー／ボックスの使いかた」を参照してください。

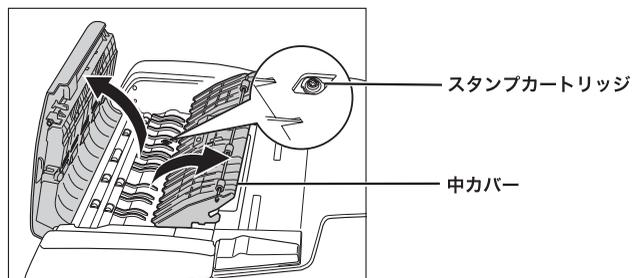
フィーダ

フィーダは、送信原稿に済スタンプ（マーク）をつけることができます。済スタンプがカスれてきたり、つかなくなったりしたときは、スタンプカートリッジを交換してください。

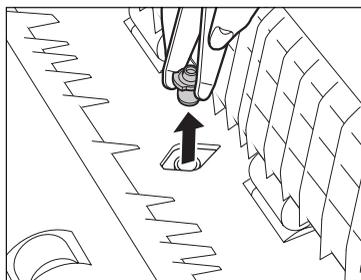
メモ フィーダにオプションのスタンプユニット・A1 を装着した場合のみスタンプをつけることができます。

スタンプカートリッジを交換する

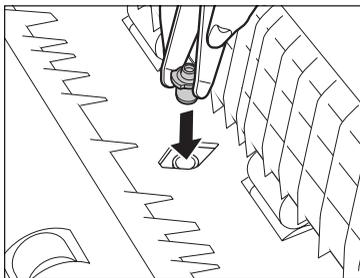
- 1 フィーダカバーを開いたあと、中カバーを開きます。



- 2 ピンセットを使って古いスタンプカートリッジを取り外します。

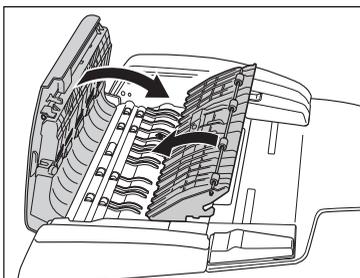


3 ピンセットを使って新しいスタンプカートリッジをカチッと音がするまで取り付けます。



- 重要**
- スタンプカートリッジのスタンプ面が突き出ないようにセットしてください。
 - スタンプカートリッジを正規の位置にセットしていないと紙づまりの原因になる可能性があります。

4 中カバーを閉じたあと、フィーダカバーを閉じます。



- 注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

サイドペーパーデッキ・U1（オプション）

サイドペーパーデッキ・U1（オプション）を装着すると、本製品に標準装備されているカセットの用紙サイズに加え、1種類の用紙サイズが追加できます。

サイドペーパーデッキ・U1には、約4000枚（64 g/m²）または3500枚（80 g/m²）まで用紙がセットできます。

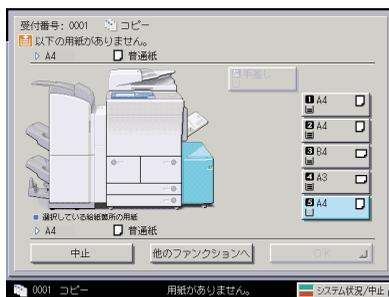
重要 本製品がスリープモードに移行しているとき（タッチパネルディスプレイの表示が消灯し、主電源ランプが点灯しているとき）はサイドペーパーデッキを開くことができない場合があります。この場合は、操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してからオープンボタンを押してください。

メモ サイドペーパーデッキの用紙サイズは、A4あるいはB5に固定されています。サイドペーパーデッキのサイズ変更については、担当サービスにご連絡ください。

サイドペーパーデッキに用紙を補給する

サイドペーパーデッキを選択した際に用紙がないときや、本製品のプリント動作中にサイドペーパーデッキの用紙がなくなったとき、タッチパネルディスプレイに用紙の補給を促す画面が表示されます。

以下の手順に従って、用紙を補給してください。

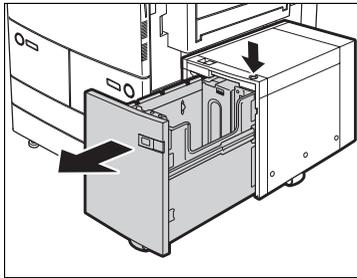


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

重要 サイドペーパーデッキで使用できる用紙の厚さは64～209 g/m²です。これよりも厚い用紙にコピーする場合は手差しトレイを使用してください。

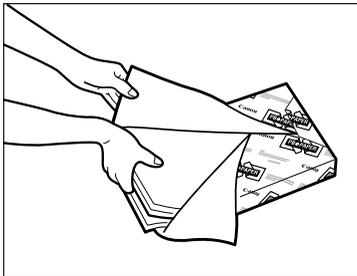
メモ 連続プリント中に用紙補給のメッセージが表示されたときには、用紙を補給したあと自動的にプリントが再開されます。他の給紙箇所を選択した場合は、[OK]を押すと、プリントが再開されます。

1 オープンボタンを押して、サイドペーパーデッキを開きます。



内部のリフターが自動的に用紙補給位置まで下がります。

2 包装紙を開いて、用紙を取り出します。

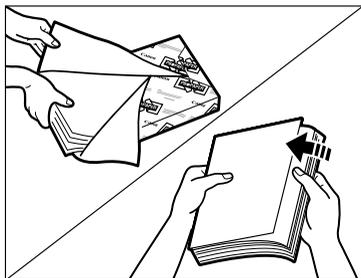


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

- 重要**
- 残った用紙は包装紙に包み、湿気が少ない直射日光の当たらない場所に保管してください。
 - 次のような用紙は、サイドペーパーデッキにセットしないでください。
 - ・大きくカールした用紙や、しわのある用紙
 - ・薄いわら半紙
 - ・厚紙 3 (210 ~ 250 g/m²)
 - ・OHP フィルム、インデックス紙
 - ・熱転写プリンタで印字した紙 (ウラ面にもプリントしないでください。)

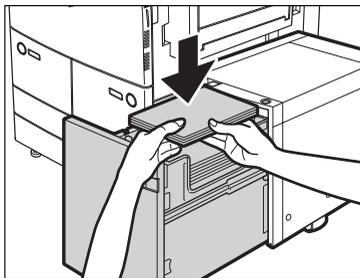
メモ

- 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
- 用紙をセットするときは、給紙されやすくするために数回さばき、用紙の端をそろえてからセットしてください。また、包装紙を開いて取り出した用紙は、束ごとさばいてください。



3 用紙をセットします。

内部のリフターが下がったのを確認し、用紙を揃えてセットします。



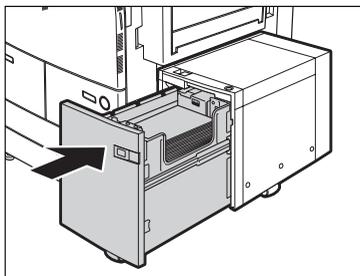
重要

- 用紙がカールしているときは、カールをなおしてからセットしてください。
- 用紙の高さが積載制限 () をオーバーしないように注意してください

メモ

- サイドペーパーデッキには約 4000 枚 (64 g/m²) または 3500 枚 (80 g/m²) の用紙がセットできます。
- サイドペーパーデッキには約 600 枚 (64 g/m²) または 550 枚 (80 g/m²) ずつ用紙を補給できます。さらに補給できる場合は、再びリフターが下がります。
- サイドペーパーデッキにセットできる用紙は、A4 あるいは B5 のみです。ヨコ置きはセットできません。
- 用紙の梱包紙に給紙面についての指示が書かれている場合は、その指示に従って用紙をセットしてください。
- サイドペーパーデッキに用紙をセットする場合は、プリントする面を上にしてセットしてください。
- プリントするときに不具合が生じた場合は、用紙を裏返してセットしなおしてください。
- あらかじめロゴなどが印刷されている用紙のプリント方向については、「原稿向きと用紙向きの関係について」(→ P.9-22) を参照してください。
- サイドペーパーデッキのサイズ変更については、担当サービスにご連絡ください。

4 サイドペーパーデッキを閉じます。



内部のリフターが自動的に上がり、プリントできる状態になります。

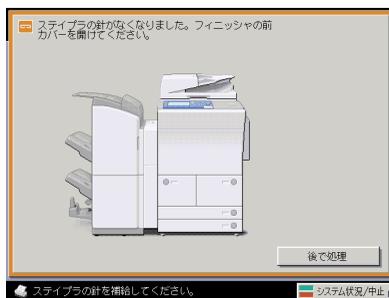
⚠ 注意 サイドペーパーデッキを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 / パンチャーユニット・L1 (オプション)

フィニッシャー・AC1/ サドルフィニッシャー・AC2 の針ケースまたは針カートリッジを交換する方法と、パンチャーユニット・L1 のパンチ屑の処理について説明します。

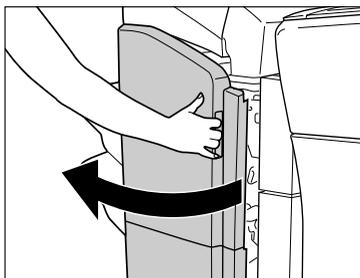
ステイプルユニット針ケースの交換

フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 (オプション) でステイプルユニットのカートリッジの針が残り少なくなり、針ケースの交換が必要になると、下のような画面が表示されます。以下の手順に従って、ステイプルユニット針ケースを交換してください。針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。

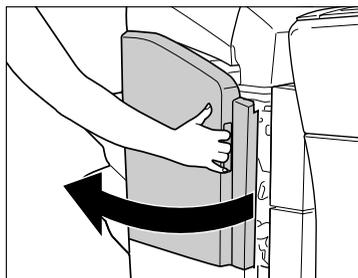


メモ 針ケースはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

1 フィニッシャーの前カバーを開きます。

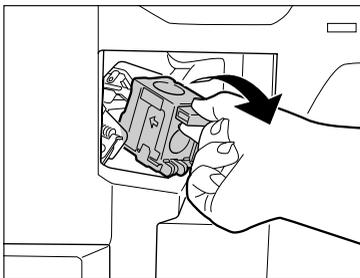


サドルフィニッシャー・AC2



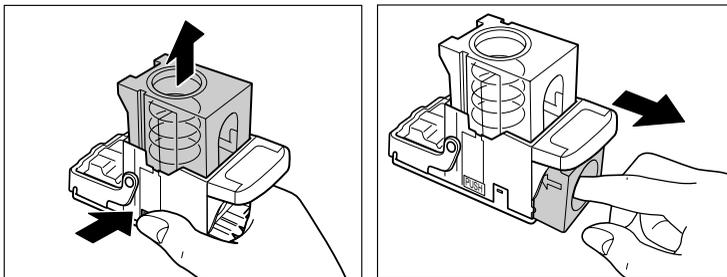
フィニッシャー・AC1

- 2** 針カートリッジの上下（緑色の部分）をつまんで引き上げてから引き出します。



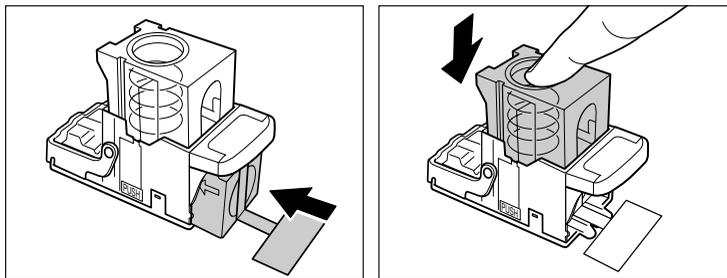
- 3** 空になった針ケースの左右の「PUSH」部を押して取り外します。

針カートリッジを下図のように置いてから、針ケースを取り出します。



- 4** 新しい針ケースをセットします。

針カートリッジのばねはカチッと音がするまで指で押し込んでください。



重要

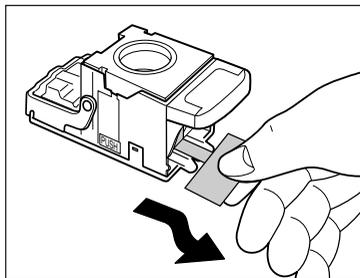
- 針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。
- 針をとめてあるシールは、カートリッジにセットする前にはがさないでください。



メモ

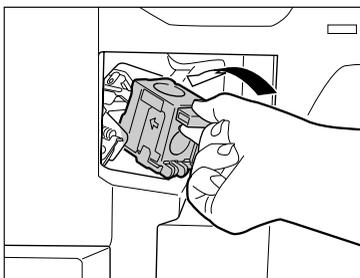
一度にセットできる針ケースは1個までです。

5 針をとめてあるシールをまっすぐに引き抜きます。

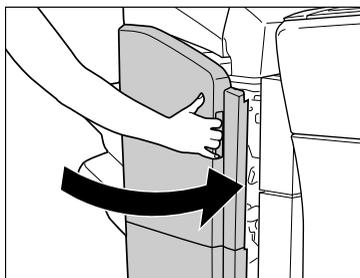


重要 斜めに引くとシールが途中で切れる恐れがあります。必ずまっすぐ引き抜いてください。

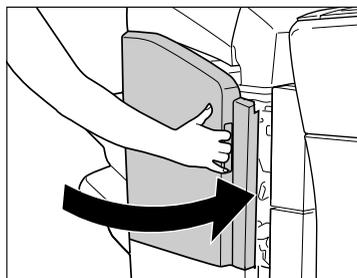
6 針カートリッジをしっかり押し込みます。



7 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



サドルフィニッシャー・AC2



フィニッシャー・AC1

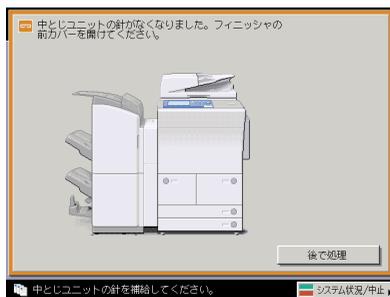
注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ カバーを閉じると、針がとじ位置になればステイプルユニットは自動的に数回空うちして、針の頭出しを行います。

中とじユニット針カートリッジの交換

中とじユニットのカートリッジの針が残り少なくなり、針カートリッジの交換が必要になると、下のような画面が表示されます。以下の手順に従って、針カートリッジを交換してください。

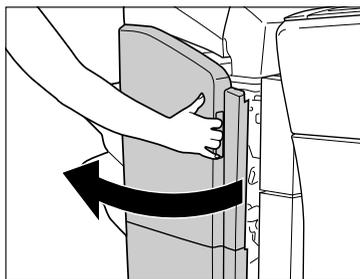
針カートリッジは必ず本製品専用のものを使用してください。



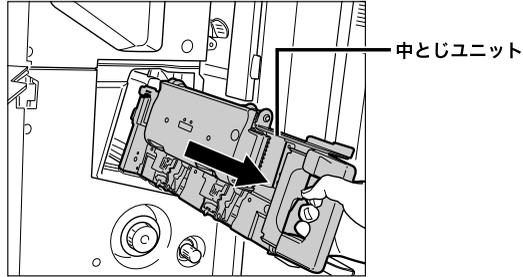
- 重要** ● この処理はオプションのサドルフィニッシャー・AC2 装着時のみ行います。
- 中とじユニット針カートリッジの交換を行う前に、製本トレイに排紙された用紙をすべて取り除いてください。
- メモ** ● 針カートリッジはなくなる前に販売店よりお求めになることをお勧めします。

7

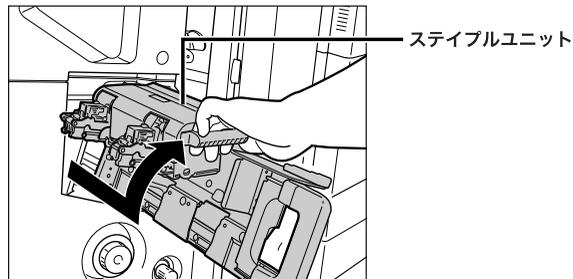
1 フィニッシャの前カバーを開きます。



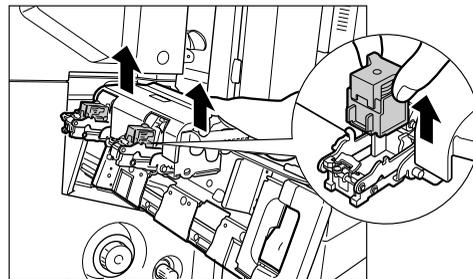
- 2 中とじユニットの取っ手を持ち、止まるまで引き出します。



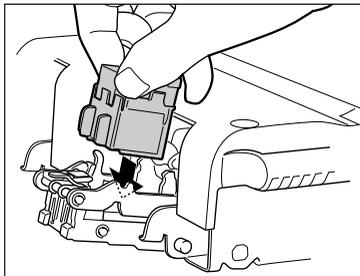
- 3 中とじユニットのステイプルユニットを一度手前に引いたあと起こします。



- 4 空になった針カートリッジの左右をつまんで取り外します。

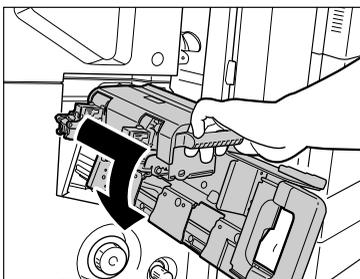


5 新しい針カートリッジをセットします。

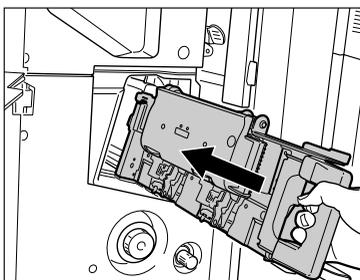


 **メモ** 一度にセットできる針カートリッジは1個までです。

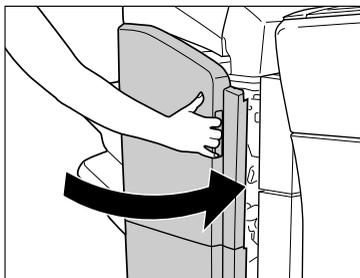
6 中とじユニットのステイプルユニットを一度手前に引いて元に戻します。



7 中とじユニットを押し戻します。



8 フィニッシャの前カバーを閉じます。



注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

重要 針カートリッジの交換が終了したら、針の頭出しを必ず行ってください。(→ 中とじユニットの針の頭出しをする：P.4-59)

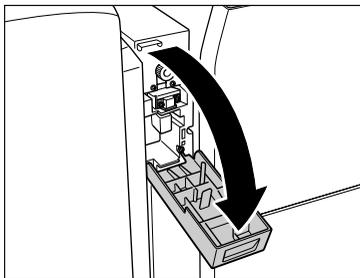
パンチ屑の処理

パンチ屑がいっぱいになると、下のような画面が表示されます。画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従ってパンチ屑を処理してください。

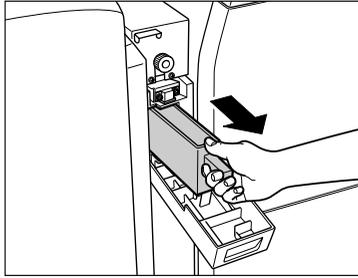


メモ この処理はオプションのパンチャーユニット・L1 装着時のみ行います。

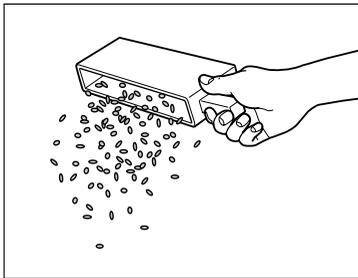
1 パンチャーユニットの前カバーを開きます。



2 パンチ屑入れを引き出します。

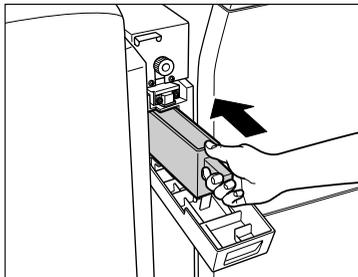


3 パンチ屑を捨てます。



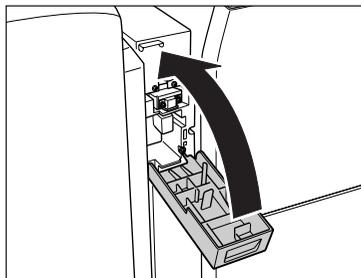
 **メモ** パンチ屑は残らず捨ててください。

4 パンチ屑入れを戻します。



 **メモ** パンチ屑入れを確実に戻さないで、パンチ設定をしてコピー／プリントすることができません。

5 パンチャーユニットの前カバーを閉じます。



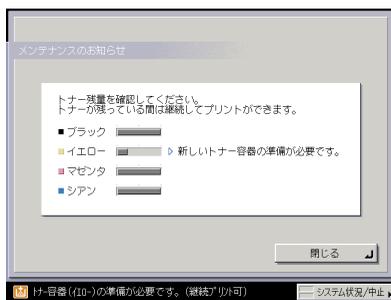
⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

トナー容器の交換

トナーが残り少なくなると、タッチパネルディスプレイに下図のメッセージが表示されます。[閉じる] を押してまだプリントすることはできませんが、表示された色のトナー容器を用意してください。

トナーがなくなりプリントできない状態になると、タッチパネルディスプレイに交換方法が表示されます。このようなときは、次の手順に従ってトナー容器を交換してください。

[後で処理] を押した場合は、トナーをすぐに交換しなくてもモードの設定、原稿の読み込みなどの操作は続けることができます。



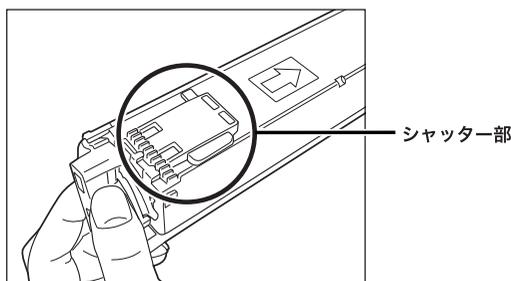
警告 トナー容器は絶対に火の中に入れてください。トナー容器内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

- トナー容器は幼児の手の届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- トナーが衣服や手に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要

- トナー容器は必ず本製品専用のものを使ってください。
- トナー容器の交換は、トナー容器交換のメッセージが表示されてから行ってください。
- カラートナー容器の交換は、本製品のプリント中に行わないでください。紙づまりの原因となります。ブラックトナー容器の交換は、本製品のプリント中にも行うことができます。
- 交換するトナーの色はタッチパネルディスプレイに表示されます。トナー挿入口に見えているトナー容器から順に交換してください。複数のトナー容器を交換する必要がある場合は、イエロー、マゼンタ、シアンの順に補給する色のトナー容器を交換します。
- シアン、マゼンタ、イエローのいずれかのトナーがなくなった後で白黒コピー／プリントを行う場合は、空になったトナー容器を抜かないでください。
- 警告画面が表示されるように設定する方法については、「トナー残量の警告画面を表示する（トナー残量警告表示の ON/OFF）」（→ P.6-32）を参照してください。表示された警告画面を消去する方法については、「トナー残量の警告表示を消去する」（→ P.4-54）を参照してください。
- トナー容器のギア部、シャッター部には触れないでください。トナーが漏れることがあります。



シアン、マゼンタ、イエローのトナーの場合

メモ

- 「トナー容器の準備が必要です。（継続プリント可）」というメッセージが表示されたときは、トナー残量が少なくなっています。トナーがなくなる前に表示された新しいトナー容器を用意してください。
- タッチパネルディスプレイに表示される [前の手順へ]、[次の手順へ] を押して、交換方法を確認することができます。
- トナーがなくなり中断したプリントジョブは、トナー容器交換後自動的に再開します。
- ブラックのトナーが残っている場合は、白黒コピー／プリントを行うことができます。ただし、シアン、マゼンタ、イエローのいずれかのトナーがなくなったため中断したジョブがある場合は、中断したジョブとは異なるファンクションのみ白黒コピー／プリントを行うことができます。
- トナー容器交換後にコピー／プリントの色がトナー容器交換前と異なる場合は、調整／クリーニング（初期設定／登録）の自動階調補正で色を調整してください。（→ 階調や濃度を自動補正する：P.4-60）

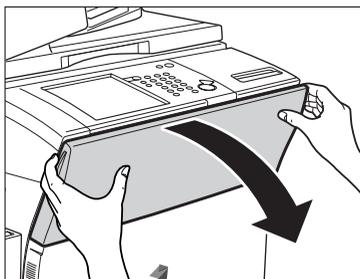
ブラックトナーの交換方法

トナーがなくなりプリントできない状態になると、タッチパネルディスプレイに交換方法が表示されます。このようなときは、次の手順に従ってトナー容器を交換してください。

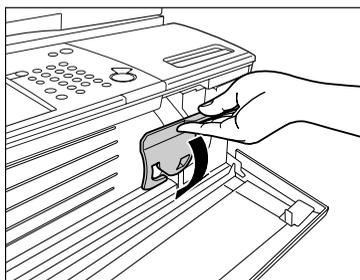


[後で処理] を押した場合は、トナーをすぐに交換しなくてもモードの設定、原稿の読み込みなどの操作は続けることができます。

1 ブラックトナー交換カバーを開きます。

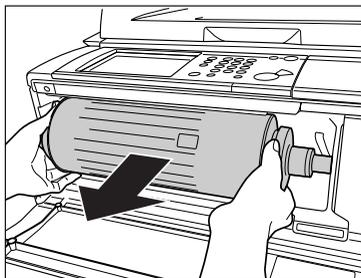


2 ロックレバーを下げます。



重要 ロックレバーを必ず UNLOCK の位置まで正しく下げてください。(UNLOCK の位置まで下げないとボトルを取り外せなくなる場合があります。)

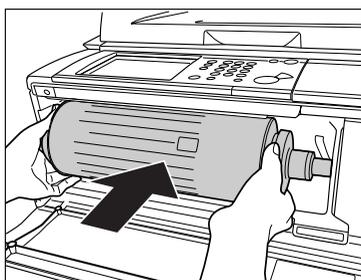
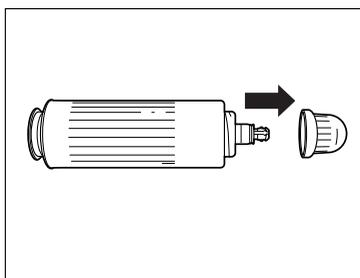
3 ブラックトナー容器を取り出します。



警告 使用済みのトナー容器を火中に投じないでください。トナー容器内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

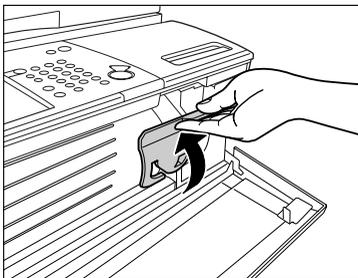
4 新しいトナー容器をセットします。

セットする前に赤い保護キャップを、左に回しながら外してください。



- 重要**
- トナー容器は必ず本製品用のものをセットしてください。本製品用以外のトナーをセットすることはできません。
 - トナーは本製品に対し水平に挿入してください。トナーが漏れる恐れがあるので、トナー容器の先端から入れるなど、トナー容器を斜めに挿入しないでください。

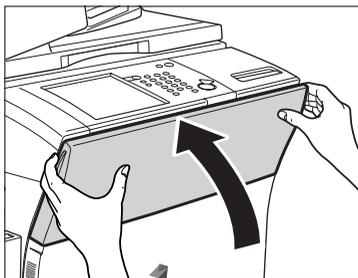
5 ロックレバーを上げます。



⚠ 注意 ロックレバーを上げる場合、レバーと操作部の間に指をはさまないように注意してください。

👉 重要 ロックレバーを必ず LOCK の位置まで正しく上げてください。(LOCK の位置まで上げないと正しくボトルをセットすることができません。)

6 ブラケットナー交換カバーを閉じます。



⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

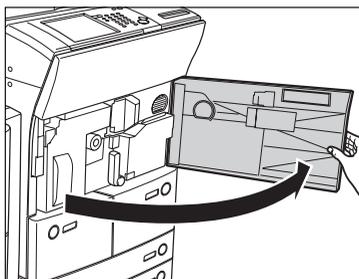
カラートナーの交換方法

トナーがなくなりプリントできない状態になると、タッチパネルディスプレイに交換方法が表示されます。このようなときは、次の手順に従ってトナー容器を交換してください。

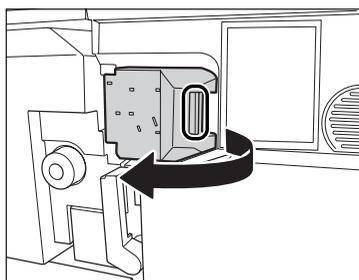


[後で処理] を押した場合、トナーをすぐに交換しなくてもモードの設定、原稿の読み込みなどの操作は続けることができます。

1 前カバーを開きます。

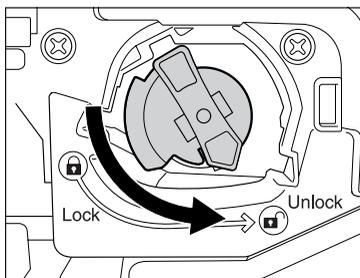


2 トナー挿入口のカバーを開きます。



重要 静電気を取り除くため、必ず取っ手を持つようにしてください。

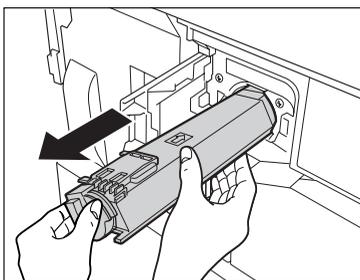
3 トナー容器のノブを左に回します。



重要 シアン、マゼンタ、イエローのトナーは、矢印の位置を Unlock まで回してあることを確認してください。

4 ノブをつまんで、トナー容器を引き出します。

トナー容器が半分程出てきたら、下に手を添えながら引き出してください。

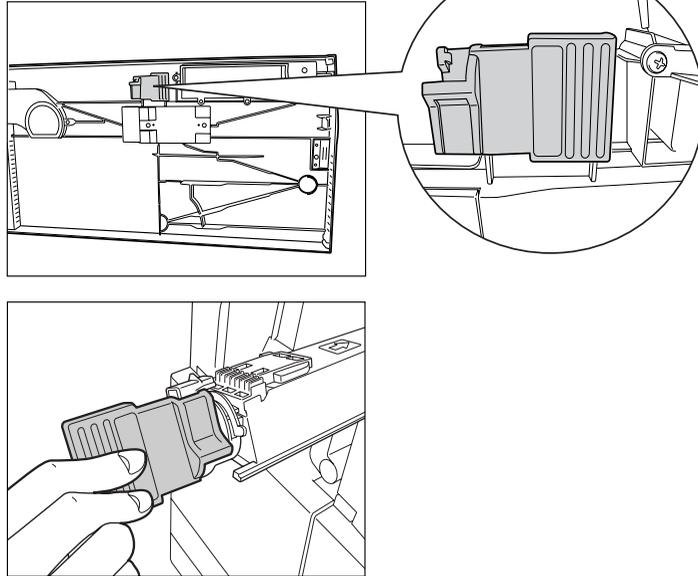


警告 使用済みのトナー容器を火中に投げないでください。トナー容器内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

重要 トナーが抜けない場合は、ノブを最後まで左に回しているか確認してください。



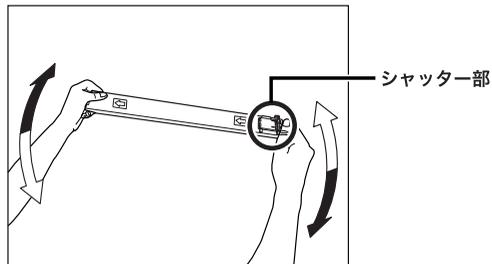
前カバーの裏面についているカラートナー容器交換補助つまみを図のようにセットしてトナーのノブを回しやすくすることもできます。

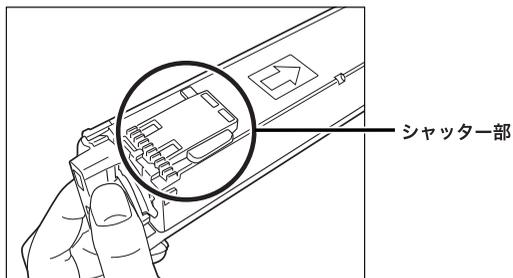


5 新しいトナー容器を図のように両手で持ち、上下を入れ替えるように5往復振ります。



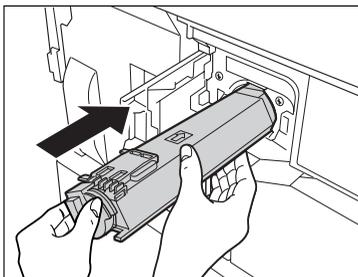
シアン、マゼンタ、イエローのトナーを振る場合は、シャッター部に触れたり、ノブを回さないでください。トナーが漏れることがあります。



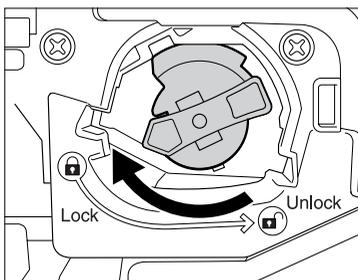


6 新しいトナー容器を奥まで押し込みます。

トナー容器が半分程入るまで、下に手を添えながら押し込んでください。



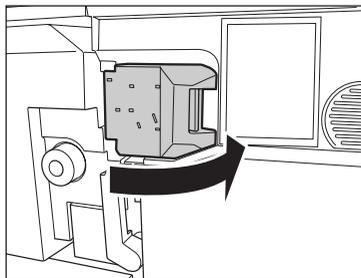
7 トナー容器のノブを止まるまで右に回します。



重要

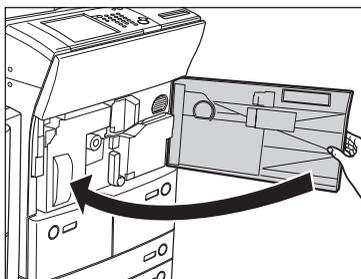
トナー容器のノブを回すときは、トナー容器がしっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。

8 トナー挿入口のカバーを閉じます。



⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

9 前カバーを閉じます。



⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

日常のお手入れ

原稿がきれいに読み取れないときは、次の箇所を清掃してください。快適なプリント結果を得ていただくため、約1か月に1回程度、清掃をお願いいたします。

- 原稿台ガラス
- フィーダ裏面
- フィーダローラ部

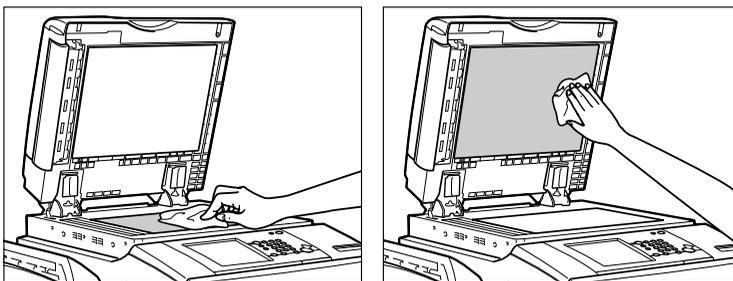
- ⚠ 警告**
- 清掃のときは、主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。
 - アルコールやシンナー、ベンジンなどの溶剤はプラスチック部を変質させることがあります。絶対に使わないでください。
 - 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

原稿台ガラス/フィーダ裏面を清掃する

以下の手順で、原稿台ガラスおよびフィーダ裏面の清掃をしてください。

- 👉 重要** 原稿台ガラス、フィーダ裏面が汚れていると原稿がきれいに読み取れなかったり、原稿のサイズを誤って検知することがあります。

- 1** 水または中性洗剤を含ませて固く絞った布で原稿台ガラスとフィーダ裏面を清掃したあと、かわいた柔らかい布で、から拭きします。



- ⚠ 注意** 清掃のときは、水で濡らしすぎると原稿の破損や故障の原因になることがあります。

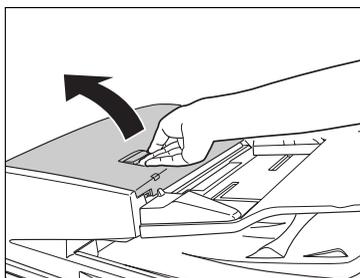
フィーダを清掃する

フィーダから給紙した原稿にスジ状の汚れがつく場合は、ローラ部を清掃してください。

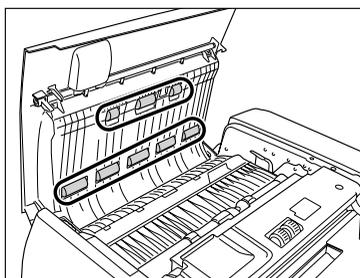
⚠ 注意 清掃のときは、水で濡らしすぎると原稿の破損や故障の原因になることがあります。

📌 重要 ローラは回しながら清掃してください。

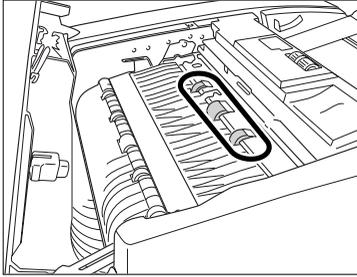
1 フィーダカバーを開きます。



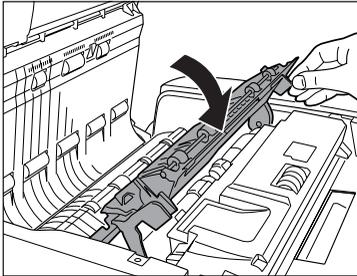
2 フィーダカバー裏側のローラ（計8か所）を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。



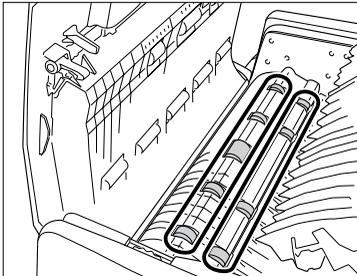
- 3** ローラ（計 3ヶ所）を水を含ませて強く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布で、から拭きします。



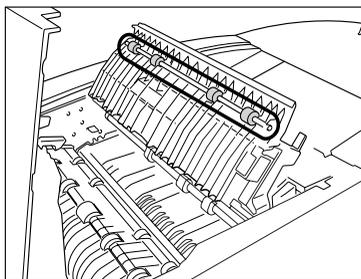
- 4** 奥側のつまみを持って、中カバーを開きます。



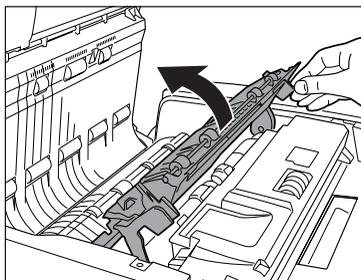
- 5** ローラ（計 9 か所）を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。



- 6** ローラ（計4ヶ所）を、水を含ませて強く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。

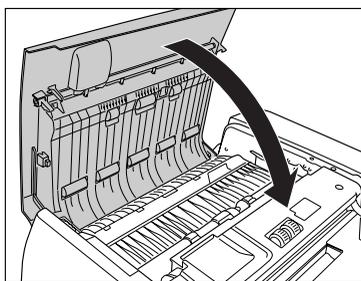


- 7** 中カバーを閉じます。



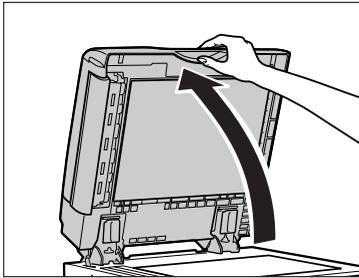
注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

- 8** フィーダカバーを閉じます。

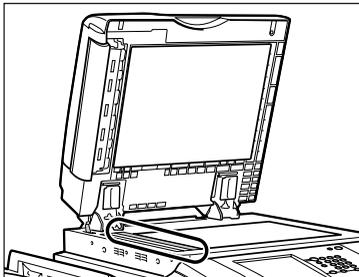


注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

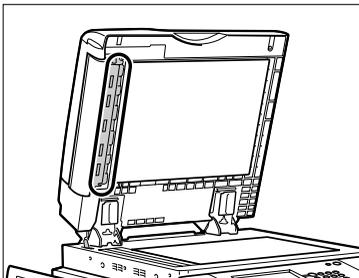
9 フィーダを開きます。



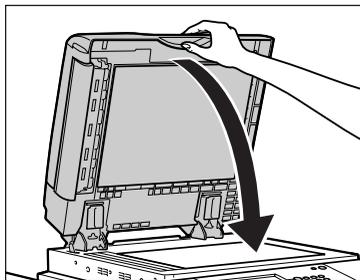
10 原稿読み取り部（細長いガラス部）を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。



11 ゴムローラ横の部分を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。



12 フィーダを閉じます。



- ⚠ 注意**
- フィーダを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。
 - フィーダを閉じる場合は、ランプが光りまぶしいことがあるので注意してください。

プリントが汚れるときは（ローラのクリーニング）

プリントした用紙にスジがつくときは、機械内部のローラが汚れている可能性があります。このようなときはローラのクリーニングをします。

 **メモ** ローラのクリーニングは約 60 秒間かかります。

1  (初期設定/登録) → [調整 / クリーニング] → [ローラのクリーニング] を押します。

2 [開始] を押します。

ローラのクリーニングが終わったら、プリントを再度行ってください。

プリントが汚れるときは（ワイヤのクリーニング）

プリントした用紙に汚れがつくときは、必要に応じて帯電気のワイヤのクリーニングをします。

-  **メモ**
- ワイヤのクリーニングは約 35 秒間かかります。
 - プリント中は、ワイヤのクリーニングはできません。

1  (初期設定/登録) → [調整 / クリーニング] → [ワイヤのクリーニング] を押します。

2 [開始] を押します。

ワイヤのクリーニングが終わったら、プリントを再度行ってください。

フィーダで読み取った原稿が汚れるときは（フィーダのクリーニング）

フィーダを使用して原稿を読み取ったときに、ローラについた鉛筆の粉などのために原稿が汚れ、原稿にないものがプリントされていることがあります。この場合は、フィーダにセットした白紙原稿（用紙）を使用して原稿給紙ローラの汚れをクリーニングします。

-  **メモ** フィーダのクリーニングには約 15 秒間かかります。

1  (初期設定/登録) → [調整 / クリーニング] → [フィーダのクリーニング] を押します。

2 フィーダに白紙を 10 枚くらいセットしたあと、[開始] を押します。

用紙はよくさばいてください。

A4 サイズ (60 ~ 80 g/m²) の用紙をセットしてください。

フィーダのクリーニングが終わったら、読み込みを再度行ってください。

-  **メモ** フィーダのクリーニングを中止する場合は、[中止] を押します。

消耗品

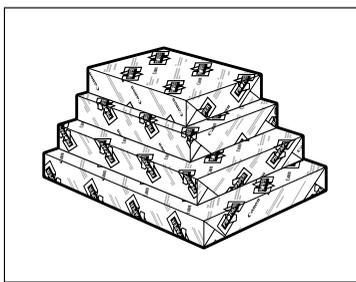
本製品には次のような消耗品が用意されています。

詳しくは、お求めになった販売店にお問い合わせください。

用紙、トナーはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

■ 用紙

普通紙（A3、B4、A4、B5、A5 サイズ）の他に、再生紙、カラーペーパー、OHP フィルム（本製品専用）、第2原図用紙、ラベル用紙などがあります。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。



⚠ 注意

用紙は火気のある場所に保管しないでください。用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

👤 重要

用紙補給後に残った用紙は、湿気を避けるため包装紙にしっかりと包んで保管してください。

✎ メモ

- 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
- 市販されている用紙にはいろいろな種類のものがあり、本製品にあわないものもあります。ご使用になる場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ 専用トナー容器

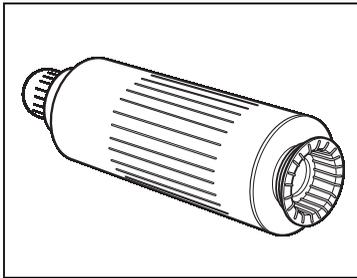
トナー容器交換のメッセージが表示されたら、表示された色のトナー容器を交換してください。

トナー容器には、シアン・マゼンタ・イエロー・ブラックがあります。

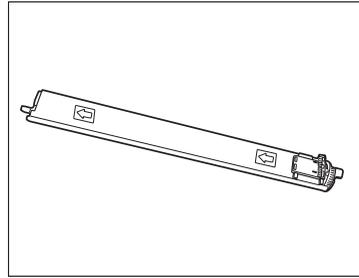
トナー容器を販売店に注文する際は、あらかじめ交換が必要なトナーの色を確認してください。また、トナー容器を交換する際は、正しい色であることを確認してください。

トナー容器は本製品専用のものを使用してください。

製品名	対応するキヤノン純正トナー
iR C6880N	NPG-39 トナー
iR C5880N	



ブラックトナー



シアン、マゼンタ、イエローのトナー

⚠ 警告

- トナー容器は火中に投じないでください。爆発の恐れがあり大変危険です。
- トナー容器は火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

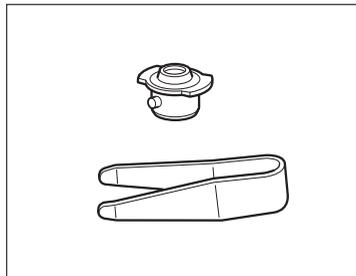
トナーなどの消耗品は幼児の手の届かないところへ保管してください。もしトナーなどを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

👤 重要

トナー容器は直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。(望ましい環境：温度 30 °C 以下 / 湿度 80 % 以下)

■ スタンプカートリッジ

済スタンプ用のインクカートリッジです。



保守について

本製品は、所定の保守契約に基づいて修理・調整を行います。
詳細はお求めになった販売店にお問い合わせください。

■ 補修用性能部品

本製品の補修用性能部品およびトナーの最低保有期間は、本製品製造打ち切り後 7 年間です。

■ 用紙について

快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
使用可能な用紙については、「使用できる用紙について」(→ P.2-53) を参照してください。
(* 各オプションで使用できる用紙の厚さに制限がありますので、注意してください。)

📌 重要

次のような用紙にはプリントしないでください。紙づまりの原因になります。

- ・大きくカールした用紙やしわのある用紙
- ・薄いわら半紙
- ・熱転写プリンタで印字した紙 (ウラ面にもプリントしないでください。)
- ・インクジェット専用の郵便はがき

📝 メモ

市販されている用紙にはいろいろな種類のものがあり、本製品に合わないものもあります。ご使用になる場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ その他

本商品ならびに関連する消耗品・サービス役務などは、別途消費税を申し受けますのでご了承ください。

7

日常のメンテナンス

困ったときには

紙づまりが起きたときや、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

頻繁に紙づまりが起こるときは	8-3
紙づまりが起きたときには	8-4
紙づまりが起こったときの表示	8-4
フィーダの紙づまりの処理	8-9
本体内部（定着搬送ユニット）の紙づまりの処理	8-12
手差しトレイの紙づまりの処理	8-18
右カバー部の紙づまりの処理	8-20
カセット内部の紙づまりの処理	8-22
ペーパーデッキ（右側）内部の紙づまりの処理	8-24
ペーパーデッキ（左側）内部の紙づまりの処理	8-26
サイドペーパーデッキ・U1 の紙づまりの処理（オプション）	8-28
フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の上カバー内部の紙づまりの処理（オプション）	8-32
フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の排紙搬送部の紙づまりの処理（オプション）	8-35
サドルフィニッシャー・AC2 の前カバー部の紙づまりの処理（オプション）	8-39
サドルフィニッシャー・AC2 の中とじユニットの紙づまりの処理（オプション）	8-42
パンチャーユニット・L1 の紙づまりの処理（オプション）	8-45
シフトトレイ・C1 の紙づまりの処理（オプション）	8-50
コピートレイ・K1 の紙づまりの処理（オプション）	8-54
針づまりが起きたときには	8-59
フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 のステイプルユニットの針づまりの処理（オプション）	8-59
サドルフィニッシャー・AC2 の中とじユニットの針づまりの処理（オプション）	8-62
エラーメッセージ一覧	8-66
自己診断表示	8-66
終了コード一覧	8-70
読み込み中にメモリがいっぱいになったときには	8-77
サービスコール表示	8-79
担当サービスを呼ぶときは	8-79

8. 困ったときには

サービスコール画面から機能制限モードを設定する	8-81
電源が入らないとき（ブレーカーの確認）	8-83

頻繁に紙づまりが起きるときは

特に本製品に不具合がないのに紙づまりが頻発するときは、次の2つのような原因が考えられます。それぞれの対処方法に従って、原因を除去してください。

■ 本体内に紙片が残っている

つまっている用紙を無理に引っ張ったりした場合、用紙が破れて紙片が本体内に残ってしまうことがあります。用紙が破れた場合には、残りの紙片もすべて取り除いてください。

■ 設定と異なる用紙がカセットにセットされている

カセットにセットされている用紙が、カセットの右側面にある用紙サイズの指標と一致しているかどうか確認してください。

紙づまりが起きたときには

紙づまりが起きると、タッチパネルディスプレイに次のような画面が表示されます。

紙づまりが起こったときの表示

タッチパネルディスプレイに、紙がつまっている場所を示す画面が表示されてから、紙づまりの処理方法が表示されます。この画面表示は紙づまりが処理されるまで繰り返されます。

■ 紙づまりの箇所を示す画面の例

紙づまりの箇所を確認できます。

[後で処理] を押した場合は、紙づまりをすぐに処理しなくてもモードの設定、原稿の読み込みなどの操作は続けることができます。



- 重要**
- フィーダで紙づまりが発生したときは、続けて操作を行うことはできません。画面の指示に従って用紙を取り除いてください。(→ フィーダの紙づまりの処理：P.8-9)
 - MEAP 画面を表示している場合は、ジョブ/プリント状況表示部にメッセージが表示されます。[システム状況/中止] を押したあと、画面の指示に従って用紙を取り除いてください。

■ 紙づまりの処理方法を示す画面の例



⚠ 警告

製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 製品内部の定着搬送ユニット周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着搬送ユニット周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。
- 紙づまりの処理がすべて終了したら、本製品から直ちに手を離してください。ローラ部に衣服や手が巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

メモ

複数の箇所用紙がつまっている場合は、タッチパネルディスプレイに表示された順に処理してください。

1 画面に表示されたすべての紙づまり箇所を確認し、つまった紙を取り除きます。

つまった紙を見つけて取り除く方法については、以下の該当ページを参照してください。または、画面に表示される手順に従ってください。

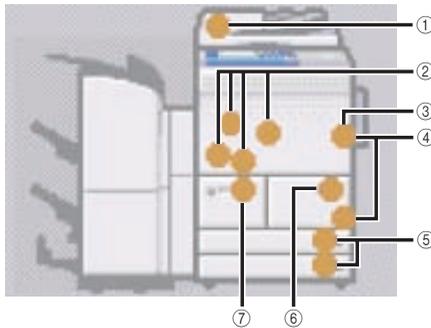
用紙が破れた場合は、残りの紙片もすべて取り除いてください。

⚠ 重要

紙づまり中に電源を切ると、カセットの紙づまりが検知されなくなります。電源を切らずに紙づまりを処理してください。

メモ

- 画面に表示されている紙づまり位置に、実際には紙がつまっていない場合があります。そのような場合もありますが、画面の表示に従い、必ずすべての表示箇所を確認してください。
- 以下の画面では紙づまりが起こる箇所と、それらの紙づまりの処理方法を説明している参照ページを示しています。



- ① フィーダ (→ フィーダの紙づまりの処理 : P.8-9)
- ② 本体内部 (定着搬送ユニット) (→ 本体内部 (定着搬送ユニット) の紙づまりの処理 : P.8-12)
- ③ 手差しトレイ (→ 手差しトレイの紙づまりの処理 : P.8-18)
- ④ 右カバー部 (→ 右カバー部の紙づまりの処理 : P.8-20)
- ⑤ カセット内部 (→ カセット内部の紙づまりの処理 : P.8-22)
- ⑥ ペーパーデッキ (右側) (→ ペーパーデッキ (右側) 内部の紙づまりの処理 : P.8-24)
- ⑦ ペーパーデッキ (左側) (→ ペーパーデッキ (左側) 内部の紙づまりの処理 : P.8-26)

2 オプション機器で紙づまりが起きた場合は、それぞれの項目を参照してください。

● サイドペーパーデッキ・U1

- サイドペーパーデッキ・U1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-28



● フィニッシャー・AC1

- フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の上カバー内部の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-32
- フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の排紙搬送部の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-35



● サドルフィニッシャー・AC2

- フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の上カバー内部の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-32
- フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の排紙搬送部の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-35
- サドルフィニッシャー・AC2 の前カバー部の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-39
- サドルフィニッシャー・AC2 の中とじユニットの紙づまりの処理 (オプション) : P.8-42



● パンチャーユニット・L1

- パンチャーユニット・L1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-45



● シフトトレイ・C1

- シフトトレイ・C1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-50



● コピートレイ・K1

- コピートレイ・K1 の紙づまりの処理 (オプション) : P.8-54



- 3** 表示された箇所につまっている紙をすべて取り除いたら、レバーやカバーなどを処理する前の状態に戻します。

4 画面の指示に従って操作を続けます。

フィーダ以外の紙づまりの処理が終了するとプリント動作を再開します。

取り除く紙が他にもある場合は、タッチパネルディスプレイに紙づまりの処理方法を示す画面が表示されます。手順1から同様の作業をしてください。



複数の部数をコピーしている場合でも、コピー枚数を設定しなおす必要はありません。つまった枚数に応じて、自動的に補正されます。

フィーダの紙づまりの処理

フィーダで紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



警告

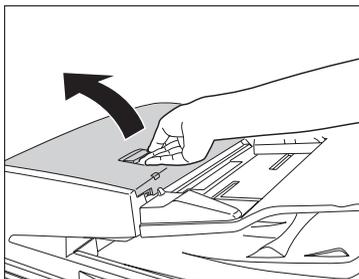
製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。



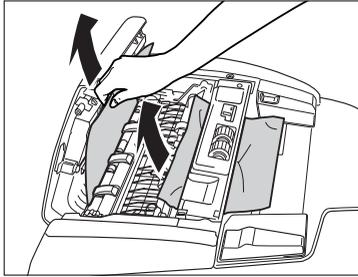
注意

原稿づまりを取り除くときは、原稿の端で手を切ったりしないように、注意してください。

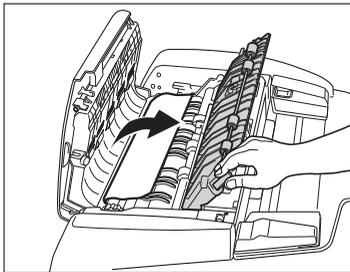
1 フィーダの上カバーを開きます。



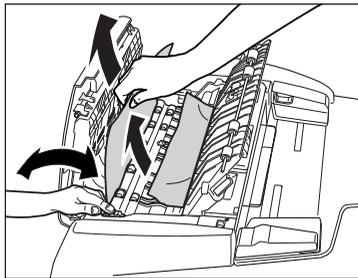
2 つまっている用紙を取り除きます。



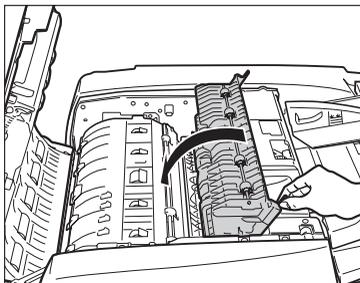
3 手前のつまみを持って、中カバーを開きます。



4 つまみを回して、つまっている用紙を取り除きます。

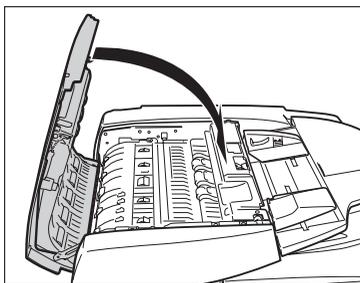


5 中カバーを閉じます。



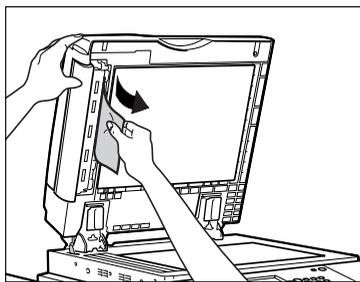
注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 つまっている原稿をすべて取り除いたら、フィーダの上カバーを閉じます。

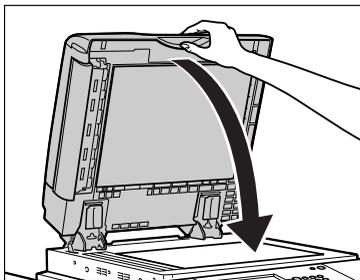


注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 フィーダを開き、つまっている原稿を取り除きます。



8 フィーダを閉じます。



注意 フィーダは手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

9 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

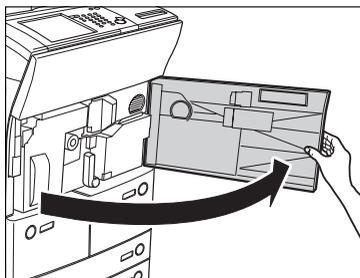
本体内部（定着搬送ユニット）の紙づまりの処理

本体内部（定着搬送ユニット）で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って用紙を取り除いてください。

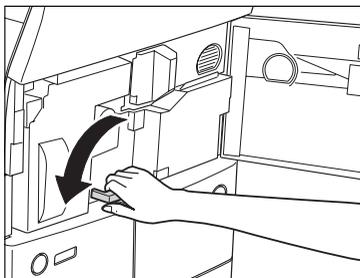


注意 製品内部の定着搬送ユニット周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着搬送ユニット周辺に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

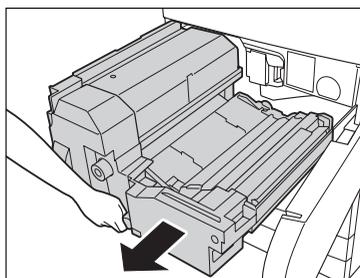
- 1** 本体の前カバーを開きます。



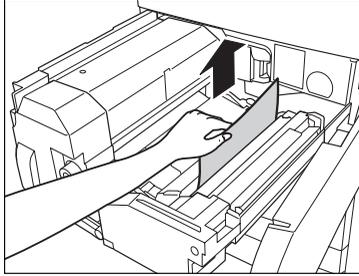
- 2** 緑色のレバーを横にします。



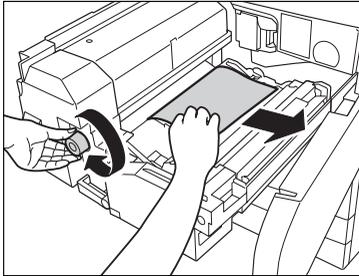
- 3** レバーを握りながら、定着搬送ユニットを引き出します。



4 定着搬送ユニット上に残っている用紙を取り除きます。

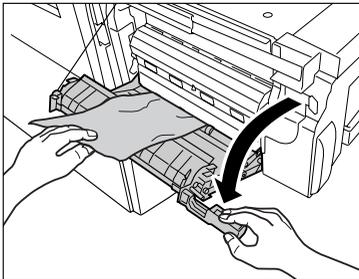


5 矢印の方向に緑色のつまみを回し、カバー内につまんでいる用紙を取り除きます。

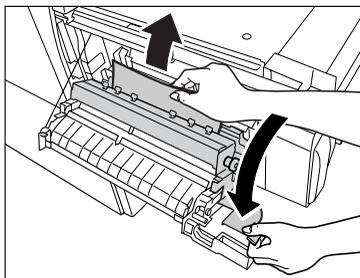


注意 カバーの周囲には高温の部分があります。用紙を取り除くときには、カバー以外の部分には触れないように注意してください。

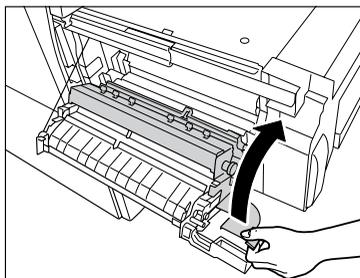
6 反転排紙カバーを開き、つまっている用紙を取り除きます。



- 7** 緑色の取っ手を引いて中カバーを開き、カバー内につままっている用紙を取り除きます。

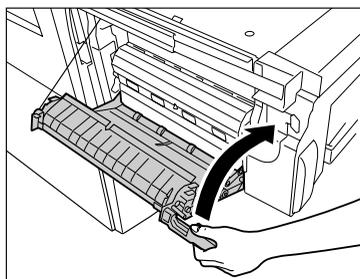


- 8** 中カバーを閉じます。



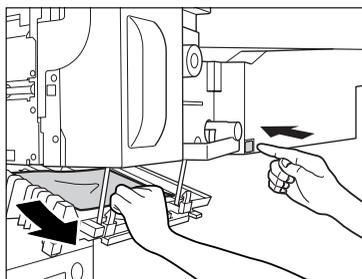
! 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

- 9** 反転排紙カバーを閉じます。

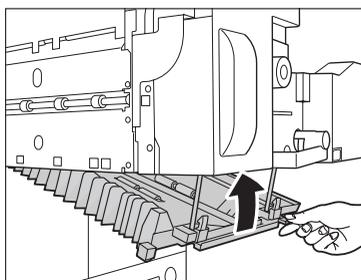


! 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

- 10** 定着搬送ユニット下のボタンを押してユニット下カバーを開き、カバー内につまっている用紙を取り除きます。

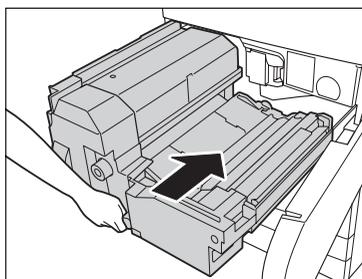


- 11** ユニット下カバーを閉じます。



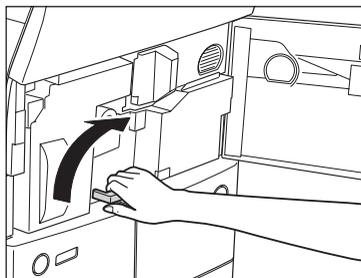
注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

- 12** 定着搬送ユニットを元に戻します。

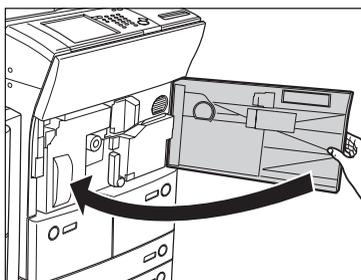


注意 ユニットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

13 緑色のレバーを元に戻します。



14 つまっている用紙をすべて取り除いたら、前カバーを閉じます。



⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

15 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

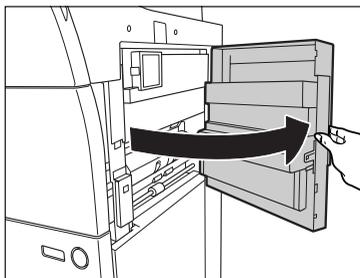
手差しトレイの紙づまりの処理

手差しトレイ部で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って用紙を取り除いてください。

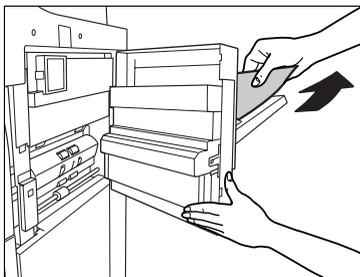


1 本体の右カバー（上）を開きます。

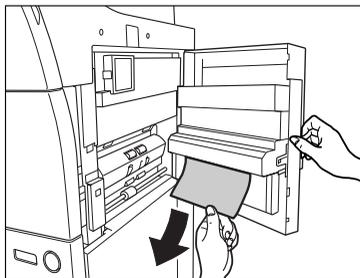
オプションのサイドペーパーデッキ・U1 (→ サイドペーパーデッキ・U1 : P.3-13) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。



2 手差しトレイ上の紙づまりしていない用紙を、いったんすべて取り除きます。

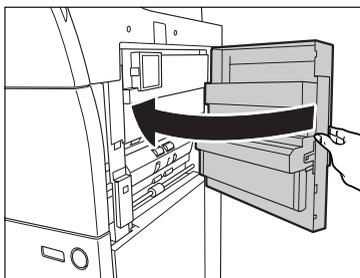


3 つまっている用紙を取り除きます。



4 本体の右カバー（上）を閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・U1 (→ サイドペーパーデッキ・U1 : P.3-13) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。



⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 画面の指示に従って操作します。

✎メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→ 紙づまりが起こったときの表示 : P.8-4)

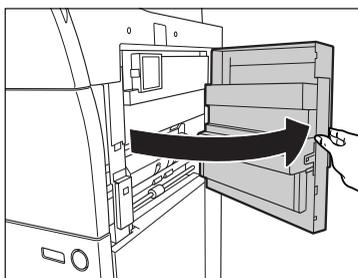
右カバー部の紙づまりの処理

右カバー部で紙づまりが起これると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って用紙を取り除いてください。

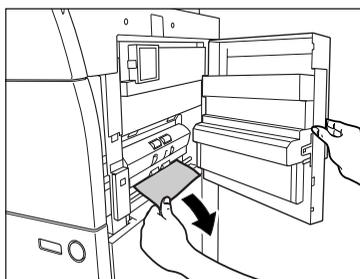


1 本体の右カバー（上）を開きます。

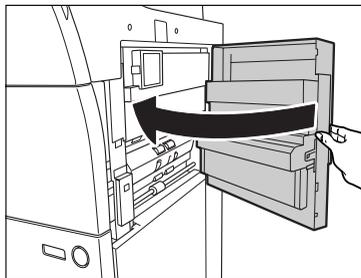
オプションのサイドペーパーデッキ・U1 (→ サイドペーパーデッキ・U1 : P.3-13) を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。



2 つまっている用紙を取り除きます。

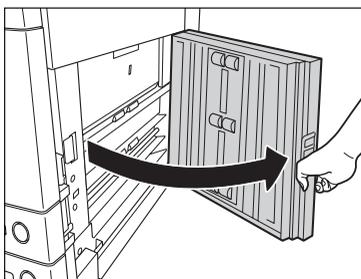


3 本体の右カバー（上）を閉じます。

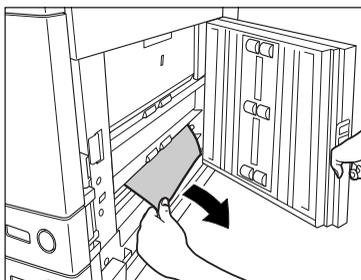


⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

4 本体の右カバー（下）を開きます。

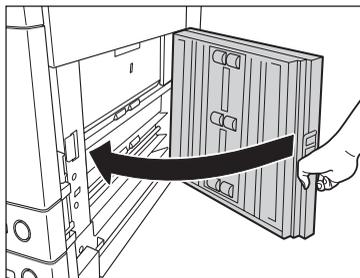


5 つまっている用紙を取り除きます。



6 本体の右カバー（下）を閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・U1（→サイドペーパーデッキ・U1：P.3-13）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。



⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。（→紙づまりが起こったときの表示：P.8-4）

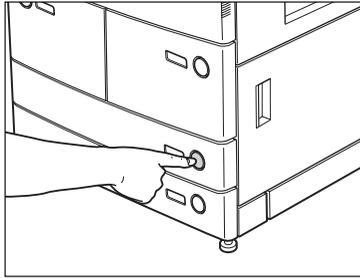
カセット内部の紙づまりの処理

カセットで紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

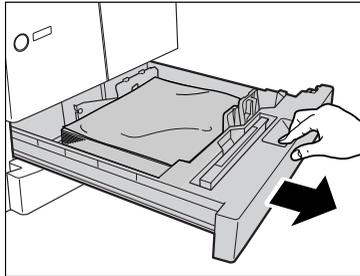


⚠ 注意 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

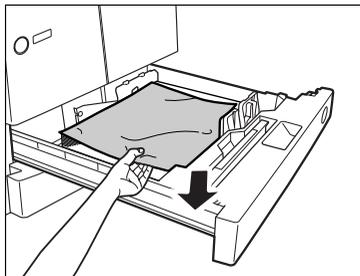
- 1** 給紙中のカセットのオープンボタンをいったん押して離します。



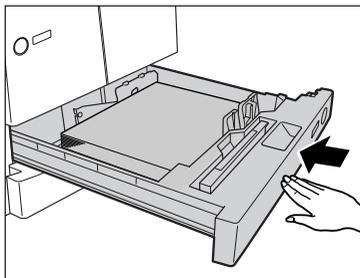
- 2** カセットを引き出します。



- 3** つまっている用紙を取り除きます。



4 カセットをカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。



注意 カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 画面の指示に従って操作します。

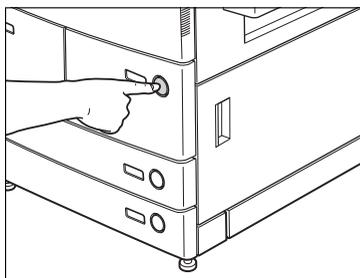
メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

ペーパーデッキ（右側）内部の紙づまりの処理

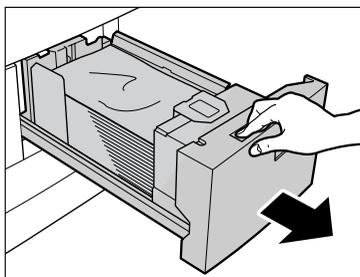
ペーパーデッキ（右側）で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って用紙を取り除いてください。



- 1** ペーパーデッキ（右側）のオープンボタンをいったん押して離します。

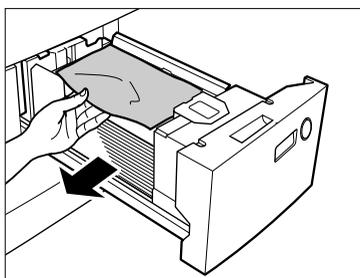


- 2** ペーパーデッキを引き出します。

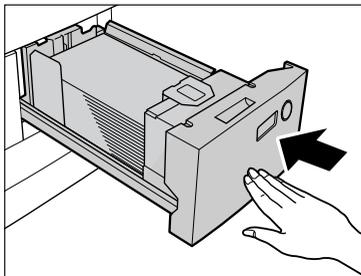


ペーパーデッキが途中までしか引き出せない場合は、無理に引き出さず、一度押し込んでもう一度オープンボタンを押してから引き出してください。

- 3** つまっている用紙を取り除きます。



4 ペーパーデッキを元に戻します。



注意 ペーパーデッキを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 画面の指示に従って操作します。

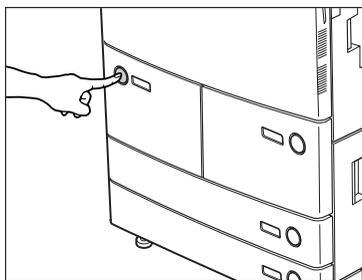
メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

ペーパーデッキ（左側）内部の紙づまりの処理

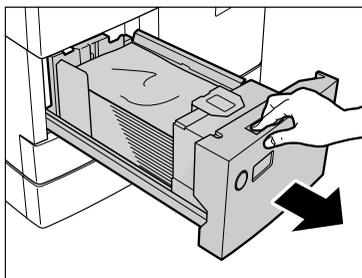
ペーパーデッキ（左側）で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って用紙を取り除いてください。



- 1** ペーパーデッキ（左側）のオープンボタンをいったん押して離します。

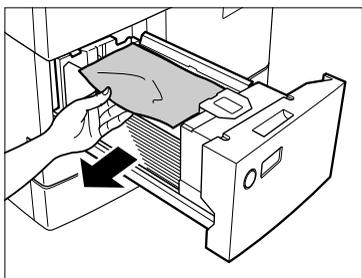


- 2** ペーパーデッキを引き出します。

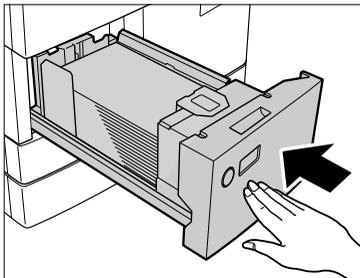


ペーパーデッキが途中までしか引き出せない場合は、無理に引き出さず、一度押し込んでもう一度オープンボタンを押してから引き出してください。

- 3** つまっている用紙を取り除きます。



4 ペーパーデッキを元に戻します。



⚠ 注意 ペーパーデッキを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 画面の指示に従って操作します。

📌 メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

サイドペーパーデッキ・U1 の紙づまりの処理 (オプション)

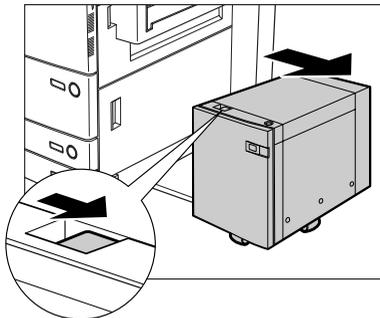
サイドペーパーデッキ・U1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



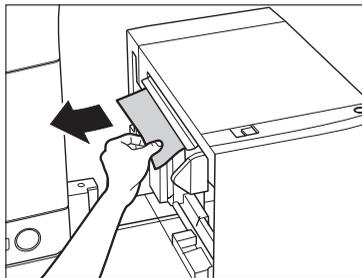
⚠ 警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠ 注意 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

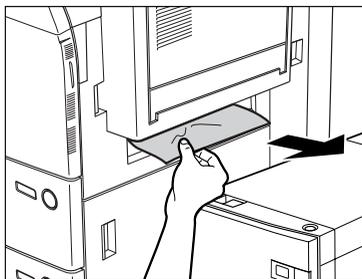
- 1 リリースレバーを押して、サイドペーパーデッキを本体から引き離します。



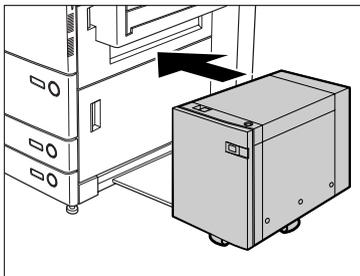
- 2 サイドペーパーデッキの給紙部につまっている用紙を取り除きます。



本体側面の給紙口にも紙がつまっていることがあります。つまっている場合は紙を取り除いてください。



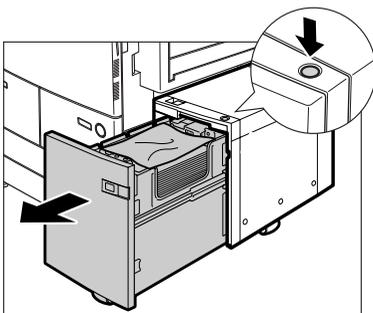
3 サイドペーパーデッキを本体に接続します。



サイドペーパーデッキを接続したときに紙づまりのメッセージが表示されなくなった場合は、手順7へ進みます。

⚠ 注意 サイドペーパーデッキを本体に接続する場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

4 サイドペーパーデッキのオープンボタンを押して、サイドペーパーデッキを開きます。

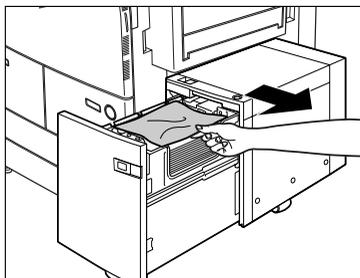


自動的に内部のリフターが下がります。

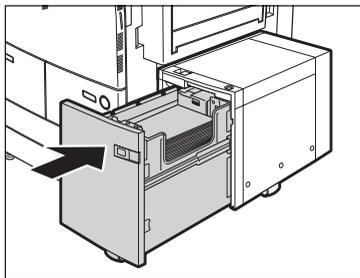
👉 重要 本製品がスリープモードに移行しているとき（タッチパネルディスプレイの表示が消灯し、主電源ランプが点灯しているとき）はサイドペーパーデッキを開くことができない場合があります。この場合は、操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してからオープンボタンを押してください。

5 つまっている用紙を取り除きます。

つまっている用紙は見えにくいことがあります。よく確認してください。



6 サイドペーパーデッキを閉じます。



⚠注意 サイドペーパーデッキを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の上カバー内部の紙づまりの処理（オプション）

フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 で紙づまりが起こると、下のよう画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

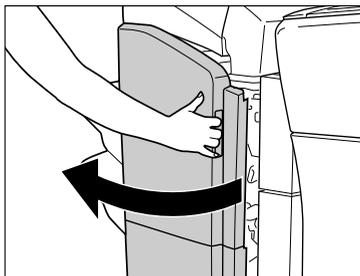


警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

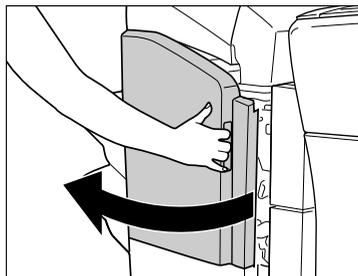
- 注意**
- 紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 フィニッシャーの前カバーを開きます。

パンチャーユニット・L1 を装着している場合は、パンチャーユニットの上カバーを開いたあと、手順 2 へ進みます



サドルフィニッシャー・AC2



フィニッシャー・AC1

2 フィニッシャーの上カバーを開きます。

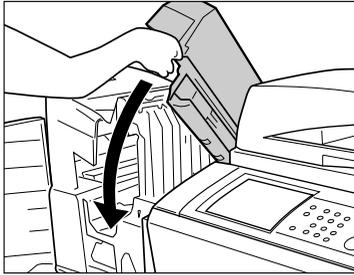


3 つままっている用紙を取り除きます。



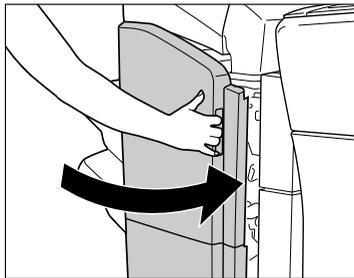
4 上カバーを閉じます。

パンチャーユニット・L1 を装着している場合は、パンチャーユニットの上カバーを閉じます。

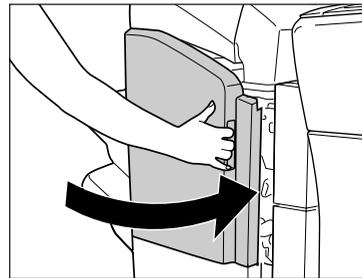


⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



サドルフィニッシャー・AC2



フィニッシャー・AC1

⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の排紙搬送部の紙づまりの処理（オプション）

フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の排紙搬送部で紙づまりが起ると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

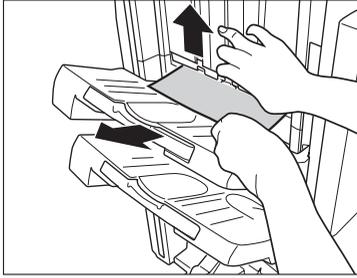


警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

- 注意**
- 紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 排紙部を開いて、外側から見えている用紙を取り除きます。

用紙が見えない場合は、排紙部内につまっている用紙がないか確認してください。

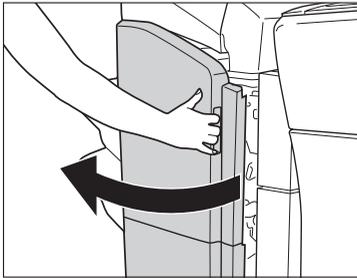


重要

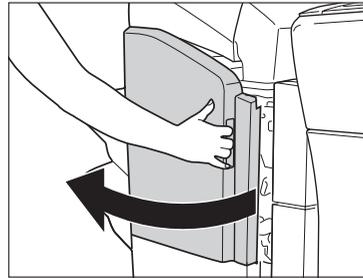
ステイブルソートを設定してプリントしていた場合、ステイブルされる前の出力中の束は取り除かないでください。(紙づまりを処理したあと、続きから出力されます。)

2 フィニッシャーの前カバーを開きます。

パンチャーユニット・L1 を装着している場合は、パンチャーユニットの上カバーを開いたあと、手順3へ進みます。



サドルフィニッシャー・AC2

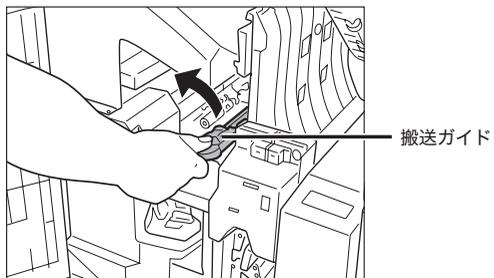


フィニッシャー・AC1

3 フィニッシャーの上カバーを開きます。



4 搬送ガイドを開きます。

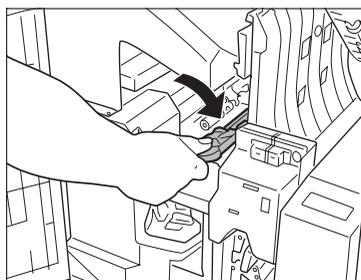


5 つまっている用紙をすべて取り除きます。

紙が取り除きにくい場合は、入口上ガイドを開いて、つまっている用紙を取り除きます。

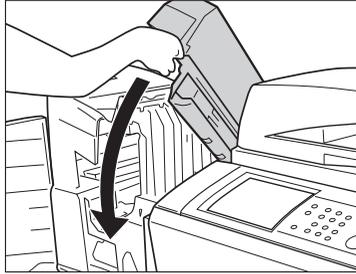


6 搬送ガイドを閉じます。



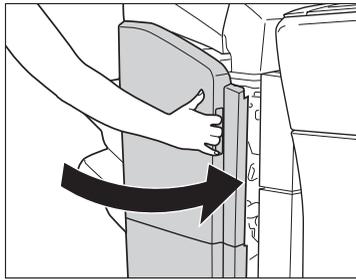
7 フィニッシャーの上カバーを閉じます。

パンチャーユニット・L1 を装着している場合は、パンチャーユニットの上カバーを閉じます。

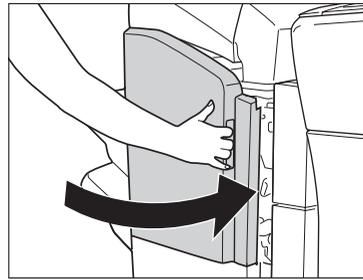


⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまれないように注意してください。

8 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



サドルフィニッシャー・AC2



フィニッシャー・AC1

⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまれないように注意してください。

9 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

サドルフィニッシャー・AC2 の前カバー部の紙づまりの処理 (オプション)

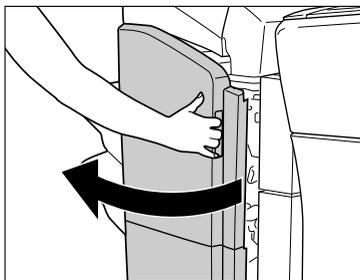
サドルフィニッシャー・AC2 の前カバー部で紙づまりが起これると、下のような画面が表示されます。紙づまりの位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



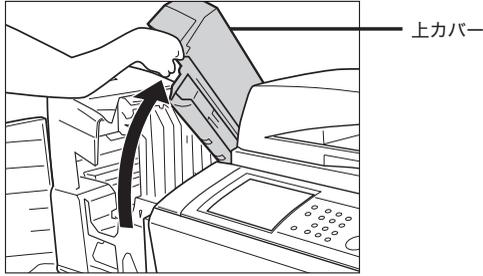
警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

- 注意**
- 紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



2 フィニッシャの上カバーを開きます。



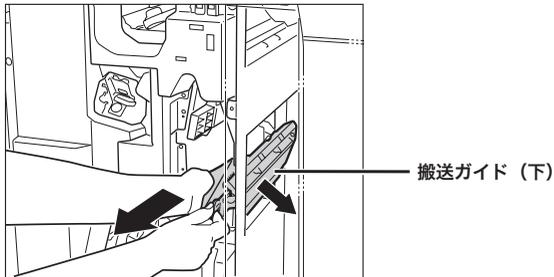
3 搬送ガイド（上）を開いて、つまっている用紙を取り除きます。

搬送ガイド（上）はバネが組み込まれています。搬送ガイド（上）を放すと元の位置に戻ります。

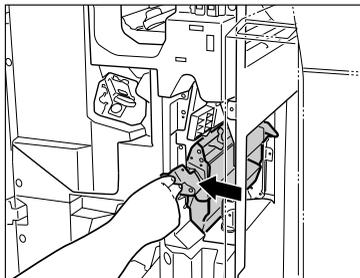


4 搬送ガイド（下）を開いて、つまっている用紙を取り除きます。

搬送ガイド（下）は右に止まるまで回したあと、開きます。



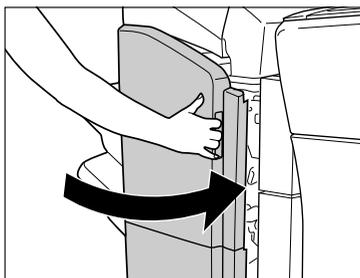
5 搬送ガイド（下）を元の位置まで戻します。



6 フィニッシャの上カバーを閉じます。



7 フィニッシャの前カバーを閉じます。



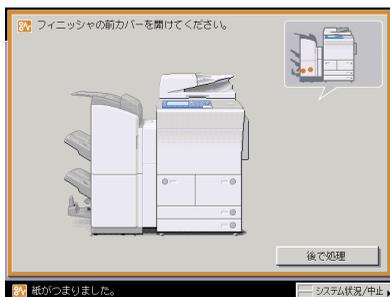
注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

サドルフィニッシャー・AC2 の中とじユニットの紙づまりの処理 (オプション)

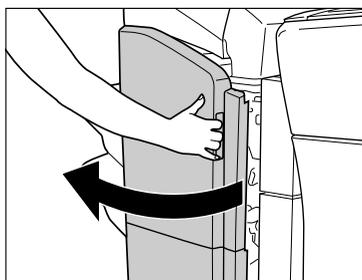
サドルフィニッシャー・AC2 の中とじユニットで紙づまりが起これると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



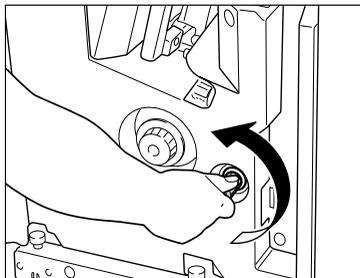
警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

- 注意**
- 紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

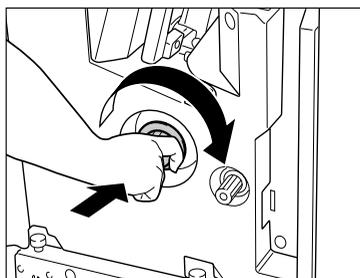
1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



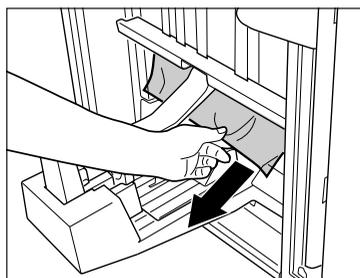
2 右側のつまみを回します。



3 左側のつまみを押しながら回します。

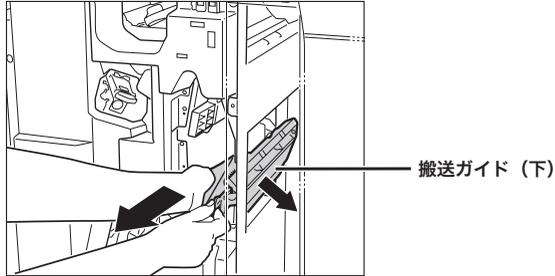


4 外側から見えている用紙を取り除きます。

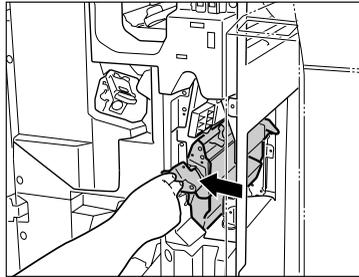


5 搬送ガイド（下）を開いて、つまっている用紙を取り除きます。

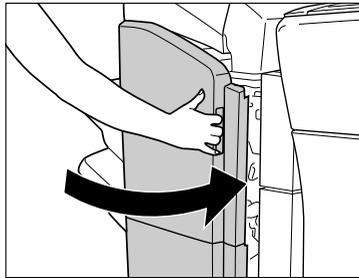
搬送ガイド（下）は右に止まるまで回したあと、開きます。



6 搬送ガイド（下）を元の位置まで戻します。



7 フィニッシャの前カバーを閉じます。



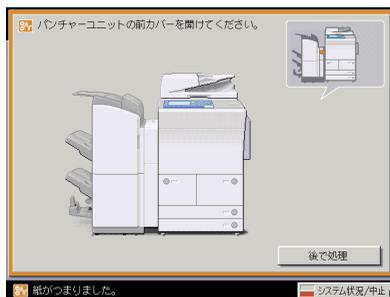
⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
 (→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

パンチャーユニット・L1 の紙づまりの処理（オプション）

パンチャーユニット・L1 で紙づまりが起これると、下のような画面が表示されます。紙づまりの位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って紙を取り除いてください。

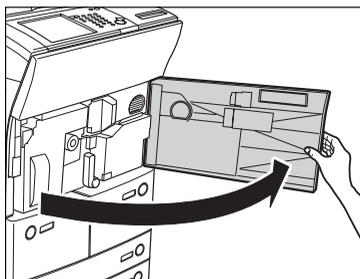


警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

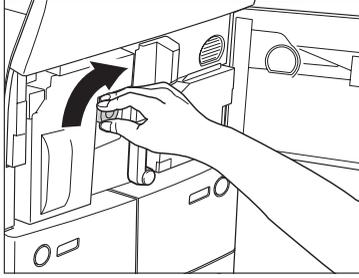
- 注意**
- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
 - 紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
 - 紙づまりで用紙を機械内部から取り取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

メモ この処理はオプションのパンチャーユニット・L1 装着時のみ行います。

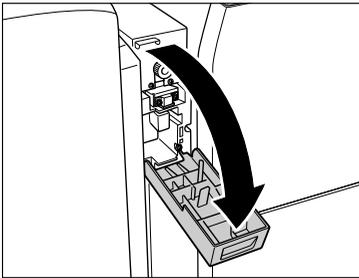
1 本体の前カバーを開きます。



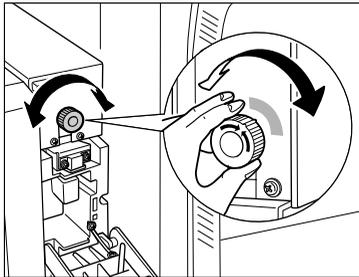
2 緑色のつまみを右に回します。



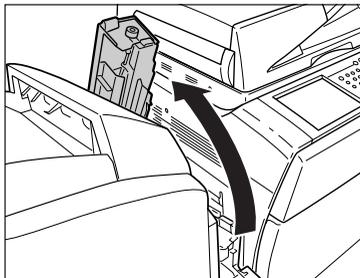
3 パンチャーユニットの前カバーを開きます。



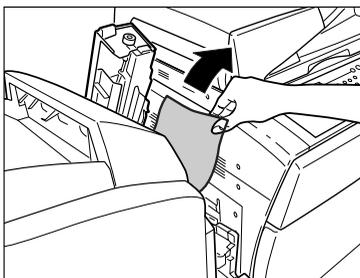
4 つまみの▲を の範囲に合わせます。



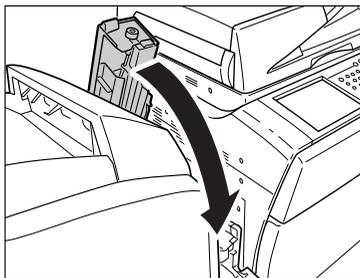
5 パンチャーユニットの上カバーを開きます。



6 つまっている用紙を取り除きます。

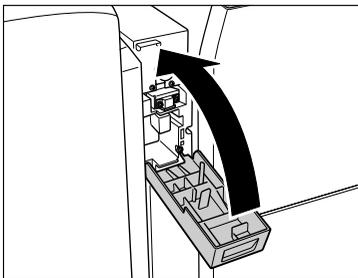


7 パンチャーユニットの上カバーを閉じます。



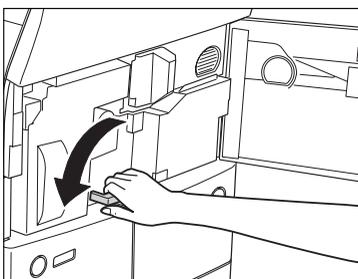
⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 パンチャーユニットの前カバーを閉じます。

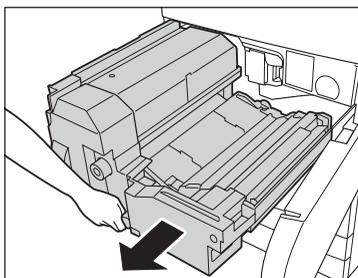


⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

9 緑色のレバーを横にします。

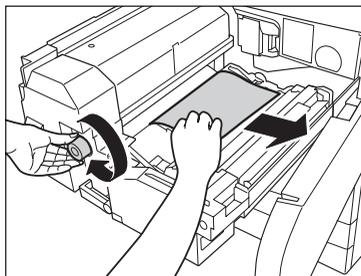


10 レバーを握りながら、定着搬送ユニットを引き出します。



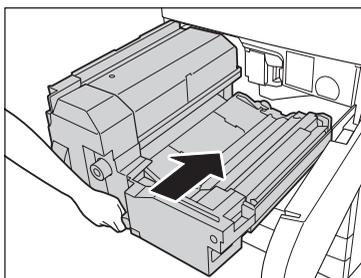
11 定着搬送ユニット上に残っている用紙を取り除きます。

つまっている用紙が取り除けない場合は、つまみを右に回してください。



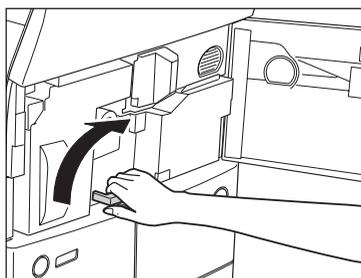
注意 カバーの周囲には高温の部分があります。用紙を取り除くときには、カバー以外の部分には触れないように注意してください。

12 定着搬送ユニットを元に戻します。

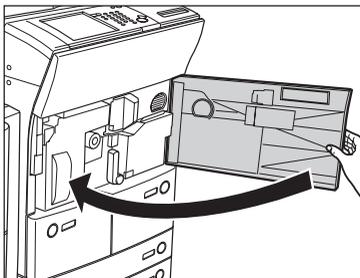


注意 ユニットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

13 緑色のレバーを元に戻します。



14 前カバーを閉じます。



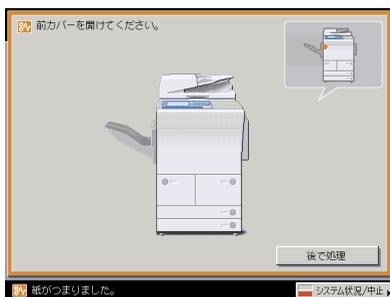
注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

15 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

シフトトレイ・C1 の紙づまりの処理 (オプション)

シフトトレイ・C1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意

- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を機械内部から取り取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

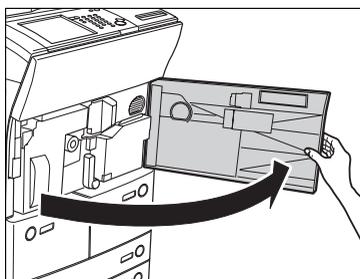


メモ

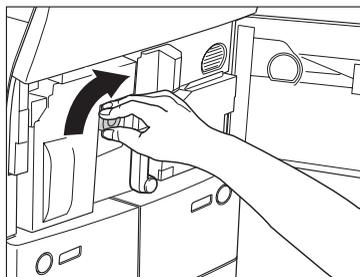
この処理はオプションのシフトトレイ・C1 装着時のみ行います。

1 本体の前カバーを開きます。

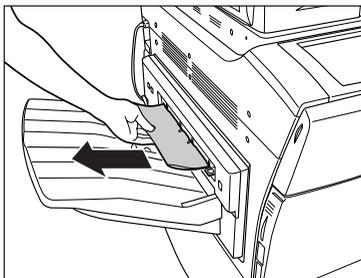
シフトトレイ上の紙づまりしていない用紙がある場合は、すべて取り除いてください。



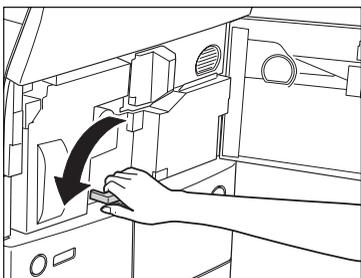
2 緑色のつまみを右に回します。



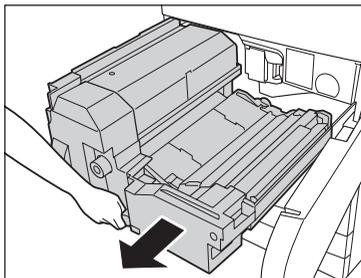
- 3** 外側から見えている用紙がある場合は、用紙を取り除きます。



- 4** 緑色のレバーを横にします。

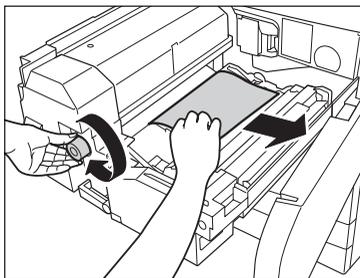


- 5** レバーを握りながら、定着搬送ユニットを引き出します。



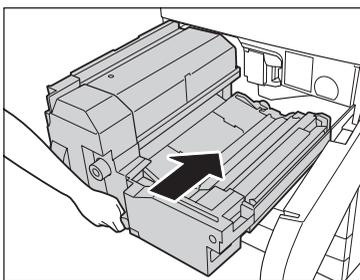
6 定着搬送ユニット上に残っている用紙を取り除きます。

つまっている用紙が取り除けない場合は、つまみを右に回してください。



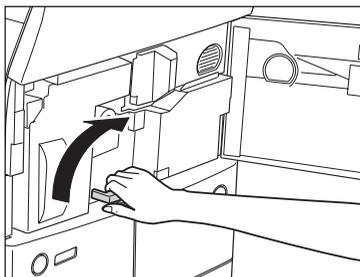
注意 カバーの周囲には高温の部分があります。用紙を取り除くときには、カバー以外の部分には触れないように注意してください。

7 定着搬送ユニットを元に戻します。

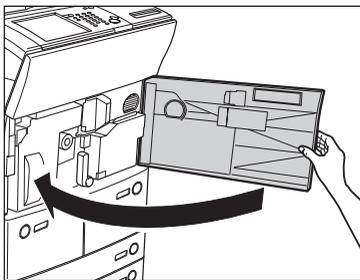


注意 ユニットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 緑色のレバーを元に戻します。



9 前カバーを閉じます。



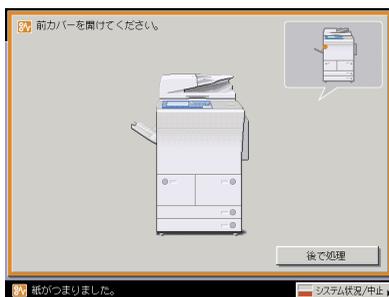
注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

10 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

コピートレイ・K1 の紙づまりの処理 (オプション)

コピートレイ・K1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。



警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意

- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を機械内部から取り取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

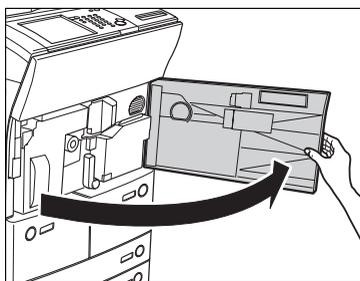


メモ

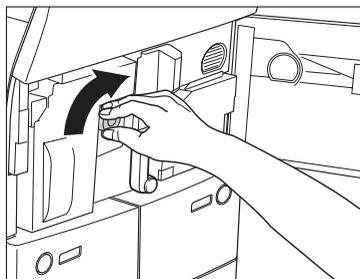
この処理はオプションのコピートレイ・K1 装着時のみ行います。

1 本体の前カバーを開きます。

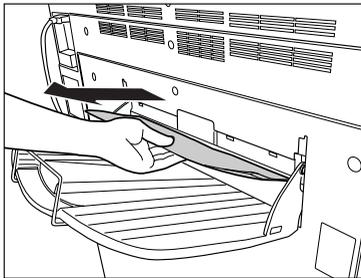
コピートレイ上の紙づまりしていない用紙がある場合は、すべて取り除いてください。



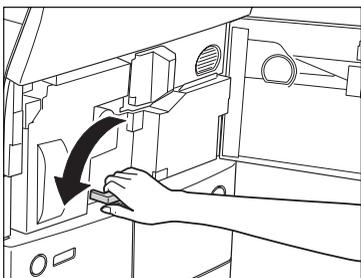
2 緑色のつまみを右に回します。



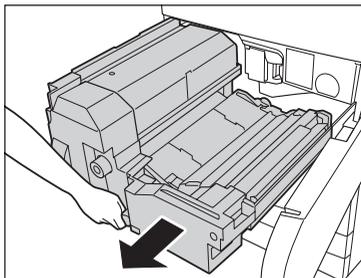
- 3** 外側から見えている用紙がある場合は、用紙を取り除きます。



- 4** 緑色のレバーを横にします。

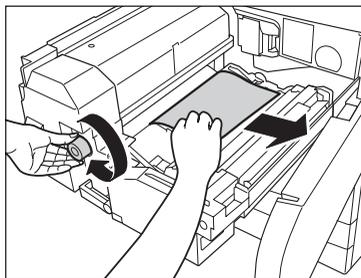


- 5** レバーを握りながら、定着搬送ユニットを引き出します。



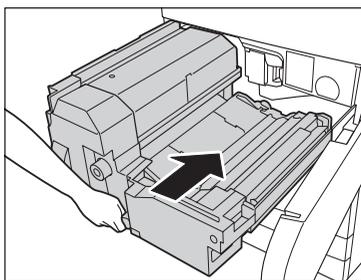
6 定着搬送ユニット上に残っている用紙を取り除きます。

つまっている用紙が取り除けない場合は、つまみを右に回してください。



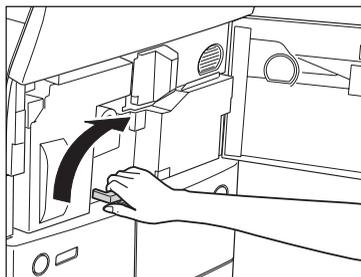
⚠注意 カバーの周囲には高温の部分があります。用紙を取り除くときには、カバー以外の部分には触れないように注意してください。

7 定着搬送ユニットを元に戻します。

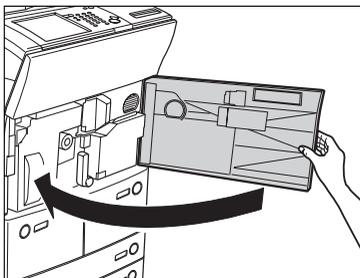


⚠注意 ユニットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 緑色のレバーを元に戻します。



9 前カバーを閉じます。



⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

10 画面の指示に従って操作します。

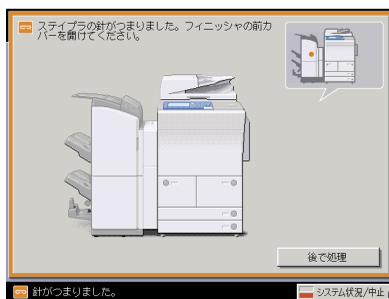
メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.8-4)

針づまりが起きたときには

針づまりが起きたときには、以下の手順に従って針を取り除いてください。

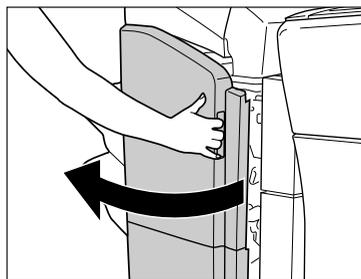
フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 のステイプルユニットの針づまりの処理 (オプション)

フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 のステイプルユニットで針づまりが起これると、下のような画面が表示されます。針づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って針を取り除いてください。

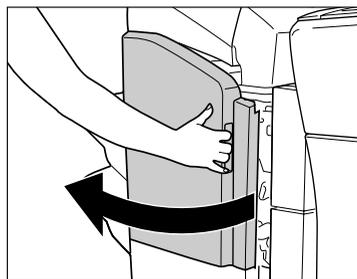


重要 針づまりの処理を行う場合は、本製品のカバーやカセットが閉じていることを確認してから行ってください。

1 フィニッシャーの前カバーを開きます。

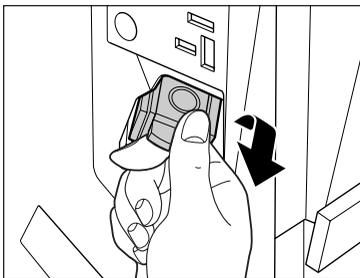


サドルフィニッシャー・AC2

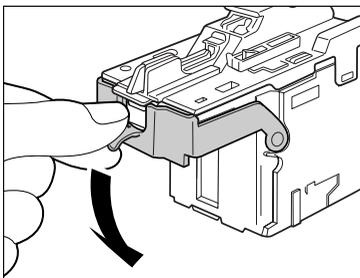


フィニッシャー・AC1

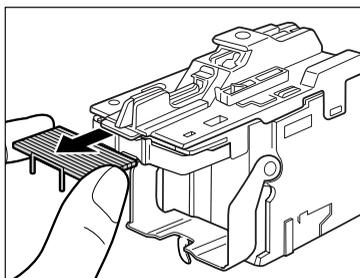
- 2** 針カートリッジの上下（緑色の部分）をつまんで引き上げてから引き出します。



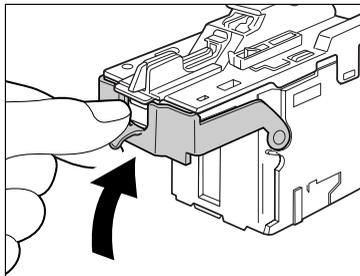
- 3** 針カートリッジのつまみを下げます。



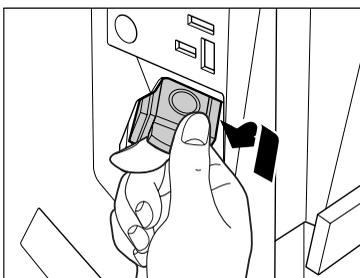
- 4** 針ケースからスライドされている針束をすべて取り除きます。



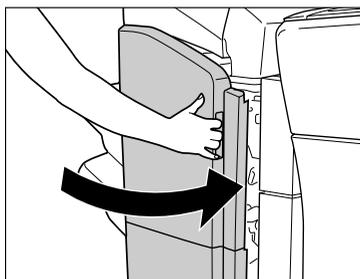
5 針カートリッジのつまみを元に戻します。



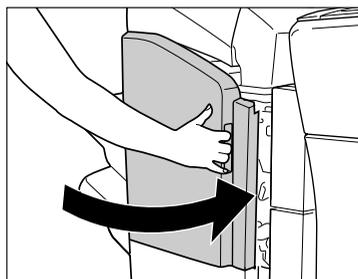
6 針カートリッジをしっかり押し込みます。



7 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



サドルフィニッシャー・AC2

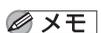


フィニッシャー・AC1



注意

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。



メモ

カバーを閉じると、針がとじ位置になればステイブルユニットは自動的に数回うちしで、針の頭出しを行います。

サドルフィニッシャー・AC2 の中とじユニットの針づまりの処理 (オプション)

サドルフィニッシャー・AC2 の中とじユニットで針づまりが起こると、下のような画面が表示されます。針づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って針を取り除いてください。

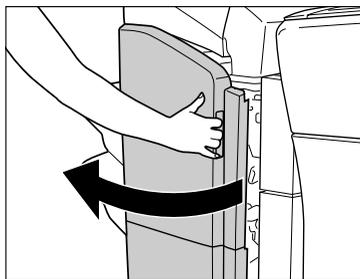


- 重要**
- 中とじユニットの針づまりの処理を行う前に、製本トレイに排紙された用紙をすべて取り除いてください。
 - この処理はオプションのサドルフィニッシャー・AC2 装着時のみ行います。

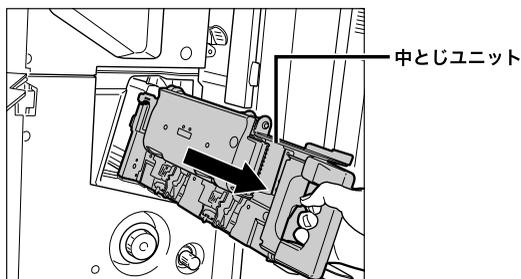
困ったときには

8

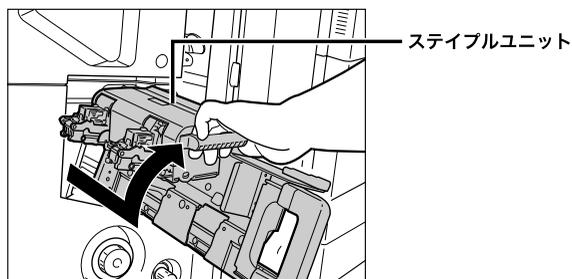
1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



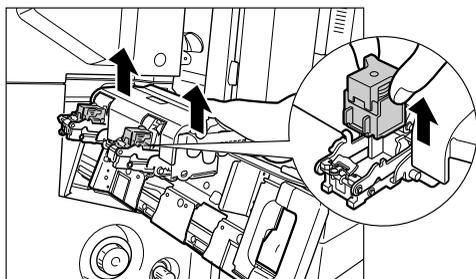
2 中とじユニットの取っ手を持ち、止まるまで引き出します。



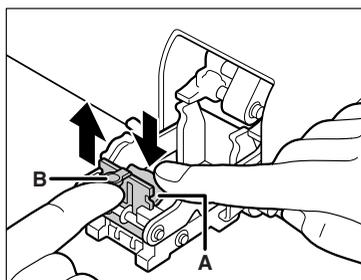
- 3** 中とじユニットのステイプルユニットを一度手前に引いたあと起こします。



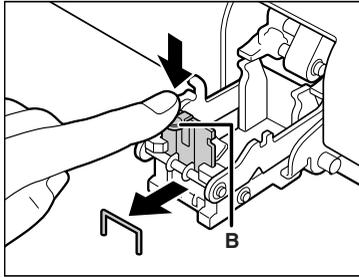
- 4** 針カートリッジの左右をつまんで取り外します。



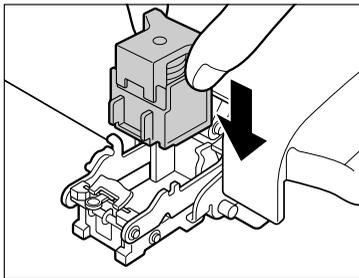
- 5** A の部分を下に押し、B のつまみを引き上げます。



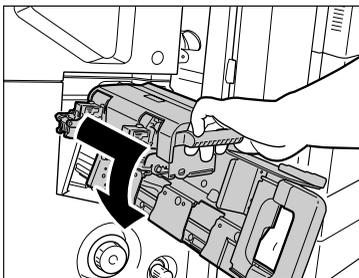
- 6** つまっている針を取り除き、B のつまみを元に戻します。



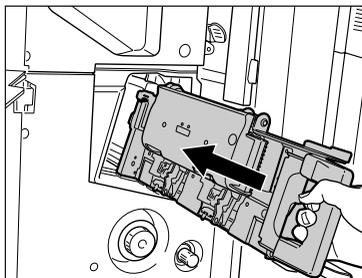
- 7** 針カートリッジを元に戻します。



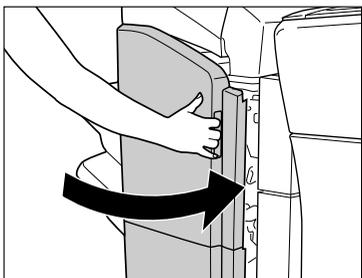
- 8** 中とじユニットのステイプルユニットを一度手前に引いて元に戻します。



9 中とじユニットを押し戻します。



10 フィニッシャの前カバーを閉じます。



注意

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。



重要

針づまりの処理が終了したら、針の頭出しを必ず行ってください。(→ 中とじユニットの針の頭出しをする：P. 4-59)

エラーメッセージ一覧

タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージの対処方法を説明します。
記載されていないメッセージについては、「送信／ファクスガイド」、「ネットワークガイド」を参照してください。

自己診断表示

表示されたメッセージに応じて、必要な処理を行ってください。

次のような状態になったとき、自己診断表示が表示されます。

- 何らかの操作上の誤りで読み込みやプリントできないとき。
- 読み込み中やプリント動作中にユーザの判断や処理が必要になったとき。
- ネットワークの参照中にユーザの判断や処理が必要になったとき。

以下は、自己診断メッセージと原因と処置方法の一覧です。

用紙がありません。

原因 1 用紙がなくなり、プリントできません。

処置 用紙を補給してください。(→用紙の補給：P.7-2)

原因 2 カセットが正しくセットされていません。

処置 カセットを奥までセットしてください。(→用紙の補給：P.7-2)

最適サイズの A4 がありません。

原因 自動用紙選択で選択された最適サイズの用紙がセットされていません。

処置 1 表示されているサイズの用紙をセットしてください。
このまま  (スタート) を押すと、現在選択されているカセットの用紙にプリントされます。

処置 2 表示されているサイズの用紙がセットされていてもこのメッセージが表示された場合は、目的のカセットのカセットオート選択の ON/OFF を「ON」に設定します。(→カセットオート選択の ON/OFF を設定する：P.4-30)

△原稿を1枚目に戻してスタートキーを押してください。

原因 フィーダに何らかのトラブルが発生して、読み込みがストップしました。

処置 原稿を1枚目からそろえて、フィーダの原稿給紙トレイに再セットし、 (スタート) を押してください。

△原稿を1枚目に戻してスタートキーを押してください。(読み込んだ原稿のデータが本機で扱えるサイズの上限を超えました。自動的に設定を補正して再度読み込みを行います。)

原因 読み込んだ原稿のデータが本機で扱えるサイズの上限を超えているため読み込みを中止しました。

処置 原稿を1枚目から読み込みなおしてください。それでも読み込めない場合は、[シャープネス] を弱く、原稿の種類を [文字] に設定すると読み込めることもあります。

△読み込んだ原稿のデータが本機で扱えるサイズの上限を超えているため読み込みを中止しました。[シャープネス] を弱く、原稿の種類を [文字] に設定すると実行できる可能性があります。

原因 読み込んだ原稿のデータが本機で扱えるサイズの上限を超えているため読み込みを中止しました。

処置 [シャープネス] を弱く、原稿の種類を [文字] に設定すると読み込める可能性があります。

△排紙トレイの紙を取り除いてください。

原因 前のプリントがトレイに残っています。

処置 すべてのトレイの用紙を取り除いてください。プリントが再開されます。

△製本トレイの紙を取り除いてください。

原因 前のプリントがトレイに残っています。

処置 製本トレイに残っている用紙を取り除いてください。プリントが開始または再開されます。

84 赤い●の箇所に用紙がつまりました。画面の手順に従って紙づまりを取り除いてください。

原因 本機に原稿もしくは用紙がつまり、プリントができません。

処置 タッチパネルディスプレイに表示されるイラストに従って紙を取り除いてください。(→紙づまりが起きたときには：P.8-4)

△原稿サイズが途中から変わったため、読み込みを中止しました。排出された原稿の最後の2枚の順番と表裏を直して1枚目に戻し、**〔原稿混載〕**を設定してから、もう一度実行してください。

原因 **〔原稿混載〕**を押さないで、違うサイズ of 用紙を送信しました。

処置 排出された原稿の最後の2枚の順番と表裏を直し、1枚目に戻した後で**〔原稿混載〕**を設定します。

85 トナー容器 (イエロー) の準備が必要です。(継続プリント可)

原因 表示されている色のトナー残量少なくなりました。

処置 表示されている色のトナー容器を準備してください。(→トナー容器の交換：P.7-28)

86 トナー容器を交換してください。(ブラック)

原因 表示されている色のトナー残量が少なくなり、プリントできません。

処置 表示されている色のトナー容器を交換してください。(→トナー容器の交換：P.7-28)

87 トナー容器を交換してください。(白黒コピーはできません。)

原因 表示されている色のトナー残量が少なくなり、カラーコピーできません。

処置 表示されている色のトナー容器を交換してください。(→トナー容器の交換：P.7-28)

トナー容器を交換してください。(白黒プリントはできません。)

原因 表示されている色のトナー残量が少なくなり、カラーでのボックスプリントはできません。

処置 表示されている色のトナー容器を交換してください。(→トナー容器の交換：P.7-28)

原稿台に原稿をセットしてください。

原因 原稿台ガラスに原稿をセットするモードが設定されています。原稿台ガラスに原稿がありません。

処置 原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

フィーダの原稿を取り除いてください。

原因 フィーダに原稿をセットしても読み込めないモードのときに、フィーダと原稿台ガラスの両方に原稿がセットされています。

処置 フィーダの原稿を取り除いてください。

原稿読み取り部（細長いガラス面）が汚れています。

原因 原稿読み取り部（細長いガラス面）にゴミなどが付着して汚れています。

処置 フィーダの原稿読み取り部の清掃を行ってください。(→フィーダを清掃する：P.7-39)

調整中です。しばらくお待ちください。

原因 機械が自動調整に入っています。

処置 しばらくお待ちください。調整が終わると、自動的にプリントが再開されます。

カラープリントの準備をしています。お待ちください。

原因 機械が自動調整に入っています。

処置 しばらくお待ちください。調整が終わると、自動的にカラープリントが再開されます。

ドラムのクリーニング中です。お待ちください。

原因 機械がドラムのクリーニングを行っています。

処置 しばらくお待ちください。調整が終わると、自動的にプリントが再開されます。

終了コード一覧

ジョブや操作が正常に終了していない場合は、終了コードを確認し、表示されている終了コードに応じて、必要な処理を行ってください。終了コードは、システム状況画面のジョブ履歴の詳細情報画面で確認することができます。(→ジョブの詳細情報を確認する：P.5-9) 送信や受信、ファクスのジョブについては、正常に終了しないと終了コードが通信管理レポートや送信結果レポートの通信結果欄にプリントされます。(→送信/ファクスガイド「第12章 レポート出力」)

終了コードに応じて、必要な処理を行ってください。

 **メモ** 送信ジョブを中止すると、結果欄に「STOP」とプリントされます。

#001

原因 1 原稿サイズ混載の設定をしないまま、異なるサイズの前稿を読み込みました。

処置 原稿と設定を確認し、もう一度やりなおしてください。

原因 2 原稿サイズ混載の設定をしないまま、異なるサイズの前稿を両面読み込みしました。

処置 原稿と設定を確認し、もう一度やりなおしてください。

#009

原因 1 用紙がありません。

処置 用紙を補給してください。(→用紙の補給：P.7-2)

原因 2 カセットが正しくセットされていません。

処置 カセットを正しくセットしなおしてください。(→用紙の補給：P.7-2)

#099

原因 コピー/プリントが中止されました。

処置 もう一度コピー/プリントをやりなおしてください。

#701

原因 1 ジョブを投入したときに設定した部門 ID が存在しません。または、パスワードを変更しました。

処置 正しい部門 ID または、暗証番号を⑩～⑨(テンキー) で入力して、もう一度送信してください。

原因 2 ジョブの実行中に部門 ID または暗証番号が変更されました。

処置 変更後の部門 ID と暗証番号でもう一度やりなおしてください。暗証番号がわからないときは、システム管理者にご連絡ください。

原因 3 ID 不定のプリントジョブの受付設定が「OFF」になっています。

処置 システム管理設定 (初期設定/登録) の部門別 ID 管理にある「ID 不定プリントジョブの許可」を「ON」にしてください。(→ID 不定のプリントジョブ/スキャンジョブを受け付けるかどうか設定する : P.6-14)

#703

原因 メモリの画像領域がいっぱいになり、書き込みができません。

処置 1 しばらくお待ちください。他の送信ジョブが終了してから、もう一度送信してください。

処置 2 ボックス内の文書を削除してください。それでも正常に動作しない場合は、本製品の主電源を入れなおしてください。(→主電源と操作部電源について : P.1-15)

#711

原因 ボックス内のメモリがいっぱいです。

処置 ボックス内の文書を削除してください。(→ コピー/ボックスガイド「第 2 章 ボックスについて」、送信/ファクスガイド「第 6 章 文書を受信する」)

#712

原因 ボックス内の文書がいっぱいです。

処置 ボックス内の文書を削除してください。(→ コピー/ボックスガイド「第 2 章 ボックスについて」、送信/ファクスガイド「第 6 章 文書を受信する」)

#749

原因 サービスコールが表示されたため、実行できませんでした。

処置 主電源スイッチをいったん切ったあと、10 秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを入れてください。それでも正常に動作しない場合は、主電源スイッチを切ったあと、電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスにご連絡ください。(→主電源と操作部電源について：P.1-15)

#759

原因 文書が保存されているボックスの URL 送信時にエラーが発生しました。

処置 システム管理者にご連絡ください。

#816

原因 部門別 ID 管理の制限面数で設定した数値を超え、プリントできませんでした。

処置 システム管理者にご連絡ください。

#849

原因 配信先となる子機がジョブの動作中のため、機器情報を配信できませんでした。

処置 配信先となる子機のジョブが終了してから、もう一度機器情報を配信してください。

#850

原因 配信先となる子機で、配信された機器情報の関連画面が操作中のため、機器情報を配信できませんでした。

処置 配信されなかった機器情報を確認したあと、もう一度機器情報を配信してください。(→通信履歴を確認プリントする：P.6-47)

#851

- 原因 1** 本製品のメモリ残量が足りなくなりました。
- 処 置** 本製品のメモリ残量を確認したあと、ボックスの不要な文書を消去してください。(→コピー/ボックスガイド「第2章 ボックスについて」)
- 原因 2** メモリの画像領域がいっぱいになりました。
- 処 置** エラー文書や不要な文書を削除して、メモリの空き容量を増やしてください。(→コピー/ボックスガイド「第2章 ボックスについて」、送信/ファクスガイド「第6章 文書を受信する」)
- 原因 3** 指定したボックス内の文書数が1500文書を超えているため、保存できませんでした。
- 処 置** 指定したボックスの文書を消去してください。(→コピー/ボックスガイド「第2章 ボックスについて」)

#852

- 原因** ジョブ実行中に主電源スイッチが切られ、エラーが発生しました。
- 処 置** 主電源がONになっているか確認したあと、必要に応じてもう一度やりなおしてください。(→主電源と操作部電源について：P.1-15)

#853

- 原因 1** プリンタで大量なページをプリントしようとしたときなどに、リソース不足によってジョブを実行することができませんでした。
- 処 置** プリントするページを減らすか、他のプリントジョブが予約されていないときにもう一度実行してください。
- 原因 2** パソコンから本製品へプリントデータを送信中に、プリンタドライバからキャンセルされたことによってジョブを実行することができませんでした。
- 処 置** もう一度実行してください。
- 原因 3** システム管理設定（初期設定/登録）のネットワーク設定にあるスプール機能を使用が「ON」に設定されているときに、受信データのスプール領域がいっぱいになり、ホストからの受信データをすべてスプールしきれませんでした。
- 処 置** システム管理設定（初期設定/登録）のネットワーク設定にあるスプール機能を使用を「OFF」に設定したあと、もう一度送信してください。(→ネットワークガイド「第3章 TCP/IP ネットワークで使用する」)

原因 4 受信データ処理中に受信できるデータの上限を超えました。

処 置 すべてのジョブが終了してからもう一度プリントしてください。それでもプリントできない場合は送信データを確認してください。

原因 5 同時に受付可能なセキュアジョブ数を超えてセキュアジョブが投入されました。

処 置 iR 本体に蓄積されているセキュアジョブを実行または消去してから、もう一度実行してください。(→ プリントガイド「第 2 章 いろいろなジョブの操作とデバイス状況の確認」)

#854

原 因 配信先となる子機で、システム管理設定（初期設定／登録）の機器情報配信の設定にある配信元による受信制限が「ON」の設定になっているため、同一機種グループ以外からの機器情報を配信できませんでした。

処 置 システム管理設定（初期設定／登録）の機器情報配信の設定にある配信元による受信制限の設定を「OFF」にしてから、もう一度機器情報を配信してください。(→ 配信元による受信制限を設定する：P.6-45)

#855

原 因 配信先となる子機で扱えない言語が含まれた機器情報のため、配信できませんでした。

処 置 担当サービスにお問い合わせください。

#856

原 因 一時的な保存データ用のハードディスク領域がいっぱいになったため、ジョブがキャンセルされました。

処 置 システム管理者にご連絡ください。

#857

原 因 データ受信のタイムアウトか、ホストからジョブがキャンセルされました。

処 置 ネットワークの状態を確認し、もう一度プリントしてください。

#858

原 因 プリントデータに異常が発生しました。

処 置 プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

#859

原因 1 原稿データの圧縮エラーが発生しました。

処 置 原稿と設定を確認し、もう一度やり直してください。

原因 2 原稿が正常に読み込みできなかったか、原稿設置向きのエラーです。

処 置 原稿と設定を確認し、もう一度やり直してください。

#860

原因 1 プリント中に用紙がつまりました。

処 置 もう一度プリントしてください。

原因 2 本製品専用ではない OHP フィルムが使用されました。

処 置 本製品専用の OHP フィルムを使用してもう一度プリントしてください。

#861

原因 PDL データ、画像データの処理中にエラーが発生しました。

処 置 プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

#862

原因 1 プリント中に、サドル積載枚数の制限を越えました。

処 置 プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

原因 2 サポートされない設定の組み合わせがされました。

処 置 プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

原因 3 互換性を保証していない画像データがプリントされました。

処 置 プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

#863

原因 PDL データ、画像データの処理中にエラーが発生しました。

処 置 設定を確認し、もう一度やりなおしてください。

#864

原因 1 外付けコントローラまたはコントローラボードが装着されていないか、故障しています。

処 置 システム管理者に連絡してください。

原因 2 外付けコントローラまたはコントローラボードを正しく認識できません。

処 置 システム管理者に連絡してください。

#865

原 因 ジョブ実行に関連する機能が制限されています。

処 置 システム管理者に連絡してください。

読み込み中にメモリがいっぱいになったときには

原稿の読み込み中にメモリがいっぱいになると、タッチパネルディスプレイに次のような画面が表示されます。

メモ 本製品のメモリには、最大約 6200 ページの画像が記憶できます。そのうち、約 6000 ページ分の画像領域は、コピー／プリンタ／ボックスなどの各ファンクションで共有しています。また、それとは別に以下のページ数分を各ファンクションで保証しています。

コピー： 100 ページ

プリンタ： 100 ページ（セキュアプリントを除く）

したがって、例えばコピーの場合、最大で
 $100 + \text{約 } 6000 = \text{約 } 6100$ ページ

の画像を記憶できます。ただし、記憶できるページ数はボックスに保存している文書や待機中のジョブに使用しているメモリの状況によって異なります。

1 メッセージに従って操作します。

- **メモリに読み込んだページをプリントするかどうかを確認する画面が表示された場合**

[はい]、[いいえ] または [他のファンクションへ] を選択します。



選択する項目

- [はい] : 読み込んだ分のコピーをプリントします。プリント終了後、再度残りの原稿の読み込みを行ってください。
- [いいえ] : プリントを行いません。
- [他のファンクションへ] : 現在使用していないファンクションを選択し、使用できません。



● 下の画面が表示された場合

- [中止] または [他のファンクションへ] を選択します。



選択する項目

- [中止] : 基本画面に戻ります。現在行っているプリントが終了したあと、プリントしなしてください。
- [他のファンクションへ] : 現在使用していないファンクションを選択し、使用できません。

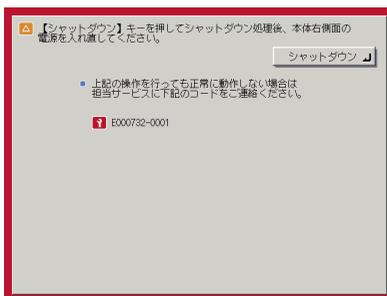


サービスコール表示

機械に何らかの異常が起り、正常に動かなくなったときは、下のような画面（サービスコール表示）が表示されます。

担当サービスを呼ぶときは

下のようなサービスコールが表示されたら次のように対処してください。

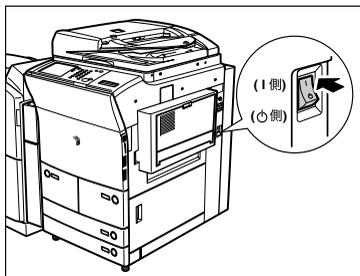


- 警告** 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 注意** 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- 重要** プリント待機中のデータがある場合に主電源スイッチを切ると、プリント待機中のデータは消去されます。

1 【シャットダウン】を押して主電源スイッチを切ります。

- 重要** 主電源スイッチを切る方法については、「主電源の切りかた」（→ P.1-20）を参照してください。

2 10秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを入れます。



3 それでも正常に作動しない場合は、次のことを行ってから担当サービスにご連絡ください。

- 主電源スイッチを切ります。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。



メモ

担当サービスに連絡する場合は、以下の項目を確認してください。

- ・製品名
- ・トラブルの現象や状況など
- ・タッチパネルディスプレイに表示されているコード番号

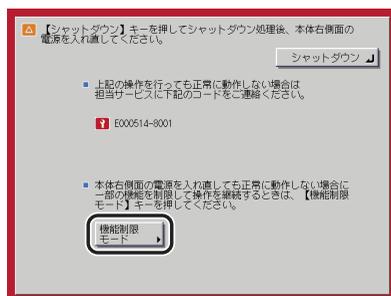
サービスコール画面から機能制限モードを設定する

主電源を入れ直しても、サービスコールが表示される場合に、サービスコールの原因が解決されるまでの一時的な処置として、機能制限モードで本製品を操作することができるものがあります。

重要 プリント待機中のデータがある場合に主電源スイッチを切ると、プリント待機中のデータは消去されます。

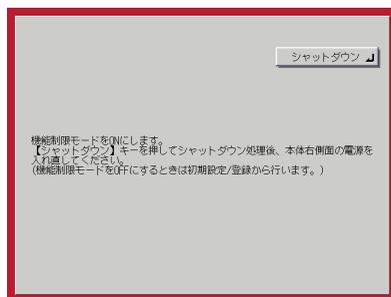
メモ サービスコール画面から機能制限モードを設定した場合は、共通仕様設定（初期設定／登録）の機能制限モードも「ON」に設定されます。（→ 機能制限モードを設定する：P.4-53）

1 【機能制限モード】を押します。



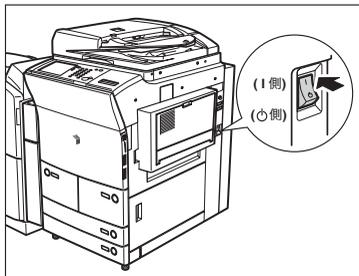
2 【はい】を押します。

本体の主電源スイッチを入れ直すメッセージが表示されます。



3 【シャットダウン】を押して、主電源スイッチを切ります。

4 10秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを入れます。



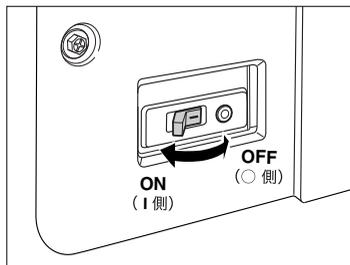
機能制限モードで起動します。



電源が入らないとき（ブレーカーの確認）

主電源スイッチ、操作部電源スイッチが ON になっているのに本製品が動作しない場合には、必ずブレーカーが OFF になっていないか確認してください。

確認を行ったあとブレーカーが OFF になっていた場合は、ブレーカーを再度入れなおさずに担当サービスにご連絡ください。



警告

本製品のブレーカーが落ちていた場合は、ブレーカーを再度入れなおさないでください。感電、発火、発煙または屋内ブレーカーが落ちる原因になります。

付録

本体やオプション機器の仕様および便利な情報について記載しています。

レポートサンプル.....	9-2
コピー履歴レポート.....	9-2
プリント履歴レポート.....	9-3
機器情報配信先リスト.....	9-4
機器情報通信履歴レポート.....	9-5
仕様.....	9-6
本体.....	9-6
フィーダ.....	9-8
サイドペーパーデッキ・U1.....	9-9
フィニッシャー・AC1.....	9-9
サドルフィニッシャー・AC2.....	9-11
パンチャーユニット・L1.....	9-13
シフトトレイ・C1.....	9-14
コピートレイ・K1.....	9-14
カードリーダー-C1.....	9-15
ユーザ入力項目の文字制限と機能制限について.....	9-16
文字制限.....	9-16
機能制限.....	9-20
原稿向きと用紙向きの関係について.....	9-22
ローマ字入力表.....	9-26
JIS 漢字コード表.....	9-27
索引.....	9-40
iR C6880N/iR C5880N システム管理モードについて.....	9-51
システム管理モードにする.....	9-51
システム管理モードを解除する.....	9-53
システム管理モードでボックスの操作をする.....	9-54
システム管理モードでボックス仕様を変更する.....	9-55

レポートサンプル

コピー履歴レポート

コピーの履歴をレポートとしてプリントします。コピー履歴レポートは、システム状況/中止画面でプリントすることができます。(→コピー、プリントジョブ履歴をプリントする：P.5-11)

2007 04/12 THU 16:13		iR C6880N		001	
***** *** コピー履歴レポート *** *****					
部門ID : 8253					
受付番号	日時	ユーザ名	枚数x部数	結果	
0011	04/03 10:48	Administrator	5x1	OK	
0012	04/03 11:36		2x20	NG STOP	
0013	04/03 11:38		2x19	OK	
0014	04/03 11:46		3x1	OK	
0015	04/03 11:50		3x19	OK	
0016	04/03 13:07		6x20	NG STOP	
0017	04/03 13:11		7x19	OK	
0018	04/03 20:29		9x1	OK	
0019	04/03 20:30		4x1	OK	
0030	04/03 20:59		9x1	OK	

付録

9

■ 部門 ID

部門別 ID 管理が設定されている場合は部門 ID が記載され、部門 ID ごとにコピー履歴がプリントされます。

■ 受付番号

コピーを受け付けたとき、自動的に付けられた番号（4桁）がプリントされます。

■ 日時

コピーが終了した日付と時刻が 24 時間制でプリントされます。

■ ユーザ名

MEAP ログイン時のユーザ名がプリントされます。

■ 枚数×部数

コピー 1 部あたりの枚数とコピー部数がプリントされます。

■ 結果

OK または NG がプリントされます。

OK はコピーが正常終了したときにプリントされます。

NG の場合、並べてエラーコードまたは STOP がプリントされます。

プリント履歴レポート

プリントの履歴をレポートとしてプリントします。プリント履歴レポートは、システム状況 / 中止画面でプリントすることができます。(→ コピー、プリントジョブ履歴をプリントする : P.5-11)

受付番号	日時	ジョブ名	ユーザ名	枚数x部数	結果
5001	04/03 10:48	テスト ページ	Hiro9	1x1	OK
5003	04/03 11:36	テスト ページ	Administrator	4x1	OK
5007	04/03 11:38	UtilityPrint	System	1x5	OK
5008	04/03 11:46	UtilityPrint	System	5x9	OK
5009	04/03 11:50	UtilityPrint	System	3x5	OK
5010	04/03 13:07	UtilityPrint	System	2x4	OK
5011	04/03 13:11	UtilityPrint	System	1x9	OK
5034	04/03 20:35	UtilityPrint	System	1x4	OK
5035	04/03 20:48	UtilityPrint	System	1x9	OK

■ 部門 ID

部門別 ID 管理が設定されている場合は部門 ID が記載され、部門 ID ごとにプリント履歴がプリントされます。

■ 受付番号

プリントを受け付けたとき、自動的に付けられた番号 (4 桁) がプリントされます。

■ 日時

プリントが終了した日付と時刻が 24 時間制でプリントされます。

■ ジョブ名

プリントされた文書名またはジョブの種類がプリントされます。

■ ユーザ名

プリントを行ったユーザ名がプリントされます。

■ 枚数×部数

プリント 1 部あたりの枚数とプリント部数がプリントされます。

■ 結果

OK または NG がプリントされます。

OK はプリントが正常終了したときにプリントされます。

NG の場合、並べてエラーコードまたは STOP がプリントされます。

機器情報配信先リスト

機器情報配信の配信先の情報をプリントします。機器情報配信先リストは、必要に応じて手動でプリントします。(→ 機器情報の配信先をプリントする：P.6-41)

2007 04/12 THU 16:12		iR C6880N		001
***** *** 機器情報配信先リスト *** *****				
配信先	配信先受信可能データ	自動配信	自動配信データ	
111.111.111.1	- -	ON	部門ID 宛先表	
222.222.222.222	- -	ON	部門ID 宛先表	
333.333.333.333	- -	ON	部門ID 宛先表	

■ 配信先

登録してある配信先の IP アドレスがプリントされます。

■ 配信先受信可能データ

登録してある配信先で受信可能な項目をプリントします。

■ 自動配信

登録してある配信先に対して、自動配信が設定されているときは "ON"、設定されていないときは "OFF" とプリントされます。

■ 自動配信データ

自動配信が設定されている場合に、配信する機器情報をプリントします。

機器情報通信履歴レポート

機器情報配信の通信の履歴をレポートとしてプリントします。機器情報通信履歴レポートは、自動でも手動でもプリントすることができます。

レポートは、100 件の文書の配信／受信が終了した時点でプリントするか、指定した時刻にプリントするかを選択することができます。また、配信／受信別にプリントすることもできます。(→通信履歴をプリントする：P.6-48)

開始時刻	終了時刻	種別	通信先	データ内容	通信結果
04/06 16:06	04/06 16:07	配信	111.111.111.1	部門ID	NG #754
				宛先表	NG #754
04/06 16:10	04/06 16:10	配信	111.111.111.1	部門ID	NG #754
				宛先表	NG #754
04/06 16:10	04/06 16:10	配信	222.222.222.222	部門ID	NG #754
				宛先表	NG #754
04/06 16:10	04/06 16:10	配信	333.333.333.333	部門ID	NG #754
				宛先表	NG #754

■ 開始時刻

機器情報の配信／受信が開始された日付と時刻が 24 時間制でプリントされます。(* マークはすでに機器情報配信／受信レポートをプリントしたことがある履歴です。)

■ 終了時刻

機器情報の配信／受信が終了した日付と時刻が 24 時間制でプリントされます。

■ 種別

機器情報を配信したか受信したかプリントされます。

■ 通信先

配信の場合は、配信先をプリントします。

受信の場合は、配信元をプリントします。

■ データ内容

機器情報を配信／受信したデータ内容をプリントします。

■ 通信結果

正常に配信／受信が終了したときは "OK"、配信／受信エラーのときは "NG" とプリントされます。

配信／受信エラーのときは、終了コードの番号もプリントされます。

仕様

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。

本製品に関する情報はキヤノンホームページでもご確認いただけます。

キヤノンホームページ (<http://canon.jp/>) の製品情報から「複合機/コピー」の 카테고리を選択し、お使いの機種 of ホームページを参照してください。

本体

項目	仕様
名称	キヤノン iR C6880N/iR C5880N
形式	コンソールタイプ
カラー対応	フルカラー
読み取り解像度	600 dpi × 600 dpi
書き込み解像度	9600 dpi 相当 × 600 dpi
階調数	256 階調
複写原稿	シート、ブック原稿、立体物 (約 2 kg まで)
複写サイズ	ペーパーデッキ給紙：A4、B5 カセット給紙：305 × 457 mm、320 × 450 mm (SRA3)、330 × 483 mm、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R 手差し給紙：A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、ユーザ設定サイズ (100 × 148 mm ~ 330 × 483 mm) * 用紙のサイズが 320.5 × 472.5 mm ~ 330 × 483 mm の場合、以下のようになります。 最大画像領域：314.5 × 466.5 mm 画像欠け幅： 先端：4.0 mm 左右各：2.5 mm 以上で用紙サイズにより異なります。 後端：2.0 mm 以上で用紙サイズにより異なります。
ウォームアップタイム	主電源立ち上げ時：8分 50秒以下 スリープモードからの立ち上げ時：8分 50秒以下 低電力モードからの立ち上げ時：約 4分 (iR C6880N) 約 6分 (iR C5880N) * 使用環境により変わる場合があります。(上記はいずれも室温 20 °C の場合)
ファーストプリントタイム	フルカラー：12.2 秒 白黒：5.3 秒

項目	仕様
給紙方式/給紙容量	ペーパーデッキ給紙： 1500 枚× 2 カセット (80 g/m ²) 1700 枚× 2 カセット (64 g/m ²) カセット給紙： 550 枚× 2 カセット (80 g/m ²) 600 枚× 2 カセット (64 g/m ²) 手差し給紙： 手差しトレイ：100 枚 (80 g/m ²)
連続複写枚数	9999 枚
電源	AC 100 V 15 A 50 Hz/60 Hz 共通
消費電力	最大消費電力： 1.5 kW スリープモード時： 3 W 低電力モード時： 266 W (iR C6880N) 228 W (iR C5880N)
大きさ	679 mm (幅) × 852 mm (奥行) × 1191 mm (高さ)
質量	約 226 kg
機械占有寸法	1468 mm (幅) × 852 mm (奥行)

フィーダ

項目	仕様
原稿送り装置の種類	自動両面原稿送り装置
原稿サイズ/種類	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、B6 片面読み込み：42 ~ 128 g/m ² 両面読み込み：50 ~ 128 g/m ²
原稿の収容可能枚数	100 枚 (80 g/m ²)
原稿読取速度	コピー時：50 枚/分 (A4、モノクロ/カラー) スキャン時：最高 70 枚/分 (A4、300 dpi、モノクロ/カラー*) * スキャンモード・原稿画像の種類により異なります。
電源/最大消費電力	本体より供給/約 66 W
大きさ/質量	576 mm (幅) × 552 mm (奥行) × 151 mm (高さ) / 約 14.7 kg

サイドペーパーデッキ・U1

項目	仕様
用紙サイズ	A4、B5
給紙容量	3500 枚 (80 g/m ²)
電源/最大消費電力	本体より供給/約 65 W
大きさ/質量	326 mm (幅) × 583 mm (奥行) × 574 mm (高さ) /約 46 kg
本体接続時の占有寸法	961 mm (幅) × 852 mm (奥行)

フィニッシャー・AC1

項目	仕様
用紙サイズ/使用可能用紙	サイズ: 305 × 457 mm、320 × 450 mm(SRA3)、330 × 483 mm、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき、ユーザ設定サイズ (100 × 148 mm ~ 330 × 483 mm) 厚さ: 64 ~ 253 g/m ² 用紙: 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙 1 (106 ~ 209 g/m ²)、厚紙 2 (210 ~ 253 g/m ²)、厚紙 3 (210 ~ 250 g/m ²)、第 2 原図、OHP フィルム、ラベル用紙、インデックス紙、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき

項目	仕様
トレイ容量	<p>ノンソート</p> <p>ノンソートトレイ</p> <p>A4、B5、A5R：250枚（高さ41mm相当） 305×457mm、320×450mm(SRA3)、330×483mm、A3、B4、A4R、B5R：125枚（高さ21mm相当）</p> <p>上トレイ</p> <p>A4、B5、A5R：1300枚（高さ188.4mm相当） 305×457mm、320×450mm(SRA3)、330×483mm、A3、B4、A4R、B5R：650枚（高さ96mm相当）</p> <p>下トレイ</p> <p>A4、B5、A5R：2450枚（高さ347.1mm相当） 305×457mm、320×450mm(SRA3)、330×483mm、A3、B4、A4R、B5R：650枚（高さ96mm相当）</p> <p>ソート、グループ</p> <p>上トレイ</p> <p>A4、B5：1300枚（高さ188.4mm相当） A3、B4、A4R、B5R：650枚（高さ96mm相当）</p> <p>下トレイ</p> <p>A4、B5：1700枚（高さ243.6mm相当） A3、B4、A4R、B5R：650枚（高さ96mm相当）</p> <p>ステイブルソート</p> <p>上トレイ、下トレイ</p> <p>A4、B5：1300枚／100部（高さ188.4mm相当） A3、B4、A4R：650枚／50部（高さ96mm相当）</p> <p>ノンソート、ソート、グループ：サイズ混載時</p> <p>上トレイ、下トレイ</p> <p>650枚（高さ96mm相当）</p> <p>ステイブルソート：サイズ混載時</p> <p>上トレイ、下トレイ</p> <p>650枚／50部（高さ96mm相当）</p>

項目	仕様
ステイプル	A4、B5 : 50 枚 (64 ~ 80 g/m ²) 30 枚 (81 ~ 105 g/m ²) 2 枚 (106 ~ 253 g/m ²) A3、B4、A4R : 50 枚 (64 ~ 80 g/m ²) 30 枚 (81 ~ 105 g/m ²) 2 枚 (106 ~ 253 g/m ²) コーナーステイプル : A3、B4、A4、A4R、B5 ダブルステイプル : A3、B4、A4、B5
電源/最大消費電力	本体より供給/約 110 W
大きさ/質量	646 mm (幅) × 656 mm (奥行) × 1102 mm (高さ) / 約 48 kg
本体接続時の占有寸法	iR C6880N/iR C5880N : 1437 mm (幅) × 656 mm (奥行) (補助トレイを伸ばしたサイズ) 1544 mm (幅) × 656 mm (奥行) (パンチャーユニット・L1 装着時、 補助トレイを伸ばしたサイズ)

サドルフィニッシャー・AC2

項目	仕様
用紙サイズ/使用可能用紙	サイズ : 305 × 457 mm、320 × 450 mm(SRA3)、330 × 483 mm、A3、 B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき、ユーザ設定サイズ (100 × 148 mm ~ 330 × 483 mm) 厚さ : 64 ~ 253 g/m ² 用紙 : 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙 1 (106 ~ 209 g/m ²)、 厚紙 2 (210 ~ 253 g/m ²)、厚紙 3 (210 ~ 250 g/m ²)、第 2 原図、OHP フィルム、ラベル用紙、インデックス紙、郵便はがき、郵便往復はがき、郵 便 4 面はがき

項目	仕様
トレイ容量	<p>ノンソート</p> <p>ノンソートトレイ</p> <p>A4、B5、A5R：250枚（高さ41mm相当） 305×457mm、320×450mm(SRA3)、330×483mm、A3、B4、A4R、B5R：125枚（高さ21mm相当）</p> <p>上トレイ</p> <p>A4、B5、A5R：1300枚（高さ188.4mm相当） 305×457mm、320×450mm(SRA3)、330×483mm、A3、B4、A4R、B5R：650枚（高さ96mm相当）</p> <p>下トレイ</p> <p>A4、B5、A5R：2450枚（高さ347.1mm相当） 305×457mm、320×450mm(SRA3)、330×483mm、A3、B4、A4R、B5R：650枚（高さ96mm相当）</p> <p>ソート、グループ</p> <p>上トレイ</p> <p>A4、B5：1300枚（高さ188.4mm相当） A3、B4、A4R、B5R：650枚（高さ96mm相当）</p> <p>下トレイ</p> <p>A4、B5：1700枚（高さ243.6mm相当） A3、B4、A4R、B5R：650枚（高さ96mm相当）</p> <p>ステイブルソート</p> <p>上トレイ、下トレイ</p> <p>A4、B5：1300枚／100部（高さ188.4mm相当） A3、B4、A4R：650枚／50部（高さ96mm相当）</p> <p>ノンソート、ソート、グループ：サイズ混載時</p> <p>上トレイ、下トレイ</p> <p>650枚（高さ96mm相当）</p> <p>ステイブルソート：サイズ混載時</p> <p>上トレイ、下トレイ</p> <p>650枚／50部（高さ96mm相当）</p> <p>中とじ： 1～5枚／25部 6～10枚／15部 11～15枚／10部</p>

項目	仕様
ステイプル	A4、B5 : 50 枚 (64 ~ 80 g/m ²) 30 枚 (81 ~ 105 g/m ²) 2 枚 (106 ~ 253 g/m ²) A3、B4、A4R : 30 枚 (64 ~ 80 g/m ²) 20 枚 (81 ~ 105 g/m ²) 2 枚 (106 ~ 253 g/m ²) コーナーステイプル : A3、B4、A4、A4R、B5 ダブルステイプル : A3、B4、A4、A4R、B5
中とじ	305 × 457 mm、A3、B4、A4R : 15 枚 (64 ~ 80 g/m ²) 10 枚 (81 ~ 105 g/m ²)
電源/最大消費電力	本体より供給/約 110 W
大きさ/質量	646 mm (幅) × 656 mm (奥行) × 1102 mm (高さ) / 約 70.5 kg
本体接続時の占有寸法	iR C6880N/iR C5880N : 1437 mm (幅) × 656 mm (奥行) (補助トレイを伸ばしたサイズ) 1544 mm (幅) × 656 mm (奥行) (パンチャーユニット・L1 装着時、補助トレイを伸ばしたサイズ)

パンチャーユニット・L1

項目	仕様
パンチ可能サイズ/使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R 64 ~ 250 g/m ² 普通紙、再生紙、色紙、厚紙、インデックス紙
パンチ穴数/穴径	2 穴 / 6.5 mm
パンチ穴間隔	80 mm
パンチ屑受け容量	10000 枚 (80 g/m ²)
電源	本体より供給
大きさ/質量	107 mm (幅) × 615 mm (奥行) × 833 mm (高さ) / 約 7.2 kg

シフトトレイ・C1

項目	仕様
用紙サイズ/使用可能用紙	305 × 457 mm、320 × 450 mm (SRA3)、330 × 483 mm、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、ユーザ設定サイズ (100 × 148 mm ~ 330 × 483 mm) 64 ~ 250 g/m ² 普通紙、再生紙、パンチ済み紙、厚紙、第2原図、OHPフィルム、ラベル用紙、インデックス紙、郵便はがき、往復はがき、4面はがき
用紙積載枚数	ソート時：500枚/ノンソート時：250枚 (80 g/m ²)
シフト可能サイズ	A3、B4、A4、B5
電源/消費電力	本体より供給/約 15 W
大きさ/質量	473 mm (幅) × 435 mm (奥行) × 148 mm (高さ) /約 4.2 kg
本体接続時の占有寸法	1187 mm (幅) × 852 mm (奥行) (稼動状態時)

コピートレイ・K1

項目	仕様
用紙サイズ/使用可能用紙	305 × 457 mm、320 × 450 mm (SRA3)、330 × 483 mm、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、ユーザ設定サイズ (100 × 148 mm ~ 330 × 483 mm) 64 ~ 250 g/m ² 普通紙、再生紙、パンチ済み紙、厚紙、第2原図、OHPフィルム、ラベル用紙、インデックス紙、郵便はがき、往復はがき、4面はがき
用紙積載枚数	250枚 (80 g/m ²)
大きさ/質量	562 mm (補助トレイ、補助用ワイヤ引出し時) (幅) × 371 mm (奥行) × 102 mm (高さ) /約 0.5 kg
本体接続時の占有寸法	1152 mm (幅) × 852 mm (奥行) (稼動状態時)

カードリーダー-C1

項目	仕様
使用カード	磁気式カード
カード読み取り方式	磁気式移動読み取り
磁気カード読み取り方向	差し込み方向
磁気記録・再生	再生
電源	本体より供給
大きさ/質量	88 mm (幅) × 100 mm (奥行) × 32 mm (高さ) / 約 295 g

ユーザ入力項目の文字制限と機能制限について

文字制限

		初期設定/登録		
共通仕様 設定	イメージ合成の フォーム登録	フォーム名		半角 24 文字、全角 12 文字
	ページ印字/スタ ンプの文字列登録	文字列		半角 32 文字、全角 16 文字
	ユーザ設定サイズ の登録	名称登録		半角 10 文字、全角 5 文字
システム 管理設定	システム管理者情 報の設定	システム管理者名		半角 32 文字、全角 16 文字
		メールアドレス		半角 64 文字
		連絡先		半角 32 文字、全角 16 文字
		コメント		半角 32 文字、全角 16 文字
	デバイス情報	デバイス名		半角 32 文字、全角 16 文字
		設置場所		半角 32 文字、全角 16 文字
	通信管理設定	電子メール/ ファクス設定	省略時の件名	半角 40 文字、全角 20 文字
	転送設定	転送条件名		半角 50 文字、全角 25 文字
		送信文書名		半角 24 文字、全角 12 文字
	LDAP サーバの 登録	サーバ名		半角 24 文字、全角 12 文字
サーバアドレス		半角 48 文字		
検索開始位置		半角 128 文字、全角 64 文字		
ボックス 仕様設定	ユーザボックス	名称		半角 24 文字、全角 12 文字
	ファクスボックス	名称		半角 24 文字、全角 12 文字
送信/受信 仕様設定	送信機能設定 (共通設定)	発信人名称		半角 24 文字、全角 12 文字
		ユーザ略称		半角 24 文字、全角 12 文字

初期設定/登録			
宛先表仕様 設定	電子メール	宛先名	半角 24 文字、全角 12 文字
		宛先名フリガナ	半角 24 文字
		ワンタッチ名称 ^{*1}	半角 12 文字、全角 6 文字
		メールアドレス	半角英数字 128 文字
	Iファクス	宛先名	半角 24 文字、全角 12 文字
		宛先名フリガナ	半角 24 文字
		ワンタッチ名称 ^{*1}	半角 12 文字、全角 6 文字
		Iファクスアドレス	半角英数字 128 文字
		定型文 1	半角英数字 40 文字
		定型文 2	半角英数字 16 文字
	ファクス	宛先名	半角 24 文字、全角 12 文字
		宛先名フリガナ	半角 24 文字
		ワンタッチ名称 ^{*1}	半角 12 文字、全角 6 文字
		ファクス番号	半角 120 文字
		Fコード	半角数字 20 文字
		パスワード	半角数字 20 文字

初期設定/登録			
宛先表仕様 設定	ファイル	宛先名	半角 24 文字、全角 12 文字
		宛先名フリガナ	半角 24 文字
		ワンタッチ名称 ^{*1}	半角 12 文字、全角 6 文字
		ホスト名	FTP：半角英数字 128 文字（半角英数字 128 文字、全角 64 文字） ^{*2} SMB、IPX：半角 128 文字、全角 64 文字 WebDAV：半角 128 文字
		パス	FTP：半角英数字 255 文字（半角英数字 255 文字、全角 127 文字） ^{*2} SMB、IPX、WebDAV：半角 255 文字、全角 127 文字
		ユーザ名	FTP：半角英数字 24 文字（半角英数字 24 文字、全角 12 文字） ^{*2} SMB、WebDAV：半角 128 文字、全角 64 文字 IPX：半角 24 文字、全角 12 文字
		パスワード	SMB：半角英数字 14 文字 FTP、IPX、WebDAV：半角英数字 24 文字
	グループ	宛先名	半角 24 文字、全角 12 文字
		宛先名フリガナ	半角 24 文字
		ワンタッチ名称 ^{*1}	半角 12 文字、全角 6 文字

*1：ワンタッチ名称はワンタッチ宛先のときのみの項目です。

*2：送信/受信仕様設定（初期設定/登録）の [FTP 送信指定に ASCII コード以外を許可] を「ON」に設定した場合は、カッコ内の文字数を入力することができます。

コピー機能		
カラーバランス	名称	半角 10 文字、全角 5 文字
モードメモリ	名称	半角 10 文字、全角 5 文字

ボックス機能		
文書名		半角 24 文字、全角 12 文字
カラーバランス	名称	半角 10 文字、全角 5 文字
モードメモリ	名称	半角 10 文字、全角 5 文字

送信/ファクス機能		
読取モード	名称	(半角 8 文字、全角 4 文字) × 2
送信設定	送信文書名	半角 24 文字、全角 12 文字
	件名	半角 40 文字、全角 20 文字
	本文	半角 140 文字、全角 70 文字

機能制限

初期設定／登録				
システム管理設定	システム管理者情報の設定	システム管理部門 ID		最大 7 桁
		システム管理暗証番号		最大 7 桁
	部門別 ID 管理	部門 ID		最大 7 桁
		暗証番号		最大 7 桁
		制限面数		各 0 ～ 999999
	通信管理設定	システムボックス設定	システムボックス暗証番号	7 桁
日付／時刻設定	日付／時刻		西暦、月、日、時刻	
ボックス仕様設定	ユーザボックス	個数		100
		暗証番号		7 桁
	ファクスボックス	個数		50
送信／受信仕様設定	送信機能設定 (共通設定)	発信人名称	個数	99
	基本登録 (ファクス設定)	ユーザ電話番号		最大 20 桁
宛先表仕様設定	宛先表の暗証番号			最大 7 桁
	標準の宛先			1600 件
	ワンタッチ宛先			200 件

コピー機能		
カラーバランス	個数	4
モードメモリ	個数	9
予約コピー	個数	10 ジョブ

ボックス機能		
カラーバランス	個数	4
モードメモリ	個数	9
予約プリント	個数	32 ジョブ
送信	文書数	最大 32 文書
	ページ数	最大 999 ページ

送信/ファクス機能		
読取モード	個数	8
予約送信	電子メール ファクス ファイルサーバ ボックス	120 ジョブ
	ファクス	64 ジョブ
送信	ページ数	最大 999 ページ

原稿向きと用紙向きについて

あらかじめロゴなどが印刷されている用紙にプリントしてステイブルするときにご利用ください。

メモ

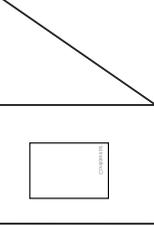
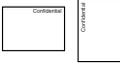
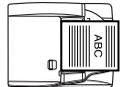
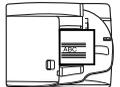
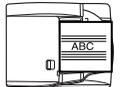
プリントする用紙は、下記のとおりにセットしてください。

- ・ペーパーデッキ：これからプリントする面を下向きにセットしてください。
- ・カセット：これからプリントする面を下向きにセットしてください。
- ・手差し、サイドペーパーデッキ：これからプリントする面を上向きにセットしてください。

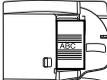
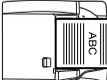
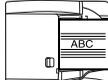
■ 右ステイブルをしたい場合

原稿/ 用紙方向、 各種設定		ステイブル位置 出力例		コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：右上 ダブル：上	コーナー：右上	コーナー：右上 ダブル：右	
		A4, B5	A3, B4	A4, B5	A3, B4			
プリントされた用紙	ペーパーデッキ セット方向 ↑ プリントされた用紙：下向き							
	カセット セット方向 ↑ プリントされた用紙：下向き							
	手差し、サイドペーパー デッキセット方向 ← プリントされた用紙：上向き							
原稿	原稿台ガラス セット方向 原稿：下向き							
	ステイブル設定	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：右上	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：右上 ダブル：右	
	フィーダ セット方向 原稿：上向き							
	ステイブル設定	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：左上 ダブル：左	コーナー：右上	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：右上 ダブル：右	
オートタテヨコ 回転設定	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可 (手差し、カセットタテ位置 セットの場合はON)	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可		

■ 左スティابلをしたい場合

スティابل位置 出力例 原稿/ 用紙方向、 各種設定		コーナー：左上 ダブル：左  A4, B5	コーナー：左上 ダブル：上  A3, B4	コーナー：左上  A4, B5	コーナー：左上 ダブル：左  A3, B4
		ペーパーデッキ セット方向 プリントされた 用紙：下向き 			
カセット セット方向 プリントされた 用紙：下向き 					
手差し、サイドペーパー デッキセット方向 プリントされた 用紙：上向き 					
原稿	原稿台ガラス セット方向 原稿：下向き 				
	スティابل設定 コーナー：左上 ダブル：左	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：左上	コーナー：左上 ダブル：左	
	フィーダ セット方向 原稿：上向き 				
	スティابل設定 コーナー：左上 ダブル：左	コーナー：右上 ダブル：右	コーナー：左上	コーナー：左上 ダブル：左	
オートタテヨコ 回転設定	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可 (手差し、カセットタテ位置 セットの場合はON)	ON/OFFどちらでも可	

■ ステイブルをしない場合

出力例		A4, B5		A3, B4		A4, B5		A3, B4	
									
プリントされた用紙	ペーパーデッキ セット方向 ↑ プリントされた 用紙: 下向き		/			/			
	カセット セット方向 ↑ プリントされた 用紙: 下向き								
	手差し、サイドペーパー デッキセット方向 ← プリントされた 用紙: 上向き								
原稿	原稿台ガラス セット方向 ↑ 原稿: 下向き								
	フィーダー セット方向 ↑ 原稿: 上向き								
オートタデヨコ 回転設定		ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可 (手差し、カセットタテ位置 セットの場合はON)	ON/OFFどちらでも可				

ローマ字入力表

あ	アイ	A I	は	ハ	HA	が	ガ	GA	あ	ア	XA
い	イ	I	ひ	ヒ	HI	ぎ	ギ	GI	い	イ	XI
う	ウ	U	ふ	フ	HU	ぐ	グ	GU	う	ウ	XU
え	エ	E	へ	ヘ	HE	げ	ゲ	GE	え	エ	XE
お	オ	O	ほ	ホ	HO	ご	ゴ	GO	お	オ	XO
か	カ	KA	ま	マ	MA	ざ	ザ	ZA	や	ヤ	XYA
き	キ	KI	み	ミ	MI	じ	ジ	ZI	ゆ	ユ	XYU
く	ク	KU	む	ム	MU	ず	ズ	ZU	よ	ヨ	XYO
け	ケ	KE	め	メ	ME	ぜ	ゼ	ZE			
こ	コ	KO	も	モ	MO	ぞ	ゾ	ZO			
さ	サ	SA	や	ヤ	YA	だ	ダ	DA	っ	ッ	XTU
し	シ	SI	ゆ	ユ	YU	ぢ	ヂ	DI			
す	ス	SU	よ	ヨ	YO	づ	ヅ	DU			
せ	セ	SE				で	デ	DE			
そ	ソ	SO				ど	ド	DO			
た	タ	TA	ら	ラ	RA	ば	バ	BA			
ち	チ	TI	り	リ	RI	び	ビ	BI			
つ	ツ	TU	る	ル	RU	ぶ	ブ	BU			
て	テ	TE	れ	レ	RE	べ	ベ	BE			
と	ト	TO	ろ	ロ	RO	ぼ	ボ	BO			
な	ナ	NA	わ	ワ	WA	ぱ	パ	PA			
に	ニ	NI	を	ヲ	WO	び	ピ	PI			
ぬ	ヌ	NU				ぶ	プ	PU			
ね	ネ	NE	ん	ン	NN	べ	ペ	PE			
の	ノ	NO				ぼ	ポ	PO			
						ヴ		VU			

JIS 漢字コード表

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
0100			、	。	，	．	：	；	？	！	°	´	˘	˙	˚	˛
0116	^	—	—	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
0132	∖	~	∥		…	…	…	…	…	…	()	[]	[]	[]	[]	[]
0148			<	>	<	>	「	」	「	」	【	】	+	-	±	×
0164	÷	=	#	<	>	≦	≧	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
0180	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	
0200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	=	
0216											∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
0232	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∇
0248	≡												∠	⊥	∩	∩
0264	∇	≡	≡	<	>	√	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
0280			À	%	#	b	♪	†	‡	¶						○
0316	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
0332		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0348	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
0364		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
0400		あ	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く
0416	ぐ	け	げ	こ	こ	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
0432	だ	ち	ち	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
0448	ば	ば	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ	ほ	ほ	ま	み
0464	む	め	も	や	や	ゆ	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ
0480	ゐ	ゑ	を	ん												
0500		ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
0516	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
0532	ダ	チ	ヂ	ツ	ツ	ヅ	テ	テ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
0548	バ	バ	ヒ	ビ	ビ	フ	ブ	ブ	ヘ	ベ	ベ	ホ	ホ	ボ	マ	ミ
0564	ム	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ
0580	キ	エ	ヲ	ヅ	カ	ケ										
0600		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O
0616	Π	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω							
0632		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
0648	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
0700		A	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
0716	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
0732	Ю	Я														
0748		a	б	в	г	д	e	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
0764	o	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
0780	ю	я														

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
ア	1600		亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惠	握	渥
	1616	旭	葦	芦	鱒	梓	庄	幹	扱	宛	姪	虵	鮎	絢	綾	鮎	或
	1632	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	閉
イ	1648	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
	1664	萎	衣	謂	違	遣	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壹	溢	逸
	1680	稻	茨	芋	鱒	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
	1700		院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鸚	窺	丑
ウ	1716	確	白	渦	嘘	唄	鬱	蔚	鰻	姥	既	浦	瓜	閏	噂	云	運
	1732	雲	荏	餌	叡	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎
エ	1748	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	閏	榎	厭	円
	1764	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	菌	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奧	往	応	
オ	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯	鴉	黄	岡	冲	萩	億
	1816	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下	化	仮	何
カ	1832	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
	1848	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
	1864	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改	
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	効
	1916	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮	馨	蛙
	1932	垣	柿	蛎	鈎	割	嚇	各	廓	拡	攪	格	核	殼	獲	確	穫
	1948	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	檜
	1964	櫃	梶	鯨	渴	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯉
	1980	叶	柁	樺	鞆	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	嚙	鴨	栢	茅	萱	
	2000		粥	刈	苜	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勦	卷	喚	堪	姦
	2016	完	官	寬	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歛
	2032	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	2048	莞	觀	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	閑	閑	韓	館	館	丸	含
2064	巖	玩	癩	眼	岩	翫	贗	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	
キ	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
	2100		機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起
	2116	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	犧	疑
	2132	祇	義	蟻	誼	議	拘	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
	2148	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
	2164	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	紱	糾	給	旧	牛	去	居
	2180	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
	2200		供	俠	僑	兜	競	共	凶	協	匡	脚	叫	喬	境	峽	強

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
キ	2 2 1 6	彊	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	菁	郷
	2 2 3 2	鏡	響	響	驚	仰	凝	堯	曉	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅
	2 2 4 8	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
	2 2 6 4	謹	近	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駟
ク	2 2 8 0	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
	2 3 0 0		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	限	糸	栗	繰	桑	鉞	黜	君
	2 3 1 6	薰	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
ケ	2 3 3 2	契	形	徑	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系
	2 3 4 8	経	継	繫	罍	莖	荊	螢	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨
	2 3 6 4	劇	戟	擊	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2 3 8 0	儉	倦	健	兼	券	劍	暄	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	
	2 4 0 0		檢	権	牽	犬	獻	研	硯	絹	鼎	肩	見	謙	賢	軒	遣
	2 4 1 6	鍵	險	顕	験	餞	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	絃	絃
	2 4 3 2	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
コ	2 4 4 8	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鉗	雇	顧	鼓	五	互
	2 4 6 4	伍	午	呉	吾	娛	後	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	酬
	2 4 8 0	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
	2 5 0 0		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
	2 5 1 6	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
	2 5 3 2	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	絃	絞	綱	耕	考	肯	肱
	2 5 4 8	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉞	砒	鋼	閤	降
	2 5 6 4	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻
	2 5 8 0	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甌	忽	惚	骨	狛	込	
	2 6 0 0		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
2 6 1 6	紺	艮	魂	些	佐	又	唆	嗟	左	差	査	沙	磋	砂	詐	鎖	
サ	2 6 3 2	娑	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
	2 6 4 8	歳	濟	災	采	犀	碎	砦	祭	斎	細	菜	裁	際	劑	在	
	2 6 6 4	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	驚	作	削
	2 6 8 0	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
	2 7 0 0		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	臯	鯖	捌	鑄	鮫	皿	晒
	2 7 1 6	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	讚	賛
	2 7 3 2	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
シ	2 7 4 8	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
	2 7 6 4	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2 7 8 0	誥	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	持	時	
	2 8 0 0		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辭	汐	鹿
2 8 1 6	式	識	鳴	竺	軸	穴	霏	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
シ	2 8 3 2	疾	質	突	蔀	篠	悃	柴	芝	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	赦
	2 8 4 8	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
	2 8 6 4	酌	积	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2 8 8 0	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
	2 9 0 0		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	蒐
	2 9 1 6	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎
	2 9 3 2	柔	汁	洩	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟
	2 9 4 8	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	2 9 6 4	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2 9 8 0	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3 0 0 0		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	將	小	少
	3 0 1 6	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3 0 3 2	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
	3 0 4 8	笑	粧	紹	肖	莒	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
	3 0 6 4	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	孃	常
	3 0 8 0	情	擾	条	杖	淨	狀	量	穰	蒸	讓	釀	錠	囑	埴	飾	
	3 1 0 0		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3 1 1 6	唇	娠	寢	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3 1 3 2	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	
3 1 4 8	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	鞞	箭	諏	須	酢	囟	厨	
ス	3 1 6 4	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	哀	遂	醉	錐	鍾	隨
	3 1 8 0	瑞	髓	崇	高	数	枢	趨	雛	据	杉	相	菅	頗	雀	裾	
	3 2 0 0		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
セ	3 2 1 6	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
	3 2 3 2	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
	3 2 4 8	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	拱	折	設
	3 2 6 4	窃	節	説	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
	3 2 8 0	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
	3 3 0 0		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	銑	閃	鮮
	3 3 1 6	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糲	嚼	塑	咀	措	曾	曾	楚
ソ	3 3 3 2	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
	3 3 4 8	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匣	惣	想	搜	掃	挿	搔
	3 3 6 4	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	槽	総	綜	聡
	3 3 8 0	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	増	憎	
	3 4 0 0		臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
	3 4 1 6	属	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
夕	3 4 3 2	太	汰	詫	唾	墮	妥	惰	打	柁	舵	楫	陀	駄	驢	体	堆

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
夕	3 4 4 8	对耐岱	带待怠	態戴替	泰滯胎	腿苔袋	貸											
	3 4 6 4	退逮隊	黛鯛代	台大第	醜題鷹	滝瀧卓	啄											
	3 4 8 0	宅托挾	拓沢濯	琢託鐸	濁諾茸	胤蛸只												
	3 5 0 0		叩但達	辰奪脱	異豎汕	棚谷狸	鱈樽誰											
	3 5 1 6	丹单嘆	坦担探	旦歎淡	湛炭短	端筆綻	耽											
	3 5 3 2	胆蛋誕	鍛団壇	彈断暖	檀段男	談値知	地											
チ	3 5 4 8	弛恥智	池痴稚	置致致	蚰遲馳	築畜竹	筑蓄											
	3 5 6 4	逐秩窒	茶矯着	中仲宙	忠抽昼	柱注虫	衷											
	3 5 8 0	註耐鑄	駐栲滌	猪苧著	貯丁兆	凋喋寵												
	3 6 0 0		帖帳疔	弔張彫	徵懲挑	暢朝潮	牒町眺											
	3 6 1 6	聽脹腸	蝶調課	超跳銚	長頂鳥	勅抄直	朕											
	3 6 3 2	沈珍賃	鎮陳津	墜椎槌	追鎚痛	通塚梅	摺											
ツ	3 6 4 8	槻佃潰	柘辻葛	綴鏑椿	潰坪壺	孀紬爪	吊											
	3 6 6 4	釣鶴亭	低停偵	刺貞呈	堤定帝	底庭廷	弟											
テ	3 6 8 0	悌抵挺	提梯汀	碇禎程	締艇訂	諦蹄通												
	3 7 0 0		邸鄭釘	鼎泥摘	擢敵滴	的笛適	鎬溺哲											
	3 7 1 6	徹撤輒	迭鉄典	填天展	店添纏	甜貼軫	顛											
	3 7 3 2	点伝殿	澱田電	兎吐堵	塗妬屠	徒斗杜	渡											
ト	3 7 4 8	登菟賭	途都都	鍍砥砺	努度土	奴怒倒	党冬											
	3 7 6 4	凍刀唐	塔塔塘	套宕鳥	嶋悼投	搭東桃	棟											
	3 7 8 0	盜淘湯	涛灯燈	当痘痔	等答筒	糖統到												
	3 8 0 0		董蕩藤	討膳豆	踏逃透	鐙陶頭	騰闊働											
	3 8 1 6	動同堂	導懂撞	洞瞳童	胴菊道	銅峠鵠	匿											
	3 8 3 2	得徳洩	特督禿	篤毒独	読栃橡	凸突楸	屈											
3 8 4 8	薦苦寅	酉滯噸	屯惇敦	沌豚遁	頓呑曇	鈍												
ナ	3 8 6 4	奈那内	乍凧凧	難謎灘	捺鍋楮	馴繩暇	南楠											
	3 8 8 0	軟難汝	二尼弍	迹匂販	肉虹廿	日乳入												
ニ	3 9 0 0		如尿菲	任妊忍	認濡襦	衿寧葱	猫熱年											
ネ	3 9 1 6	念捻撚	燃粘乃	廼廼之	埜囊惱	濃納能	腦膿											
ノ	3 9 3 2	農覗蚤	巴把播	霸杷波	派琶破	婆罵芭	馬											
ハ	3 9 4 8	俳魔拜	排敗杯	盃盃牌	背肺輩	配倍培	媒梅											
	3 9 6 4	榎煤狼	買売賠	陪這蠅	秤矧萩	伯剥博	拍											
	3 9 8 0	柏泊白	箔柏舶	舶薄迫	曝漠爆	縛莫駁	麥											
	4 0 0 0		函箱裕	箸肇筭	櫛幡肌	畑阜八	鉢澆発											
	4 0 1 6	醜髮伐	罰拔筏	閥鳩嘶	埗蛤隼	伴判半	反											
	4 0 3 2	叛帆搬	斑板汜	汎版犯	班畔繁	般藩販	範											
4 0 4 8	采煩頒	飯挽晚	晚番盤	磐蕃	蚤匪卑	否妃庇												

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
ヒ	4 0 6 4	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4 0 8 0	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵琶	眉	美	
	4 1 0 0		鼻	終	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
	4 1 1 6	桧	姬	媛	紐	百	謬	倭	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
	4 1 3 2	廟	描	病	秒	苗	鋪	鋸	蒜	蛭	鱗	品	彬	斌	浜	瀨	貧
	4 1 4 8	實	類	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	佈	扶	敷
フ	4 1 6 4	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4 1 8 0	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	落	伏	副	復	幅	服	
	4 2 0 0		福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮪	分	吻	噴	墳
	4 2 1 6	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
ヘ	4 2 3 2	弊	柄	並	蔽	閉	陞	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	窺
	4 2 4 8	偏	變	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭	保	鋪	鋪
ホ	4 2 6 4	圃	捕	步	甫	補	輔	穗	募	慕	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4 2 8 0	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
	4 3 0 0		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒
	4 3 1 6	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
	4 3 3 2	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨
	4 3 4 8	撲	朴	牧	陸	穆	鉤	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
マ	4 3 6 4	摩	磨	魔	麻	埋	妹	味	枚	每	哩	楨	幕	膜	枕	鮪	枉
	4 3 8 0	鱒	榭	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	俣	繭	磨	万	慢	滴	
	4 4 0 0		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	囊	稔	脈	妙
ミ	4 4 1 6	耗	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵝	掠	婿	娘	冥	名	命
メ	4 4 3 2	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模
モ	4 4 4 8	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	杳	勿	餅
	4 4 6 4	尤	戻	初	貫	問	悶	紋	門	匆	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
ヤ	4 4 8 0	矢	厄	役	約	葉	訳	躍	靖	柳	藪	鑼	愉	愈	油	癒	
ユ	4 5 0 0		論	輪	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
	4 5 1 6	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
ヨ	4 5 3 2	誉	輿	預	備	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶
	4 5 4 8	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
	4 5 6 4	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
ラ	4 5 8 0	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏	履	李	梨	理	璃	
リ	4 6 0 0		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	律	掠	略	劉	流	溜
	4 6 1 6	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
	4 6 3 2	寮	料	梁	涼	獵	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
	4 6 4 8	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	璠	璠	璠	璠	璠
ル	4 6 6 4	類	令	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
レ	4 6 8 0	齡	曆	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
	4 7 0 0		蓮	連	鍊	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	勞	婁	廊	弄	朗
ロ	4 7 1 6	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	禄	肋	録
	4 7 3 2	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	杵	鷺	互	亘	鰐	託	藁	蕨
ワ	4 7 4 8	椀	湾	碗	腕												

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	4 8 0 0	式	丐	丕	个	卍	丶	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事		
	4 8 1 6	舒	式	于	亞	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	
人	4 8 3 2	仞	仞	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	佻	佻	
	4 8 4 8	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	佷	俟	俎	俘	俛	侑	俚	侗	侑	
	4 8 6 4	俸	倚	倨	偈	倪	倥	倅	倅	倂	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	
	4 8 8 0	偃	假	會	偕	修	傷	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	
	4 9 0 0		僉	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
	4 9 1 6	僮	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕
	4 9 3 2	兩	兪	兮	冀	門	回	冊	冉	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	
	4 9 4 8	寫	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	
	4 9 6 4	風	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	
力	4 9 8 0	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	
	5 0 0 0		劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	
	5 0 1 6	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	
	5 0 3 2	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	
	5 0 4 8	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	
口	5 0 6 4	呀	听	吭	吼	吮	呐	吩	咨	呎	咏	呵	咎	咎	咎	咎	咎	
	5 0 8 0	咒	呻	咀	嗽	咄	附	咆	哇	罌	咸	啞	咬	哄	哈	咨		
	5 1 0 0		咫	晒	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤
	5 1 1 6	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
	5 1 3 2	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
	5 1 4 8	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
	5 1 6 4	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫
	5 1 8 0	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫
	5 2 0 0		圉	國	圍	圓	團	圖	膏	膏	膏	膏	膏	膏	膏	膏	膏	膏
土	5 2 1 6	坩	垂	垚	坡	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	
	5 2 3 2	埒	聖	坩	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	
	5 2 4 8	墅	塢	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	
	5 2 6 4	塢	壤	壘	壯	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	
大	5 2 8 0	夭	本	夸	夾	奇	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	
	5 3 0 0		奸	妁	妝	佞	佞	妣	妣	妣	妣	妣	妣	妣	妣	妣	妣	
	5 3 1 6	娑	娜	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	
	5 3 3 2	媽	媽	嫗	婦	嫩	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	
	5 3 4 8	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	
宀	5 3 6 4	它	宀	宸	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	
	5 3 8 0	寶	尅	將	專	對	尔	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	
	5 4 0 0		屣	屣	屣	屣	屣	屣	屣	屣	屣	屣	屣	屣	屣	屣	屣	
山	5 4 1 6	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	
	5 4 3 2	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	5 4 4 8	嶄	嶂	峽	嶷	嶸	嶹	嶺	嶻	嶽	嶾	嶿	嶽	嶾	嶿	嶽	嶾		
	5 4 6 4	巫	巳	卮	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀		
	5 4 8 0	幟	幟	幣	幫	干	并	么	麼	广	庠	廁	廂	厦	廐	廐			
广	5 5 0 0		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廢	廣	廤	廥	廦	廨	廩	廪		
	5 5 1 6	卅	弃	冫	彝	彝	弋	弋	弓	弩	弭	弭	弭	彈	彌	彎	彎		
	5 5 3 2	互	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖		
	5 5 4 8	徒	徘徊	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠		
心	5 5 6 4	怙	恂	怩	怎	忽	怛	怕	佛	怛	怛	怛	怛	怛	怛	怛	怛		
	5 5 8 0	協	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂		
	5 6 0 0		悄	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	
	5 6 1 6	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	
	5 6 3 2	慤	慤	慤	慤	慤	慤	慤	慤	慤	慤	慤	慤	慤	慤	慤	慤	慤	
	5 6 4 8	慚	慚	慚	慚	慚	慚	慚	慚	慚	慚	慚	慚	慚	慚	慚	慚	慚	慚
	5 6 6 4	慥	慥	慥	慥	慥	慥	慥	慥	慥	慥	慥	慥	慥	慥	慥	慥	慥	
	5 6 8 0	慦	慦	慦	慦	慦	慦	慦	慦	慦	慦	慦	慦	慦	慦	慦	慦	慦	
	5 7 0 0		戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛		
手	5 7 1 6	狂	抉	找	抒	抓	抖	拔	扑	抔	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊		
	5 7 3 2	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈		
	5 7 4 8	捐	挾	捍	搜	捏	掖	倚	掀	掀	捶	掣	掣	掣	掣	掣	掣		
	5 7 6 4	捩	掇	措	揀	揣	揣	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀	
	5 7 8 0	攝	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	
	5 8 0 0		據	擒	擅	擇	撻	擘	搯	搯	搯	搯	搯	搯	搯	搯	搯	搯	
	5 8 1 6	攬	攝	擴	擲	擺	攀	揆	攘	攘	攢	攤	攢	攢	攢	攢	攢	攢	
支	5 8 3 2	收	攸	攸	效	敖	敕	敕	敕	敕	敕	敕	敕	敕	敕	敕	敕		
	5 8 4 8	斟	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫		
日	5 8 6 4	晟	旻	杏	昵	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶		
	5 8 8 0	晟	晝	晰	晝	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈		
	5 9 0 0		晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝		
	5 9 1 6	隴	霸	肅	束	朶	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵		
木	5 9 3 2	杏	杼	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪		
	5 9 4 8	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞		
	5 9 6 4	梳	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞		
	5 9 8 0	梵	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞		
	6 0 0 0		柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞		
	6 0 1 6	棟	樹	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	
	6 0 3 2	榆	楞	棟	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	
	6 0 4 8	榻	檠	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	
	6 0 6 4	榭	檠	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	
	6 0 8 0	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
木	6 1 0 0		槩	槩	檻	檻	櫛	櫛	檣	檣	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛
	6 1 1 6	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	欵	欵	盜	欵	飲	飲	飲	飲	飲
	6 1 3 2	欵	欵	欵	歟	歟	歟	歟	歟	歟	歟	歟	歟	歟	歟	歟	歟
	6 1 4 8	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫
	6 1 6 4	麾	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈
水	6 1 8 0	汾	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
	6 2 0 0		洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏
	6 2 1 6	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏	洏
	6 2 3 2	淦	淦	淦	淦	淦	淦	淦	淦	淦	淦	淦	淦	淦	淦	淦	淦
	6 2 4 8	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮	湮
	6 2 6 4	滿	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄
	6 2 8 0	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
	6 3 0 0		漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾
	6 3 1 6	澎	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇
	6 3 3 2	濱	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇
	6 3 4 8	灑	灑	灑	灑	灑	灑	灑	灑	灑	灑	灑	灑	灑	灑	灑	灑
	火	6 3 6 4	烙	焉	烽	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜
6 3 8 0		煩	熨	熬	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	
6 4 0 0			熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	
	6 4 1 6	牋	牋	牋	牋	牋	牋	牋	牋	牋	牋	牋	牋	牋	牋	牋	
犬	6 4 3 2	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	
	6 4 4 8	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	
玉	6 4 6 4	玻	珀	珀	珀	珀	珀	珀	珀	珀	珀	珀	珀	珀	珀	珀	
	6 4 8 0	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	
	6 5 0 0		瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	
	6 5 1 6	莞	莞	莞	莞	莞	莞	莞	莞	莞	莞	莞	莞	莞	莞	莞	
田	6 5 3 2	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	
病	6 5 4 8	痂	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	
	6 5 6 4	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	
	6 5 8 0	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	
	6 6 0 0		癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	
	6 6 1 6	皦	皦	皦	皦	皦	皦	皦	皦	皦	皦	皦	皦	皦	皦		
目	6 6 3 2	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇		
	6 6 4 8	宰	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇		
	6 6 6 4	蠹	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚		
石	6 6 8 0	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚		
	6 7 0 0		磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧		
	6 7 1 6	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕			
禾	6 7 3 2	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬			

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	6 7 4 8	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	窳	窳	窳	窳	窳	窳	窳	窳	
穴	6 7 6 4	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	
	6 7 8 0	竦	竦	竦	笏	笏	笏	笏	笏	笏	笏	笏	笏	笏	笏	笏	笏	
竹	6 8 0 0	篋	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	
	6 8 1 6	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	
	6 8 3 2	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	
	6 8 4 8	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	篋	
	6 8 6 4	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	
米	6 8 8 0	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	
糸	6 9 0 0	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	
	6 9 1 6	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	
	6 9 3 2	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	
	6 9 4 8	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	
	6 9 6 4	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	
	6 9 8 0	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	
	7 0 0 0	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	
	7 0 1 6	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	
	7 0 3 2	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	
	7 0 4 8	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	
	7 0 6 4	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	
肉	7 0 8 0	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	
	7 1 0 0	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	
	7 1 1 6	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	
	7 1 3 2	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	
	7 1 4 8	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	與	
	7 1 6 4	臄	臄	臄	臄	臄	臄	臄	臄	臄	臄	臄	臄	臄	臄	臄	臄	臄
艸	7 1 8 0	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	
	7 2 0 0	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	
	7 2 1 6	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	
	7 2 3 2	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	萱	
	7 2 4 8	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	
	7 2 6 4	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯
	7 2 8 0	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	
	7 3 0 0	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	
	7 3 1 6	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	
	7 3 3 2	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	莪	
虫	7 3 4 8	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	蚩	
	7 3 6 4	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	
	7 3 8 0	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
虫	7 4 0 0		蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻
	7 4 1 6	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻
	7 4 3 2	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻	蝻
衣	7 4 4 8	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾
	7 4 6 4	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
	7 4 8 0	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
	7 5 0 0		襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦
	7 5 1 6	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲
言	7 5 3 2	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃
	7 5 4 8	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆
	7 5 6 4	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷
	7 5 8 0	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎
	7 6 0 0		譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎	譎
	7 6 1 6	豸	豸	豸	豸	豸	豸	豸	豸	豸	豸	豸	豸	豸	豸	豸	豸
	7 6 3 2	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳
貝	7 6 4 8	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
	7 6 6 4	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
足	7 6 8 0	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
	7 7 0 0		蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠
	7 7 1 6	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠	蹠
	7 7 3 2	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛
車	7 7 4 8	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶
	7 7 6 4	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶	輶
	7 7 8 0	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤
辵	7 8 0 0		迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤	迤
	7 8 1 6	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈
	7 8 3 2	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈
酉	7 8 4 8	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃
	7 8 6 4	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃	釃
金	7 8 8 0	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞
	7 9 0 0		銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜
	7 9 1 6	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜
	7 9 3 2	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜
	7 9 4 8	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜	銜
	7 9 6 4	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏
門	7 9 8 0	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關
	8 0 0 0		陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
	8 0 1 6	求	求	求	求	求	求	求	求	求	求	求	求	求	求	求	求
雨	8 0 3 2	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	8 0 4 8	靜	靠	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦
革	8 0 6 4	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅
	8 0 8 0	韶	韵	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌
頁	8 1 0 0		頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤
食	8 1 1 6	舖	餘	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽
	8 1 3 2	饑	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒
馬	8 1 4 8	駁	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱
	8 1 6 4	騾	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕
	8 1 8 0	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒
髟	8 2 0 0		髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
	8 2 1 6	魄	魃	魏	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃
魚	8 2 3 2	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
	8 2 4 8	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨
	8 2 6 4	鱈	鱈	鱈	鱈	鱈	鱈	鱈	鱈	鱈	鱈	鱈	鱈	鱈	鱈	鱈	鱈	鱈
鳥	8 2 8 0	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩
	8 3 0 0	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
	8 3 1 6	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
	8 3 3 2	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚
	8 3 4 8	祛	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
	8 3 6 4	徽	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
	8 3 8 0	鼯	鼯	鼯	鼯	鼯	鼯	鼯	鼯	鼯	鼯	鼯	鼯	鼯	鼯	鼯	鼯	鼯
	8 4 0 0		堯	禎	遙	瑤	凜	熙										

索引

英数字

2 in 1 記録, 4-20
4 面はがきアイコン, 2-53
Default Authentication, 2-8
ECM 受信, 4-21
ECM 送信, 4-21
FTP 送信指定に ASCII コード以外を許可, 4-19
HTTP を使用, 4-15, 6-27
IC カード使用時の自動プリント, 4-17, 6-58
IC カード署名送信時の確認表示, 4-20
ID / ユーザ名表示の ON/OFF, 4-15, 6-33
ID (認証) キー, 1-14
ID 不定プリンタジョブの許可, 4-12, 6-14
 カードリーダー -C1 使用時, 3-42
ID 不定リモートスキャンジョブの許可, 4-12, 6-14
 カードリーダー -C1 使用時, 3-42
I ファクス設定, 4-13
JIS 漢字コード表, 9-27
LDAP サーバの登録, 4-15
LTRR/STMT 原稿の区別, 4-6, 4-37
MEAP カウンタの確認, 5-3
MEAP 設定, 4-15, 6-27
mm 入力へ, 2-26, 4-29
OHP フィルムアイコン, 2-53
OK キー, 2-19
PDF (OCR) 設定, 4-19
PDF (アウトライン) 設定, 4-20
PDF (高圧縮) の画質レベル, 4-19
PDF 送信時に機器署名を必ずつける, 4-14
SDL (Simple Device Login), 2-8
 ログイン, 2-30
SSO (Single Sign-On), 2-8

 ログイン, 2-30
USB 設定, 4-15, 6-34
USB デバイスを使用, 4-15, 6-34
USB ホストを使用, 4-15, 6-34
WebDAV 送信時にチャンク分割送信を使用,
4-20
YCbCr 受信のガンマ値, 4-20
YCbCr 送信のガンマ値, 4-20

あ

アース線の接続, 1-7
アイコン (ジョブ状況), 5-6
アイコン (ジョブの種類), 2-12, 5-6
アイコン (本製品の状態), 2-12
厚紙 1 アイコン, 2-53
厚紙 2 アイコン, 2-53
宛先の登録, 4-23
宛先表仕様設定, 4-23
宛先表のアクセス番号管理, 4-14
宛先表の暗証番号, 4-14
宛先表の名称登録, 4-23
宛先表リスト, 4-11
アプリケーションのアンインストール, 2-7
アプリケーションのインストール, 2-7
暗号化セキュアプリントジョブのみ受付, 4-17, 6-58
暗号化セキュアプリント設定, 4-17, 6-58
暗証番号
 カードリーダー -C1 使用時の変更, 3-34
 消去, 6-11
 登録, 6-6
 入力, 2-27
 変更, 6-9

暗証番号の登録, 4-12
一時停止中アイコン, 5-6
イメージ合成時の画質優先, 4-7, 4-42
イメージ合成のフォーム登録, 4-7, 4-40
入口上ガイド, 8-37
色紙アイコン, 2-53
インチ入力, 4-6, 4-29
インチ入力のしかた, 2-26
インチ入力へ, 2-26
インデックス紙アイコン, 2-53
ウイークリータイマー, 2-11
ウイークリータイマーの設定, 4-9, 4-57
上カバー
 サドルフィニッシャー・AC2, 3-15
 パンチャーユニット・L1, 3-15
 フィニッシャー・AC1, 3-15
ウェブブラウザ, 2-6
英字の入力, 2-23
エラーアイコン, 2-12, 5-6
エラー文書クリア, 4-19
エラーメッセージ一覧, 8-66
エラーランプ, 1-14
往復はがきアイコン, 2-53
オートカセットチェンジ機能, 2-16
オートクリア機能, 2-16
オートクリア後の機能, 4-6, 4-26
オートクリアタイム, 4-9, 4-56
オートスリープタイム, 4-9, 4-55
オートタテヨコ回転, 2-18, 4-18
オープンボタン
 サイドペーパーデッキ・U1, 3-13, 7-16
 カセット, 7-3
オフフックアラーム, 4-21
おもな機能, 2-2
音量調整, 4-21

か

カードリーダー -C1, 1-19, 3-3, 3-30

本体の使用終了後の操作, 3-31
本体を使用する前の操作, 3-31
カードリーダー -C1 使用時の部門別 ID 管理,
3-32
 ID 不定プリンタジョブの許可, 3-42
 ID 不定リモートスキャンジョブの許可,
3-42
 暗証番号の変更, 3-34
 カウントの確認とプリント, 3-39
 カウントのクリア, 3-41
 白黒コピー/ボックスプリントジョブの
許可, 3-43
 白黒プリンタジョブの許可, 3-43
 制限面数の変更, 3-34
回線種類の選択, 4-22
階調の自動補正, 4-60
回転
 コピートレイ・K1 の機能, 3-24
開閉センサー, 2-36
カウンタ確認キー, 1-14, 5-2
カウンタやコントローラのバージョンの確認,
5-2
カウント管理, 3-40, 3-41, 4-12, 6-12, 6-13
カウント残数, 3-37
カウントの確認とプリント, 6-12
 カードリーダー -C1 使用時, 3-39
 カウントのクリア, 6-13
 カードリーダー -C1 使用時, 3-41
カセット, 1-12
 紙づまりの処理, 8-22
 指標, 7-8, 7-12
 使用できる用紙, 2-53
 左側ガイド, 7-7
 本体, 1-11
 前側ガイド, 7-8
 用紙サイズの変更, 7-7
 用紙の補給, 7-2
カセットオート選択の ON/OFF, 4-6, 4-30
カセットガイドの調節, 7-7

- カセット選択, 4-20
- 画像縮小, 4-20
- 画像向き優先, 4-18
- カタカナの入力, 2-23
- 紙づまり, 8-3, 8-4
- 紙づまりアイコン, 2-12
- 紙づまり箇所の確認, 8-5
- 紙づまりが起きたときの表示, 8-4
- 紙づまりの処理
 - カセット内部, 8-22
 - コピートレイ・K1, 8-54
 - サイドペーパーデッキ・U1, 8-28
 - サドルフィニッシャー・AC2 の中とじユニット, 8-42
 - サドルフィニッシャー・AC2 の前カバー部, 8-39
 - シフトトレイ・C1, 8-50
 - 定着搬送ユニット, 8-12
 - 手差しトレイ, 8-18
 - バンチャーユニット・L1, 8-45
 - フィーダ, 8-9
 - フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の上カバー内部, 8-32
 - フィニッシャー・AC1 / サドルフィニッシャー・AC2 の排紙搬送部, 8-35
 - ペーパーデッキ（左側）内部, 8-26
 - ペーパーデッキ（右側）内部, 8-24
 - 右カバー部, 8-20
- 画面色反転, 4-8, 4-49
- 画面コントラストダイヤル, 1-14, 2-21
- 画面表示設定, 4-25
- カラーコピー残数, 3-37
- カラースキャン残数, 3-37, 3-38
- カラートータルプリント, 3-35, 6-7
- カラートータルプリント残数, 3-37, 3-38
- カラートナー容器交換補助つまみ, 1-12, 7-35
- カラープリント残数, 3-38
- カラーモード選択時の原稿画質自動切替, 4-6, 4-28
- 漢字の入力, 2-23
- かんたんナビ画面の表示, 2-13
 - 詳細説明画面, 2-14
 - トップ画面, 2-13
 - リスト表示画面, 2-13
- かんたんナビキー, 1-14
- ガンマ値, 4-53
- 管理キー, 1-11, 1-15
- 管理キー OFF 時の機能制限切替, 4-14, 6-23
- 機器情報通信履歴レポート, 9-5
- 機器情報配信先リスト, 9-4
- 機器情報配信の設定, 4-15, 6-35
- 機器証明書の確認, 4-20
- 記号の入力, 2-23
- 機能（モード）設定キー, 2-20
- 機能毎受信制限, 4-16, 6-46
- 機能順序の設定, 4-6, 4-24
- 機能制限, 9-20
- 機能制限モード, 4-9, 4-53, 8-81
- 機能の表示設定, 4-6, 4-24
- 機密情報入力時の伏せ字表示の ON/OFF, 4-16, 6-51
- キャンセルキー, 2-19
- 強制地紋印字, 4-16, 6-52
- 共通仕様設定, 4-6, 4-24
- 共通仕様設定の初期化, 4-9, 4-54
- クイック画面のお好みキーの設定, 4-18
- クイック画面の用紙選択キー設定, 4-18
- クイック補正, 4-60
- 区点コードの入力, 2-23
- クリープ（ずれ）補正量の調整, 4-10, 4-62
- クリアキー, 1-14
- クリップ置き, 1-14
- グループ
 - コピートレイ・K1 の機能, 3-24
 - サドルフィニッシャー・AC2 の機能, 3-16
 - フィニッシャー・AC1 の機能, 3-16
- 掲示板, 2-15

掲示板の種類, 2-15
掲示板の消去, 4-14, 6-19
原稿給紙トレイ, 1-13, 2-39
原稿サイズの自動検知, 2-34
原稿セット表示, 1-13, 2-39
原稿台ガラス, 1-12
原稿台ガラスにセットする方法, 2-36
原稿の厚さ, 2-38
原稿のサイズ, 2-38
原稿台ガラスの清掃, 7-38
原稿のセット, 2-34
 原稿サイズ, 2-34
 原稿台ガラス, 2-34
 タテ置き, 2-35
 フィーダ (自動原稿送り装置), 2-34
 ココ置き, 2-35
原稿排紙部, 1-13, 2-40
原稿向き, 9-22
原稿読み取り部の清掃表示, 4-9, 4-52
コーナーステイプル, 3-17
コピー, 2-2, 2-6
コピー仕様設定, 4-18
コピー仕様設定の初期化, 4-18
コピージョブアイコン, 2-12, 5-6
コピージョブの詳細情報の確認, 5-9
コピートレイ・K1, 3-24
 紙づまりの処理, 8-54
 仕様, 9-14
 排紙トレイ, 3-24
 補助トレイ, 3-24
 補助用ワイヤ, 3-24
コピートレイ・K1 の機能
 回転, 3-24
 グループ, 3-24
 ソート, 3-24
コピーのカラーモード設定, 4-17, 6-67
コピー履歴レポート, 9-2
コピー履歴レポートのプリント, 5-11
コメント, 4-12, 6-4

コントローラのバージョンの確認, 5-3
コントロールカード, 2-29, 3-30
コントロールカード (部門 ID) のカウント面数の確認, 3-39
コントロールカード (部門 ID) の制限面数の確認, 3-39
コントロールカードのカウント情報の確認, 3-39

さ

サービスコール表示, 8-79
再生紙アイコン, 2-53
サイドペーパーデッキ・U1, 3-3, 3-13, 7-15
 オープンボタン, 3-13, 7-16
 紙づまりの処理, 8-28
 仕様, 9-9
 使用できる用紙, 2-53
 用紙残量表示, 2-17
 用紙の補給, 7-15
 リリースレバー, 3-13
サドルフィニッシャー・AC2, 3-3, 3-15
 上カバー, 3-15
 紙づまりの処理, 8-32, 8-35, 8-39, 8-42
 ステイプルユニット針ケースの交換, 7-19
 製本トレイ, 3-15
 製本トレイガイド, 3-15
 中とじユニット針カートリッジの交換, 7-22
 針づまりの処理, 8-59, 8-62
 前カバー, 3-15
サドルフィニッシャー・AC1 の機能
 グループ, 3-16
 シフト, 3-16
 ステイプルソート, 3-17
 ソート, 3-16
 中とじステイプル, 3-19
 パンチ, 3-20
サブ電源, 1-14
サマータイムの設定, 6-22

- 時刻微調整, 4-9, 4-55
- システムオプションの構成, 3-5
- システム管理暗証番号, 4-12, 6-4
- システム管理者情報の設定, 4-12, 6-3
- システム管理者名, 4-12, 6-4
- システム管理設定, 4-12, 6-3
- システム管理部門 ID, 4-12, 6-4
- システム状況/中止, 2-6, 5-4
- システム状況画面, 2-11, 5-4
- システム状況画面 (デバイス), 2-11
- システム状況画面 (プリント), 2-11
- システム状況画面の制限, 4-15, 6-24
- システム情報のプリント, 4-15, 6-28
- システム設定, 1-25
- システムボックス設定, 4-13
- 実行中アイコン, 5-6
- 実行/メモリランプ, 1-14
- 自動オフライン移行, 4-14, 6-20
- 自動オンライン/オフライン移行, 4-14, 6-20
- 自動オンライン移行, 4-14, 6-20
- 自動階調補正, 4-10, 4-60
 - クイック補正, 4-60
 - フル補正, 4-60
- 自動カラー選択白黒時の文字/写真優先, 4-6, 4-28
- 自動カラー選択を使用, 4-17, 6-67
- 自動受信切替, 4-21
- 自動ソート, 4-18
- 自動配信設定, 4-16, 6-42
- 自動リダイヤル, 4-21
- 指標, 7-8, 7-12
- シフト
 - サドルフィニッシャー・AC2 の機能, 3-16
 - シフトトレイ・C1 の機能, 3-22
 - フィニッシャー・AC1 の機能, 3-16
- シフトトレイ・C1, 3-3, 3-22
 - 紙づまりの処理, 8-50
 - 仕様, 9-14
- シフトトレイ・C1 の機能, 3-22
 - グループ, 3-22
 - シフト, 3-22
 - ソート, 3-22
- 地紋印字モード, 4-16, 6-52
- 写真優先, 4-28
- シャットダウンモード, 1-21, 4-9
- 終了コード一覧, 8-70
- 受信機能設定, 4-20
- 受信情報記録, 4-20
- 受信モード選択, 4-21
- 主電源スイッチ, 1-11, 1-15
- 主電源の入れかた, 1-15
- 主電源の切りかた, 1-20
- 主電源ランプ, 1-14
- 手動配信, 4-16, 6-44
- 仕様, 9-6
- 詳細情報, 5-9
- 詳細説明画面, 2-14
- 使用できる用紙, 2-53
- 消費電力の節約, 2-10
- 消耗品, 7-45
- 消耗品確認, 5-7
- 初期設定/登録一覧表, 4-5
- 初期設定/登録画面の操作の流れ, 4-3
- 初期設定/登録キー, 1-14, 2-9, 4-3
- 初期設定/登録ジョブアイコン, 2-12
- ジョブ/プリント状況表示部, 2-6
- ジョブ間仕切紙, 4-8, 4-50
- ジョブ間シフト, 4-8, 4-50
- ジョブ状況
 - システム状況画面, 5-5
 - プリント画面, 5-8
- ジョブ状況の確認
 - システム状況画面からの操作, 5-5
 - プリント画面からの操作, 5-7
- ジョブの確認/操作, 2-11
- ジョブの詳細情報の確認
 - システム状況画面からの操作, 5-9

- プリント画面からの操作, 5-10
- ジョブ履歴
 - システム状況画面, 5-6
 - プリント画面, 5-8
- ジョブ履歴の表示, 4-15, 6-25
- ジョブ履歴のプリント
 - システム状況画面からの操作, 5-11
 - プリント画面からの操作, 5-12
- 白黒コピー／ボックスプリントジョブの許可, 4-12, 6-15
 - カードリーダー-C1 使用時, 3-43
- 白黒コピー残数, 3-37
- 白黒スキャン残数, 3-37, 3-38
- 白黒トータルプリント, 3-35, 6-7
- 白黒トータルプリント残数, 3-37, 3-38
- 白黒プリンタジョブの許可, 4-12, 6-15
 - カードリーダー-C1 使用時, 3-43
- 白黒プリント残数, 3-38
- 新規宛先の制限, 4-14
- 新機能の追加, 2-7
- シンプル画面のお好みキー 1、2 の設定, 4-18
- ズーム微調整, 4-10, 4-58
- スタートキー, 1-14
- スタンプカートリッジ, 7-13, 7-46
- スタンプカートリッジの交換, 7-13
- スタンプユニット・A1, 7-13
- ステイブル・D3, 3-3
- ステイブル・J1, 3-3
- ステイブルソート
 - サドルフィニッシャー・AC2 の機能, 3-17
 - フィニッシャー・AC1 の機能, 3-17
- ステイブルユニット, 7-23, 8-63
- ストップキー, 1-14
- 済スタンプ, 7-13
- スライドガイド
 - 手差しトレイ, 2-43
 - フィーダ, 1-13
- スリープ時の消費電力, 4-6, 4-36
- スリープ状態の解除, 1-20
- スリープモード, 2-10
- 静音モード, 2-11
- 静音モード移行時間, 4-9, 4-56
- 制限の ON/OFF と制限面数の設定, 3-35, 6-7
- 制限面数
 - カードリーダー-C1 使用時の変更, 3-34
 - 消去, 6-11
 - 登録, 6-6
 - 変更, 6-9
- 製本トレイ, 3-15
- 製本トレイガイド, 3-15
- セキュア文書アイコン, 5-6
- 設置スペース, 1-6
- 設置場所と取り扱い, 1-2
 - アース線の接続, 1-7
 - 移動, 1-8
 - 設置スペース, 1-6
 - 設置場所, 1-2
 - 電源, 1-5
 - 取り扱い, 1-8
- 設置場所の登録, 6-18
- 設定取消キー, 2-19
- 節電, 2-10
- 節電キー, 1-14, 2-10, 4-35
- 節電モード, 2-10
- 節電モードの変更, 4-6, 4-35
- 全機能制限, 6-23
- 全データ／設定の初期化, 4-16, 6-50
- 操作パネル, 1-11, 1-14
- 操作部電源スイッチ, 1-14, 1-20
- 操作ペン, 1-14
- 送信, 2-3
- 送信／受信仕様設定, 4-19
- 送信／ファクス, 2-6
- 送信／ファクスカウンタの確認, 5-2
- 送信／ファクスジョブアイコン, 2-12, 5-6
- 送信回線の選択, 4-22
- 送信画面の初期表示, 4-20

送信機能設定, 4-19, 4-21
送信機能設定の初期化, 4-20
送信機能の制限, 4-14
送信機能の標準モードの変更, 4-19
送信結果レポート, 4-11
送信終了アイコン, 5-6
送信前のダイヤルトーン確認, 4-21
増設回線設定, 4-22
ソート
 コピートレイ・K1 の機能, 3-24
 サドルフィニッシャー・AC2 の機能,
 3-16
 シフトトレイ・C1 の機能, 3-22
 フィニッシャー・AC1 の機能, 3-16

た

第2 原図アイコン, 2-53
第2 原図用紙にプリント, 2-41
待機中アイコン, 5-6
タイマー設定, 4-9, 4-55
タイムゾーンの設定, 6-22
タッチパネルディスプレイ, 1-14, 2-5, 2-19
 明るさの調節, 2-21
 キー表示, 2-20
 表示の切り替え, 2-5
 よく使うキー, 2-19
ダブルステイプル, 3-17
着信呼出, 4-21
中止中アイコン, 5-6
調整／クリーニング, 4-10, 4-58
通信管理設定, 4-13
通信管理レポート, 4-11
通信履歴, 4-16, 6-47
使いかたにあわせた仕様の設定, 2-9
次へキー, 2-19
データ圧縮率, 4-19
データの復帰, 4-16, 6-45
定型業務ボタンの登録, 4-19
定着搬送ユニット, 1-12
 紙づまりの処理, 8-12
低電力モード, 2-10
低電力モード移行時間, 4-9, 4-57
手差しトレイ, 1-11
 紙づまりの処理, 8-18
 使用できる用紙, 2-53
手差しトレイからのプリント, 2-41
 郵便はがきのセット, 2-45
手差し用紙の標準モード登録, 4-7, 4-44
手差し用紙変更予約, 2-42
テストボタン, 1-12
デバイス, 5-7
デバイス状況の確認, 5-4
デバイス情報の設定, 4-14, 6-18
デバイス名の登録, 6-18
テンキー, 1-14
テンキーアイコン, 2-21
電源, 1-5
電源の入れかた, 1-15
 主電源スイッチ, 1-15
 操作部電源スイッチ, 1-20
電子メール設定, 4-13
電子メール／Iファクス共通設定, 4-13
電子メール／Iファクスの送信ドメイン制限,
4-14
転送エラー文書の処理, 4-19
転送設定, 4-14
トータルプリント, 3-35, 6-7
トータルプリント残数, 3-37, 3-38
閉じるキー, 2-19
取っ手, 8-15
トップ画面, 2-13
トナー残量警告表示の ON/OFF, 4-15, 6-32
トナー残量警告表示の消去, 4-9, 4-54
トナー挿入口, 7-33
トナー容器, 1-12
トナー容器交換アイコン, 2-12
トナー容器の交換, 7-28

トナー容器の購入, 7-46
取り扱い上の注意, 1-2

な

中カバー, 7-13
中とじ位置変更, 4-10, 4-59
中とじ針頭出し, 4-10, 4-59
中とじステイプル, 3-19
中とじユニット, 7-22, 8-62
ナンバーディスプレイ着信受付, 4-21
日常のお手入れ, 7-38
認証, 2-28
認証前のジョブ状況の表示, 4-15, 6-24
ネットワーク管理者からのメッセージの表示,
2-15
濃度の自動補正, 4-60
濃度補正, 4-10, 4-62

は

排紙トレイ
 コピートレイ・K1, 3-24
排紙トレイの設定, 4-7, 4-38
配信先の登録, 4-16, 6-37
配信元による受信制限, 4-16, 6-45
はがきアイコン, 2-53
発信人名称の登録, 4-21
発信元記録, 4-20
針カートリッジの交換, 7-22
針ケースの交換
 サドルフィニッシャー・AC2, 7-19
 フィニッシャー・AC1, 7-19
針づまりアイコン, 2-12
針づまりの処理
 サドルフィニッシャー・AC2 のステイプ
 ルユニット, 8-59

サドルフィニッシャー・AC2 の中とじユ
ニット, 8-62
フィニッシャー・AC1 のステイプルユ
ニット, 8-59

搬送ガイド, 8-37, 8-40, 8-44
パンチ穴, 3-20
パンチ済み紙アイコン, 2-53
パンチャーユニット・L1, 3-3, 3-15
 上カバー, 3-15
 紙づまりの処理, 8-45
 仕様, 9-13
パンチ屑の処理, 7-25
前カバー, 3-15
ハンドセット・G2, 3-3, 3-26
左側ガイド, 7-7
日付／時刻設定, 4-14, 6-21
表示言語の切替, 4-8, 4-49
標準モード, 1-17
標準モードの変更, 4-18
ひらがなの入力, 2-23
ファクス, 2-3
ファクス受信結果レポート, 4-11
ファクス設定, 4-13
ファクス送信結果レポート, 4-11
ファクス通信管理レポート, 4-11
ファクスドライバからの送信を許可, 4-14
ファクス番号入力時の確認入力, 4-14
ファクスボックス受信レポート, 4-11
ファクスボックスの設定／登録, 4-22
ファンクション制限, 3-36, 6-8
フィーダ, 1-11, 1-13
 紙づまりの処理, 8-9
 原稿給紙トレイ, 1-13
 原稿セット表示, 1-13
 原稿の厚さ, 2-38
 原稿のサイズ, 2-38
 原稿排紙部, 1-13
 仕様, 9-8
 スライドガイド, 1-13

- セットできる枚数, 2-38
- フィーダカバー, 1-13
- フィーダ裏面の清掃, 7-38
- フィーダカバー, 1-13
- フィーダ原稿読み取り部の清掃, 7-42
- フィーダで読み取った原稿が汚れたときの処理, 4-66, 7-44
- フィーダにセットする方法, 2-38
- フィーダのクリーニング, 4-10, 4-66, 7-44
- フィーダの清掃, 7-39
- フィニッシャー・AC1, 3-3, 3-15
 - 上カバー, 3-15
 - 紙づまりの処理, 8-32, 8-35
 - ステイブルユニット針ケースの交換, 7-19
 - 針づまりの処理, 8-59
 - 前カバー, 3-15
- フィニッシャー・AC1 の機能
 - グループ, 3-16
 - シフト, 3-16
 - ステイブルソート, 3-17
 - ソート, 3-16
- 複合動作, 2-51
- ブザーの ON/OFF, 4-6, 4-27
- 部数/待ち時間の状況表示, 4-9, 4-51
- 部数/待ち時間の状況表示機能, 2-16
- 部数印字拡張の設定, 4-15, 6-30
- 部数間仕切紙, 4-8, 4-51
- 普通紙アイコン, 2-53
- 部分機能制限, 6-23
- 部門 ID
 - 消去, 6-11
 - 登録, 6-6
 - 入力, 2-27
- 部門別 ID 管理, 4-12, 6-5
 - カードリーダー - C1 使用時, 3-32
- ブラクトナー交換カバー, 1-12
- プリンタジョブアイコン, 2-12, 5-6
- プリンタドライバから保存時のプリント, 4-17, 6-65
- プリンタドライバ地紋印字, 4-16, 6-55
- プリント, 2-3, 2-6
- プリント画面, 2-11
- プリントが汚れたときの処理, 4-65, 7-43
- プリント状況からセキュアプリントを許可, 4-15, 6-25
- プリントジョブの詳細情報の確認, 5-9
 - システム状況画面からの操作, 5-9
 - プリント画面からの操作, 5-10
- プリント待ち時間表示, 4-9, 4-51
- プリント待ち時間表示機能, 2-16
- プリント優先順位, 4-7, 4-39
- プリント履歴レポート, 9-3
- プリント履歴レポートのプリント, 5-11
 - システム状況画面からの操作, 5-11
 - プリント画面からの操作, 5-12
- フルカラーを使用, 4-17, 6-67
- フル補正, 4-60
- ブレーカー, 1-12
 - ブレーカー点検チェックシート, xxxvi
 - ブレーカーの確認, 8-83
 - 定期点検, xxxiv
- ペーパーデッキ, 1-12
- ペーパーデッキ (左側) の紙づまりの処理, 8-26
- ペーパーデッキ (右側) の紙づまりの処理, 8-24
- 文書の自動消去までの時間, 4-17, 6-65
- ページ印字/スタンプの文字列登録, 4-7, 4-42
- ページ記述言語 (プラグ&プレイ), 4-17, 6-64
- ポーズ時間セット, 4-21
- 補修用性能部品, 7-47
- 保守サービス, 7-47
- 補助トレイ
 - コピートレイ・K1, 3-24
 - 手差しトレイ, 2-43
- 補助用ワイヤ
 - コピートレイ・K1, 3-24
- ボックス, 2-2, 2-6
- ボックスジョブアイコン, 2-12, 5-6
- ボックス仕様設定, 4-22

本体外観, 1-11
本体各部の名称とはたらき, 1-11
本体仕様, 9-6
本体内部, 1-12
 紙づまりの処理, 8-12
本体右カバー, 1-11

ま

前カバー
 サドルフィニッシャー・AC2, 3-15
 パンチャーユニット・L1, 3-15
 フィニッシャー・AC1, 3-15
 本体, 1-12
前側ガイド, 7-8
右カバー部, 1-11
 紙づまりの処理, 8-20
メールアドレス, 4-12, 6-4
メモリフル時の処理, 8-77
文字／背景のコントラスト調整, 4-10, 4-63
文字制限, 9-16
文字の入力, 2-22
 英字, 2-23
 カタカナ, 2-23
 漢字, 2-23
 記号, 2-23
 区点コード, 2-23
 ひらがな, 2-23
 文節の区切りの変更, 2-24
文字優先, 4-28
戻るキー, 2-19

や

ユーザ署名の証明書確認, 4-20
ユーザ設定サイズの登録, 4-7, 4-46
ユーザデータリスト, 4-11
ユーザ電話番号の登録, 4-22

ユーザ入力項目の機能制限, 9-16
ユーザ入力項目の文字制限, 9-16
ユーザボックス一括設定, 4-17, 6-65
ユーザボックスの設定／登録, 4-22
ユーザ定義の用紙種類の消去, 6-63
ユーザ定義の用紙種類の登録, 6-59
ユーザ定義の用紙種類の編集, 6-60
ユーザ略称の登録, 4-22
ユーティリティソフトウェア, 3-11
有効期限切れ証明書使用時の PDF 送信を許可,
4-14
優先プリント, 5-13
 システム状況画面からの操作, 5-13
 プリント画面からの操作, 5-14
郵便はがきにプリント, 2-41
用紙残量表示, 2-17
用紙残量メッセージ表示, 4-6, 4-27
用紙種類の管理設定, 4-17, 6-59
用紙種類の登録, 4-6, 4-32
用紙選択画面の優先表示, 4-6, 4-35
用紙の購入, 7-45, 7-47
用紙の種類, 2-53
用紙の補給
 カセット, 7-2
 サイドペーパーデッキ・U1, 7-15
用紙向き, 9-22
読み込み設定の標準モード, 4-22

ら

ライセンスキー取得, 1-26
ライセンス登録, 1-27, 4-14
ラベル用紙アイコン, 2-53
リスト表示画面, 2-13
リストプリント, 4-11, 5-11, 5-12
リセットキー, 1-14
リトライ回数, 4-19
リモート UI, 2-3
リモート UI の ON/OFF, 4-14, 6-17

リモート受信, 4-21
リモートスキャナ, 2-6
リモートスキャン, 2-4
リモートスキャンアイコン, 2-12
リモートスキャン時のガンマ値, 4-9, 4-53
両面記録, 4-20
リリースレバー
 サイドペーパーデッキ・U1, 3-13
レバー, 8-13
レポートサンプル, 9-2
レポート出力, 4-11
レポートジョブアイコン, 2-12, 5-6
連絡先, 4-12, 6-4
ローカルプリントの標準モード, 4-8, 4-48
ローマ字入力表, 9-26
ローラのクリーニング, 4-10, 4-65, 7-43
ログインサービスによる使用者の管理と特定,
2-8

わ

ワイヤのクリーニング, 4-10, 4-65, 7-44
ワンタッチ白黒モードキーの表示, 4-6, 4-29
ワンタッチボタンの登録, 4-23

iR C6880N/iR C5880N システム管理モードについて

この“iR C6880N/iR C5880N システム管理モードについて”の部分は、切り取って、管理責任者が保管しておいてください。

初期設定／登録のシステム管理者情報を設定することによって、初期設定／登録のシステム管理設定に規制をかけたたり、他のユーザが設定した内容を管理することが可能になるモードをシステム管理モードといいます。

システム管理モードで行える操作は次のとおりです。

- ボックス内の文書の管理
- ボックス仕様設定

システム管理モードにする

- 重要**
- SDLやSSOのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが一般ユーザの場合はシステム管理モードにすることはできません。
 - SDLやSSOのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが管理者の場合のみシステム管理モードにすることができます（システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力するダイアログボックスが表示されたときは、該当項目を入力してください）。

部門別 ID 管理をしている場合

- 1 システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を①～⑨（テンキー）で入力します。

- [部門 ID] を押したあと、システム管理部門 ID を入力します。
- [暗証番号] を押したあと、システム管理暗証番号を入力します。
- ⑩（認証）を押します。



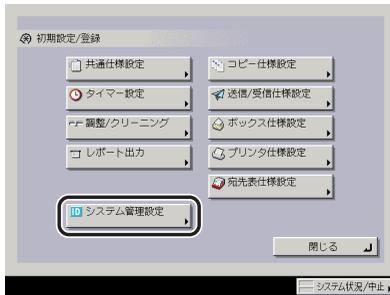
システム管理モードになります。

部門別 ID 管理をしていない場合

- 1 ④ (初期設定/登録) を押します。

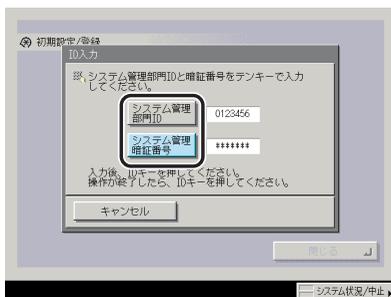


- 2 [システム管理設定] を押します。



3 システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を⑩～⑨(テンキー) で入力します。

- [システム管理部門 ID] を押したあと、システム管理部門 ID を入力します。
- [システム管理暗証番号] を押したあと、システム管理暗証番号を入力します。
- ⑩(認証) を押します。



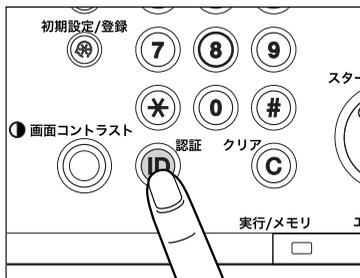
システム管理モードになります。



メモ システム管理設定（初期設定／登録）のシステム管理者情報の設定で登録した番号を入力します。（→システム管理者情報を設定する（システム管理者情報の設定）：P.6-3）

システム管理モードを解除する

1 ⑩(認証) を押します。



システム管理モードが解除されます。オートクリア機能が働いた場合もシステム管理モードは解除され、オートクリア後の機能で設定した機能の画面に戻ります。

システム管理モードでボックスの操作をする

ユーザが設定したボックスの文書进行操作することができます。例えば、暗証番号がわからなくなったユーザのボックスを操作したり、不要な文書の削除や緊急時に暗証番号が設定されているボックス内文書を取り出すことなどができます。

1 システム管理モードにします。

-  **メモ** システム管理モードにする手順については、「システム管理モードにする」(→ P.9-51)の手順1を参照してください。

2 [ボックス] を押します。



3 ボックスの操作を行います。

-  **メモ** ボックスの使いかたについては、「コピー/ボックスガイド」を参照してください。

システム管理モードでボックス仕様を変更する

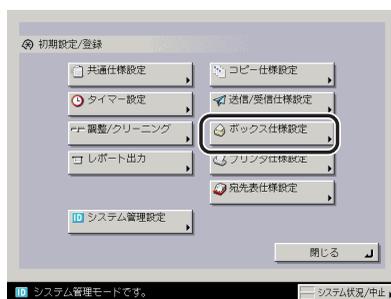
暗証番号で規制のかかっているボックスの仕様を変更することができます。例えば、不要になったボックスを初期化したり、ボックス名称などを変更することができます。

また、暗証番号がわからなくなったボックスの暗証番号を再設定することもできます。

1 システム管理モードにします。

 **メモ** システム管理モードにする手順については、「システム管理モードにする」(→P.9-51)手順1を参照してください。

2 初期設定/登録画面で【ボックス仕様設定】を押して、設定を変更します。



ボックスの設定方法については、コピー/ボックスガイド「第 8 章 使いかたにあわせた仕様の設定」を参照してください。

3 【閉じる】を押します。



消耗品のご注文先

販売先

電話番号

担当部門

担当者

サービス担当者 連絡先

販売店

電話番号

担当部門

担当者



キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90051

[受付時間] <平日> 9:00~12:00、13:00~17:00

（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9319をご利用ください。

※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ： <http://canon.jp>